The Japanese Times

紐育新報

親善の一努力



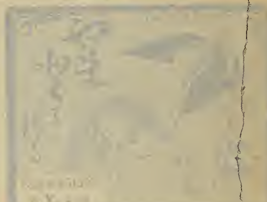
紐育新報

送別會

●日本料理の名聲

●閣員獻賞人名





教育の何日月



隣の恋より

The Japanese Times

紐育新報

見面外交の失敗

[illegible]

膺蘇絶句

[illegible]

自動車展覧會

■大阪の珍客

The Japanese Times

紐育新報

新家庭事件



●古礎古より

日支提携論の高調

▲

●日婦人□死體調査

●新歸朝獻賞人名



●武術演技會

●外地の婦人

●目を覆ふて旅行

御挨拶

The Japanese Times

紐育新報

平和同盟の提議

[illegible]

ウ氏演説の要領

議會解散と米紙

[illegible]



寺内伯

東京特電

議會解散

[illegible]

茶の間

[illegible]

紐育新報

日本近事

●大臣の新年式

米國雜事

■執行委員會■

春の東京

新聞の新經路

●日本藝言評

The Japanese Times

紐育新報

獨逸の自働自給

對外貿易の現在及將來

營利より

紐育新報

米獨國交の危機

日本電報

米國時事

紐育と附近

旅中雑観

■高等拝聞

■至急廣告

■事務員採用

紐育新報

日用熱言

結婚の際に

The Japanese Times

紐育新報

投資訓

對外貿易の現在及將來

一筆啓上

米獨國交の斷絕

旅中雜觀

紐育新報

T艇の活躍



The Japanese Times

紐育新報

寺内々閣の運命

戦局通観問答

歐洲近事



一筆啓上

國交斷絕と比較

▲米國斷絕と日本▼

▲歐洲と米國斷絕▼

新刊と雜誌

日本雜事

米國雜事

瑞西より

人種的偏見

獻金人名

家庭　手編物

手袋仕事





●航空の技巧

[illegible]

●テー、エコエヤー

電氣館の設備式

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

華盛頓と維納通

[illegible]

戰局通觀問答

野田海軍大佐談

[illegible]

一葉啓上

[illegible]

新報詩壇

◆珊瑚の綱

佐々木青兒

貝を巻く
綱のほぐれては
涙を落つる淋しさに、
われから斷ちし
この綱の、いま、
[illegible]

[illegible]

羅府西より

●防禦の準備と攻軍の準備

移轉

The Japanese Times

紐育新報

危險なる潜航式外交

[illegible]

米國小說

[illegible]



補拿船賀茶

[illegible]

險惡な米國關係

日本軍團

●留置郵便物

NIPPON YUSEN KAISHA

移轉

CORAN & HARRIS THEATRE

柳の木

○玉場讓受度し

■至急廣告

NIPPON RESTAURANT

西洋 日本 支那 御料理

上海樓

東方樓

謝禮廣告



合席御料理 東京生蕎麥 都

船具一切

NICHI BEI KAITSU SHA

日米海通社

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

丸山寫眞館

大北旅館

五味商會

PAGODA INCENSE

化粧品卸賣

櫻井旅館支店

大黒屋

春過ぎて

開演す

移轉廣告

千歳

The Japanese Times

紐育新報

信用組合の創立

東京特電

欧洲近事

一筆啓上

紐育新報

●八、倒産の…

内國通信

雜俎

●留守見舞…

[illegible]

社告

[illegible] 紐育新報は社中同人千[illegible]素相激勵し[illegible]一般在留邦人の輿論を代表して生命あり意義ある公共機關[illegible]穩健の所論、豊富の趣味、適確の取材、機敏の報導は吾紐育新報の四大特長[illegible]一週一回の發刊を以てしては到底[illegible]新聞としての責務を完ふせんことは頗る至難の業[illegible]東部在留邦人の現狀は未だ以て邦字新聞のデイリーを要求するの程度に達せざるを察知する[illegible]一週一回の發刊に改め三月十七日[illegible]より之が實行の緒に就き[illegible]紐育新報[illegible]大要左の方針に從ひて活動せんことを期す[illegible]

一、[illegible]各週水曜、土曜の兩日を[illegible]一ケ年金二弗[illegible]

二、社説[illegible]眞骨頭を發揮して同胞社會の[illegible]

三、故國に於ける重要なる事件は特設機關を通じ敏速の報導を[illegible]

四、[illegible]大戰亂の瑞西[illegible]中村萬吉氏[illegible]錦上更に花を添[illegible]

五、[illegible]一週一人[illegible]人物月旦[illegible]フースフ[illegible]

六、[illegible]滑新の[illegible]文藝趣味[illegible]

七、[illegible]初號以來の名物[illegible]世相の八面觀[illegible]

[illegible]

協商倶樂部會 日本部會計報告

[illegible]

●排日問題

●三月の三寸

新家庭講話

基督教青年會

上院の…

開演するまで

移轉廣告

千歳

投書欄

The Japanese Times

日布時事 / 日米新報

頑強な消耗戰略

故駐日米國大使遺骸護送

波多野宮内大臣辭職説

支那特派大使の東京着

●畠商務次官の更迭

●飯田前代議士の枝術

歐洲近事

●露國革命の成功

●バグダッド占領

◆南中學校の音樂

◆アリムロース

一筆啓上

米國特報

[illegible]

●日本美術協會展覽會　去る十一日より二週間山中商會樓上美術陳列場に於て日本美術協會主催の展覽會開會中なるが吉川、古田土、和氣、森島、大野、小野、高田、宇和川、土屋[illegible]諸氏の揮毫に成る水墨畫、油畫[illegible]外に[illegible]寫眞畫並に[illegible]村山[illegible]の苦心になる[illegible]

●グラ[illegible]繪畫[illegible]あり、毎日[illegible]觀者[illegible]多く[illegible]

[illegible]

●新任大使[illegible]

[illegible]

▲近[illegible]

▲女子[illegible]

▲夫人が人に會はると[illegible]

▲夫人は今や[illegible]

協商側慈善會日本部會計報告

▲收入之部

一金三千九百廿五弗七十八仙也　[illegible]賣上代
一金一千三百[illegible]四弗二仙也　茶店賣上代
一金一千八百五十八弗二十五仙也　シエヤー賣上代
一金二百二十七弗七十五仙也　入場切符賣上代
一金二百二十五弗也　雜收入
合計金一萬一百二十五弗三十仙也

▲支出之部

一金六百十五弗二十二仙也　設備費及裝飾費
一金一千二百五十弗七十七仙也　商品仕入代
一金一百六十八弗六十四仙也　茶店費
一金三百十弗也　入場切符買入代
一金四百二十一弗二十仙也　使用人給料
一金一百九十八弗六十八仙也　[illegible]
金六千八百九弗三十仙也
右内譯
金二千九百二十五弗廿八仙也　商店賣上代
金一千二百廿四弗二仙也　茶店賣上代
金一千三百[illegible]十八弗[illegible]

合計金九千[illegible]
[illegible]
右之通[illegible]
大正六年三月
協商側慈善會
日本部委員一同

一週一人

一宮操子夫人

大戰後の瑞西より

𨗈鹿界消息

▲男子と猫話

[illegible]

移轉廣告

[illegible]

千歳

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

大革命より得たる教訓

●支那特派大使の大歓迎

●内田駐露大使夫人重傷

●外相と各國使臣の會合

●米國政府の謝電

紐育新報

紐育郵便物

在米財界の新顔

紐育教會

美術手帳

美術家入用

●桑港特信

●今年度に於ける事業の發展に…

[illegible]

逐鹿界消息（二）

[illegible]

●寄贈人名

[illegible]

柳の情



扱書籠

The Japanese Times

紐育新報

大革命より得たる教訓（前承）

……して無政府主義者の主張と其危險の……往度に於ては甲乙なきに庶幾し。……吾人は……諸國に於ける大革命の……直接若くは間接の素因が……

本社東京特電（三月廿一日發）

駐支獨逸公使の通過保證

室蘭製鋼所同盟罷業調停

東洋汽船利益配當三百万圓

駐露日本大使よりの長電

●東京市長の辭職……

日米週評

一筆啓上

●交戰狀態に入れる米國

一週一人

米國新聞

◉社告◉

紐育新報社

文展季サロン季

●露國の敵は

The Japanese Times

朝日新報

一代華族論

本社東京特電

支那の關税增率請求拒絶

對露國貿易の閉止

駐支獨逸公使の日本通過

淡路丸玄海灘にて沈没す

禁酒

●對獨宣戰布告の機迫る

[illegible]

●留置郵便物

[illegible]

社告

紐育新報社

大西洋より

演藝界消息（三）

The Japanese Times

紐育新報

婦人と政治

[illegible]

●日本の露國新政府承認

[illegible]

●北京政府の波瀾

[illegible]

●勝田藏相の五万圓盜難

[illegible]

米獨開戰の影響（一）

[illegible]

一週一人

●留置郵便物

西部特信

戰線の時影

The Japanese Times

紐育新報

米獨開戰は平和の曙光なり

總選擧昨今の形勢

本社東京特電（四月二十日發）

四月二十日を以て執行せらるべき衆議院議員總選擧の形勢は政友會の計算に依れば百五十二名は確實に當選の見込ある……總長の資格にて各方面の運動を督勵中にして政戰は益々激烈を極めつゝあり

支那政府の新露政體承認

支那民國は正式に露國の新政體を承認する旨を發表せり

淡路丸沈没は僞電

東京株式取引所仲買人三橋某、東京朝日記者山中末成及び阿部某は郵船淡路丸が沈没せる旨故意に僞電を發したる嫌疑にて拘引せられたり

●駐支獨逸公使の出發 ……公使の一行はホノルル經由桑港へ向け四月二日の便船にて出發せり

●元帥府會議の開催 ……寺內首相等の各元帥は元帥府に伺候して重要なる會務會議を開き……

●松方侯內大臣新任 昨日松方侯爵は內大臣に新任せられ……

●西本願寺新管長任命

●東本願寺の得度式

●瀆職事件公判の移審 ……瀆職事件公判は……

●練習艦隊の出發 練習艦隊の八雲、常磐二艦は南洋に向け昨日出發せり

●澁澤男爵慰勞會 ……實業界を隱退せる澁澤男爵のために盛大なる慰勞會を催さんとの……

●高田又一氏有罪宣告

極東及歐洲

■朝鮮王族李太王の薨去 ……

■師團長會議開催 全國各師團長會議は四月十四日より東京に召集さる……

■子爵議員補欠當選 ……

■獨國皇帝陛下の伯林訪問 ……

米獨開戰と影響

ロロ米貿易の……　森村ブラザーズ支配人

對獨宣戰の決議

米國雑報

欧洲西より

新報詩壇

◆春いさゝさ　西舟

春の夜を寂しくするテーブルの
乙女の傷に頬すりをする

帝大に新聞科設置の計画

文科大学に於て……

紐育新報

ウォール街

戎劔新作

● 米國の戰と四月

四月十九日…一七七五年 獨立戰爭

The Japanese Times

紐育新報

紐育日本人會 會員諸君に檄



米國遂に獨逸に對して戰を宣す

紐育市長の告示

極東及歐洲

歐洲に於ける米國宣戰の反響

紐育新報

一週一人

公告

大正六年四月

日本帝國總領事館

留置郵便物

玉突賞入れ

紐育日本人會

◆演藝◆

▲美術家入用

農事に經驗ある青年を望

◆本會の事業

◆伊藤ダンサー

紐育新報

初陣の女議員

▲…物に…る…一輯

▲…大…

選舉…の…

選舉の…

The Japanese Times

虚名と實力

朝野米獨開戰を歡迎す

憲政會の悲憤

松方侯内大臣を辭す

後藤内相暗殺を免る

歸朝雜感

高峰博士談

●米國の戰備着々進捗す

●米墺兩國の國交斷絶す

公告

日本郵船會社

廣告

紐育日本人會

喫煙室

◆ようこはか

◆旅中所見

美術家入用

美術展覽會

紐育新報

白百合薫る夜

The Japanese Times

紐育新報

對獨宣戰と吾人の責務

四大臣の各地遊說

皇太子殿下の奈良行啓

米國大統領へ

一筆啓上（七）

一週一人

君

諸告

玉置貫人だし

●廣告●

紐育日本人會

日本に於ける最近の經濟事情

●水中無線電信

フランク・リー…

◆悲しき杜

新報特誌

○夏場所あり

■ビリー・サンデー

The Japanese Times

紐育新報

華盛頓會議

Proclamation by the President to the People

本社東京特電

●日本の同盟會議參與

●警保局部長の僧侶排斥

●米國側反對運動

●日米協會の總會

●内大臣任命行幅

●故米大使遺骸奉送

●諸議員の邁進

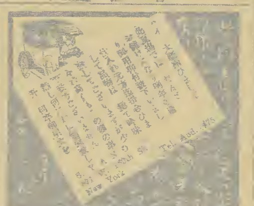
●ブーム氏に叙勲

柳米及滿洲

●ユー艇の出現

一筆啓上

世界に於ける日本の地位



No. ... VOL. I

The Japanese Times

紐育新報

歸化權問題

●內閣の興敗數時間に迫る

●從軍飛行家立石氏の戰死

大統領の返書

The White House
Washington, D. C.

日本間を旅行するに最も便利にして且つ諸設備の完全せるものなり

ニューヨークセンーラル鐵道は紐育

1216 Broadway N. Y. City

New York Central R. R. Co.

謹告

喫煙室

◆米人

◆日本婦人入用

館を設立致候間有志諸君の来臨を希望す
廣島縣人會々
會長 仰本 俊行

齒科醫

紐育新報

倶樂部ナイト

●ウエーク・アップ

The Japanese Times

總選擧と寺内々閣

政府黨終に勝を制す

重要地の當選議員

一筆啓上

●英國使節一行の安着

[illegible]

●[illegible]

[illegible]

●米土國交斷絕

獨墺と[illegible]したる米國に對し土耳古國は豫て期待せられたる如く今回國交斷絕を宣言したる旨在瑞西米國公使を經て公報に接せり

●佛國遣米特使安着　昨廿四日華府國務省は佛國特使一行前首相ヴィヴィアニ氏ジョッフル元帥等の安着を[illegible]一行は[illegible]米國[illegible]に着し米國[illegible]佛國大使館武官米國陸海軍將校[illegible]及國務省代表者[illegible]

●紐育教會の[illegible]會　來廿六日[illegible]午後八時より[illegible]

●記者小會　足立會之助、鎌田敬四郎小說家ジョージアー[illegible]並にフツピユーン記者[illegible]テル●シャー[illegible]諸氏は前週土曜日[illegible]に於て小宴を催し[illegible]在紐邦人の[illegible]來廿七日ホテル●シャー[illegible]に在紐邦人の[illegible]諸氏を[illegible]披露[illegible]の宴を催す由

●[illegible]氏の歸米　既報の如く[illegible]

●[illegible]博士の[illegible]　[illegible]は來る廿七日[illegible]發[illegible]の由

●[illegible]丸の入港期　[illegible]丸は[illegible]八時の[illegible]

●[illegible]

●臺灣銀行の拾安　[illegible]武藤[illegible]氏は今回[illegible]

●日本倶樂部理事會　本月の例會は[illegible]金曜日開會[illegible]正會則並にボンド發行に關する報告ありたり

●丸山保安部長の講話　[illegible]丸山[illegible]氏は[illegible]日夜大堀牧師宅に於て「現代の[illegible]問題」なる題下に講話ありたり

●[illegible]

●高峰博士の[illegible]

謹告

[illegible]

大正六年四月[illegible]　帝國[illegible]

●移轉廣告●

[illegible]

紐育日本人會

[illegible]

紐育新報

紅燈夜話（二）



投書欄

The Japanese Times

紐育新報

遣露特使として エルート氏

當選の新代議士

▲長野市 ▲高崎市 ▲水戸市 ▲弘前市 ▲高知市 ▲津市 ▲静岡市 ▲奈良市 ▲甲府市 ▲山形市 ▲鳥取市 ▲丸亀市 ▲米澤市 ▲札幌市 ▲長崎市 ▲下關市 ▲堺市 ▲岡山市 ▲福岡市 ▲久留米市 ▲岐阜市 ▲金澤市 ▲高岡市 ▲前橋市 ▲下關市 ▲和歌山市 ▲佐賀市 ▲熊本市 ▲岡山市 ▲高知市 ▲神戸市 ▲横濱市 ▲小倉市 ▲大津市 ▲高松市 ▲函館市

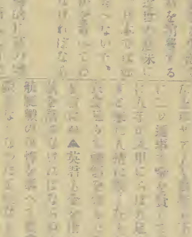
日本は一等國の位置を退かざるを得ず

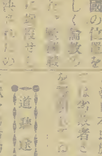
茅原華山

日本が果して長く一等國の位置を保持し得るや否やは、久しく論議の問題である。

道聴途説







大正六年四月十四日　紐育新報　第三百七號

紐育新報

本國の事

[illegible]

●[illegible]

金の[illegible]問題

[illegible]

一週一人

商人と學者とを兼ねた

林[illegible]君

▲世路の急灘に棹すと四十有餘年[illegible]である[illegible]有ゆる辛酸有ゆる苦[illegible]を嘗め盡した[illegible]商機を見るとには頗る神速敏捷で[illegible]るけれども、陰険且つ不義理な[illegible]爲めに[illegible]一種の[illegible]を[illegible]段を弄するとをせぬ。[illegible]

▲[illegible]君の[illegible]は『[illegible]』[illegible]人間は如何に智恵があつても、[illegible]

▲太西洋市在留邦人は僅かに二十に[illegible]居らぬけれ共夫れ／＼立派な[illegible]

[illegible]

●鳥取丸入港 [illegible]

▲[illegible]幹事辭任せし爲め後任として[illegible]氏を推薦の件、會員[illegible]

●山崎[illegible]氏[illegible]會長として[illegible]

●梅村[illegible]

●山中[illegible]

●家大博士の講演 [illegible]

謹告

[illegible]

事務員入用

[illegible]



青年會の幹事慰勞

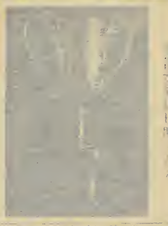
[illegible]

●可蘇食料品の騰貴 [illegible] 食料品の生産、[illegible] 價格等の調節に努め [illegible] 現今物價殊に食料品 [illegible] 有名なる豊府トーマ [illegible] 山崎氏の語る [illegible] 日本人に直接の關係ある [illegible]

●郭船會社の新重役 本月廿 [illegible] 總會 [illegible] 和田豊治、郷誠之助、[illegible] 四氏從來の取締役と共に [illegible] 監査役として [illegible] 河村金五郎、山本長 [illegible] の三氏當選せる旨當地郵船出張所へ入電ありし由同社の高山氏より直話ありたり

●古屋商店の土地家屋購入 西海岸 [illegible] の古屋政次郎氏商店は本店所在地の建物並地所面積 [illegible] 八十九呎奥行百八呎の地所共に [illegible] 十二万弗にて購求の契約先般成立せ [illegible]

●霧府の新ホテル ニューヨーク [illegible] 東三街に開業 [illegible] 宿料低廉なる由



[illegible] カップ

[illegible] に贈りたる

「本會は宗教團体の如く神[illegible]を借りて [illegible] 會員の行動を制するに非ず、[illegible] [illegible]

報 詩 壇

◆枕によりて

佐々木指月

これが、教育にある詩歌 [illegible]

[illegible]

私の考へでは、詩歌の [illegible] また、詩歌に對して、いや詩歌の作者に對して [illegible] 畢竟は無主義なことだと云ふこと [illegible] ただ、私は、他の詩歌に、ぶつかつた時の感想を述べたい。

五峰さんの『春の歌』六首な讀んで、直接得た感じは、その歌の情感のゆたかさにあつた。[illegible] 春の日の光りあまねし [illegible] ゆるやかに歌ひ出して [illegible] 五峰と云ふ人の内心の餘裕か見えて、なつかしかつた。

黄花郎子の『光人へ』を默讀して得た感味は、埃及の建築から得るやうな對比の快感と一篇の詩に [illegible] 智識である。[illegible] 國の上に立つての詩ともいふものにも私は、同情を持ち得る。

ワイ・オー君の『ほつれ毛』を讀んで私は、[illegible] アテン・ボオの『ユウラリイ・セッシン』を思ひ出した。[illegible] 熱し、時々、その雜音が混じて居るのがしつく氣になつた。

『いいいい、いい、いい、いい セヤテーの髪よりもれて 小さきホールのひとひらは』

と云ふ一節は、言葉とリズムが、しつくり一緒になつてゐた。これはり

廣告

●皿洗ひ入用

毎日曜終日及び毎夜就働の皿洗ひ至急入用御希望の方は御來談あれ

給料は面談の上

Nippon Dining Room
2341 Broadway, [illegible]

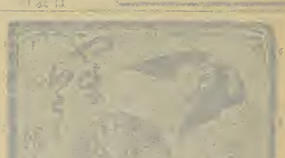
今般左記の場所へ

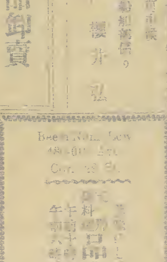
鹿島縣人會々館

を設立致候間有志諸君の來館を歡迎す
且つ其の入會を希望す
宿泊自炊の準備有之候

紐育市[illegible]六街[illegible]百六十五
鹿兒島縣人會

會長 [illegible] 本 [illegible] 行





◆その二週間で(二)

貧乏郎夫

…の世界の後半から其の位置にかかる果に終つて居る。

…自家の特殊な…を持たないのに何うなるであらう

▲共立女子職業學校…

▲良妻賢母…

▲米國の婦人…

投書欄

The Japanese Times

紐育新報

官民一致論

滋賀縣警察部長免官

永井派選擧民の激昂

大隈侯の八十歳祝賀

世界歴史に於ける日本民族の地位（一）

紐育新報

●佐藤大使の來紐

●デトロイト市通信

謹告

桑山商店

御得意様

剛宮旅館

●事務員入用

▲尋人▼

NIPPON YUSEN KAISHA

TOKYO, JAPAN

日本郵船會社

I. Kikuchi Studio

菊地寫眞館

GREAT NORTHERN RAILWAY

紐育教會

S. KUWAYAMA

新着品御披露

T. KASAI

TAILOR

●御洋服調進

笠井洋服店

新柄澤山備へ置候

鴨井久

Murray Hill 2958

47 Prospect Pl. bet 1st & 2nd Ave

off E. 42nd Street

御下宿

ポスト市

基督教修道會

ふじ旅館

御料理

●東濱旅館廣告

CALDWELL & CO.

日米間貨物輸送

NICKEL PLATE ROAD

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船會社

喫煙室（一）

[illegible]

在留同胞に對する予の希望

[illegible]

……日本人に同じ大にこれを警戒すべき責任あるものと信ず。……は武藝術に……何事も……の施設を發揮せしむ……するなれば國家……入急務なり。而して産業の發達を計り實力を示す事が最……に於ては加州、加奈太、……の實權を獲得……するの新興國の……著々各方面の實權を獲得……進歩を占め……を努めざる……

……専門の化學工業の立脚地より述ぶる……電氣、冶金、……化學工業の發達の結果は……最近化學工業の發達の結果は更に……を聲明しアニリン染料となす事を發見し之に依つて非常なる富を得たるが如し斯かる廢物を利用し以て一つの有用なる物を生ぜしむる事を發見するは化學工業の研究の結果にして其中にありても最も必要なるものは製……化學なり。

（未完、文責在記者）

……日本に於ては……東洋に於て……

●花になりて

●私にはそれが

The Japanese Times

日米新報

沈滯せる日米外交

日本の支那關稅增率承認

オリンピック競技開會式

佐藤大使談片

世界歷史に於ける日本民族の地位

紐育…
海軍…
歐東…

一週一人

吉野…女史

■高等貸間

岡宮旅館

在留同胞に對する吾人の希望（承前）

北米日報 大阪每日 竹 原 余 吉

鹿兒島縣人會々館

The Japanese Times

紐育新報

獨逸は再び平和の提唱を試みむ

[illegible]

武田中將と語る

[illegible]

……な好紳士である。日本の御役人は……大に携へねば自分のデグニチイに關するなどゝ考へて居るのが多い……ものが數多……態度を學ぶがよからう。

▲余は先づ歐洲大戰の現狀に發した……此後吾人……の大戰の前途に……

[illegible]

世界歴史に於ける日本民族の地位(三)

米田實氏の大講演

[illegible]

……は無用なものが少くはない、例へば……歐米の社會學を學ぶとする、歐米で……はその社會生活から壓搾されて出て來たものが社會學である、故に抽象論であつても其抽象論には最も具體的なる實生活の背景がある、日本人が之を學んで其儘日本に輸入して翻譯すれば、全く實生活の背景のない抽象論、架空說となる、社會學遊戲となる、抽象的論理となる、日本は……

十四、日本民族は……

十五、……

[illegible]

●英佛特使の到着と歡迎準備

增澤丈兒氏送別會

◆市俄古通信

■高等貸間

岡宮旅館

無…有

●映つた日本

[illegible]

●五月廿四日の……式

[illegible]

投書籠

[illegible]

…記者足下僕文字は……新山生の「私」に……各方面……記事……▲日米メール……北……氏の演説を聞き……會員の一人が大聲……講演の終らざる……呼ぶ者があつた故……

[illegible]

紐育新報

人間學を修めよ

オリンピック競技開催

（五月十一日）

大阪三菱倉庫の大慘事

世界歴史に於ける日本民族の地位（四）

市原華山氏の大講演

十六、日人とは何ぞ。

海外文藝欄

一週一人

■廣告

鈴木とみ

増澤丈兒氏送別會

■高等貸間

定子儀

紐育教會

寺内首相の日支親善論

「ちらすれ」

[illegible]

●新らしい女の自覺

[illegible]

投書箱

遠み合ひ升から御手紙おに願ひ升

[illegible]

さよなら

The Japanese Times

紐育新報

某教授の奇禍

臨時議會開會公表

吾妻艦ホノルル着

練習艦隊大歡迎

一筆啓上

華山氏より

米國雜信

紐育と同胞

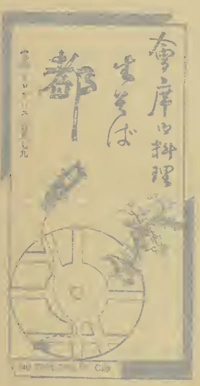
●日本運動倶樂部
第二回演武大會

日米間通信

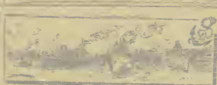
日本人夫婦者入用

高等貸間

喫煙室







若き迹ひて

「え、ぷれ」

尋人

愛蘭十八エドラ・アンダーソン（約六十才）に面會し度し同婦人は曾て〃キシントン〃街に働きし事あり心當りの方は本社迄御知らせ下されたし

紐育新報社

投書箱

紐育新報

チヨウト氏を悼む

本社東京特電（五月十六日着）

山縣公爵留任に決定

株式市場の大打撃

女政黨……

首相の……

練習艦隊桑港發

（五月十六日着）

極東及歐洲

露國の政變

▲外相ミルコフ氏の辭職

▲新内閣の組織政綱發表

▲露國勞働者側に兵士代表者會の……結果軍務……ガチコフ將軍の辭職となり、……ミルコフ氏は……

■佛軍總司令官の米兵要求 ニヴエール將軍に代りて佛軍總司令官に任ぜられたるビテイン將軍は米國に……勇兵の速歐は英佛兩側の要求なる旨を……

述説

本國に於ける英國側の注文船舶で目下建造中の噸數は百二万四千噸もあるが最近に船舶……全部米國の……に入れることに契約濟になつたと發表された……

理窟醉辨

●武道大會に就て

●春の一花

●往く人

[illegible]

●再び来る同胞

[illegible]

●紐育日本人基督教青年會

[illegible]

投書欄

[illegible]

●尋人●

米國士人エドラ・アンダーソン(約六十五才)に面會し度し同嬢夫は嘗てレキシントン街に働きし事あり心當りの方は本社迄御知らせされたし

紐育新報社



赤十字社に加盟す

■ケレンスキー氏暗殺さる

獨逸財政小話

（本文は印字が薄く判読不能）

理智雑辨

◆紐育の文壇

紐育新報

日曜の午後

[illegible]

青年之声

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

自由公債の募集

臨時議會の準備

大隈侯夫妻佐賀に歸省

滞紐同胞へ注意

登錄日に就て記憶せよ

新旧陸軍省當局者……都て內外人の論なく六月五日を以て登錄す……

否則は体刑にして科料を許さゞる旨

一週一文

紐育新報

●演武大會

●物價騰貴に就て

The Japanese Times

紐育新報

粗製濫造の弊

本社東京特電

●英國政府日本に感謝す

我が國の警備に從事したる英國汽船…の…を…英國政府は東京駐在…グリーン氏を通じて謝意を表し來れり

●三黨首領會合の失敗

…の下に催されたる三黨首領會合の覺書に調印したる…國策の確立…に資すべし…なす…再び…三黨首領會合を密々計畫中なりしも憲政會の加藤子の…なきより同計畫は全然不成功に終れり

●寺内伯の演説

寺内伯は去る…地方官會議に於て各府縣知事に對し…

●鐵道院副總裁の新任

●米澤の大火

…廿三日夜大火あり…

●寺内内閣の對米責任

金輸出と米國

登録の心得

空氣銃賣捌し

謹告

演武大會雑感

[illegible]

ゴルフ狂

故國の友へ

紐育新報

外人土地所有法を發布せよ

支那問題に對する閣議

本社東京特電

郵船會社株主の紛擾

外交上の重要事項を代表し

歐洲出動の日本艦隊

●内閣の食料問題調査

●政府の國庫證券

東京電報

●支那の聲明

紐育政界

●獨逸の平和論

桑港特電

紐育特信

●獨逸の大使の新任

粗製濫造の弊害に就て







米國時事

一週一人

謹告

空氣銃賣渡

貸家

高等貸間

ゴルフ狂

[illegible]

現在の[illegible]人

[illegible]

●同胞の自労

●新しき女へ

紐育港口の閉塞

紐育新報

支那政局の混流

●米貨日本輸出と藏相の説明

本社東京特電

●支那の動亂

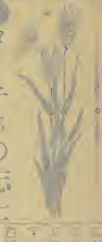
●學堂居士の政治知識普及論

紐育新報

海馬局士

新報の記事に就て

英語教授



メーチスの志士

新しき女へ

投書箱

The Japanese Times

紐育新報

小澤氏の歸化訴訟事件

對外國是會議々員の任命

本社東京特電（六月八日着）

外務大臣 寺内正毅　大藏大臣 本野一郎

陸軍大臣 大島健一　海軍大臣 加藤友三郎

政友會總裁 原敬　國民黨總理 犬養毅

平田東助　臨時顧問官 伊東巳代治

牧野伸顯

憲政會總裁 加藤高明氏は何故か辭退したり

支那動亂の其後

●支那動亂と日本當局

●新議員の選擧と選擧

日本の對露態度

●帝國軍艦若宮美港拔錨

●小澤歸化事件と堀越氏

●三浦の會見

■一筆啓上■

紐育人口調査

●日本運動倶楽部役員會の經過

一週一人

廣告

謹告

[illegible]

●海馬島王

[illegible]

▲海賊島の再興▼ [illegible]

▲近に船主となる▼ [illegible]

▲漁業の一變革▼ [illegible]

●歐日記の中より（二）

●植木店讓度し

植木、其他を殺賣し、且つ小資本を以て六千弗の純益を上げ得る有望にして且つ多の勝手を得る商店を店主歸國のため讓渡し度し、御希望の方は左記へ來談あれ

英語教授

野叫人聲

The Japanese Times

紐育新報

將來の日米露（一）

本社東京特電（六月十二日着）

●日本驅逐艦隊の増派

海軍省の發表する處に依れば日本政府は既に地中海に近弋せる佐藤少將司令の下に警備服務中なる驅逐艦隊に助勢すべく新に有力なる驅逐艦の一隊を増派すべしと傳へらる

●日本の遣米特使説

駐日米國大使館書記官ホイーラー氏が幣原外務次官に會見を議する處ありたるは遣米日本特使に就て談合せるものなりとの噂あり

●東洋汽船ハドソン丸を傭ふ

去る一月十五日獨逸捕拿艦俘虜を轉載してブラジルのパーナンブコ港に到着しておる一時世上に喧傳されたるハドソン丸は日本に廻航後今回東洋汽船會社の傭船となり東洋桑港間の航路に就くこととなれり

●宮中御前會議

極東及歐洲

邦人の自由公債應募額

紐育日本人……

國民的海軍を建設せよ

● 各國事情

● 小學校と教育

■ 御暇乞

■ 玉屋賣度し

■ 讓受度し

■ 英語教授

■ 廣告

■ 尋人

謹告

生命保險會社

戰線から

▲最寄の戰線を訪ふ

▲……中將…白

「僕は……」と云ひ、

四週間の門牌…の…に堪ねずして…

…今も戰線に行…たいため…

…危險な任務に一人を要するが、…云ふ命令が來ると、二人は先を爭ふ…

…に眞に意味をする、…な意氣…がある。…

…は死の……を思ひ、新生命に憧…る樣なものである』と說き、戰爭…

國家的勢力の偉大な觀念を中絕させた

……

將來の日米露（二）

遣米日本特使任命

本町東京特電（六月十五日着）

遣米日本特使一行は愈々去る十三日左の如く任命せられたり

▲特使 子爵石井菊次郎 ▲隨行員 海軍中將竹下勇 陸軍中將［illegible］ 外務書記官永井松三 今井忠直 安藤海軍中佐 ［illegible］少佐

該特使一行の目的は米國政府と軍事的協同作業を商定し且つ對支問題其他重要の協議を爲すにありと觀測されつゝあり

日米政府の交渉

米政府對支覺書

成功せる自由公債應募

紐育新報

一週一人

謹告

御暇乞

戰線から

▲戰ひ

紐育新報

將來の日米路（三）

本社東京特電

對支米國覺書と外相の報告

内閣豫算内示會

警備驅逐艦の擊沈

ボーガス ノート事件

紐育新報

本國電報

時事小觀

會告

寄入

英語教授

廣告

讓受度し

紐育教會

NIPPON YUSEN KAISHA

日本郵船會社

T. KIKUCHI STUDIO

菊地寫眞館

GREAT NORTHERN RAILWAY

CALDWELL & CO.

日米間貨物輸送

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船會社

NICKEL PLATE ROAD

New York, Chicago & St. Louis Railroad

●京都旅館廣告

ボストン市

御下宿

鴨井久

基督教青年會

S. KUWAYAMA

○新着品御披露

桑山商店

T. KASAI

TAILOR

●御洋服調進

葛井洋服店

新柄洋服御好みの方は當店へ御來臨被下度候

海上より

紐育新報

第五街

The Japanese Times

紐育新報

夏座敷外交

[illegible]

海軍に於ける技術の進歩に就て

[illegible]

一週一人

●會 告●

■詩 人■

■英語教授

■廣 告■

■讓受度し

上海より

生活第一

The Japanese Times

紐育新報

THE JAPANESE TIMES

寺伯の得意時代

●帝國臨時議會開會

▲議長は政友會、副議長は國民黨

大正東京特電　六月廿六日着

衆議院議長　大岡育造（政友）

同副議長　濱田國松（國民）

全院委員長　亀田孝之（中立）

豫算委員長　山本悌二郎（政友）

決算委員長　石黒涵一郎（政友）

懲罰委員長　小山温（政友）

請願委員長　齋藤珪次（政友）

●豫算案と航路補助金

●教育費支出案

●憲政會の内訌

●三大臣の演說

●本土廠下級官會

支那戰線の活躍

●佛國戰線の活躍

海軍に於ける技術の進步に就て（二）

米政府の移民… [heading partly illegible]

寺人

廣告

護受廃し

紐育教會

○夏場貸たし

會告

GREAT NORTHERN RAILWAY

T. Kikuchi Studio

菊地寫眞館

NIPPON YUSEN KAISHA

日本郵船株式會社

S. KOYAYAMA

T. KASAI

御洋服調進

笠井洋服店

新柄洋服地へ置候

新着品御披露

桑山商店

鶴井久

御下宿

Murray Hill 2858

ボストン市

ふじ旅館

御料理

東濱旅館廣告

基督教傳道會

CALDWELL & CO.

日米間貨物輸送

NICKEL PLATE ROAD

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船會社

便宜の時代

[illegible]

■流行の變遷

[illegible]

●木村ご石見の大立廻り

▲女優の娘子が仲裁に

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

紐育日會會員募集に就て

本野外相の演說

海軍に於ける技術の進步に就て(三)

極東と歐洲

紐育新報

一週一人

小野三五郎儀

讓受度し

會告

NIPPON YUSEN KAISHA

TOKYO JAPAN

日本郵船會社

T. Kikuchi Studio

菊地寫眞館

GREAT NORTHERN RAILWAY

紐育教會

S. KUWAYAMA

新着品御披露

桑山商店

T. KASAI

新柄澤山備へ置候

御洋服調進

笠井洋服店

鴨井

御下宿

ボストン市

ふじ旅館

御料理

CALDWELL & CO.

日米間貨物輸送

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船會社

NICKEL PLATE ROAD

New York, Chicago & St. Louis Railroad

京濱旅館廣告

基督教講道會

日本訪問團員募集

日本訪問團本部

外交調査會

米國赤十字社へ加盟せよ

夏場

詩人

The Japanese Times

紐育新報

七月四日

●清朝の復辟

本社特電

▲張勲司令……

●寺内々閣不信任案の否決

●米兵輸送に日本商船使用

海軍に於ける技術の進歩に就て

紐育新報

時事問題

紐育と日本

謹告

謹告

尋人

尋人

廣告

生命保険會社

夏場貸たし

讓受度し

日本訪問團員募集

日本訪問團第三八
日本訪問團事務所
役員 [illegible]

茅原華山君の議論振を評す

紐育ラヂヲコ

電車急流に墜落

The Japanese Times

紐育新報

帝政乎共和乎（一）

[illegible]

●支那擾亂の經過

本社東京特電（七月[illegible]）

▲黎元洪日本公使館に避難

▲北京[illegible]

[illegible]

●後藤男と尾崎氏との大舌戰

去る四日議算委員會に於ける質問激烈となり餘床は[illegible]て後藤内相と憲政會の闘將尾崎行雄氏との舌戰に轉じたるが、尾崎氏は後藤男を[illegible]して獨裁なりと攻撃し、後藤男も亦尾崎氏を非日本人也と罵倒し[illegible]然るに右事件は五日本會議の問題となり政友會派の横田千之助氏は尾崎氏失言取消問題を提出したる爲め議場は大混亂の狀態に陷り流石の大岡議長も一時間の休憩を宣告するの止むを得ざるに至りたり而して休憩中双方を協議したる結果後藤内相並に尾崎氏も共に失言取消の手續をなし議場に於て聲明し漸く鎭靜したるも憲政會は[illegible]未だ慊する能はず内閣彈劾案を提出すべしとの議もあり之が爲め今期議會は[illegible]の活氣を呈し居れり

●外相日米の交渉を明言す

[illegible]

一筆啓上

[illegible]

一週一人

篠原榮作君

廣告

謹告

横山秀子孃

大正六年七月七日

尋人

夏場貸たし

日本訪問團員募集

日本訪問團本部

李原華山君の議論振を評す（二）

淋しくって

▲[illegible]

▲[illegible]

[illegible]を名乗りに[illegible]作者[illegible]國[illegible]人[illegible]出鱈目な[illegible]を名とし[illegible]

▲若い[illegible]來た。[illegible]秀子は[illegible]

[illegible]なかい日本の皆様、私も[illegible]つどこの事で此の病院へ入れて[illegible]きましたが[illegible]方は良くなって[illegible]身體がほんとに[illegible]成って終ひまして、とても元々通り[illegible]力が出るには日數がかかる[illegible]御座います……たへ[illegible]

▲一人私は米國へ來て[illegible]で御座いません[illegible]來ないわ[illegible]私は日本へ歸って落着く事の出來る[illegible]丈夫な[illegible]なれるか？[illegible]本へ歸[illegible]懸命で御座います。

● [illegible]

[illegible]同村小學校[illegible]名を校長及び[illegible]東京の美術家[illegible]同村を訪ね大原[illegible]研究[illegible]

● 投書欄

[illegible]

紐育新報

帝政乎共和乎（二）

[illegible]は寺内々閣は[illegible]の確信を有する[illegible]し如き[illegible]を伏かし、[illegible]に[illegible]家[illegible]を打切りし支[illegible]情を成れし同時に列國[illegible]に米國の對[illegible]疑心を一掃せんと[illegible]る迄は不可なかりしが、爾來[illegible]の[illegible]を調和整正する[illegible]に努力せず、[illegible]の下に[illegible]なく外交の無能を暴露し[illegible]頃に至り[illegible]を[illegible]と稱[illegible]する者と如北京に出沒し[illegible]との間を[illegible]米の對支政策は[illegible]に過ぎず、[illegible]は英のモリソン氏[illegible]日本の[illegible]を嘲[illegible]中に扶植し置き、且つ巧み[illegible]に北方武人[illegible]して萬一の政[illegible]の所謂ボーガ[illegible]の自体たる對支[illegible]は確[illegible]に[illegible]にあり日本[illegible]たる迄にして、之を稱し[illegible]に米國式英飛の外交なりとする[illegible]チ氏が活動し機[illegible]に[illegible]ざる[illegible]なり。

[illegible]の[illegible]を[illegible]形式のみな[illegible]も南北の統一を維持せんには[illegible]北和の孰れを採るが支那[illegible]なる[illegible]は[illegible]る趣味あ[illegible]なり[illegible]ず。[illegible]者の當然賛成を[illegible]ならむも、[illegible]倫貝子の如き[illegible]の大勢を理解し[illegible]を[illegible]め、[illegible]を[illegible]身[illegible]

足るの中央政府を形作る[illegible]未來ありしやも知るべ[illegible]幼帝を[illegible]さし[illegible]家の野心を遂行せんとせ[illegible]に依頼して[illegible]を豫想するは[illegible]。況んや隠約の[illegible]ある孫逸[illegible]を期待しつ[illegible]權力帝政の復舊に反抗する[illegible]に於てをや。隨つて[illegible]如く寺内々閣の希望[illegible]政の[illegible]を歡迎するとせむ[illegible]狀勢は到底其希望を容るる[illegible]べく、吾人も亦支那自身の[illegible]めに危險なる支那流の帝政[illegible]るの[illegible]策なるを主張し[illegible]有力者を[illegible]の實[illegible]め兎も角共和[illegible]を[illegible]に更により大なる危機の[illegible]帝政の復舊に伴ふ日米の[illegible]

石井遣米特使の演說

本社東京特電（七月十日發）

本月六日遣米特使一行に對する日米協會主催の送別會[illegible]しが前外相石井子爵は大要左の如き演說を試みた[illegible]日本を警醒せんとする獨逸の[illegible]や日米兩國は實際上殆んど[illegible]は一面に於ては軍事的[illegible]的なりとの意味は中歐[illegible]に在り。平和的なりとの[illegible]持續に傾倒せんとする[illegible]任務に關する自治事項を[illegible]七千萬の日本國民が米國[illegible]の米國々民に傳ふるとを[illegible]の友誼は國民双互の利益[illegible]立てらるべきものにして[illegible]きものにあらず。予は日[illegible]の根據地より驅逐したる[illegible]運動を[illegible]すものな[illegible]結すべき貴重なる天職[illegible]に到着せり

清朝の瓦解

[illegible]

外交調査委員會

[illegible]

一筆啓上

[illegible]

[illegible]

紐育と同胞

米國雜爼

會告

来る七月七日土曜日夜當會館に於て文學會主催の下に觀[illegible]氏の[illegible]ある旨兄姉に通達いたしましたに係はらず、五日の午後同氏より電話にて當夜は他所へ行くから御約束を守る事が出來ぬ旨御知らせになりました。これが爲め當夜空しく遠方より御光來下さいました諸兄姉には非常に御氣の毒でございました。

七月十一日

紐育日本人教會

文學會主任

良妻賢母へ

日本訪問團員募集

日本訪問團本部

幹事 林 富平

大阪やコムモンセンス君に求む

私の自由には干渉出來ない……

「米國に於ける日本の外交」といふ……

高原の日暮

紐育テンコワタのキタ（二）

鈴木 [illegible] 月

[illegible]　ゴ[illegible]さんは[illegible]たのだ[illegible]れる者もないし、[illegible]もない、だから一[illegible]

[illegible]く、「[illegible]、私の友人[illegible]

[illegible]に[illegible]もつと書きた[illegible]れで[illegible]

[illegible]日におとろ[illegible]くそ[illegible]りがあつて[illegible]れからそに[illegible]なしにるそ[illegible]りがある[illegible]な手でかるのだが、私がそれをやつて見せると、ゴリヤさんは[illegible]

[illegible]これを批評した、その批評は、[illegible]の日本人で、センチメンタリズムを[illegible]するにあるべきほどの批評に[illegible]

ゴリヤさんの言ふには、日本人は[illegible]にも[illegible]を[illegible]ひきいれて、自分で知らずに[illegible]

[illegible]を目にあ[illegible]涙の袂をしぼる事は[illegible]、いくら[illegible]にだつて袖をしぼらなければならないほど、涙の出るわけはない[illegible]

私はゴリヤさんの言ふ[illegible]

●テディ拳骨と ゴンパースの顔前に揮ふ

[illegible]市長が[illegible]ル[illegible]君を紹介して「我國の[illegible]市民である[illegible]」と[illegible]。會衆が「テディー」[illegible]歓呼する[illegible]

市長が又「戰場に於て彼の指揮の下に喜んで[illegible]人かある」とル[illegible]君に[illegible]。會衆が再び歓呼[illegible]

[illegible]時に、ル君は原稿を手にして[illegible]開口一番、最近に勃發した東聖路易市の黒人種虐殺に就いて、我國は他國の自由及び正義を語る前に自國の罪[illegible]を省みねばならぬと喝破してから用意の演説を終はつた。

[illegible]満場大喝采で『[illegible]テデー！』[illegible]する。ル氏は[illegible]義者[illegible]

『此の事件が白人の大多數なる[illegible]方の州で起つた、之れが若し白人が[illegible]彼等の選擧權を以て[illegible]少なる[illegible]の為めに彼等の[illegible]を保護するとか[illegible]出來ないので女子や子供を虐殺した[illegible]と云ふならば、アブラハム・リンコルンを大統領に選出した其の州は[illegible]を[illegible]して[illegible]を[illegible]なければなるまい[illegible]』

[illegible]ル君が[illegible]時ゴ君は[illegible]起立し『君は先づ[illegible]から立[illegible]なさい』とル君に向つて[illegible]ぶと[illegible]衆が熱狂する。

[illegible]

[illegible]この人が[illegible]で居る。

[illegible]

[illegible]中[illegible]君[illegible]紹介された勞働組合の首領[illegible]

[illegible]

米國在留の日本人[illegible]

●彼の再渡航者は

▲「國[illegible]

投書[illegible]

[illegible]

紐育新報

米露の握手

●後藤内相彈劾の論戰

●林男各國公使と會見

●康有爲も公使館に避難

外國人送還法案

侯爵大尉の大使

歐洲及歐洲

紐育新報

米國雜爼

[illegible]

● 特別廣告

[illegible]

●[illegible]目下南米視察の爲め旅行中の森[illegible]君は頃日グァテマラ市より短信を寄せて曰く『在外の邦人[illegible]に引込思案[illegible]氣を吸つて運動を盛にやられたし』云々▲前社主千本木君甲斐君と會飲[illegible]▲脇本東司君より七月九日付を以て[illegible]

[illegible]

吉田奈良丸君

大講演

目的　米國赤十字社へ寄附の爲め
日時　七月十七日(火曜)午後八時
會場　西五十七町目[illegible]
演題　『大和義士の面影』
入場料　一弗及び二弗
入場券は各旅館、團體等にて御求め被下度候

主催者　紐育[illegible]聯合

寫眞修正術
日本人一名至急入用
契約次第にて相當の收入あるべし
姓名　[illegible]

紐育に生まれたる文藝雜誌
「共存」
一部　[illegible]
創刊號出來
[illegible]

第一郎氏[illegible]渡邊
大正六年七月十[illegible]
[illegible]

特別廣告

ベントレー電符書

[illegible]

寄人

GREAT NORTHERN RAILWAY

T. Kikuchi Studio
菊地寫眞館

NIPPON YUSEN KAISHA
TOKYO JAPAN
日本郵船株式會社
[illegible]

紐育教會

SAKUWAYASIA
新着品御披露
(桑)(山)(商)(店)

T. KASAI
TAILOR
御洋服調進
笠井洋服店
新柄洋服地山備へ置候

鴨井久
御下宿

Murray Hill 2950
47 Pleasant Pl. bet. 1st & 2nd Ave.
and 42nd Street

基督教傳道會

ボストン市
よし旅館　御料理

CALDWELL & CO.
日米間貨物輸送

TOYO KISEN KAISHA
東洋汽船會社

NICKEL PLATE ROAD
New York, Chicago & St. Louis Railroad

●京濱旅館廣告

[illegible]

日本訪問團員募集

▲十三日シャトル發　伏見丸

▲同三日下旬　日本着發

日本訪問團本部

良妻賢母へ（二）

新報詩壇

◆舊日記の中より（七）

五峰

日日のひかりにやかれ頬肉のたどれ

し男うち遣ふて行く

雲の峰さけし闇ゆ日はてれど砂はま

十里白き雨よ

苦ましき事を平氣にくちはしる吾

が愛をいかにすてけむ

いし額もぬぎびしさ抱きすな濱に

こもりたち入る日拜かむ

孫みと憐へにみだるゝむなぬちにみ

らかみのみは逢むかねつも

あわれむしむくあわたゝしあわた

しいのちのむて旅はれあみ身は

◆午後の茶

どなと

斯すれ、なに思るからう

「イエス●アイ●ガット●エ●マン」

午後の四時ティを啜れば

夏の生氣は二人に迫る

みどりも熱い

その顔の情々

南風にそめ、うすものもレディー

振つて

如そし如なせ云つちやならぬ

「イエス●アイ●ガット●エ●マン」

廣告

……七月三十一日……

大正元年

東京丁目四十一

本店　岩井松太郎

歴代の議長振

投書欄

The Japanese Times

紐育新報

所謂東洋通の日本觀（一）

一筆啓上

本社東京特電（七月十七日着）

外交調査會と攻擊す

豫算案無事上院通過

米國雜事

日本倶樂部に於ける
吉田恭介

黒河松一氏に告ぐ

共存

特別廣告

セントレイ近刊書

日本訪問團員築報

日本訪問團本部

■謹　告■

コンモンセンスと華山

■近頃の樂屋

寫眞時報

◆バーレスク

■廣　告■

各位

東十九丁目四十

寫眞修正術に堪能なる

日本人一名至急入用

生命保險會社

代理人　石川哲

日本食料品新荷

片桐兄弟商會

豆腐粉

眼鏡師

診察

無料

婦人服御仕立

武藤タミ

英語教授

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

キャンデイ



御下宿斉藤館

QUONG HOP LUNG

藤井旅館支店



化粧品卸賣

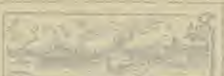
菊池商會

船具一切

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

ホテル　ニユーヨーク



日米海通社

NICHI BEI KAITSU SHA



都

大北旅館

五味商會

パゴダ　インセンス

化粧品卸賣

大和屋

紐育ラテンコワタのや（三）

佐々木指月

奈良丸を聴く

日本婦人に求む

投書欄

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published [illegible] Weekly by JAPANESE TIMES Co.
S. Mizutani, Proprietor,
2?8 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 617[illegible] Chelsea
Subscription [illegible] a copy.
$5.00 per year postage Prepaid.
Entered at [illegible] Post Office as second class matter [illegible] act of March 3, 1879.

所謂東洋通の日本觀（二）

吾人の信ずる處に依れば日本が假然として支那を監視し、鞭撻、且つ指導し往くとは日本の地位より論ずるも、國際の情誼より論ずるも必然の成行きであらねばならぬ。此意味に於て假に第三者の立場より觀察するとしても日米の提携は決して不可能で無いのみでなく兩國双互の利益を維持すべき前途に對して實に緊急の問題である。惜むらくは從來日本の態度が『物言へば唇寒し』式で兎角奥歯に物の狹まつて居るやうな丁合に誤解された爲に其全幅の誠意を外交の電波によりて遺憾なく米國側に傳へ得られなかつたのと、米國側に於ても屢々『日本何する者ぞ』と妄りに先進國たる吾輩の輕重を問はんとするの鳴呼の沙汰である』といふ風な外交振を示したから、表面では日米親善を百萬遍も繰返して高調しつゝあるに拘はらず、裏面では更に協同作業提携進行の實が擧らなかつた次第である。是は畢竟日米兩國の當局者に誠意の足らなかつた爲に猜疑心を挾つことが出來なかつたとが主因であらう。

ウ氏の所謂移民問題の永遠的解決なるものは具體的に果して如何なる日本の要求主張を指したものか其論旨に明確を缺くの嫌がある。若し氏にして米國居住日本人に對する差別的待遇の改善、或は歸化權の賦與等をも一括して永遠的解決なりとして日本が米國の國難に乘じて強請的に何等不當の要求を提出するかの様に解釋するならば頗る肯綮を得ざる議論と言はねばならぬ。何となれば如斯は既に數年前に解決を告ぐべき亦告げ得られた性質の問題であつたのを日米相互に諒解を以て解決するの勇氣を有せざりし當局の[illegible]である[illegible]夫れを[illegible]元來日本の對米國是が不一致不徹底でた頑石貯徒らに無能無爲の裡に年月を費消した爲であるが乍併日本人は到底永く片務的地位に在ることを甘受出來ぬ。米國側に於ても速に對日外交の『目の上の瘤』を切り取つて終はねば禍根を將來に保留し置くの外何の獲る處もないと云ふ點に想到して此際至公至平の解決方法を見出す等である。

ウ氏は亦日本が完全に普魯西亞化したる事は獨逸と同樣であることを念頭に置かねばならぬ、日本の文武官制は皆獨逸を摸倣した者であつて、日本には形式に於ては代議政體が樹立されてあるけれども事實に於ては專制政體で終始して居る。何となれば廟堂の大臣は主權者に對して責任が有るが議會に對しては毫も責任が無い元老なる一種の團體が日本の政治を左右して居るのであると切論して日本の世界政策が野心滿々たる点をも指摘した。惟ふに日本が完全に普魯西亞化したといふ氏の所論は針小棒大の非難を免れないけれども日本が代議政體らしい者を持て居らぬといふ推論は蓋し適評であつて、吾人は何等抗議すべき根據を有せざるのを悲しむ次第である。然れ共ウ氏が日本の外交術の長足なる進歩を激稱して日本の外交家は世界の大勢に通じて居ると言はれたのに對しては苦笑を禁じ得ざる者である。元老を中心として霞關邊を低迷して居る天保錢式の氛圍氣を一掃し得ぬ爲めに世界の大勢は扨措き隣邦支那の大勢にさへ精通して居らぬ現狀に顧みて寧ろ滑稽の感が起こる吾人はウ氏が眞面目に書いたとすれば少しくウ氏の支那通たる資格を疑はねばならぬ位である。

其他氏は日本國民は二百六十年間封建政治の下に生活した歐洲の封建政治と酷似した組織の好戰國民であると言はれたが、要するに如斯日本觀は半可通の口吻であつてウ氏一流のオブザーベイションに從つて米國の東洋政策を立論するのは危險も甚しと謂はねばならぬ。遮莫米人をして力めて日本を正當に理解せしむることは吾人の義務であることを痛切に感知すると同時に米人を啓發することの頗る難事業であることを覺ゆる次第である。（完）

馮の大總統就任と段內閣

本社東京特電（七月二十日着）

張勳の失脚、北京の秩序回復と共に馮國璋は大總統就任の承認電報を發したるが天津より護衞兵を率ひて北京に入りたる段祺瑞は新に內閣を組織し左の如く各大臣の顏觸を決定したり陸軍總長は段首相自身兼任することとなれり

▲外交總長 汪大燮▲財務總長 梁啓超▲海軍總長 薩鎮冰▲內務總長 湯化龍▲交通總長 葉恭綽▲司法總長 林長民▲教育總長 張汝綸▲農商總長 張國淦

極東及歐洲

●トルストイ伯の飛行工場

露國文豪故杜翁の息子レオ・トルストイ伯は米國より支那に赴きたるが上海に飛行機工場を設立すべしと

●獨逸新首相の演說

獨逸新首相ドクター・ミカエリスは十九日午後帝國議會に於て演說し[illegible]前首相ホルウエッヒ氏の功業は史上に特筆さるべきものなりと稱揚し、開戰の動機は露國の動員に依り強制せられたるものにして潜航艇戰も亦英國の不法なる封鎖饑餓強制戰略に對し餘儀なくせられたるものなり而して中立國の首位にありし米國が英國の不法を等止するならんとの一[illegible]は遂に[illegible]し極端なる手段を避けんとせし獨逸の最後の策は失敗に終れりと斷じ潜航艇戰の範圍を擴張せし所以にして潜航艇は全力を傾倒し豫期以上の成功を收めたりと說けり

●獨潜航艇の暴威

十九日倫敦發電に依れば本年[illegible]月より六月に至る迄獨潜航艇の爲めに擊沈せられたる英國商船は三百五十万七千二百五十七噸に上り平均一ヶ月六十萬噸の商船を失ひたる次第なるが此比例を以てすれば一ヶ年七百万噸以上を失ふ計算となるべく目下英國に於て建造中の補充新船、及び米國に於て正に建造せんとする木船又は鐵船の援助を受くるものとするも容易に潜航艇の暴威を鎭壓し得べくもあらず故に獨逸の疲憊に依りて自然的に虛勢し往くか、聯合軍が大進擊を繼續して伯林を占領するか、或る新らしき發明に依りて潜航艇を殲滅するか、驅逐艦、武裝商船等が積極的に活動して潜航艇を驅除するかの孰れかに決するに非ざれば到底其の暴威を鎭壓し得べからずとの悲觀說專ら英國當局者間に行はれ居れりといふ因に千九百十四年以來擊沈されたる世界商船の總噸數は七百[illegible]七千萬[illegible]に達せりと

獨逸議會の平和決議案通過

去二十日丁抹首府經由發電は報じて曰く獨逸議會に於ては中央黨自由黨及び社會黨の三派聯合の結果アーツバージャー氏の非占領主義的平和克復希望決議案を討議したるに百十六對百廿四票を以て原案を通過したり原案說明者の一人たるエレンバック氏は『若し敵國にして此決議案を目して吾人の弱點を曝露したるものと信ぜば獨逸は勝利者たることを立證するに躊躇せざるべし 戰局は誤解を容るゝの餘地なきを示したり 獨帝は寬大なり故に吾人は新宰相ミカエル氏が自在なる發展を時局の上に爲さんことを希望せざるを得ず』と演說せり尙ほアムスターダム電報に因れば獨逸は決して自發的に平和の提唱を爲さざるべきに就き今や協商列國より進んで平和克復の提唱を爲すべき順序なるべしとの獨逸側の意見を發表したる由なるが果して如何成行くべき歟

私の遺言

七月十一日 [illegible]山

大谷大兄足下

私は或は遠からず米國を辭して海[illegible]かも解らないのです、其中重ねて[illegible]で青年諸君、[illegible]月に懇りたい、私は青年諸君と言ふ、かの南山を踏めば維れ石巖々たりで、巖々たる固定した人間は用はない。

私は歐洲戰爭の濟むまでは紐育に居ると申しました、歐洲戰爭は本月本日の新聞で獨逸の形勢が略々解かつて私の頭で[illegible]濟むで了ひました、何故[illegible]觀的に外的に濟むか、それは私の知る處ではないが、歐洲戰爭は獨逸の最後の勝利を以て私の頭では即ち私の主觀では濟んで了ひました。

私が歐洲戰爭を熱心に學んだのは決して回向院の相撲を觀る積りではない、この戰爭から教訓を得暗示明示を得て、自己を改造し、さの改造した自己を以て更に直接に日本國民に貢獻し、出來るなら間接に世界に貢獻したいからである、それであるから、これから海に浮び更に成るべく閑處に於て自己內省を遣りたいのである。

私は在米の同胞、殊に將來の爲に現在に生きて居る同胞の爲めに一言したいことがある、私は三度紐育に來るとは思へない、或は諸君と日本で御面會できる機會はあらうが、人生は聚散常なし、世界を家として流動移住しつゝある今日、諸君の總てと重ねて遭逢されるものでもないから、私の斷言をば私の諸君に對する遺言として取られても不可はない。

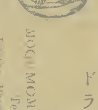
ウイルソン大統領がエ・ナイツ・リフレクションと言はれた、私はウイルソンが何處までリフレクションを遣る人であるかを知らない、恐らくリフレクションを遣る人と言はんよりも寧ろ自負の強い人、時としては盲目的に自負の強い人ではあるまいかと思はれる、が、人を以て言を廢すべからず、人生は不斷のリフレクションである、一夜の[illegible]ンではない不斷常住のリフレクションである、不斷常住の自己內省イントロスペクションである、[illegible]であつて始めて集成に自己を創造し得るのである。

自己を創造するに熱心なるものは常に自己よりも優れるもの即ち偉者強者を求めてこれをエミユレートすることを忘れない、忘れられない、伊藤公爵が『虛懷忘彼我、胸疾慕英雄』と歌はれたが、虛懷彼我を忘れるとは、決して自己を捨てるのではない、自己創造慾が白熱すればする程、他の美点長處を諒解するトタイツクであるから、他の美点長處直ちに我の美点長處で、それを區別しては居られなくなる、胸疾英雄を慕ふも其意味である、これを現代に求め更にこれを過去に求む、而して抵死自己を實現するに努力する、自己實現の徹底境は即ち死である、死して遺憾なしとは此事である、死して遺憾なし、死後のことを考へるなどは全く無用である。

此意味から言へば大隈侯の百二十五歲說だの、メチニコフの自然死だのと言ふは、唯肉を知つて靈を知らないのである。（次號完）







米國週報

●[illegible]會に提出されたる[illegible]軍事[illegible]案は大統領の速かなる[illegible]せられ[illegible]の[illegible]はれ[illegible]一名を任命して全權を委任すと事となるべし

●[illegible]

●[illegible]に於て速成訓練に[illegible]一名を任命して全權を委任すと事となるべし

●米墨國境の小戰

[illegible]成る所屬不明の墨國人[illegible]は昨日リオ●グランデを渡り米國境内に侵入せるより守備の任に在りたるテキサス騎兵の一隊は直ちに發砲し應戰すること六時間の後墨人を擊退せしが米兵の死傷者は皆無の由にて[illegible]數人を仆したりと

●[illegible]市長は再選乎

[illegible]秋季を以て任期滿了となるべき現市長ミッチエル氏の再撰説に對しタマニーホール派は極力反對しつゝあり[illegible]共和黨の健全分子等に共に一齊にミッチエル氏を推選せんとする[illegible]既に聯合運動を[illegible]アダムソン氏を推して全部再選を[illegible]有り[illegible]るべしと[illegible]せらる

●女權擁護者の赦免

[illegible]に於て示威運動を爲し[illegible]論者十六名は公安を害[illegible]により懲役六十日に處せ[illegible]たるが[illegible]は既に[illegible]

●[illegible]

[illegible]

●劉[illegible]の[illegible]

[illegible]十九日[illegible]

紐育と同胞

●吉田奈良丸氏の動靜

▲大統領へ[illegible]刀獻上　浪界の名家吉田奈良丸氏は過日日本倶樂部並に青年會館に於て兩回の講演を了りたる後去る十八日華府に急行して維爾遜大統領に謁見し[illegible]伯爵より依囑の[illegible]刀を獻上して費府に立ち返り同地の[illegible]蓄音器會社の招聘に應じて數種のレコードに吹き込みをなし本日[illegible]

▲明夜は最後の講演　第二十二日は紐育日本人會へ寄附を爲すためカーネギーホールに於て最後の講演を試み二十三日出發西行の途に就く由なるが篤志家は同氏は既に

▲赤十字社へ寄附　米國赤十字社に對して金[illegible]百弗を紐育日本人會に對して[illegible]弗の寄附申込をなしたりと

●青年會館に於ける奈良丸口演　宿屋組合主催の米國赤十字社寄附奈良丸口演は去る十七日夜豫定の如く開會[illegible]田[illegible]書記は一場の挨拶を陳べたる後奈良丸氏は得意の義士傳中「[illegible]」「神崎與五郎の生立ち」及「一打入夜の大高源吾」の二席を口演して非常の[illegible]當夜は聽衆約二百に[illegible]

●[illegible]小[illegible]會本部の移轉

[illegible]

▲作州[illegible]

●[illegible]宗[illegible]氏來紐　横濱毛皮商會の[illegible]同氏は毛皮類商況視察の爲め過日來紐せり尚ほ同氏の談に依れば日本も近來毛皮の流行著しく飛鼠皮の如きは品切れの姿にて一方樺太に養狐會社の設立されたる等毛皮業は將來有望なるべしとのことなり

●田村卯三郎氏の歸朝　岩壺會紛商會の同氏は商用を帶びて兩三日中に當地出發歸朝要務濟次第直に再渡米する由

●大堀牧師の新居　ヴアーミリヤアヴエニュー六十六番に定めたり電話番號セント、ニコラス三三六三

●増澤丈兒氏の理事辭任　西部地方巡遊中なる同氏は去十九日日會理事辭任を通達し來れり

●青山俊數氏の三井入社　數年間香西商店に於て精勤の聞へありし同氏は今回三井物産紐育支店へ入社の事に決定せりと

●内藤勘三郎氏入院　在太西洋市内藤商店主人の同氏は急病の爲め去る十四日同市々立病院に入院手術の結果良好にて近々退院の運に至るべし

●自由公債第二回拂込期日　日本人會を經て應募したる自由公債第三回拂

[illegible]すべく日下市俄古在勤の[illegible]氏其他に正金銀行[illegible]店員一同も徐々に紐育に轉任し來るべしと[illegible]本月下旬歸朝の小川氏と行違ひに[illegible]氏の來紐を見るに至らんと云ふ

●林鐵次氏の動靜　今夏ウェット[illegible]ヴュー・パークに於て活動し非常の成功を收めたる同氏は去る十八日出紐費府太西洋市を經て同地へ[illegible]店せり

●小林[illegible]太郎氏の消息　日本商事株式會社特派員として米國市場の視察を爲しつゝありし同氏は太平洋沿岸各地方を巡遊して此程出帆の郵船に[illegible]歸朝の途に就きたる旨米社へ特信ありたり

●片桐商會の新荷到着　純日本米、醬油其他多類の食料品到着したる由

謹啓時下酷暑の折柄各位益御多祥の段奉大賀候陳ば弊店儀本日左記の物品多數着荷致候に付ては税關の手續は既に終り候、特に品質の精撰は勿論絕体に Pure Food Law に依り保險致居候間何卒此際特に御注文願上候

純日本米　龜甲萬山サ醬油　鰹節
白赤味噌　梅干　澤庵漬　椎茸
干蓮根　牛蒡　松茸水煮　筍水煮
獨活水煮　干温飩蕎麥　番茶　味の素

其他各種罐詰類及び勝手元諸道具一切

七月八日

株式會社　片桐兄弟商會
221 East [illegible] Street
電話　プラザ　五七九九　一八九四

●[illegible]の説教　[illegible]に於て午後八時[illegible]説教、題「過去に對する忠義」[illegible]

●同胞船員の抑留　過日ボストンに入港せる[illegible]船乘組の同胞二星高吉新田善一、大地吉太郎の三名は同僚の白人船員と闘爭したる爲め同地の警察に拘引され裁判の結果新田は九月迄大地は十一月迄集治監に收容さるゝこととなり二星は保釋されたるも入國を許可されざるにより外國行海員の就職口を求め居る由なり

一週一人

齒科矯正術の名手
岡田滿君

▲齒科矯正術の名手と言はれて居る(前世紀の動物の[illegible]なる研究したかも知れぬ)君は目下の研究所で熱心に研究を繼續して居る

▲岡田君は江州商人らしい点のあるのは生國が滋賀縣[illegible]山町であると云ふ地理的關係に因るのかも知れない

▲江州商人然として謀叛氣の強さうな君は同時に柔道に於ても講道館の二段といふ強味を持し居る最近誰人か岡田君及び其同業者を陥れんが爲めにツマラヌ小刀細工を弄した事實に對して流石に岡田君は中江藤樹の餘薫のあるらしい雅懷を下し[illegible]

▲早稻田中學を卒業して動植物學の研究に從事した君は何の感ずる處あつてか齒科學界の方面に出掛つて拮据勉勵の結果遂に東京齒科醫學專門學校のアシスタント・プロフェッサーとなつた

▲作州[illegible]齒科醫學專門學校の助教授位に甘んじて居るのは兩頭の四角に突つ[illegible]遂に最後對手の[illegible]

[illegible]

特別廣告

ベントレイ電符書

電報通信の要は、より少なき字數中に多くの意味を明確に含ましむるにあり此の要求に應じたる良書はベントレイ電符書にして本書は米英兩國の郵便法の下に使用を許可せられ居る最良完句の五字電符書なり

一册　定價　十五弗
三册　特價　六十弗

右の外本商會は[illegible]の電符書を販賣す

▲其他中古の電符書澤山あり▼

シー、ジエー、ベンシンジャー商會

[illegible] Bensinger Co
Code Book Dealers
[illegible] Building
[illegible] St. New York City

■詩人■

[illegible]

日本訪問團員募集

▲十月三日シアトル發　▲翌年三月下旬　日本出發

法改正により諸手續煩雜となりたれば申込は絶對に八月三十一日までとす

雜誌　費用等委細は規則書にあり申込次第送呈

紐育市第六街一三三八
日本訪問團本部
責任者　林　富平

謹告

讀者諸彦住所御變更の節は新、舊アドレス兩様、又讀者中には同姓異人も有之候間全御姓名御記入被下度願上候

紐育新報營業部

●茅原華山君へ次韻

在紐育日本人教會
成田聖山

僕は華山君とコンモンセンス君との論戰にせつかいする程の力もなし又興味も持ち得ない。左様の問題は僕には閑葛藤である。然し華山君は何時も乍ら縱横の筆鋒で恐れ入るが漢詩の奇襲は聊かお人が惡いやうだ。僕は論戰のお仲間入をするのではないが弘く在留同胞の次韻を求むとある英雄の閑日月振りに僕も闖入。次韻と申す程の事も素より出來ないが一寸コンモンセンス君にお詫して御韻を拜借し以て華山君の一笑に供す。

次華山先生韻

一

平生奇絶推斯遊　況是文章第一流
觸目惜君來邦晩　滿天雲起己風樓

二

周流宇内感如何　歷々形勝載筆過
低手眼高君莫嘆　百年事業渡巴河

三

何人測海製長鯨　漫作書生意不平
半夜耳欹幾投筆　回江灣外急戰聲

尚ほ次の一首を別に華山君の御叱正を御願申し度いと言ふのは僕は名も無い基督敎の一傳道者である。平生世の福音を說く事を以て華山君の經國文章と竝し不朽の盛事と自分丈けは思つて居るが。傳聞によれば

……………

事は當選なしに相違ないでせうけれども知らざる僕より見れば君の聰明達識を以て何故に此の大事の實體を閑却せらるゝものか分らなぬ。往を仰いでも來を俯しても宇宙の消息は君の狹くに了解して居らるゝ筈であるのに。矢張り聖書にある通り智惠多ければ憤激多く知識を增す者は憂を增すの類乎。

偶成

借問某人又何神　宗風活潑任天眞
乾坤別歡開新局　無限恩寵日日新

●明治聖代戰役記念碑建設會

標題の如き會が日本に創立せられて會員を廣く海外に募る旨　柳原資丕氏へ申越したる由なるが同會の設計は伊勢山田に公園を築造し園內に記念碑、記念館を設立するにありて納金一圓の普通會員より百圓の名譽贊助會員の諸會員に區別し其等級により金銀の徽章及び明治天皇並に今上天皇の御親筆を分與し記念碑に其の姓名を刻し後世に傳ふべしと云ふ

●信貴山丸擊沈

神戸橋本商會所屬船信貴山丸は昨年以來紐育、ゼノア間の航行に從事し居りしが去る十三日ジブラルタルを發して十二時間後潛航艇の爲めに擊沈せられ乘組員一同は伊國船の救濟する所となり無事同國某港に上陸せる旨遭難船々長土井市太郎氏より當市プラトー商會の櫻井氏宛一昨日入電ありたり、同船は三千五百噸の荷物船にして一ヶ年前橋本商會が墨國より四十萬圓にて購入したるものにして百万圓の保險を附しありたりと

●南滿行政統一

南滿洲に於ける都督府、領事並に滿鐵の三頭政治に就ては種々の弊害顯著なるものあるにより現內閣は成立以來之が統一策に關し種々調査を重ねたる末略成案を得て既に閣議の決定を經たれば近く樞密院の諮詢を經て新職制の發表を見るに至るべし

新報詩壇

◆片糸

―月の家―

うらみわび干さぬ袖とはそりや古めかし
何の遠慮が……してあることか

あふそれぶん打ち捨けて
エンゲーヂリングをハートに受けた
やぼに似た様な
あめそぶり
何で實が無からうか
只腑に落ちぬあの指輪
Eの一字が氣にかゝる
拗ねたは今日のあの……
どうせ私をだますなら
手玉に執て跳らせて
果ては倦いたと曰はしやんせ
そんな意氣地があるならば
すつぱり切れても
見せませう
言ふはむくつけ
問はねば晴れぬ
雨の絶間を鐘がなる
鐘の絶まをゆめうつゝ
枕しかへりや
まだ宵ながら
まどはほんのり白明り
ミルクワゴンがガラ〳〵。

◆眼のない魚

―五　峰―

君はかの海の底樋の失戀宮に
つどひすむてふ
眼の無い魚を知つてるか。
そは皆なうつし世の敢果ない戀に
傷いた
敗殘者の魂魄だ
みな底深く沈んでも沈んでも
一たん負ふたむなぬちの
痛みを癒す術なさに
眼を泣き潰ぶした人魚の魂魄だ。
根も力もつきはてゝ
喘ぎ鰭ふるその魚に
まつはる水は感傷の
色彩あざやかに渦を卷く。

―六月廿四日―

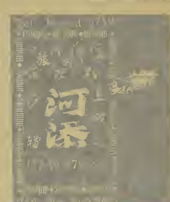
廣告

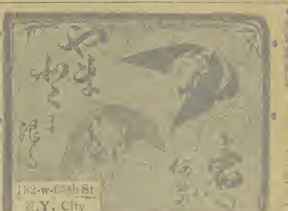
弊館今般下層室を整理仕り度候に就ては此際諸氏より御預り致し居り候トランク荷物等來る七月三十一日迄に一切御引取り下さる樣御願申上候若し同日迄に何等御申出で無之方の荷物等に對して弊館は更に責任無之ものと御承知相成度此段廣告仕候也

六月九日

東十九丁目四十一
東洋舘　岩井松太郎

各位





浪花節の噂

◆奈良丸と雲右衛門

▲ナラは十五万圓の金持

浪花節の元祖と云はれた奈良丸が波濤萬里を遠へ態々當地まで乘込んで吾々に本場の浪花節を聞かせてくれ[illegible]に對しても何んの彼んので個人的批評をするのは相濟まぬ譯だが實は故人となつた雲を非常に贔負にした雲か偶々奈良丸を聽いて兩人の比較的批評を發表する氣になつたのである、浪花節なるものが今日の様に變化したのは約十五六年前で一時は樂界を風靡した凄まじい人氣であつた當時勢を早くも看取した松竹合名會社は砂中金の積りで無慮四百人の浪花節語りを拾ひ上げたが中で成功したのは雲と奈良とである、云ふまでもなく兩人とも始めはデレン/\から飛び出たので當時雲は茶屋節といふ風變りな扮装で高座に現れた良々彼の技量が世間に紹介され人氣を呼んだ一番盛りの四十五六年頃には一日の給金四百圓と云ふ藝人界で滅多にない勢いで東京でも大阪でもわき返るばかりの大人氣を背負つたものだ。雲は有名な派手者で何處の興業地でも乘込むなり一流の藝者十數名を呼び興行中持げつめにすると云ふ風の豪奢な生活をするので高い給金も右から左へと抜けて了ひ一時は松竹に四万圓の借財があつた一方頭山杉山の大親分傑く君僕の交際をして居る關係から宮崎や黄興などの子分のやうに取扱つて居た、其後になると同じ藝人でも奈良丸と來たら何うして非常な呑氣なもので興行先で初日だけはビラを切つて見せるが夫れが濟むと二度と茶屋遊びなどせぬ丸で切り詰めには氣風が異ふ左程でも一時は一日二百圓から三百五十圓位いの高い給金をとつたものだが何しろ呑氣な男であるから儲けた金はそれぞれ有利な方へとつぎ込み今では郷里に二ヶ所の屋敷を持つ[illegible]五町を所持して居る大地主十五万の身代である。モー一つ一人の異性質を物語る面白い對照[illegible]で八ヶ月間殺云ふ三味線彈きなどにも雲などは注意を拂はぬ、彼が最も愛して居た三味線彈は有名な大酒飲みで度々座を失策ることがあつても一言も叱責せぬ、調子つた三味線を弾けば夫れに順應して語り口を合はすなどの愛嬌までを振りまく、其處になると奈良丸は藝術的良心で科白、表情を浪花節に加味して一段の重味を添へたのは彼の工風に待つ所が多い、隨つて三味線彈きなどに對しても嚴重で毫も假借せぬ渡米するにつけて俄仕込に三味線彈きとなつた令連れて居る可愛い/\妻女にさへ彈き方が悪いと云つては幕の内で横面をはり飛ばしたことは一再ならずと云ふ當市に滯在中も遊覧などは其地除けで毎日西洋聲樂家に就いて熱心に聲の研究をするかと思へば他方藝人を日本へ引張つて金儲に苦心中、要するに雲は藝人らしき藝人、奈良は藝人らしからざる藝人である。(閑公)

◆奈良丸を聞きて

▲米國赤十字寄附講演の

待ち兼ねた十七日御一緒に聞きませうどうせ時間は、と云ふので八時十五分過ぎに出かけても未だ待たされた御蔭に御苦勞千万とはよそ事ではない、浪花節に最も智識の無い吾輩はそれ丈け多くの期待を持つて拜聽した流石は名士と謳はるゝ丈けあつて落着振り加ふるに自家獨創の奈良丸クズシに至つては節廻しに自然の音聲と[illegible]調和されて和かに耳朶を撫で來る實に妙と云ふべきである。庄吉親子の杯には涙ある者恐らく涙を濕さぬ者はなかつたらう、次は御得意の大高源吾笹や笹々橋の上いさゝか雅人の出合にしては寶井宗匠の雅が見えて居なかつたが殘念正直に白状すれば何れも聲色の使ひ別が藝術趣味に乏しい吾輩の耳には肯更ら何れが與太衛門やら庄兵衛やら何でも無暗に机上へ頭を摺りつけた處多分下位の人だん/\と思つた源吾の段になつて盛に與太を飛ばした處なんぞ物語をして下手にしはしなかつたらうか尤も此頃が江戸っ兒向きかも知れぬで、實の處吾輩は是れまで浪花節なるものは物語として聞くべきものか音樂と云ふからは音樂節廻し丈けを音樂?として聞くべきものかを味ふべく期待したのだが遂に失望に終つた、と云ふのは名士[illegible]も示しくれなかつた。勿論吾輩に聞き取る耳が無かつたのでもあらう然し耳に残つた雲林や如燕や伯鯉又筆記物で聞いた古い南嶽悲しい時もをかしい時も感ずる閑が無かつた、つまり自分を彼等の藝術の中に取られてしまつたからであると思ふ、理窟に迫つて愁い處は吾輩同志で話し合つても涙は出るそれに事實が泣かすので藝術ではない、そこへ行くと南嶽獨りあるのみだが彼の燕、伯が高座に登るや何物かゞ吾輩の手を膝の上に押しつくる、與太を飛ばしてもそつが無い彼等に泣かさるゝのは涙より先き頭か泣く絃に眞の藝術と云ふ事があるのであらう蓋し研究の深淺に依るものか、死んだ左樂と記憶して居るが、こう曰つた事がある(エ、、當今は三味線を高座に擔ぎ上げ武士道鼓吹だなんてとなる器用な藝人が出來た」と然り器用と云ふ事が藝術上永遠までアドヴァンテーヂであるものだらうか。越路、大隅の義太夫節、團十菊五の芝居、圓遊左樂の落語、伯鯉燕林の講談や器用の致す處か寧々然らず己惚、虚榮無く只管努力研究の致せるのみ、當込み、虚榮は飾り多く自然を欠しいやみを生むもの。。。閑話休題奈良丸[illegible]日君の如く創設の技に富んだ人は古し古人の戯作を[illegible]クヂャにせず努力研究以て新作獨創して時勢に合した。手近に曰へば[illegible]義士傳でも自ら研究して精神を持して事實の歴[illegible]一月雪のそれより光を添へる事であらうと希望の一言、はる/\此地に來り赤十字寄附の義擧を兼ねて我等の渇耳に油を差して下さつた御禮迄に書くの如し夫れ君健在なれ。(默)

●奈良丸君 最後の講演●

▲目的　紐育日本人會へ寄附の爲め

▲場所　カーネギー音樂堂（五十七丁目と第七街角）

▲時日　七月廿二日(日曜)午後八時

▲入場料　一人に付金一弗

但し入場料は當日御持參の事

主催者　吉田奈良丸君

後援有志一同

●渡邊節一郎氏の遺骸引取

此程當市にて急死したる廣島縣人渡邊節一郎氏の眷族の現住所は本紙を通じて捜索廣告中なりし處去る十三日同氏未亡人フイラデルフキヤ市の郊外より出紐し紐育日本人會事務所に出頭して同氏の遺骸引取を申出たる由なるが日本人會墓地に假埋葬せる遺骸を發掘してフイラデルフイヤに送致したる由因に渡邊氏は右未亡人の外に幼齡の子息を殘したりと

投書籠

込み合ひ升から御手短かに願ひ升

▲購買組合の成立は毎週レコード破りの食料値上を示しつゝある時節柄是非共其必要を認め申候、徒らに長談議に耽り何時までもソウンヨウ交渉する間に例の文句百出に中てられて面倒臭くなりもうヨシダなどゝ投出さぬ様此際發起者の熱心なる努力を盡されん事を希望仕候(一親)▲三十年來清節を守つて憲政の神た養木堂も自黨の政黨主義に降服せりと誇張したる政友會に逆轉したさわつて箔を落したこと一通りでない、去る所に『憲政のカミ、ビリケンの尻を拭き』なる落首あり、木堂會を組織し所謂憲政の神を崇め奉りつゝある在米各所の同會員は何の顔かある(超然家)▲滕瀧舘征伐を早くやつて頂戴妾の旦那などは有頂天になつて通つて居るので昨今米櫃がガタ付きます(糟糠女)▲奈良丸は流石に第一流の浪花節語りだが聲量は案外貧弱であつたのには失望した僕は銀鈴を振ふ様な小樂遊の方が前途ありと思ふ(好浪子)▲大正の詩人は文字のあ[illegible]る色情[illegible]想はれる戀の爲に身がぺッ/\と泣いたり變な唄まで露骨に言たり時代は變た者を生んだもの(明治詩人)▲一週一人中の手塚イーデス夫人は眞に名の如く[illegible]ス矢鱈に阿諛的のスマイルを作らないが其笑顔は心底から來る誠[illegible](トランチェック先生)▲橋[illegible]眞に[illegible]君子だ官[illegible]して居るか[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

沿岸日會の三大問題

關東都督府の新官制

本社東京特電

張勳佛國公使館より逃走

免役證書を要求

私の遺言(二)

●外相の遣米特使捐棄

●支那の對獨宣戰

●新駐日大使に好評

●德國公使辭任

經育新報

●徴兵営從事 (?)

紐育日本人會有志者

銀行の信託預金取扱開始

●在良丸氏其後の動靜

●小林蕃外商

日本人會

ホトトギス

特別廣告

ベントレイ電符書

廣告

尋ね人

日本訪問團員募集

▲十月三日……日本郵船……
▲又更に三月……日本到着……

日本訪問團本部
責任者　林□平

■謹告■

●日本と日系米……

……多くも出來ぬ、午後十時十一時……我等は夢々は……仕事に從……價が一とする……料を双方よ……働者を……上の得……をするかと、働口を得るに……我々は仕事の無い……家の……働者となるのである、……に多數は……からる……を得ないのである……に……事の……に分……育に於……多少の働き口は……と思ふ。勿論同胞……者の數も……社會の……關係も……がありとも……ずし……と思ふ。……の……

●次郷山讃三首

新報詩壇

◆谷の螢
―タツソウ―

螢は光る……
夕な夕なの……
谷の川……

生命保險會社
代理人　石川哲

ゴルフ 素人番附

投書籠

The Japanese Times

紐育新報

對外人強制徴兵案の出現

●商業會議所の會頭新選

本社東京特電（七月廿七日着）

巴里に於ける戰局會議

戰後の商戰と官民の協力

五十億弗新軍事費の要求

▲ メカ…議會の提出

特別廣告

廣告

ベントレイ催行賞

寄入

日本訪問團員募集

成田聖山君に與ふ宗教論

紐育新報

紐育ラヂンコ ワタのかさ

升榮の生活

● 一億圓の大藏

The Japanese Times

紐育新報

平和風の再來（一）

[illegible]

本社東京特電（七月廿一日着）

●我驅逐艦の潜艇撃沈

地中海に於て我國驅逐艦は護衛中なり（[illegible]）は去月廿二日潜航艇の襲撃を受け砲火を交へたるが我艦より發射せる一彈は潜航艇に命中し爆發したれば同艇は撃沈せられたるものゝ如く我艦長田川藤[illegible]氏は佐藤司令官は海軍省に報告せり

●關東總督の後任決定

現任關東都督府總督中村覺大將の後任に就き政府は目下人選中なりしが中村[illegible]海軍と決定せる由なり

●戰鬪艦伊勢近く竣工

神戸川崎造船所にて建造中なりし戰鬪艦伊勢は[illegible]近く竣工[illegible]

●[illegible]

●獨逸の戰後準備

最近ミステム[illegible]によれば獨逸の戰後準備[illegible]

極東及歐洲

[illegible]

勝田藏相所說

[illegible]

●獨逸の平和熱鼓吹

日本訪問團員募集

[illegible]

日本訪問團本部

罪人引渡條約

[illegible]

◆歐旦記の中より（九）

◆想の女王

佐々木指月

[illegible]



滅亡の門邊

[illegible]

●故園珍聞●

▲猫と鳥の合戦　時は六月廿四日…

[illegible]

●無政府主義者捕獲

▲無政府主義者　六月廿九日に北海…

[illegible]

▲新報社…

▲數週間の…

[illegible]

投書箱

ふみ合から…かに…

▲『團扇…』

[illegible]

The Japanese Times

SATURDAY



平和風の再來（二）

……の二者である。乍併吾人は平和風の……再來は寧ろ後者の理由に據れる……の結果であつて、純然たる獨逸……略的外交の發露では無いと信ず……

支那の時局

▲四川省成都の兵火

▲支那南北の分裂

▲海外北京政府と新約

北部樺太島租借說

●露官の退去

●陸軍司令官の更迭

●柴四郎氏當選

●英國と單獨講和說

輸出品監督命令の影響（一）

特使と諸問題

極東及歐洲

●關東民政長官の任命

●極東の首腦と樂觀

石井特使の着米期と歓迎準備

米國時事

●軍艦の入行列

在米同胞

日本訪問團員募集

日本訪問團本部

田園通信 (二)

●世界石油市場と墨國

●渡米者と逆戻航

●あかつき

●暑い〳〵

●慶野丸を訪ふ

投書箱

紐育新報

輸出禁止令と日米關係

[illegible]

本社東京特電（八月七日着）

●海軍省軍艦增派説を否認す

海軍省は現在地中海に出動せしめたる艦隊以上軍艦增派説を否認し協商列國は現在以上日本の援助を求むるの必要なき状態にありとの旨を公表せり

●各政黨代表議員連の渡米

憲政會、政友會、國民黨及び維新會の各政黨を代表する代議士七名は近々渡米し米國の政治經濟状態を視察すると同時に日米兩國間の友誼增進に盡力する由なるが人選は未定なり

北京特電

●黎元洪に十萬元を贈る

[illegible]

●米國特使の歸還

[illegible]

●室軍平君

[illegible]

●寺内政府の對米政策

●米國六十萬の兵

同　上　同　論

●山室軍平氏の來紐と講演會

●伊藤道郎氏の舞踊

●井上より子さんの事

■廣告■

薩摩琵琶借り度し

講演會開催

日本救世軍書記官大佐山室軍平氏來紐の好機會をトし一場の講演を拜聽致し度候間付會て御參會有之度此段御案内申上候也

時日　八月八日午後八時

會場　米人基督教青年會館

主催者

紐育基督教同盟會

特別廣告

大正六年七月

武市　東京館

ベントレイ電符書

尋人

田中孫太郎

森山　市藏

成合彦三郎

太田　方藏(千葉)

金澤鈴龍

田中孫七

鈴石嘉一

惠谷貞吉(廣島)

增岡祐吉(東京)

右の者に通知致し度に付御存じの方は紐育新報社迄御知らせ被下度候

紐育商業組合事務館

The Bank of Taiwan, Ltd.

株式會社臺灣銀行紐育出張所

T. Kikuchi Studio

菊地寫眞館

GREAT NORTHERN RAILWAY

藤井旅館支店

NIPPON YUSEN KAISHA

日本郵船會社

S. KUWAYAMA

新着品御披露

(桑)(山)(商)(店)

T. KASAI

御洋服調進

笠井洋服店

新柄洋服地へ置候

鴨井久

御下宿

47 Prospect Pl. bet 1st & 2nd Ave.

off E. 42nd Street

Murray Hill 2958

基督教修道會

牧師　松本文雄

ボストン市

旅館　御料理

大勢屋旅館

朝日館

京濱旅館廣告

CALDWELL & CO.

日米間貨物輸送

NICKEL PLATE ROAD

New York, Chicago & St. Louis Railroad

御利用する人々又は御旅行者に於ては最も便利です

A. W. ECCLESTONE, D.P.A.

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船會社

日本訪問團員募集

▲村井氏に就て一なす所…

▲村井氏及其夫人…

日本訪問團本部

●安心立提

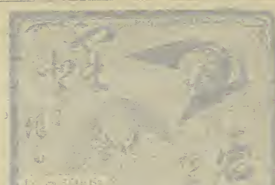


小村氏の

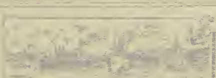
▲自分は…ら飲酒を

◆旅日記の中より

人







紐育ラヂヰコ　ワメのうき（五）

佐々木指月

今日はアム商業の……

●伯爵子狼を捕ふ

▲紀文……

●鉤を……

投書欄



The Japanese Times

紐育新報

輸出禁止令と日米關係（二）

陸軍各長官の大更迭

本社東京特電（八月十日着）

近衛步兵第一旅團長陸軍少將　久邇宮邦彦王

任陸軍中將補第十五師團長（豐橋）

步兵第二十八旅團長陸軍少將　梨本宮守正王

任陸軍中將補第十六師團長（京都）

第十七師團長陸軍中將　本鄉房太郎

補青島守備軍司令官

第四師團長陸軍中將　仁田原重行

補東京衛戍總督

第十三師團長陸軍中將　松川敏胤

補朝鮮駐劄軍司令官

青島守備軍司令官陸軍中將　大谷喜久藏

補軍事參議官

近衛師團長陸軍中將　秋山好古

補軍事參議官

政府は北京の勢力を援助

日英兩帝開戰記念の宸電

●陸軍長官

●駐米支那公使

●同盟軍の活動

●愛國婦人會

輸出品監督

命令の影響（二）

▲日本商と輸出禁止

●山室軍平氏の説教と講演

救世軍大佐補山室軍平氏は去る八日午後八時基督教同盟會主催の下に日本青年會々館に於て「人生は修學旅行なり」との意味にて約一時間半に亘り熱心なる説教を試み▲九日正午田中孫七森村ブラザース階上の食堂に於て邦人店員一同に對し「實業と宗教」の題下に有益なる講演をなし▲同夜は基督教會に於て安心立命を得るには基督教を信ずるに在りとの趣旨にて説教をなし孰れも多大の感動を聽衆に與へたる由、因に同氏は今朝桑港へ向け出發せり

●紐育名尾組合例會　同例會は去る八日夜千歳に於て開會し日會より前田河書記臨席したる由

●徴兵動員令の實行　大統領の命令にて徴兵の検査結了次第九月一日を以て豫定の如く一部の動員を爲す旨の命令を發布したるに就き試驗合格者は夫々指定のキャンプに配置せらるゝこととなるべし

●前大統領タフト氏の病氣　前大統領タフト氏は本月十五日に病氣...

●邦人自殺　邦人...

■尋人■

田中孫太郎
森山　市藏
成合矢三郎
太田　力藏（千葉）
惠谷貞吉（廣島）
増岡爲吉（東京、通稱フランク・マット）

右の者に通知致度義有之候間本人若くは知人より其の現住所申出られたし

紐育帝國總領事館

特別廣告

ベントレイ電符書

一册　定價　十五弗
二册　特價　六十弗

右は外本商會は公開許可の電符書を販賣す

日本訪問團員募集

▲十月三日シャトル發　(二ヶ月)

▲費用三百弗位　日本に渡る

日本訪問團本部

歸人の印象

▲エス・ダブリユー・チャードソン夫人は……

▲新英土地八百萬兩……多數の受験者中當選したる米國……

新報詩壇

◆芋の花　西山

露しげき草にみちびかれて……
朝しらんと芋の花吹く
親牛は小牛はなれ寂しさに
たねでや今朝もむら雨になく
ふる里は田植もすんで時鳥
裏山かけて鳴になく頃か
風は面白き小花をゆるがせて
雨の眞ひるにそよ〳〵と吹く

■廣告■

東京館

大正六年七月

■英語教授

廣告

都亭　敬具

紐育新報

●疑問の東洋館（一）

[illegible]

「疑問の東洋館」[illegible]

●日會ご感想　人物くらべ

[illegible]

●隨感隨筆　在紐育同胞消息

[illegible]

投書籠

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

愚劣なる立法

▲外字新聞取締法案

[illegible]

一、[illegible]語若くは他の外字新聞[illegible]

一、[illegible]事に關する一切の報道並に國[illegible]

[illegible]

●石井特使の演説

[illegible]大使石井子爵及び隨員一同は[illegible]

吾人は日本を代表し[illegible]として着米せり、吾人は[illegible]

[illegible]の勇氣、愛國心[illegible]

日本は自然的に[illegible]平和の[illegible]

[illegible]常に[illegible]興味を有す、何となれば[illegible]

[illegible]して將來に於ける日米相互の[illegible]

[illegible]國の根本的正義完全なる[illegible]信頼[illegible]

石井特派大使の著桑に本社の祝電

紐育新報は閣下並に閣下の一行の桑港安着に對し茲に衷心より歡迎の誠意を表す。吾人は最も重要なる問題に逢着しつゝある閣下の使命が、文明及び人道の利益の上に日米兩國間の最善なる國際關係を樹立せんが爲めに、錯綜せる兩國間の微妙なる問題の解決を[illegible]し、以て近代外交史上に一新紀元を劃するに足るべきものたることを確信せんと欲す。過去に於て自國外交家の示したるが如き辭令の[illegible]と優柔とは恐らく閣下に[illegible]の大[illegible]なり。

吾人は切に閣下使命の[illegible]且つ熱心に近き將來に於て閣下の[illegible]を紐育に[illegible]者也。

大正六年八月十三日

紐育新報社

米國特派全權大使

子爵石井菊次郎閣下

極東及歐洲

●農商務省米作豫告 農商務省は[illegible]

●米國航運[illegible]

●水雷艇五十三號發見[illegible]

●帝國軍艦[illegible]

●[illegible]

●日米[illegible]

墨西古物語

[illegible]

石井特使大歡迎

[illegible]

京都通信

[illegible]

田園通信

[illegible]

…乘じ、屢々舟を湖上に浮べ…の賞景を…

…にあらねども。…湖上に風致を添へ…スワン即ち白鳥はよく…近く多くのスワンを養ふ…

[illegible]

「緊急廣告」

本部加入者各位に告ぐ [illegible]

▲先般 [illegible] ▲ [illegible] ▲ [illegible] ▲ [illegible] ▲ [illegible]

[illegible]

紐育市十七番街二三八
日本[illegible]本部
責任者　林[illegible]

婦人の印象（二）

▲ [illegible]ノーカー夫人

▲此のノーカー夫人はサウスの婦人ケンタキー州ルーイヴィルに生れ父はサミユール・ワシントン・ブーン [illegible] アイナ・フランジ [illegible] スカツトランド [illegible]

[illegible]

▲テエア [illegible] 日本人は [illegible]

[illegible]

日本文學で [illegible] 日本と日本人との爲めに [illegible] 日本と日本人とに對する夫人の自己 [illegible] を感想する愛の表現は往々之をオど [illegible] ヤカす冷評に對しても勇敢にして [illegible] する處なきものであります」云々

[illegible]

●大島公使赴任延期

駐[illegible]大使館參事官大島富士太郎氏が墨國公使に榮轉し本月[illegible]赴任すべき由本紙に於て發表せるが同氏の後任なる長岡參事官着任遲延の爲め十月初旬頃ならでは[illegible]

[illegible]

新報詩壇

◆孔雀

佐々木指月

蔭は孔雀の尾のごとく
おん膝よりひろがり
枝は孔雀の羽根のごと
れんでびらより立ちあがる
輝く幹に照り映ゆ
おんかんばせ。
おんつむりには[illegible]
日こそ降りけれ[illegible]
み胸にかけし[illegible]
[illegible]

◆詩友へ

サ[illegible]
ザ　フ[illegible]

黄[illegible]

肉なれ[illegible]
生きねばならぬ
生きん爲め
食はねアならぬ
食はん爲め
[illegible]

廣　告

獨身者「イヤ[illegible]」
妻帯者「[illegible]」
[illegible]

●米國通信[illegible]

[illegible]

●疑問の東洋館（二）

▲東洋館の由來

紐育ラテンコウタのぞき（六）

佐々木指月

●スチーブンソン嬢

紐育新報

正貨處分問題

[illegible]

「ジャヂメント」の言者は縣て正貨處[illegible]を得れば直に實業界の大恐慌を惹起する素因を作ることとなるべきを以て[illegible]東の領、南洋地方、南米等に對して[illegible]當業者は最も愼重に考量を要した來我國の經濟的勢力を扶殖するの[illegible]後義戰の方策を施さざるべからず必要上此際[illegible]種々なる[illegible]然れ共從らに戰後の恐慌來を憂ふるは自然の成行なるべしと[illegible]の弊に陷らんとするは吾人[illegible]金融市場の大勢に逆行して其の[illegible]の採らざる處なり。

支那の宣戰と歡迎

本社東京特電（八月十七日着）

[illegible]一般に支那の對獨墺宣戰布告を歡迎し將來日支の親善を增進するに多大の好影響ありと觀測しつゝあり

特使歡迎の報に滿足

石井特使歡迎の詳報本日東京に達せるが一般は頗る滿足の意を表し居れり

列國公使馮總統を公認

北京駐剳の列國公使は馮國璋を大總統として承認し外交部よりの請待に[illegible]ポール・メー氏[illegible]二存を省けり十[illegible]

石井特使の答電

本月十三日付本社よりの[illegible]に對し十五日午前石井特使より左の答電を接手したり

貴社の鄭重なる祝辭に對し深厚なる謝意を表す

石井子爵

紐育新報社御中

●白國方面の英軍活動

●英國首相の聲明

▲潜航艇[illegible]

歐洲大戰の前途

[illegible]

●渡米議員の人選決定

●東洋及歐洲

羅馬法皇の平和勧奨

米國時報

移轉廣告

家具賣却

特別廣告

ベントレイ電信書

謝禮廣告

緊急廣告

疑問の東洋館

日本橋區…　日本勧業…

●國際の…

露國舞踊並奏樂

ヴォース劇場

●疑問の東洋館（二）

[illegible]に抜け出し[illegible]なるを以て[illegible]に至りたる[illegible]も、此方なる[illegible]の如きは、[illegible]一味が[illegible]の「[illegible]」[illegible]ンメン[illegible]の[illegible]の手[illegible]なるが[illegible]の[illegible]は[illegible]者を[illegible]し[illegible]めの[illegible]部分の[illegible]すのことども

八月十二日[illegible]日[illegible]

[illegible]多数の[illegible]を引率して[illegible]れて[illegible]の事情とは[illegible]多数の[illegible]は[illegible]に對して[illegible]上善い加減の[illegible]にお茶を[illegible]方に於て海山千年の代[illegible]の義理[illegible]文字の[illegible]丁元[illegible]の練達に[illegible]の[illegible]を以て[illegible]も[illegible]は遊説に[illegible]文字自身は元來フレ

八月十五日の夜[illegible]と云ふ話[illegible]ロマノフ家一族を[illegible]方戰線司令官[illegible]に送る理由は[illegible]ガルコー將軍の手紙が發見され[illegible]中に皇帝に對する[illegible]の情を現はし[illegible]皇帝を監所から脱出させる陰謀が[illegible]いてあつた[illegible]。新政府當局は革命[illegible]客車に載せられた[illegible]皇帝は流石に首を垂れて[illegible]皇后は數ケ月面の[illegible]と見られて[illegible]移轉するの[illegible]

▲東洋館の今後方針[illegible]

[illegible]松太郎は

自分は今回[illegible]に[illegible]第[illegible]、メカラ、第四多少の[illegible]、第五[illegible]文字ある[illegible]酌婦を要求す[illegible]自分は[illegible]若くはロザノ[illegible]エッス[illegible]よりは少くとも六名を雇入れ來る[illegible]も相當に支出する[illegible]すべし

[illegible]行したるが[illegible]より[illegible]の[illegible]十[illegible]日に[illegible]して[illegible]の[illegible]

百合子、夏美子等七名の日粉隊を組[illegible]し盛に[illegible]を[illegible]し[illegible]下剤[illegible]を實行したるに[illegible]を[illegible]

▲[illegible]前號[illegible]東洋館の[illegible]中八行[illegible]目第二字以下は[illegible]に付[illegible]如左訂正す

[illegible]有利なりと[illegible]の出來たる[illegible]は更[illegible]に多数の[illegible]を招聘し[illegible]花[illegible]の[illegible]を[illegible]たるに[illegible]なき事は[illegible]が本年五月中[illegible]、君子、メリー、お春、お[illegible]、[illegible]

文子と[illegible]を[illegible]して紐育に乗[illegible]ドライ黨[illegible]の形勢自分に[illegible]し[illegible]東行の志を決し[illegible]の顔色に[illegible]する者故兎も角も[illegible]

前露帝の流謫

反抗の氣勢を防ぐのだと言はれて居る。が副總理テレシチェンコ氏は[illegible]官情報を否定して[illegible]月來の計畫だつたが實行する[illegible]密にして居つたのだ[illegible]る。

暴政を布いて國民の自由思想を壓迫したるロマノフ家の末路が先覺者の血涙に染められた自家で作つた流刑の地に同じ運命を辿るのは當然であるとはいふものゝ或意味の時代思想の犠牲者として同情する者も尠なくないだらう。

●お芽出度い

新内閣の豫想

總選擧の結果政友會が多数と成つたので[illegible]順に現内閣の[illegible]用を勧めるか或は居直つて[illegible]を[illegible]るかは目下一問題であつて[illegible]政友會は無論國民黨[illegible]に[illegible]はるそうであるそして[illegible]大[illegible]を[illegible]機として[illegible]内閣は[illegible]手許[illegible]

[illegible]

投書籠　込み合ひ升から御手短かに願ひ升

▲八修聖に舞はせたは昔の事いくら米國だつて糞と味噌とは[illegible]敵國政界の名士を[illegible]は本國で[illegible]とは[illegible]に[illegible]（[illegible]）▲[illegible]ウィルソン博士が[illegible]を[illegible]ら[illegible]の[illegible]は[illegible]頭會諸君萬歳（白髪老人）▲東洋館征伐、[illegible]ますね、だが[illegible]してしまふのだらう。つまらねえ[illegible]（[illegible]觀者）▲石井特使の歡迎は紳士らしいつて[illegible]馬鹿なお祭り騒ぎはやらぬがよい（[illegible]）▲偏見大先生に密告されたので[illegible]へ逃げたなどと真面目に考へて居る丈は[illegible]（[illegible]）▲高架[illegible]の新社は[illegible]本社は各種[illegible]自分達が待遇されし[illegible]を待遇するがよいと[illegible]管[illegible]も使用人の身になつて[illegible]まいか云々（[illegible]生）▲東洋館の[illegible]あまり[illegible]ないが[illegible]やあござ[illegible]なつ[illegible]

紐育新報

タマニー派の末路

ラッシ氏の如きも既然……を開始すんなカー氏にして此の悲報を得ば今昔の……

菊地、岩村兩男爵の逝去

本社東京特電（八月廿一日着）

帝國大學名譽教授男爵菊地大麓及び前美術學校教授男爵岩村透の兩氏は二十日逝去せり

支那政府獨墺汽船を没收

上海に繋留しありたる獨墺國の汽船三隻は支那政府が参戰布告を為すと共に支那海軍の手に接收されたるが是等は何れも直に使用に……一万九千噸に上ると云ふ

鐵材輸出禁止令の緩和策

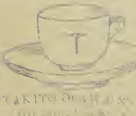
……在米日本人……鐵材輸出禁止令に就き熟議を遂げ……

桑木博士歐洲へ

● 新任米國大使來着
● 朝鮮人……
● 戰爭參加と……
● 天津の……
● 大連の……
● 獨逸の……
● 濠洲の……
● バアウンの……
● 佛國……

獨帝の艦隊訪問

歐洲大戰の前途（一）



石井特使歡迎準備の經過

家具賣却

死亡廣告

移轉廣告

謝禮廣告

吉田宗衛

特別廣告

ベントレイ電符書

緊急廣告

同胞の自殺

露國舞踏並に音樂

ヴース劇場

●疑問の東洋館（四）

▲東洋館の當事者方針□□□□□□東洋館の□□を□□し得べきは素より論なき所ならん、營業の當時比較的に不才をさらけ出し□□□□□□□□□□□□ことと文子とは紐育を通過する故國諸□□□□□□□、□□□、實業界の名士、海陸軍□□□□□□□□□□□□□□紐育中の無聊を慰する□□□一日的に種々來訪の上大散財をなし□□□□□□□□□□□□に伴ふ不景氣知らずの絶頂に達したるに伴ひ□□□□□□□□なりし、□□商會の某氏、エム會社の某氏、某銀行の某氏等を友人同様に心得身の□□□□□□す、深い加減の通目をなすに□□□料理成金を夢想せる結果□□□□□□□□□□□□不規律なる營業振を継續するに至りたる次第なり

●薄命な魚

（本文不鮮明）

投書籠

（本文不鮮明）

紐育新報

石井特使着華（上）

ホノルヽ、桑港等に寄る毎に熱烈なる歓迎を受けたる米國特派全権大使石井…

不井子の使命は…

滿東政論

●造船業者の鐵類解禁運動 米國政府の鋼鐵類輸出禁止に對し日本造船業者は此解禁運動の目的を以て…組織するに至り…

●教育家の渡米

●練習艦隊歸着

●理化學研究所…

●地方判任官增給問題

●學習院長の後任

●貴族院の議事

●各國の聯合…

米國雜事

●白耳義特派大使…

●大統領と勞働界首領の會見

●大統領の紀念演說

不文同盟は支那に於ける最善の保障也

▲エス・ジャーナル紙…

▲ボストン…

▲ヘラルド紙…

●華盛頓に於ける石井特使

▲國務卿以下の首腦部出迎へ　▲ペーリー提督令孃の邸に宿泊

[illegible]

▲[illegible]

[illegible]…と辭を述べたる後

▲●●●●●●●大統領の午餐會[illegible]

[illegible]ノースカロライナ號[illegible]…軍楽隊[illegible]…大[illegible]提督…ベルモント…ジャンプ…

[illegible]

▲●●●●●●●特使記者團に言明　[illegible]各紙の記者[illegible]

[illegible]…米國は今や兒戲の如き[illegible]…の戰爭に[illegible]…聯合列國…決して…特使に對し…各新聞記者團が如何なる交渉案件…は勿論[illegible]…言明せり

▲●●●●●●●思ひ出多き使節團　石井特使一行[illegible]

[illegible]

●紐育日本人業者協議會

紐育　三　〇　[illegible]

[illegible]…大統…協議會…森村組の…小川の近藤氏、山中商會の白江氏…高田氏、茂木の大島氏、龍…第一回協議會を同商會に於て開催し…二十三日午後…意見一致したるに依り森村ブラザーズ…の途を見出すの必要ありとを交換したる由

●石井特使歡迎委員會

[illegible]

●徴兵體格試驗延期に就いて

追般來實施中なる當國徴兵に當業せる同胞は兵役へ[illegible]要するの必要ありと[illegible]體格試驗を[illegible]…に拘はらず…保官の不注意よりして體格試驗を強制されたる同胞少なからず…しが當市總領事館は右不法行爲に對し調査を開始せるより該試驗を強制されたる同胞はブロードウエイ百六十五番の總領事館まで通知ありたしとの事なり因に右問題は當地總領事館より華府日本大使館に傳達し大使館の米政府に交渉せる結果兵事當局者も其不法なるを是認し各地方徴兵係に向つて直接訓電せる者なりと云ふ

●高峯博士午餐會

南加日本人會理事光勢耕作氏が沿岸日會との聯結の要務を帶びて來紐したるは本紙既報の如くなるが紐育日會長高峯博士は同氏を主賓とし幹部の諸氏並に時局委員等を陪賓として去廿三日銀行倶樂部に於て午餐會を催ほし種々懇談を交換したる由

●紐育日本人教會文學會

同會にては本夜八時より『朝鮮事情』と題し満韓萃修敬青年會總理丹羽清次郎氏の[illegible]

▲委員長　[illegible]

▲副委員長　[illegible]

▲接待委員　主任　[illegible]

[illegible]

▲會場設備委員　[illegible]

主任　[illegible]

菊地　水谷　[illegible]　大[illegible]　白江

妻木

▲財務委員　主任　[illegible]延之助

井上　伊藤[illegible]吉　香西　小林

雅一　根下[illegible]

▲勸誘委員　主任　井上熊三郎、

[illegible]野　萩原　[illegible]井　安井　八木

山口　[illegible]原　[illegible]　新田　小畑

小栗　大[illegible]　宅山　[illegible]臣　田島

佐藤清　神子島　中村保馬　久

根下

▲會場應接委員　主任　香西[illegible]雄

菊地　川島　大塚　松永　清水

神子島　岡[illegible]

[illegible]

●[illegible]

●牛[illegible]

●[illegible]

●[illegible]

家具賣却

一、[illegible]室アパートメント[illegible]備付けられたる新らしき家具至急賣却[illegible]

右家具は[illegible]ヶ月[illegible]…のなるが持主歸國するに付き廉價にて賣却す、御希望の方は左記へ御來談あれ。

レキシントン街　六[illegible]

電話プラザ　六二七五

吉田宗[illegible]

緊急廣告

[illegible]

墨西其殖民奬勵

▲墨國駐在代理公使の報告
▲ニューヨーク誌の意見

[illegible]

●日本行船賃値上

日本郵船會社は日本より米國行に[illegible]今回沙港、ビクトリア港の[illegible]は來る九月一日より[illegible]を斷行[illegible]八月[illegible]實行の[illegible]

[illegible]

新報詩壇

◆その日

——西 泉——

青桐の若葉の色に時雨して
日暮るゝ門をさすらひ出る

杜に家に七日七夜を旅寢して
今朝しみ〴〵と蟬の聲きく

母親の右のかひなに枕して
眠れる稚兒のうなじの白さ

その[illegible]根に沿ふて白に赤
[illegible]の花は今盛りなり

◆時事に感じて詠める歌

——五 峰——

はらからの道さまたぐるしこ草を苅りつくせ君、雄々しく倒せ君

醜草を苅りつくさむと利謙める君は「よき人」「善哉」と吾れはみる

日の出づる國に生れて日の光り恐るゝ醜女あはれなるかな

[illegible]

◆秋の[illegible]

村の人

[illegible]

(一九一七・八・十二)

尋人

[illegible]
森山 市藏
成合[illegible]三郎
太田 力藏(千葉)

右の者に通知致度義有之[illegible]若くは他人より其の[illegible]

紐育帝國總領事館

英語教授

ENGLISH lessons for [illegible] by experienced teacher [illegible] individual & class instruction
Miss Speedy, 4 West 50th St.
Tel. [illegible] 2291

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

日本風果物キャンディ

弊店製フルーツ・キャンディの特色は品質の精良は勿論美觀と佳味とを兼ね居候爲め夙に米人顧客の好評を博し其需要逐日増大致居り、結婚、誕生、クリスマス其他總て祝賀用品及び店頭裝飾用のアーミステック・キャンディも御注文に應じ卸小賣共精々勉强可致に付御用命仰付られ度願上候

エム・ロープ商會
瀧吉太郎

M. RAUPP & COMPANY
[illegible] W. [illegible] St. City
Tel. [illegible]

婦人服御仕立

[illegible]
武藤[illegible]
[illegible] Ave. N.Y.City
Tel. [illegible]

日本食料品新荷到着

[illegible]
日本行[illegible]
片桐兄弟商會
[illegible]

豆腐粉

[illegible]

眼鏡師

診察無料

視力檢查專門[illegible]學士



F. I. FREDERICS Co.
Tel. Plaza 513 [illegible] East 59th St.

■電氣諸機械一切、新案[illegible]卓及び附屬品

輸出業

▼[illegible]
▼實業家及び渡米[illegible]者の案內並に各種事業の[illegible]
▼本邦[illegible]

本[illegible]商會
主任[illegible]

Tel. [illegible]

QUONG GEN LAW
1931 B'way N.Y.C.
Entrance 112 W. 65 St.

今回食堂改築仕り待に日本人紳士諸君の御嗜好に應ずる様調理可致に付き倍舊の御贔屓を願上候

支那料理 廣珍樓

●自午前十一時 ●至午前四時 開店

[illegible]

漢口樓

[illegible]

化粧品卸賣

▲香水[illegible]
[illegible]

菊池兄弟商會

[illegible]

美味しい[illegible]
御料理 品南樓

[illegible]

C. [illegible] Co. Inc.
Ship Supplies
84 Moore St. New York City
Telephone Broad [illegible]

船具一切

船具材料附屬品一切並に食料品
一般輸出入業
日本船舶には特別御便宜
[illegible]
日本船舶部係り
櫻井[illegible]

RECTOR 1873 1874

日本輸入業者
事務敏活・低料



●[illegible]

IMPERIAL HOTEL

561 PINE ST.
San Francisco, Cal.

帝國ホテル

米國加州桑港パイン街五五壹
電話ガーフィルド貳貳八壹

■日本行[illegible]

南加州の[illegible]

ホテル ニューヨーク

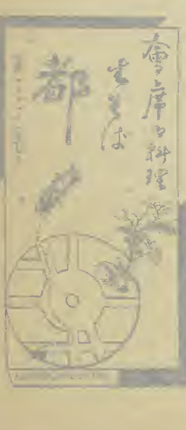
自動車昇降機スティームヒーターあり[illegible]
羅府東二街二〇[illegible]サンピドロ街角、新築[illegible]電話A二八六七
●ロスアンゼルスへ御來遊の際は[illegible]

船舶賃借
貿易運輸
税關事務
艦船機具

日米海通社



NICHI BEI KAITSU SHA
Japanese Ship Agents
[illegible]



■渡米御上陸[illegible]の御方は[illegible]御[illegible]出來得る限りの親切と注意を以て御用命に可應候

港沙 大北旅館

館主 東方[illegible]

[illegible] Seattle, Wash.
電話 エリオット 九八二

■弊館は日本人町の中央にて停車場上にー、アラスカ、桑港、アラスカ、バンクーバー大坂商船波止場へも十五分間にて[illegible]せられ申候
■自動車部の設け有之候間何時なりとも御用命に應じ申候

◎化粧品卸賣

本店製香水、タルカムパウダー、フェースパウダー、サシエーパウダー、パゴダインセンスは客[illegible]の商品なり

パゴダ インセンス

メールオーダは迅速叮嚀に取扱可申カタローグは御申越次第御送り可仕候

五味商會

[illegible] N.Y.

御手軽御料理御宿

大米屋

[illegible]
森木[illegible]

●疑問の東洋館（六）

▲半鐘的料理店

●舞踏の印象

投書籠

藤澤鄕であゐ

The Japanese Times

紐育新報

石井特使着華（下）

外國時事

極東及歐洲

不文同盟は支那に於ける最善の保障也（二）

一筆啓上

石井特派大使の消息

▲兼某術戰を持せる外交

▲支那問題解決か一大要件

▲外交に新紀元を劃せん

寄附金募集廣告

一、寄附金は一弗以上とす

二、慰問袋の内容は……

右寄附金は日米週報社並に紐育新報社に於て受領す

陸海軍戰時慰問委員會本部

紐育市 ホテル・マクアルピン内

委員長 ジョン・オー……

幹事 レーディ フオ……

家具賣却

紐育日本人會

緊急廣告

本團加入者中の便宜を計り……

▲……船賃……

▲……

▲本團加入者は五百人分の手荷物を……

▲右……

紐育……

日本青年團本部

[illegible]

瑞西より

中村生

[illegible]

新報詩壇

（六月二十四日）

桃の實

黄花郎

その花の咲きし日は
わが爲めし君やいたみし
その花の實る日は
君が爲めわれいつ歸る……
……柔かな實を……
……金色に暮る……
……秋……

廣告

獨身者「イヤ暑いね、時に君等こそ保險が必要だよ……」
……石川が此頃切に僕を勸めてこまる」
妻帶者「そうか實は僕も入つて居る……一体保險は安全第一……」

エクイテブル生命保險會社
代理店　石川哲

尋人

田中勝太郎
……
右の者に……

紐育帝國總領事館

英語教授

ENGLISH lessons to foreigners, by experienced teacher. Individual & class instruction.
……
Tel. Circle ……

●疑問の東洋館（六）

▲明朗の解釋（一）[illegible]情は[illegible]して[illegible]同盟の[illegible]を以[illegible]適當とすべきも[illegible]中西部に於て數々地方[illegible]の[illegible]に[illegible]れたる君子の如きは[illegible]

[illegible]イテ、ハレ[illegible]クヽクヽナツ[illegible]、アリガ[illegible]チヨウチデハ[illegible]ダ[illegible]

なることは[illegible]なり。而も文子[illegible]とは本篇[illegible]年料亭[illegible]に[illegible]本紙の[illegible]を爲りたる中[illegible]れたと[illegible]する[illegible]なる[illegible]を擇りて[illegible]

[illegible]本年[illegible]文子は日本に[illegible]

[illegible]君の[illegible]に[illegible]ピー君[illegible]者があつた[illegible]一君を[illegible]に[illegible]せ[illegible]せたのだが、色男[illegible]は大[illegible]主のピー君は小男だから、亭主の[illegible]情は色男の[illegible]に當るばかりで一[illegible]手[illegible]が無い、そこで[illegible]

●色男　袋たゝき

▲亭主は椅子の上で事を[illegible]

本週三五[illegible]の再來かと思はれる[illegible]の[illegible]ではない色男が當地に[illegible]る、此の色男エー君の落花の[illegible]に誘はれて流水の情を寄せたのがピー君の妻である、處がエー君とピー君とは朋友の[illegible]であつたそうだ、夫の[illegible]朋友の妻を誘惑するとは怪しかる[illegible]たのではない[illegible]救[illegible]縣人間の大問題と[illegible]つた、然るに縣人會に於て[illegible]しとあつて[illegible]過[illegible]に就て[illegible]討論會を開始[illegible]たが、一方は色男エー君を中心に[illegible]綺羅星の如くに居[illegible]、一方は[illegible]亭主ピー君を中心に[illegible]居る、[illegible]

が御大將エー君に椅子を[illegible]色男の頭上に拳骨を[illegible]はせ十年連[illegible]ふ可愛い女房を唆かした恨みの數々をコツ[illegible]擲らせて、亭主軍は[illegible]を[illegible]したと風の便りに聞いた[illegible]

●鳥羽丸無事着紐

▲撃沈の報道は[illegible]

日本郵船會社[illegible]船鳥羽丸が撃沈せられたる旨本紙前號に[illegible]報道せるが右は[illegible]電にして同船は去る七曜日無事紐育に入港したり而して[illegible]に就て當市郵船會社支店員の語る處に依れば同船が去十六日アゾール島の北方三百[illegible]西經[illegible]の西北六百三十哩に位する大西洋の中心[illegible]航行の[illegible]に遭[illegible]

投書箱

▲[illegible]に[illegible]みに行つた友達が白人と[illegible]を始めたのに其醉つてる友達を[illegible]自分[illegible]支達が巡査に拘引されたのに知らぬ顔で濟まして居るとは大和男児の風上に置けぬ卑怯な奴だ（武士）▲[illegible]遊會を遣る筈[illegible]動を[illegible]居るそうだが双手を揚げて贊成する者は大に[illegible]かんとする者は大に[illegible]ねばならぬ（[illegible]樂生）▲オー七年も[illegible]して來た己れの情婦を[illegible]するとは不都合極まる月[illegible]やあめねし用心[illegible]▲[illegible]の貯金を持つて金持[illegible]出すと大成功者として[illegible]る當地日本人の眼界の小なるには驚かざるを得ぬ、そんな端金を以て理想とするようでは將來發展の見込はない（[illegible]）▲梅ちやん[illegible]法螺で紐育の人間を[illegible]うな[illegible]

[illegible]

The Japanese Times

日米新報

大統領法皇の平和書に答ふ

▲平和はカイザーを除外せよ
▲獨逸國民の判斷に據るべし

ウィルソン大統領は去る廿八日羅馬法皇ベネディクト十五世の平和申請に對し國務卿ランシングを通じて回答書を發せるが平和復活の申請[illegible]

[illegible]獨逸國民[illegible]彼等の統治者の如何[illegible]の明確なる要求と後援と[illegible]

人種的僻見

[illegible]

米國雜事

[illegible]

歐洲戰報

[illegible]

第一年啓上

[illegible]

●上院に於ける石井子爵

[illegible]

日本は[illegible]に於て[illegible]なれば吾人は[illegible]なる國際關係を[illegible]

[illegible]大國民[illegible]危機[illegible]を公表せざ[illegible]

諸君は日本の[illegible]特に[illegible]上院[illegible]多數を[illegible]めたり

青と同胞

●住友銀行の紐育支店　住友合名會[illegible]に支店[illegible]實地調査の爲[illegible]派遣する由なり

●訪問の紐育市視察　日本訪問團は[illegible]

●矢田總領事[illegible]十八日[illegible]

●天想[illegible]

石井特派大使大歡迎會廣告

[illegible]事項は追而本紙上に廣告致候也

(右は決定[illegible])

一、[illegible]　ホテル●アスター

二、[illegible]　九月二十[illegible]日以後

三、會費　一人に付金五弗

四、[illegible]

五、出席者　日本人男子に限る

六、申込期日　九月十五日限り

七、申込所　紐育日本人會（[illegible]）山中商會（[illegible]五四）

八、團體申込　八人若くは十人の團體にて一食卓専用の希望者は豫め申込所へ通知相成度候事

紐育　日本倶樂部
紐育日本人會

謹告

拜啓時下晩夏の候に相成諸彦御歸紐の期も近まり候ま〻[illegible]儀室内大掃除を企て[illegible]何卒[illegible]御心當りの方[illegible]

大正六年[illegible]月[illegible]日

各位

千歳　山本

●大[illegible]

●[illegible]

●[illegible]

家具賣却

[illegible]アパートメント[illegible]

吉田宗[illegible]

―寄附金募集廣告―

[illegible]聯合國の利權[illegible]赤十字[illegible]陸海軍戰時慰問委員會を組織[illegible]

一、寄附金は一弗以上とす
二、[illegible]
三、各慰問袋中には寄附者の氏名住所を[illegible]

尚ほ本人側の寄付金は日米週報社並に紐育新報社[illegible]

紐育市　ホテル●マクアルピン内

陸海軍戰時慰問委員會本部

委員長　ジョン[illegible]

緊急廣告

▲購讀不足の爲め本號發行は各部分に遅滯を來せり

▲普通加入者は損失を償ひ……

▲本紙加入者は五六八號の……

日本時報社本部
責任者 林 富平

演劇の……

ケーブの……

（一）

●出征の行軍

二万五千の歩兵隊を擁して……

▲一昨日本社に……



□日本人……

□妻の○明が出來す

□……

●結婚を遺直して

▲……

The Japanese Times

紐育新報

婦人と戰爭

極東と歐洲

リガの陷落

石井子爵とランシング君



米國情報

石井特派大使 大歡迎會版告

家具賣却

一、四室アパートメントに備付けられたる新らしき家具至急賣渡し度し

右家具は四ヶ月程前新調したるものなるが持主歸國する事となりたるより廉價にて賣渡す。御希望の方は左記へ御來談あれ。

電話　…　六二四番

吉田宗章

謹告

大正六年九月一日

各位

「千歳」山本

緊急廣告

石井特使歡迎

廣告を讀んで

◆大川畑

◆汐の香

●疑問の東洋館

▲此生

投書欄

紐育新報

THE JAPANESE TIMES

滊船運賃暴騰問題（上）

紐育に於ける日本品　主として陶器、雜器、玩具類　輸入商が米航運賃の突飛なる暴騰の爲めに意外の打撃を蒙りつゝある事實は日米貿易に於て多少の智識を有する者の夙に熟知せる所なるが、頃日來當業者は鳩首協議の上右に關する陳情書を矢田總領事の手に提出したる結果、同總領事より外務本省に大意を架電したる由聞せり。元來日本郵船、大阪商船並に東洋汽船の三大會社所屬商船中定期命令船なるものは航海獎勵法に準じ政府の補助金を獲る性質なるを以て政府の許可なくして妄に運賃引上げを行ふ能はざれ共定期自由船にして從來補助金を受くたの恩典に浴せざるもの及び普通傭船等は汽船會社の隨意にて運賃率を上下し得るが故に世界に於ける船舶の不足に伴ひ船舶の需給上より運賃を暴騰せしむるは一面亦當然の次第なりと云はざるべからず。然れ共是の機會に乘じ單に目前の收益をのみ計上し他の種々の權衡を省みず船腹不足の今日を幸ひ運賃を釣上げたらしむ船主の態度は商船會社は暴利を貪りつゝあるものなりとの苦情を提出するは是れ亦當然の成行なり。

吾の生絲、茶の如き日本の對米貿易品中の主要なるものに關しては船會社に於ける當業者の熱心に運賃協議に交渉し政府に對しても種々運動せる爲め當初の運度を維持なる汽船會社制を說服して漸く米航運賃の協定を見るに至りたり。[illegible]生絲の運賃は從來一封度二仙七厘五毛なりしを本月一日より一封度[illegible]十月一日よりは更に値上する[illegible]し、茶の運賃は四十才一[illegible]に付十八弗として本年三月以來[illegible]積出すべしとの契約を締結したり。然るに生絲の如き高價品にして一俵適例百三十五封度の重量を有する者は現在の市價約八百弗内外に對して一俵の運賃六弗七十五仙に過ぎず。[illegible]業は四十才一噸として平均八百斤の重量あり、安物の市價が假に一封度二十三仙なりとせば海上運賃は其到着後相當する計算なるが故に輸入當業者は先以て負擔に堪ゆる[illegible]度に在りと認め得べし。然れ共生絲茶等と次に歐洲大戰以來米國輸入額を激增し漸次市場に於ける信用と地位とを贏ち得るに至らんとしつゝある陶器、雜器、玩具類の運賃は天井見ずの勢を以て暴騰し遂に意外の打撃を蒙り茲に對米貿易上の一問題を惹起するに至りたる次第也。

極東及歐洲

●鐵禁輸問題と澁澤男　鐵材禁輸問題は日本の工業界に大打撃を及ぼす事とて造船業者の恐慌一方ならず凡ての運動を爲しつゝあるが澁澤男は[illegible]

[illegible]

日米協商の開始（一）

[illegible]

紐育新報

●下院に於ける石井子爵の演説

[illegible]

…外ならず…日本…國の…

[illegible]

米國雜事

●戰時利得税法案下院に通過となる

[illegible]

●國際勞働組合の大檢舉

[illegible]

石井特派大使大歡迎會廣告

米國特派全權大使石井子爵閣下の…紐育市々民として來紐…

[illegible]

一、會場　ホテル●アスター

二、期日　九月二十日以後

三、會費　一人に付金…弗

四、服裝　…

五、出席者　…

六、申込期日　…

七、取扱事務所　…

主催者　紐育日本俱樂部　紐育日本人會

●日會理事會　…十一日午後…

●基督教同盟會の講演會　…

●茂呂佐八氏の消息　…

●鶴田…氏の歸郷

寄附金募集廣告

…共同の敵と戰ひつゝある…出征軍人並に人道の爲めに…

[illegible]

陸海軍戰時慰問委員會本部

[illegible]

英語教授

[illegible]

■緊急廣告■

本國帰人者の便宜特典

▲目下、一等賃銀上げされたるも…

▲…野院議員は時宜に依りては乗船券を…

▲…日本新聞社本部

桑港市…　日本新聞社本部

東京通信

●外務省の…

●工場主の…

●米國…

□□田園通信□□

（天　老）

松林

新聲詩壇

◆夕陽

西舟

…チロ…れは草…なき初めぬ

長月夕陽し…かれ流む

その胸にエ…アフ…アングの花抱て

夕陽とともに消ねんの頭…

敗るれば早月に生れて今三つ

吾…いとし…を知らず

◆歌日記の中より

○…薄にて

…濤の…に映つる雨燕におとろえた見…

…てうらかな…

…氣のたつかひなさ…りつやとしば…

…し若さは…事おもはゆる哉

…紅み…になるわぎ…この…

…の中に手を曲げ足…りて子ども…

…たる腹むれをする

■尋人■

田中孫太郎　森山市藏　成合與三郎　太田力藏（千葉）　恵谷…吉（廣島）　通稱フランク・マット

右の者に通知致度義有之候間本人若くは知人より其の現住所申出られたし

紐育帝國總領事館

■英語教授

家具賣却

…四室アパートメントに…

吉田宇…

■謹告

大正六年九月一日

各位　千歳　山本

日本食料品新荷到着

新刊雑誌到着　□書籍居候

株式會社　片桐兄弟商會

豆腐粉

婦人服御仕立

紐育裁縫學校卒業　ドレスメーカー

武藤…

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

日本風菓物キャンディ

弊店製フルーツ・キャンディの特色は…

…キャンディも御注文に應じ…

…ローブ商會

瀧…太郎

輸出業

▼電氣事業調査

▼實業家及び渡米漫遊者の案内並に各種事業の調査

▼本邦製輸入品販賣の調査

本郷商會

主任　電氣技師　本郷湊吉

Tribune Building　154 Nassau St. N. Y. City

眼鏡師



視力検査專門…

F. I. FREDERICK CO.

Tel. Plaza …　…East 59th St

廣珍樓

QUONG GEN LOW　1931 B'way, N. Y. C.　Entrance 112 W. 65 St

今回食堂改築仕り特に日本人紳士諸君の御嗜好に應する様調理致し居り候

支那料理　倍舊の御贔負を奉希候

自午前十一時　至午前四時　開店

漢口樓

Hankow Restaurant　124 W. 3…th Street　New York

支那料理　日本人諸君…歡迎す

自午前十一時　至午前二時…開店

喜南樓

Beam Nom Low　480 6th Av. Cor. 29 St.

支那料理　美味にして清潔

午前十時より午前六時まで開店

化粧品卸賣

▲香水…イレットワォター…

▲…パウダー…

菊池商會

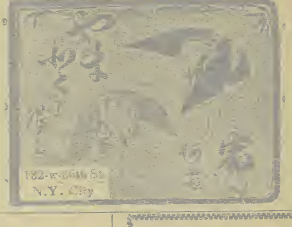
船具一切

船具材料…一切並に食料品…

櫻井弘

秘顯三務一切

Rector 4273



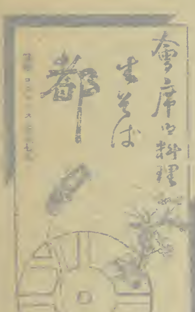
182 W. 56th St. N.Y. City

●…電話…コロンバス五二一五

御手輕御料理御下宿

大日本…

都





船舶貸借　貿易運輸　税關事務　艦船々具

日米海通社

NICHI BEI KAITSU SHA

ホテルニューヨーク

南加州…

IMPERIAL HOTEL

551 PINE ST.　San Francisco, Cal.

帝國ホテル

米國加州桑港パイン街五五一番

大北旅館

沙港…

化粧品卸賣

本店製香水、タルカンパウダー、フェースパウダー、…ゴダインセンスは…

パゴダインセンス

五味商會

●疑問の東洋館（七）

本稿掲出以來讀者の種々なる方面より有益なる證言、資料の供給を得たる次第なるが、一部の讀者は、半自的料理店東洋館に關する記事を以て頗る猥褻なりとなし、應に激勵の辭を寄せ來れり。然も同胞社會の風紀振肅を目的とする本稿は、未だ其の半ばにも達せず、東洋館の内外に纏綿せる事實の［illegible］は、已に回を重ね號を逐ひて發表せらるべく、特に館主石井の性行閲歴等を詳説する數篇に及ばゞ、更に讀者の深甚なる注意を惹起し、降魔の利劍が如何に峻烈に伏魔殿上に閃めき來るかを理解するに至るべし。［illegible］に禁むる位は朝飯前の石井は去る五日午後在留邦人中の眞面目なる人々より警告を與へられたるに對し全然本稿の事實を否認し出鱈目の辯解を試みたる事實あり如何に彼等の老獪と雜記事の遠［illegible］からぬ光景を露出するに至るべく、讀者などゝ刮目して續稿を待て。

▲問題の劇場（二）

君子の［illegible］は單に東洋館内に止まらずして館外に發現し、殊に西四十丁目第八十番のアパートメント［illegible］、火人［illegible］家僕として働き居たる有村貢の處に出入して來る際の如き有村は君子を［illegible］する［illegible］公の留守中、其日の午后有村の［illegible］入たる和田［illegible］之助氏が突然訪問［illegible］のシッタイルを作りつゝありし事實もあり、此事實に依れば君子は大膽にも自己一人經營のアパートメントに［illegible］用し、有村を［illegible］しも君子が果して如何なる現場に有村を訪問［illegible］如何なる［illegible］を［illegible］讀者に於て充分［illegible］。然るに有村の［illegible］同を［illegible］し得べきのみ。

有村は［illegible］が［illegible］なる［illegible］事實［illegible］の事實と前後して［illegible］金に在勤する［illegible］も亦東洋館に通ひを始め同館人［illegible］職業の［illegible］なる有村［illegible］君子の［illegible］に［illegible］の嫉妬心を始め［illegible］有村の嫉妬事件［illegible］月其夜海軍の某武官等と會飲の際有村馬の兩人はライドン式の大衝突を爲し果ては椀飛ぶの光景を演出［illegible］

［illegible］兩人とも軟化されて不［illegible］と名古屋の［illegible］を吉原ならぬ不夜城の噂でない「東洋館」夜の［illegible］を演じたるも［illegible］なり。お目出度き紳士淑の紐育ッ子は眞逆に秩序整然たる紐育の邦人社會に如此現象あらんとは豫期せざりしならんも［illegible］、石井が［illegible］巧みに［illegible］たる［illegible］を［illegible］すれば「或る［illegible］光も」［illegible］に對する峻嚴なる社會的制裁を加へんとの考も浮ばねば又其連中もなか［illegible］。疑問の東洋館」が出てし以來［illegible］然として長夜の夢より［illegible］めざるが如き事態を現出せるは畢竟吾人が筆誅の［illegible］ならずとすべきのみ

▲「［illegible］飲んで［illegible］載より」こ［illegible］

●酒を飲むに

▲テンヴァー［illegible］は非常な害［illegible］▼

投書籠

込み合ひ升から御手短かに願ひ升

［illegible］一［illegible］て、［illegible］事も無いのだ［illegible］、［illegible］のデンヴァーから［illegible］人の［illegible］である。それでも時々［illegible］まれて罰金を科せられるが

▲初犯が二百弗再犯二五［illegible］犯は閉店を命ぜられるそうだ。［illegible］は普通一杯の粗惡なホイスキーが廿五仙で、日本酒は中形のグラスに一杯廿五仙だが、［illegible］小兒が親の目を盗んで戸棚の菓子を頬張る樣に［illegible］の機會を利用して

▲飲み下すのだから［illegible］でチビ［illegible］と遣りながら禁辛を甜めるなどつてな芸當は夢にもできぬ。ホイスキイを輸入するのに隣の州から自動車で運んで［illegible］に事が發覺してから其檢閲が八釜しくなつたので［illegible］方法を苦心して居るだ

▲タイヤの中に空氣の代りに酒を詰める［illegible］案もあるそうだ。［illegible］多年の習慣で無いとなると［illegible］飲みたくなるのが［illegible］の通弊だから此のセメントに投じた代用品［illegible］ヤ●ビーヤ［illegible］よりビーヤ」が盛んに賣れる［illegible］品は色から［illegible］する工合から一寸［illegible］の處までもある

▲ビーヤ其儘だが幾ら飲んでも醉はないと言ふから今に［illegible］の胃病患者が續出する處で醫學博士［illegible］が療法研究の結果妙藥を發見するとに成る其妙藥を胃病患者が服用すると陶然として仙境に遊び病苦も退ると云ふ［illegible］になるだらう。

▲記者さん東洋問題はしつかりやつて貰ひやしよう一度筆を大上段に構へた以上曖昧な太刀打はなりません記者を強迫する様な陰武者は若［illegible］其様な者共が出たら吾［illegible］蘇州以來腕に覺ゆの［illegible］を揮つて叩つ切る（［illegible］旋風）▲女が不自由でもあるまい我が教會は近頃婦人を大事にしてこまる道德罪前科の女が再婚してしまし込んで日曜説教を聞きに來るのは我［illegible］眞正クリスチャンの大迷惑だ神は偽善者を滅ぼす時が來るであらう（［illegible］神の子）▲江戸の仇を長崎で打つ論法で東洋館の記事は推定論と題［illegible］讀まれるが記者は［illegible］片［illegible］しやないか［illegible］は種々の報告者も［illegible］知されるが［illegible］の推定論は如何に［illegible］（［illegible］者）▲［illegible］の［illegible］ちやん［illegible］洋館で［illegible］騷ぎなさると［illegible］件や［illegible］の事を［illegible］も知つてる▲九十五丁目でア［illegible］附近に［illegible］の［illegible］日本［illegible］居る西部から逃げて來た例の［illegible］の女ではないか［illegible］の［illegible］込む［illegible］があるそうな［illegible］生）▲［illegible］たまには黑毛も引いて［illegible］高等［illegible］な人いない月見の下女を［illegible］な［illegible］球を抱いて［illegible］と云ふが［illegible］館の如きは客を抱いて［illegible］だね（［illegible］概子）

The Japanese Times

紐育新報

THE JAPANESE TIMES

汽船運賃暴騰問題（中）

[illegible]

●船舶取締法制定

本社東京特電（九月十一日着）

[illegible]

●早稻田學長問題紛糾

[illegible]

●東北大學總長の任命 [illegible]

●高等學校 [illegible]

歐州戰爭

[illegible]

●紙類原料の輸出禁止 [illegible]

●練習艦隊長任命 [illegible]

●犬養氏の支那視察 [illegible]

●新選議員候補者略々決定 [illegible]

●大隈侯 [illegible]

●佛國內閣 [illegible]

▲農會の [illegible]

加州農談

[illegible]

▲現在の [illegible]

石井特派大使第二回會見

鐵禁輸解除問題

石井特派大使大歡迎會廣告

三、會費
四、服裝　燕尾服
五、出席者　日米人男子に限る
六、申込期日　九月十五日限り
七、出席申込所
紐育日本人會（第五街一一五四）
中中商會
八、團體申込　八人若くは十人の
團體にて一卓を取り…
豫め申込所へ通知相成度候事

主催者　日本倶樂部
紐育日本人會

家具賣却

謹告

各位

「千歲」山本

臨時急報告

王一君死間

尋人

英語教授

▲サークル・ページ▼

東洋館の眞相（八）

本稿は從來「紐育の東洋館」として[illegible]れるか東洋館[illegible]の執行[illegible]及び營業の方針其者は[illegible]正に[illegible]との問題なる[illegible]を讀者に[illegible]るを言するを[illegible]本號より[illegible]材料の東洋館[illegible]の標題の下に本稿を継續すべし[illegible]本稿の目的は[illegible]豫[illegible]如く[illegible]紀綱の第一着手として[illegible]怪現の[illegible]報道するに在るが故に東洋館の依頼に應じ誹[illegible]の[illegible]を提出[illegible]目的の下に本稿英譯の任に當ら[illegible]氏若[illegible]の要求[illegible]本稿の目的を阻[illegible]飛躍に對し[illegible]若し彼等[illegible]積極的運動を[illegible]吾人は喜んで[illegible]カウンター●アタックを爲す[illegible]のみならず進んで彼等が[illegible]行動を執るに至りたる徑路を[illegible]するに躊躇せざるべきなり。尚ほ茲に附言すべき[illegible]號所[illegible]有村對君子の記事、有村有馬の[illegible]事件の記事と就[illegible]田君の[illegible]氏が何等か故意を以て本社に密告せるが如[illegible]本社の獲得せる材料は[illegible]各方面より[illegible]せる者[illegible]田氏の[illegible]が如き[illegible]事實の正[illegible]氏に[illegible]たるに對[illegible]證明を[illegible]に過ぎず[illegible]常識[illegible]東洋館[illegible]の事件に關し[illegible]田氏を[illegible]事實の眞相を曖昧に附せんと試むる者あ[illegible]特に[illegible]爲に[illegible]

▲問題の[illegible]

[illegible]君子に對し[illegible]なりし[illegible]は或夜東洋館の[illegible]中最も柔[illegible]る某[illegible]ターの來飲せる[illegible]の[illegible]一回多[illegible]は[illegible]に君子[illegible]の爲め出張して宿[illegible]するを[illegible]とするかフィ君の[illegible]は[illegible]なるを[illegible]とし[illegible]時[illegible]とも[illegible]は[illegible]運した[illegible]右の[illegible]事實存[illegible]れないが諸君[illegible]者は大に[illegible]イス[illegible]ター をサービスし[illegible]に[illegible]必要だ[illegible]を[illegible]き時を[illegible]營者に非ずと公言し二[illegible]を[illegible]を[illegible]行するを[illegible]顧問役として孤鼠々々運動を試みんる一方[illegible]必要[illegible]て[illegible]するなど甚だ[illegible]口才の[illegible]なり生酒を[illegible]で[illegible]なしだ東洋館[illegible]只だ[illegible]何物[illegible]

[illegible]は[illegible]一行の[illegible]結[illegible]の新[illegible]
[illegible]ピーター[illegible]先生は▲ブーカ●ワシントン崇拜者と自稱（英[illegible]

[illegible]主唆し[illegible]防害せりとな[illegible]に觸れる事ある[illegible]一君[illegible]と文子とはフィ君對君子の[illegible]坊[illegible]東洋館[illegible]關係を[illegible]フィ君が有力なる會[illegible]は[illegible]を助成するも[illegible]に於ける地位に在るを利用して[illegible]此際[illegible]を放逐すへく[illegible]送別等の宴會周旋掛を申付[illegible]の[illegible]を行ふべ[illegible]會[illegible]條件とするなど[illegible]なき外交振を發起を待つ[illegible]▲東洋館は[illegible]

投書欄

込み合[illegible]から御[illegible]かに[illegible]

□一しらじらし□

犬ならばお互に匂ひを嗅合つて他人と云ふ見極めをつけた場合に如何にも愛[illegible]のない他人らしい別れ方をするのだが匂ひも嗅がずに初めから他人と云ふ事を知つて居る人間はお互に[illegible]を投げ合ふと同時に餘りに「他人」を明白に現はして摺れ違ふ日本に居た時知らぬ紳士が[illegible]を交換して歩いたのでは無いのだから外國の街上で會つたとて何にもお[illegible]辭儀の必要は無い譯だが扨[illegible]それで居て妙に冷たさを感ずる。試みに[illegible]衛を乎[illegible]し一の條を見ればよ[illegible]あらはなりの[illegible]なし。[illegible]ある」さう



紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Semi-Weekly by JAPANESE TIMES Co.
23 Sixth Ave., N. Y.
Subscription Rates ... $2.00 per year, postage ...
Entered as second-class matter ...

滊船運賃暴騰問題（下）

當業者の通信農商務兩大臣に宛てたる[illegible]なる者に依れば、米航運賃一噸十弗以上となりたる爲め[illegible]輸入不可能となりて全然商取引を中止するに至りたる品目は例へば、綿木綿類に於て百五十万噸、[illegible]、紙類[illegible]五十萬噸、[illegible]二百万噸、陶磁器[illegible]一百五十[illegible]、[illegible]業者は[illegible]來對米[illegible]の關係[illegible]の運送に運[illegible]工場を中心として生衣食の途を得つゝありし幾萬の男女職工等も一[illegible]の危險に迫り對米貿易上著しき[illegible]を蒙りたる次第なり、[illegible]加之[illegible]會社が知る品目に對して[illegible]を[illegible]したる[illegible]を以て假に一噸十五弗の運賃として計算すれば[illegible]の如き性質のものは日本の仕[illegible]一國の[illegible]は米國[illegible]五十仙乃至一弗乃至三弗。[illegible]は一弗[illegible]の實[illegible]なる[illegible]となり折角市場を開拓して[illegible]を築きつゝありしものを[illegible]市場より駆逐したると同一の結果を示すに至りたるは單に當業者の利害得失より計算するにあらず日本貿易上[illegible]等閑に附すべき[illegible]なり

[illegible]の一般[illegible]は[illegible]の[illegible]騰貴[illegible]せしは[illegible]

[illegible]使用人給料の増加等が決して[illegible]運賃の暴騰は自然の結果なりと云ふにあらんも[illegible]各滊船會社配當率の前代未聞なるはなしとも異常の利益を獲得しつゝあるを語る者なるが故、戰時に於ける航海業の發展[illegible]對米貿易[illegible]必ずしも[illegible]すとの[illegible]工業を[illegible]日本の[illegible]

のみ[illegible]國家としての利害[illegible]多大の營業を[illegible]するに躊躇せず各當[illegible]に[illegible]ざるもの也と業者の要求を[illegible]一條の活[illegible]なるを[illegible]得べからず、最近路を發見するは實に刻下の急務なり[illegible]の東京特電に依れば政府は緊急勅令と謂はざる可らず要は貿易業者滊船[illegible]を發布して日本船舶の應急的管理方業者共互に我利々々主義を固執せず[illegible]の設定を[illegible]の一項をも其中に政府當路者と協定して以て運賃暴騰[illegible]加へあつたに[illegible]るが吾人は問題の解決を期すべきのみ

本社東京特電（九月十四日着）

●早稻田大學々生の同盟休校

早稻田[illegible]にて紛議を重ね居たる早稻田大學は教授の連袂辭職等に次ぐ形勢頗る不穩となりたるが十一日夜三千の大學生は同講堂に於て[illegible]協議會を開催し理事其他當路者の無能を攻撃し辭職勸告を爲すの件を可決し右問題解決迄同盟休校すべしと云ふに決したり

●張繼、戴天仇の原敬氏訪問

南方派の代表者として支那の實情を日本の朝野に訴へんが爲めに去月二十日入京したる張繼及び戴天仇の二氏は從來支那政局の混沌たる狀勢が多くは北方派の手に依りて傳へられたる爲め非常の誤解を招きたる點を力說しつゝありしが目下盛岡に歸省中なる政友會總裁原敬氏を訪問して其の聲援を懇請したり

●金輸出禁止の勅令發布　本月十二日我政府は金の外國輸出を禁止する旨を緊急勅令に依りて發布したり

●飛行家立石氏墜落　本月十日岐阜縣大垣にて飛行を試みたる立石闘治氏は飛行中墜落したるが自身は幸に負傷せざりしも見物人中飛行機の下に壓死せる者一名重傷者十名を出せり

●一億圓露國借款決定　露國[illegible]内相談中なりし露國借款は愈々銀行團の同意を得て日本より一億圓を貸付くることゝなりたり

●土居通夫氏の逝去　大阪商業會議所會頭を兼ね宇治川電氣、大阪電燈、大日本麥酒會社等の重役にして關西實業界の重鎭たりし土居通夫氏は久しく病氣の處遂に起たず本月十日逝去せり氏は天保八年生れ宇和島藩士[illegible]にして明治初年の頃[illegible]判事等に歷任し後[illegible]實業家となり[illegible]實業界に入り以[illegible]

極東及歐洲

●豫算一億の増加　大正七年度の豫算概算書は各省より大藏省に回附されたるが前年度に比し約一億圓の増加にして大藏省に於ては直に查定を開始したるが終了次第閣議に於て最後の決定を見るべし如斯激増を見たるは各省共何れも積極的計畫を立てたる爲め自然非常の膨脹を來したるものにして其調節は容易の業に非ざるべく其財源を如何にして得べきかは最も重大問題なり

●在上海邦人の寺內々閣攻撃　寺內々閣の對支政策が北方を援助するの傾向顯著なるは輿論の非難を加へつゝある處にして爲に南方支那人の反感在留邦人の上に加はりて諸般の不便と不利益を蒙ること少なからず右に就き上海在留の日本人は大會を[illegible]寺內々閣の對支政策[illegible]野に[illegible]せり

[illegible]都にては同日數千の市民が獨逸公使館、獨逸新聞社、獨逸人倶樂部及び商館等を襲ひ火を放ちて暴動的行動を執りし爲め巡査及消防隊は全力を盡して其鎭壓に努めたるも暴徒の勢ひ猖獗を極め大部分の獨逸建築物は破壞せられたり、尚ほ同日正午亞爾然丁政府は獨逸公使ルクスブルグ伯に與ふべき旅券を[illegible]

石井特派大使歡迎會に就て

石井特派大使歡迎に關しては紐育市を代表せるアダムソン外數氏の委員田中の上親敷大使に會見して正式の請待をなしたる結果大使は快諾の旨を答へ本月二十六日來紐の事に內定したる次第なるが、邦人側の歡迎會は本月末日前後をトしホテル●アスターに於て開會するに決したり而して當夜は紐育市長其他知名の米人數十名をも陪賓として招待すべく申込締切期日は十五日なりしを更に二十日迄延期したるに付出席希望者は此際至急申込まれ度しとの事なるが尙歡迎委員豫定の行動として右大宴會開催前同日午後六時半を期し大使一行をカーネギー●ホールに請待して在紐官民一同のレセプションを兼ね大使に懇請して一場の演說を乞ふの運びとなり居る趣につき孰れ大使より正式の承諾を得次第改めて委細報道する所あるべし

●露、獨、瑞典三國の關係　[illegible]ストックホルムよりの[illegible]に依りて瑞典[illegible]共和國に於ける[illegible]問題は著しく世界の耳目を聳動し瑞典並に[illegible]の[illegible]非難するの聲高まりつゝあるが[illegible]所報の如く[illegible]外交文書として[illegible]の汽船擊沈の提議をストックホルムに[illegible]更に伯林に轉電したるなどは、如何に獨逸の狡猾なる手段を弄せるかを摘發したる次第なり然るに從來親獨の傾向を帶び居たりし亞爾然丁共和國民は却て反獨思想を抱くに至り去る十二日[illegible]

●露國內亂の其後　[illegible]の[illegible]は殆ど[illegible]の見込なき如し[illegible]進行[illegible]アレキシーフ將軍は[illegible]の變化の結果全[illegible]降服するに至りクレンスキー氏自ら總司令官となりアレキシーフ將軍は[illegible]參謀長となり同時に內閣の改造を行ひたる爲め稍小康を得つゝあり一時不通となりたるモスコー、フインランド[illegible]間の鐵道も復舊せり

●ベーンストーフ伯着任　ミカエリス內閣の外相に擬せられたる前駐米獨國大使の同伯は現外相クールマン氏の後を襲ひて土耳古大使に任ぜられ既に任地に着したるを以て[illegible]

●ワルソーに於ける慘狀　米國々務省より發表せられたる六月中ワルソーに於けるポーランド人の慘狀を詳叙せる報告に依れば饑餓に瀕せる者續出し上流の婦人十人中自家の財産等を悉く[illegible]押收されたる爲め街路に立ちて食を乞ふに至り斯くして餓死せる者續出したるが其慘狀見るに忍びず而も之に反して獨兵は飽食の狀態に在りと

●羅馬尼亞に於ける露軍　最近の倫敦電報はルウマニヤ方面に於ける露軍の攻擊を再開せる旨を報じたり

●英佛戰線の近情　ヘイグ元帥統率の下に在る英軍は目下サンクアンタン方面に活動中なるが獨軍は數回逆襲を試み去る火曜日午前ヘルジクール附近に於て激烈なる戰闘の後獨軍を退却せしめたる旨倫敦電報に見えたるが巴里電報に依れば佛軍はシャンパーニュ方面に於て攻勢を執り獨軍の第二線を踏破して北部に壓迫しつゝありと云ふ

時事雜感

今西兼二氏談

記者が、在紐長老の一人として財界の[illegible]を有する臺灣銀行紐育出張所[illegible]の任にある今西兼二氏を訪問したのは十二日の午前であつた。[illegible]

▲兎に角自由公債第一回募集に就て[illegible]らそう云つた樣な傾向があつたと[illegible]ある、余は米國內の銀行家及び[illegible]務省の意志も其邊の處にあるのではないかと思ふ、現在の有樣では[illegible]心に所謂取越苦勞を與へて不安の念を促がす位に過ぎぬと思ふ、日本の鉅額の如きは至極少額であるのみならず臺銀取扱の分のみでは實際の量を知ると云ふ事は不可能な事である、

▲氏は[illegible]を轉じて在紐同胞の[illegible]に關する所說を吐露しながら昨今四十七街のフルトン劇場に於ける「[illegible]ウン」と題する排日的演劇に關して語つて曰く多數の親日的米人と[illegible]予の友人達は[illegible]予に[illegible]して[illegible]の忠告をして來るが[illegible]同胞の[illegible]が該劇に[illegible]して[illegible]新聞などは彼等に[illegible]する處あつて可然ではあるまいか、同胞青年中[illegible]もすれば堅實の思想の[illegible]するのは遺憾千萬な次第である社會的制裁の弱い同胞社會は實に[illegible]哉と謂はねばならぬ云々

経育新報

石井特派大使大歡迎會廣告

會費　一人に付金五弗

四、服裝　隨意服

五、出席者　日米人男子に限る

求

責任を以て一部を専擔し得る人物、

日英文語に通ずる高等教育又は貿易に經驗ある者

初年は普通の給料に始め追ては利益分配の條件、

應募者の文通又は來訪を待つ

寄附金募集廣告

一、寄附金は一弗以上とす

陸海軍戰時慰問委員會本部

■緊急廣告■

本紙第八千[illegible]

▲昨今[illegible]

▲新しき[illegible]

▲日本人[illegible]は都合に依り[illegible]

▲在[illegible]上八月[illegible]

[illegible]一日

紐育市[illegible]

日本[illegible]本部

[illegible]

[illegible]重役に[illegible]

[illegible]以上、こんな虚偽は成立しない

殺するなら、[illegible]のごんぞを叩ら、[illegible]よろした、藝術である。

的自は御免だ

だが僕のどんこを叩いたら、

自殺しければはならないやうな事は

[illegible]にありはしない。

[illegible]ない西の文藝なんぞにかぶれて[illegible]

エー君の死を聞いて

佐々木指月

[illegible]何に[illegible]これはかうだ[illegible]そこめ[illegible]まは[illegible]なければならな[illegible]事といふもの[illegible]はありやうな[illegible]論を[illegible]

に可愛想なのは、その母を失つた[illegible]やんとふ子だ。

女には[illegible]を持つ、さぞ死に[illegible]

死ぬなしな事は、この僕に[illegible]は合点がいかぬ。(終り)

●[illegible]まで

[illegible]し響[illegible]て印刷機が停つた[illegible]ネギーが、新聞の刷上[illegible]を待てつ社員の頭に傳は[illegible]

[illegible]ジョーと伊太利人のプレスマンは[illegible]居るが[illegible]機械へ[illegible]込んで破損[illegible]

[illegible]油に汚れた掌に[illegible]握つて出[illegible]

[illegible]

▲夜が[illegible]入[illegible]

[illegible]

◆歌日記の中より（一）

[illegible]しつこと夜の[illegible]草むらにすだ[illegible]

[illegible]海に入る白きさと[illegible]此夕[illegible]

[illegible]それに葬式馬車の行くも[illegible]

[illegible]

新報詩[illegible]

■家具賣却

、四室アパートメント備付の家具格安にて至急賣渡し度し

姓名在社

廣告

■英語教授

Mrs. [illegible]

[illegible]

■謹告

[illegible]

各位

大正[illegible]

「千歳」山本

■詩人■

[illegible]

右の者に通知致度義有之候間本人若くは知人より其の現住所申出られたし

紐育帝國總領事館

■英語教授

ENGLISH lessons to foreigners, by experienced teacher. [illegible]

Miss Spencely, 60 West 53rd St.

Tel. Circle 1664

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

日本風果物キャンディ

弊店製フルーツ●キャンディの特色は品質の精良は勿論美觀と佳味とを兼ね居候爲め夙に米人顧客の好評を博し[illegible]大[illegible]

尚婚儀、誕生、クリスマス[illegible]に祝賀用品及び店頭装飾用[illegible]テステック●キャンディも御注文に應じ卸小賣共精々勉強可致候御用命仰付られ度願上候

エム●ロープ商會

濱吉太郎

M. [illegible] & COMPANY

[illegible] W. 150th St., City

Tel. Audubon [illegible]

婦人服御仕立

[illegible]卒業

武藤タニ

[illegible] N.Y. City

Tel. [illegible] Nicholas [illegible]

日本食料品[illegible]

[illegible]

片桐兄弟商會

豆腐粉

[illegible]



眼鏡師

F. I. FREDERICS Co.

Tel. Plaza [illegible]　[illegible] 59th St.

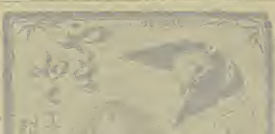
[illegible]

廣東珍樓

●自午前十一時
●至午前[illegible]時

漢口樓

[illegible]



N.Y. City

化粧品卸賣

[illegible]

菊池商會

[illegible]

船具一切

[illegible]

都

[illegible]

日米海運社

NICHI-BEI KAIUN SHA

ホテル ニユーヨーク

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

大北旅館

パゴダ　インセンス

化粧品卸賣

五味商會

大和

[illegible]

●料理 東洋館の眞相

▲問題の内幕　[illegible]以外に[illegible]を行ふ者あり[illegible]なる報告を齎らし者あり[illegible]子、百合子、春子並に[illegible]此の[illegible]排除を[illegible]は[illegible]の妻なりやとの疑[illegible]に[illegible]たる事實あり、尚[illegible]關係に就き[illegible]係は親子三人共一時同市を立退か[illegible]する際自身確然たる[illegible]する事情となり、[illegible]を聞き[illegible]（此事件[illegible]料理店を經營し[illegible]然るに姉妹の如きは一見瀰[illegible]の少女に過ぎず如何に商賣と[illegible]

[illegible]めたるを[illegible]目の[illegible]

●戀敵に威されて

[illegible]に逢ふ[illegible]を後にして羅府に[illegible]縦貨を數[illegible]を有する[illegible]ハア[illegible]あれ[illegible]粹人は先刻承知の[illegible]一公、飾りに多數の[illegible]は紐育[illegible]に[illegible]紐の際に姉の嬌態に[illegible]た若無人の風を[illegible]込む[illegible]を作るの[illegible]き此の○○有○○部長、日本から[illegible]善後の[illegible]講ずる万策尽きて[illegible]公時間は[illegible]急轉する事實さ[illegible]に夜になるの待ち兼ねて可愛[illegible]良心の[illegible]る彼等は冷然として[illegible]に夢となてる中に、儘にならぬ[illegible]此の書[illegible]た浮の風が二人を吹き別たり、右惠美子と百合子[illegible]月下[illegible]處が部君も用務を終へて[illegible]同[illegible]に於ける[illegible]左右[illegible]道歸の途に就き桑港まで[illegible]に至りたるを以て親子三人共[illegible]然しロサンゼルス方面[illegible]したり[illegible]惠美子百合子と[illegible]後して春子と稱するアルコホル中毒性の[illegible]婦も出現し、姉酌婦[illegible]たるが[illegible]より附き纏ひ來れる[illegible]夫[illegible]大衝突を生ぜし結果[illegible]動をあやたるに[illegible]石の[illegible]廬春子を他へ[illegible]の噂も七十五日以内[illegible]消え失せたるを奇貨として再び春子[illegible]は所謂新らしい[illegible]たる程の淪落女にして[illegible]若し[illegible]なる[illegible]を蒙らば[illegible]外[illegible]場合によりては[illegible]して料理店を[illegible]營し[illegible]身女[illegible]不配を[illegible]時機の到來を待ち[illegible]あるもの丶如し、[illegible]後の[illegible]田の[illegible]は[illegible]好ノ物なりと[illegible]評[illegible]の方面に[illegible]見[illegible]

和人ヒヤニスト入用

[illegible]を問はず（可成婦人を望む）ピヤノ・プレイに堪能なる者一名至急雇入れ度し、週給四十弗、希望者は左記へ申出あれ

Lady Sidamai, Apt. 4?
[illegible] Broadway City

▲船の出[illegible]のだ[illegible]不都君[illegible]合の數々を並べ立て[illegible]詰問に及ぶと取押へフラッシングの警察署へ拘留[illegible]春夢未だ醒めやらぬと云つたそうだ、つまり主人の本職を透たるい調子で、實は未だ歸つて來る[illegible]に應用した喜劇を演じて客より答[illegible]は無かつたが先[illegible]欲しいた迄の事だ[illegible]

▲あの子と二人で餘り猛烈に發展したものだから、あの子と以前から關係のあつた男に怨嗟[illegible]されたので逃げて來たのさ[illegible]色男にカ[illegible]が客は[illegible]アンダリで[illegible]仕なかつたらう

●客より先に失敬する

[illegible]役者として有名なアーノルドデイリーの夏莊（ベイサイド●ロングアイランド）へ新らしく傭はれたヂヨー●イタ（伊藤？）と云ふ日本人は去十一日主人が客を招待するので酒藏の鍵を渡されたのを幸に元來左が[illegible]

[illegible]の無いのは昔しからの通相場だよ、と部長君が怒氣たそうだ。部長君は今頃船の中で、あの子と二週間後には逢へる『キーサン』との夢を見て居るだらう。

投書籠

込み合ひ升から御手短かに願ひ升

▲お君も一旦生れ落ちた以上は此の天地に呼吸するの權利がある、[illegible]ふが嫌なら其の蘇州以來の斧とやらを提げて來玉へ拜見しやう、尤も木造のなら吾輩も持合が有る（答戯）▲愈角遊會を遣るのは贊成だ殊に今度の委員は顏觸れが變つて居るので面白いシント力瘤を入れてしつかり御願み申升（戸外運動家）▲葬式屋から日本人會を訴へたと云ふ珍談があるが要するに從來凡骨先生達が無責任の事務取扱をした罪だよ（責任自覺生）▲風紀振肅問題を提げて在紐同胞の覺醒を促がすは正に好個の時機にあらずや慷慨悲歌の諸君何ぞ奮然として蹶起せざる（警八生）▲君子と戀仲であつた一青年がワイの爲めに失戀狂となり夫れにこんがらがつて悲喜劇一幕を演じたことを御存じですか（桑港生）







紐育新報

THE JAPANESE TIMES

親支政策と疎日

[illegible]

大陸商業銀行の重役ニートン氏と共に今年渡支の上支那の政府及び經[illegible]

なり。

極東及歐洲

[illegible]

●對支警告の協議 寺内首相を[illegible]大臣何れも内閣[illegible]る獨探を嚴重に[illegible]府に警告すること[illegible]石井特使と國務卿[illegible]盛頓に於て協議[illegible]

●青山博士の辭職 東京帝國大學醫[illegible]山胤通氏は辭職[illegible]士隈川宗雄氏其[illegible]となる

●星野博士の逝去 東京帝國大學文[illegible]星野恒氏は九月[illegible]

石井大使歡迎準備變更

石井特派大使一行の着紐は本月二十六日と内定し居たるとは本紙既報の如くなるが同日は猶太人祝祭日に相當する由にて紐育市當局者よりり二十七日着紐せらるゝ様變更方取計はれ度しとの希望あり去る十七日歡迎委員長ゲーリー氏、矢田總領事等市廳に會合の結果其旨をワシントン滞在中の石井子爵へ宛電したり同時に邦人側歡迎會開催の期日を日曜日即ち二十八日と内定し置きたるに對し歡迎準備の都合上出來得る丈け在紐官民の誠意に對し滿足を與へんとの趣旨にて都てのプログラムと共に十月一日頭に變更出來間敷やとの意見に基き矢田歡迎副委員長、牛窪會頭等準備委員長等協議の上牛窪氏は十八日早朝ボストンに急行大使に面會して正式に歡迎の意を通じ併せて期日變更の陳情をなしたるが本紙締切迄には未決なりしに付委細は次號に報道すべし

紐育市の第一印象

山中嵐江

一秒を爭つて

[illegible]一秒を爭ふ忙しき人と物と[illegible]高樓大を摩し、夜は燦爛たる電燈が[illegible]我等赤毛布は[illegible]此强烈なる刺戟を[illegible]一時に受け入るべき餘裕なく[illegible]いふより外に何にもない。活動の紐育、奮闘の紐育といふことは無論前から聞いて居たが、建設の紐育といふことは、自分に取つて[illegible]

新らしき印象

[illegible]であつた。他の多くの大都會に比し紐育の道路の[illegible]

十一月十二日から開場するメトロポリタン歌劇場のプログラムの中に[illegible]

石井特使一行の消息

▲ニユーポート市長の歓待

▲[illegible]に会談す

[illegible]行はある[illegible]ニユーポートに到着し[illegible]ランド州ニユーポート[illegible]名なるロード[illegible]ペノ[illegible]ルモ[illegible]大佐の賓客として公式には州知事ピーツー及び市長[illegible]デツク[illegible]氏の歓迎を受け其他[illegible]交[illegible]一行に到着[illegible]

[illegible]

[illegible]一行順次に拝禮[illegible]

[illegible]費用を加算すれば多少[illegible]ふ可しと観測さる

● [illegible]船[illegible]の拝[illegible]各港に於ける和蘭及カンテナ[illegible]の[illegible]船舶[illegible]七十五[illegible]価約一億五千万弗は[illegible]出港[illegible]合衆石[illegible]不許可の為め継続する能はざる由なるが如上客船並に荷物船の大部分は、ドソン河に投錨[illegible]船五十二隻、和蘭船五十隻等は其の重なるものなり

紐育と同胞

●外國語各團体の代表者會　第二回自由公債募集に努力する目的を以て聯邦準備銀行第二部主催の下にノオ[illegible]

石井特派大使 大歓迎會廣告

米國特派全権大使石井子爵閣下の一行は遠からず紐育市々賓として来[illegible]可相成候に就ては日米國交上重要なる任務を帯び渡米せられたる一行長途の旅情を慰し在紐官民の徴意を表し候為め大歓迎會相催度候間左記の事項御諒知の上奮て御出席相成候様此段及廣告候也

一、會場　ホテル・アスター

一、期日　九月三十日前後

[illegible]

一、會費　一人に付金五弗

右は決定次第更に廣告可致候

紐育日本人會

米國[illegible]事

[illegible]年代に依れば[illegible]八百七十八回目の[illegible]

第三回舟遊會

第三回舟遊運動會を例年の通りハドソン上流に於て擧行致すべきに付き本會々員並に其他の諸君は左記の事項了承の上奮つて来會せられん事を希望す

一、場所　ハドソン河畔ストニーポイント

一、期日　九月廿三日（日曜日）

一、會費　一人に付五十仙

一、出發地　バタリー・ドック

一、船名　シー・ゲート

一、乗船時間　午前九時

一、出帆時間　午前十時

▲注意事項

一、當日は他に幾多の遊船同所に向け出帆するに依り船を間違へざること

一、辨當は船中にて販賣す

一、[illegible]あれば[illegible]團体及本會事務所等[illegible]に請求せられ度し

紐育日本人會

●謹[illegible]本[illegible]會計[illegible]月廿三日とせし[illegible]は九月廿三日の間違に付正誤す

[illegible]

●矢野[illegible]の[illegible]は在欧戰地[illegible]病兵[illegible]同の目的を以て日本よりの古繪端書を在紐篤志家より寄集し之を白五十枚一冊とせるアルバムに調製して[illegible]戰病院へ寄贈せんと目下[illegible]中の由

●矢田總領事夫人の歸紐　七月下旬より加奈太地方へ避暑中なりし同夫人は令孃同伴去十四日夜歸紐せり

●澤邊四郎氏の[illegible]社々員の同氏は[illegible]滞在の見込にて十七日[illegible]出發せり

[illegible]商會の支店新設　神戸輸出入商永井商會は今回東十七丁目第四十五番地に支店を新設し[illegible]三郎氏主任として廣く輸出入業に從事する由なるが目下は本店主人永井秀吉氏本店輸出部主任山口元三郎氏販賣主任ゲイリイ氏等活動中なりと

[illegible]十四丁目五百番に[illegible]

謹告

拜啓陳者下既[illegible]候に相成[illegible]御歸紐の期も近まり[illegible]室内大掃除を企て候處持主不明のトランク其他の雑品多々有之[illegible]之を生じ[illegible]致し[illegible]候間御心當りの方は[illegible]十日[illegible]迄[illegible]に於て處分可致候に付右御了承の程及御依頼候也

大正六年九月[illegible]日

「千歳」山本

各位

御披露

[illegible]

東京[illegible]

岩井松太郎

各位

家具賣拂

一、[illegible]アパートメント[illegible]付の[illegible]

姓名[illegible]社

タキシの御用は

[illegible]

緊急廣告

本社加入者の運賃特典[illegible]

▲[illegible]運賃値上げされたり[illegible]値上げ[illegible]ず、[illegible]に[illegible]二等待遇に[illegible]運賃なり

▲船腹不足の爲め[illegible]會社は各團體に對し人員制限の通告を發せり

▲[illegible]に限り●●●●●●●●●●乘船券を[illegible]加入者は[illegible]乘船し得

▲[illegible]者は[illegible]人分の[illegible]

▲[illegible]月三十[illegible]

[illegible]
日本詩間[illegible]本部
責任者　林富[illegible]

[illegible]なしで[illegible]に[illegible]なるものでなければなりません。さらば其[illegible]に[illegible]きな『氣分』が[illegible]出されるであるとせう[illegible]其の偉大な『氣分』を[illegible]ところに[illegible]きな『詩』――大きな[illegible]ンチメンタリズムが生れるのであらうと存じます。

[illegible]みに『文章世界』七月號の選歌を見るがよい。選者は土岐哀果氏でありますが、一等に入選した歌に

何事ぞこの白日の靜けさは、はつと思へば機械のひゞき

といふがあります。この歌は修辭の上から云へば、一向詩的趣味の無い[illegible]たものではあるがしかし[illegible]に恐ろしい或る力がひそんでゐるやうな感じを惹き起させます。選者の評にもある通り――天地は今さら[illegible]とした白日の光の中にひたつて、しばらく音がない。動くものもない聞ゆるものもない。このまゝこの靜寂がつゞいたら人間の呼吸も絶ねるばかりである。と、急に機械がけたゝましく響く。それに襲はれた人の全肉體は、このときブル/\と顫へたに違ひない。その『靜寂』は外界の靜寂であつたか、はた作者自身だけの感得した恐ろしい靜寂であつたかそんな事はドチラでもよいとして更に[illegible]近代社會の恐怖といふやうなものがひし/\と胸にこたへて來ることにこの歌の生命がある[illegible]であります。[illegible]氏の評の梗概[illegible]これは私の作歌の態度に裏がきするものであります。私は戀歌一つ[illegible]

[illegible]の藝術的本領が認め[illegible]あり度い。徒らに他人の模倣をする[illegible]といふ事は大いなる虚僞であります[illegible]に表裏に私淑し、夕べに牧水を[illegible]やうでは、その人は確つかりした自己[illegible]が無いワケになります。いかに[illegible]ものでも自己の藝術的本領を尊[illegible]しそれを育んで行くといふ心がけが肝要であります。

序に紐育歌壇の人々を批評しやうと考へますが餘白がないからいづれ何かの機會に又書く事にいたします

●作歌の態度

由巻　[illegible]

[illegible]小[illegible]乃[illegible]は繪書[illegible]かへ[illegible]に改めて[illegible]もない事であります[illegible]の作歌と[illegible]者自身の本領[illegible]氣分な[illegible]つくり相[illegible]して[illegible]歌を論じても作家の[illegible]生活のひらめきが判明[illegible]まうへ

[illegible]が[illegible]生活に[illegible]場合、[illegible]

[illegible]

●白面登山途上

桑山　野母利繼

豪氣[illegible]脚白[illegible]山　連峰望得[illegible]
[illegible]大空[illegible]猶[illegible]　千峻萬岳山又[illegible]
人馬不進[illegible]頭嶮　總心[illegible]勇[illegible]難[illegible]
行程一句求草[illegible]　夕陽斜[illegible]

■尋人

[illegible]
金澤[illegible]
田中孫七
[illegible]石[illegible]
惠谷[illegible]吉(廣島)
増岡勘吉(東京、[illegible]ラレクマツト)

右の者に通知致度義有之候間本人若くは知人より其の現住所申出られたし

紐育帝國總領事館

紐育タイムス

（前略）[illegible]タ・・・ときくはいかないが、チエンジ[illegible]ト・・・ド●ズ[illegible]レ●マクレオド[illegible]ふうらしい和蘭[illegible]の舞姫[illegible]が、寸氣のきいた[illegible]顔の持主[illegible]

[illegible]なんていふ[illegible]父親に[illegible]彫刻家で[illegible]

[illegible]にスメー・チルトと云ふ[illegible]のマータ・ハリ[illegible]

[illegible]アーノルドを自分のそばへ[illegible]

その晩の、メイベルさんの[illegible]メイベルから[illegible]

[illegible]メーベルは、泣きそうになつた[illegible]あまた道具を[illegible]ある處を見せつけたり、それはなか〳〵の[illegible]秘術をつ[illegible]

舞姫の獨探

▲マタ・ハリ[illegible]名手

[illegible]メイ・マルグリット●ゲ[illegible]トルード●ズエレ●マクレオド[illegible]ふうらしい和蘭での舞姫に[illegible]千九百十六年佛國のソム方面に於て[illegible]聯盟軍が優勢な攻撃を開始した四[illegible]ケ月前

▲春まだ淺い巴里の[illegible]に現はれ[illegible]組を組[illegible]の舞踊を演じた[illegible]にチャ[illegible]大の[illegible]

▲開戰以來三[illegible]して居る佛[illegible]に對する當局の取締り[illegible]大た[illegible]天れ[illegible]ハタ●ハリ[illegible]如き[illegible]な干渉に[illegible]ハタ●ハリは[illegible]

▲早速に舞姫[illegible]永遠に佛國[illegible]の足から掃き落す[illegible]

▲[illegible]

[illegible]級武官の誰か[illegible]關係してると云ふ[illegible]未完

●英雄の蜜月

▲首相ケレンスキーの結婚

去る十五日ペトログラッドからストックホルムに到着した避難者の話に依ると[illegible]倫敦電報は露國の危急存亡の[illegible]に同國首相ケレンスキーの結婚を[illegible]傳へて居る、其の結婚式はリガ陷落する[illegible]一週日後にペトログラッドの冬宮に[illegible]て行はれた、此の露國現代の[illegible]の花嫁はティメッター孃と云ふ[illegible]キザンドラ劇場附の若い女優だ[illegible]如上の華燭の典を擧げた事は[illegible]トログラッド市民に面白からざる[illegible]覺を與へたとの話だが、つまり英雄[illegible]の蜜月を弄する時機が惡かつたのか（華盛）

▲[illegible]神の子[illegible]

投書欄

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

議員團の渡米

最近吾人の接受したる東京特電に據れば各派代表の議員團は政尾團長以下五名郵船丹波丸に便乘して既に渡米の途に上れるあり、而して吾人の持論として屢々[illegible]議員を選舉區[illegible]米國に[illegible]

[illegible]

新任樞密顧問官內定

本社東京特電（九月廿一日着）

[illegible]法學博士は樞密顧問官に任命さるることに內定し田[illegible]氏の後任とし[illegible]太郎氏會計檢査院長に親任せらるべしと傳へらる

禁輸問題解決か

米國の鐵材輸出禁止問題に就ては石井特使並に佐藤大使が交渉の結果日本より[illegible]船腹を提供する條件の下に[illegible]解禁の事に決定するの[illegible]

貿易出超四億圓に達す

大藏省にて[illegible]九月中旬迄の外國貿易の出超額は三十[illegible]して[illegible]累計約四億圓なるべし

諸國禁輸問題解禁運動

[illegible]

經濟委員の渡米

[illegible]

▲委員長 [illegible] ▲委員 [illegible]

浮田坪內兩博士辭職

[illegible]

[illegible]

戰時海上保險法概要

[illegible]

新英蘭に於ける石井特使

[illegible]

共和黨の紐育市長豫選

[illegible]

●鵜井貢一氏留別會

[illegible]

●故中川嘉三氏

[illegible]

●故本願寺副■

[illegible]

第三回舟遊會

[illegible]

●山中商會

[illegible]

文キンの御用

[illegible]

■急告■

●桑港雜信

日本俱樂部

●本邦經濟の近情

■謹告

各位

「千歳」山本

大正六年九月

英語教授

THE SHANGHAI

上海樓

Pool Parlor

（辻）

New York City

■寄入■

■英語教授

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

日本風キャンディー

和洋婦人服御仕立

ドレスメーカー

武藤

日本食料品新荷到着

新刊雜誌到着

片桐兄弟商會

豆腐揚

眼鏡師



F. I. FREDERICS CO.

輸出業

本鄉商會

QUONG OFF LOW

廣珍樓

保日樓

化粧品卸賣

▲香水 ▲トイレットワオター

パウダー各種

菊池商會

船具一切

櫻井



日米海運社

NICHI BEI KAITSU SHA



ホテルニューヨーク

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

大北旅館

パゴダ

インセンス

◎化粧品卸賣

五味商會

御手料理

大黒屋

都

●料理東洋館の眞相(八)

▲料理店の人物(一)

牛肉料理東洋館が在紐育日本人社會の……に眞相を表し……彼は役しも立たぬ……自身を後援するが如き……者あるを利用して……の方針を詳細せんとし……如何に……なるかを……本號より……

[illegible]

▲……彼は……に下附せられて……中立國の和蘭……先夫は和蘭……

[illegible]

舞姫の獨探(二)

▲マタ・ハリと呼ばれた……

[illegible]

●天洋丸乘客懇親會

本月十一日……天洋丸船中に於て……懇親會を……

附記 本記事の……大原氏は……『ハタ』……

三井物産會社内
杉吉英三
坂本嘉男

電話マヂソン・スクエヤ……

●……大演説會

……不拘自ら揣らず在紐日本人社會の先驅となり爰に公開演説會を開き……

一、時日 十月六日(土曜)午後八時
一、會場 米人基督教青年會(西五十七丁目……)
一、入場 無料
一、辯士(イロハ順)

渡邊氏藏	野村雅之進
川島佳藏	片山潜六
獅子島梧郎	加藤……丸
倉……峯	小野六五郎
山口三之助	安井……郎
坂野……平	清水……郎
森 丸郎	(其他)

紐育……同盟會

投書籠

……

◉貸間あり

日本紳士諸君の御宿泊に適せる貸間あり……
40 Lexington Avenue ……
……佐

▲毎月十日發行 一部……
米國唯一評論雜誌 日本人
The Nippon-Jin ……
414 E. 80th St., N. Y. City

紐育新報

特派大使を迎ふ

我國特派全権大使石井子爵の一行……

……紐育市民の一端をも……取して……紐育を主とするは必ずしも無意義に非ざるべきを信ぜんと欲す。況んや親愛なる紐育に於ける吾人の有識者、政治家、實業家、學者、宗教家若くは……

歐米及歐洲

石井特務大使一行



●紐育市賓としての石井子爵

本國雑俎

紐育新報

●迎合主義を排斥す



●日本婦人入用

●貸間あり

●海員御下宿

中島 實

●日本絵画

大演説會

●豆腐屋

大平甲子太郎

戰時海上再保險法の概要

ホストン通信

▲みつかた▼

▲秋のつれ▼

料理東洋舘の眞相（十）

▲經營者の人物（一）

日本倶樂部の料理長武田經次に對し東洋舘を賣付けしとせる岩井は一ヶ月の收益莫大なるかの如く吹聽せる由なるが、斯く莫大なる收益ありと主張する彼が米谷達に對する負債を如何に處理したるかを吟味すれば何人と雖も其圖々しさを諒解するに難からざる可し。米谷達は元土生茂太郎なる者の妻なりしが故ありて離縁の身となり、昨今はビユートン市電車線路に在る由なれ共荷も一人前の男たる岩井が夫より其の膝……

船を浮べて

▲巴水の秋色に日本の変姿

▲日曾第三回舟遊會の盛況

日米兩國人を滿載した艀が、快晴の空に日章旗と星條旗とを翻風に靡へして、バタリーの埠頭を離れたのは去る日曜の午前十時であつた。……

歯科醫

DR. C. H. MARTIN
Lexington Avenue, New York City
Telephone: Plaza 4393

親切　丁寧

マーチン

●毎月十日發行

米國唯一評論雜誌 日本人

The Nipponjin

○直ちに來れ

内外科診療

村瀨九郎

岡田滿

診察

小栗乘吉

歯科醫

半田旅館

半田字一郎

會席御料理

ちとせ旅館

山本熊吉

Dr. A. KIMOTO

秋本研介

御下宿 田中奥次郎

福岡縣人會々舘

御下宿 青年館

SANO BROS.

會席御料理 若松

御下宿 中山

丸山洋服店

岡宮旅館

御下宿 吉田宗

青年會

會席御料理 東洋舘

SAPPHIRE

紐育新報

馬脚を露はせる詐略的外交

早大學長の人選

本社東京特電（九月廿八日着）

滊船管理法の實施期

大洪水天津を襲ふ

敵國外人の檢擧

日本雜讃

求職

海員御下宿
中島寶

The Bank of Taiwan, Ltd.

臺灣銀行紐育出張所

陸海軍慰問委員會本部



日本人美以教會

基督教修道會

牧師 松平文雄

寄附金募集廣告

貸間あり

日本婦人入用



秋空一碧の廿七日紐育市は
石井遣米特使一行
を迎へ金風に飜る旭日旗は夕陽と相照映して歡聲湧く

歐洲戰局の發達に對し最も重大なる意義を有すべき日米協同作戰の商議に關し我日本帝國を代表して渡米せる特派全權大使子爵石井菊次郎氏の一行は華盛頓駐剳特命全權大使佐藤愛麿氏と共に既報の如く廿七日を以て紐育市を賓として來觀せり。吾人は滿腔の歡喜を以て特派大使一行の今紐育訪問を迎へ玆に大使一行の動靜を摘錄して愛讀者諸君の一覽に供するの光榮を有す。

▲歡迎攻に逢ひたる一行

[illegible]



遣米特派大使 子爵 石井菊次郎閣下

▲市廳前の盛觀

[illegible]

合計八名の日本少國民の扁然として[illegible]退立して居たるは頗る人目を惹けり

▲米兵の護衛

紐育市第六十九聯隊の精鋭二千七百名は[illegible]イン大佐指揮の下に二十七日午後特別列車にてロングアイランドの營舍より當市に到着し三十四丁目の解船より第五街に出で路傍に整列し『ガード・オブ・アナー』として石井特使一行通過の際に捧銃の禮を以て敬意を表せり因みに同聯隊は近々渡佛の途に上るべく今回が最後の當市訪問なるべしと云ふ

[illegible]には日米の紳士淑女二百名を招待してミスエスマン其他の音樂に長夜の更け往くを惜みつゝ散會せるは翌曉に近かりき

▲滯紐の第二日

特使一行は滯紐の二日目午前十時より自動車に乘じ委員案内の下に紐育市の物質、精神兩方面の活躍中心点たる下町を一巡し午後零時卅分商業會議所の午餐會に臨みたる後三時十五分より滊船にてマンハッタン島を迴りグラント將軍墓前に花環を贈呈せるが折惡く雨天にてハドソン河畔[illegible]

▲商店員の歡迎

當市日本人[illegible]を合したる[illegible]し定刻廿三丁目の森村組を發し同店員なる志願兵軍曹グリーマン氏先導の下に第五街へ進軍し日米兩國旗を參差して陣容を整へたるが特使一行通過の際萬歲を[illegible]して歡迎の意を表せるに對し子爵は脱帽答禮せり。

▲グリー氏招宴

特使一行の歡迎委員長なるグイツトリー氏は其住宅を特使の假邸に提供すると同時に廿七日夜石井子爵を主賓として同一行及びホイットマン州知事ミッチェル市長等二十余名を招き歡迎宴を催したるが[illegible]

[illegible]アスターホテルに[illegible]於ける紐育協會主催のレセプションに臨場したるが孰れも空前の盛況を呈したり。殊に午餐會に於て子爵が[illegible]人が米國に到着以來深刻なる印象を與へられたるに止まらずして當然停[illegible]べき戰爭の經濟の爲に企畫[illegible]れつゝある生産と準備との偉大なる我國は[illegible]協同者[illegible]計畫に壓迫せられたり然しながら[illegible]人は世界に對して多大なる責任を有する今次の戰爭に[illegible]云々と演說せし時は滿場[illegible]人心を[illegible]せり



アナポリス兵學校に於ける石井大使一行

●式場内の光景

一　[illegible]記者

市役所内の市參事會室は可成廣いもの[illegible]市吏員や金メダルを下げた歡迎委員[illegible]ギシ/\詰掛けた、其中に正金の大久保[illegible]見られて居た。

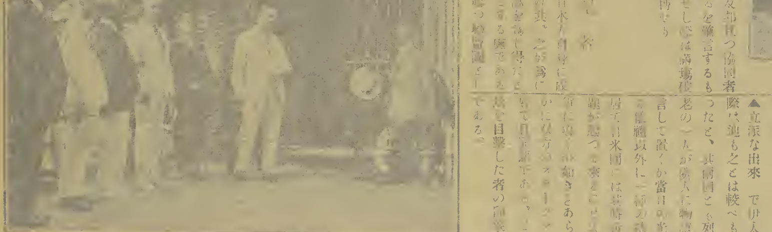
▲石井特使と佐藤大使が一段高い壇上に案内せられて、[illegible]、背野の兩將軍が其下に立ち、永井、道原以下の隨員は其兩側に分れて並び立つた。天井には簡素な電飾が施され壇の兩側には日米國旗を程好く配置し、室々を黄菊で高尚に飾つてあつた。着席後間もなく正四時にミッチェル市長が現はれて特使から三間程隔つた所で市民を代表する歡迎の辭を朗讀した、市長の聲は能く透つて其態度にも不相變凛とした所があつた。

▲市長の演說は『紐育市民の名に於て歡迎の辭を述るを光榮とする』から始まつて『諸公は既に米國到所に多大の歡迎を受けられたが我紐育市は此等の何れにも讓らぬ覺悟である、我が紐育市は米國活動の精髓で[illegible]則ち全米の代表的聲で[illegible]

[illegible]久しき歷史[illegible]今や共に[illegible]的の交友として諸公を迎へるのである、希くは諸公今回の來訪が更に親善なる交誼の爲らんことを。次に▲グリー委員長が長文の歡迎辭を朗讀したが特使一行に對する讚辭で日米の親交を說いて[illegible]

[illegible]日本の[illegible]を目擊した者の[illegible]である。

▲立派な出來　で伊太利や露西亞のそれとは較べものにならなかつたと、其兩國を列席した邦人某老の一人が吾人に物語つて居た。一言して置くが當日の光景中に[illegible]



紐育市廳に於ける石井大使一行
向つて右より[illegible]海[illegible]ガーディ氏　石井子爵　[illegible]
[illegible]佐藤大使[illegible]駐日大使モリス氏

●歡迎會注意

一、[illegible]
二、[illegible]
三、[illegible]
四、特使[illegible]
五、特使[illegible]
六、[illegible]

●歡迎雜感

[illegible]

歡迎石井特派大使

森村ブラザース

横濱正金銀行
紐育出張所

三井物產株式會社

臺灣銀行

山中商會

高田商會

大倉組

森村新井商會

高峯事務所

茂木桃井商會
紐育市東十六街一〇五―一〇七

瀧藤小川商會
紐育市第五街

多治見商會
紐育市ブロードウエー

食料品卸小賣商
株式會社片桐兄弟商會
本店　東五十九丁目二百二十番

菊池寫眞館

食料品直輸入
桑山商會

●大演說會

●米生活の一面

田園通信

紐育新報

東洋館の眞相（七）

紐育ラテンコワタのすきヒ



每月近合漫画

The Japanese Times
紐育新報

言論外交ノ價値

極東及歐洲

米國雜事



石井特使と在留同胞

大演說會

氷刀三尺記

●舞臺の獨探

[illegible]

▲タンクに對抗する[illegible]目的で準備[illegible]

●[illegible]の評判

[illegible]

投書籠

込み合ひ[illegible]から御手[illegible]かに願ひ升

▲注意生よ、舟遊會に短かいスカーツをはいて居る婦人よりも、そんな事だから目をつけて居る君の方が[illegible]かしいはないか君なんざは死んで土れ代る時には犬の死にもなれやせぬ大方納のついた海綿位には成て來られるだらう。（[illegible]生）▲[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

第二自由公債募集

東京附近に暴風雨襲來

▲交通、通信機關は杜絶し

▲浸水家屋…萬餘戸に及ぶ

（東京特電）

石井特使一行と日會

第二自由公債募集に就て

米國雜事

聖レジスの夕

石井遣米特使歡迎

日米關係は益々親善を加ふ

日本紹介

職業の新天地

▲石井特使一行

● 日米協會主催大演說會

貸間あり

寄附金募集廣告

● ルーム貸度し

在米陸海軍戰時慰問委員會本部





日本食料品新着

片桐兄弟商會

婦人服御仕立

上海樓

生命保險會社

豆腐粉

東洋舘の眞相（三）

[illegible]

▲現代奮鬪の人物（四）

[illegible]

日本國旗を寄贈

[illegible]

▲總ての人々に知らる▼

▲米國々旗を寄贈▼

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

風紀廓清問題と輿論の威力

吾人は現下の社會[illegible]……風紀廓清[illegible]……少くとも近來一部同胞の志氣頽廢[illegible]……目前の利害問題に汲々たる[illegible]……風を助長しつゝあるに對しては、平[illegible]……上會改[illegible]……結束して蹶然蹶起すべきの秋なるを疑はず。

本週々末ワイ・エム・シー・エーに[illegible]……紐育大會成立の動機を作らんとするは[illegible]……一億六千萬[illegible]……

[illegible]

●東京大暴風雨災害（續信）

本社東京特電（十月九日着）

▲流失學校官衙寺院の倒潰

▲井上知事諸男等救濟會を組織

東京を中心として關東一圓及び東海道數十里に渉れる今回の大暴風雨は三十年來稀有の惨害にして市内は家屋の倒潰せるもの樹木の折れたるもの道路を埋めて歩行する事能はず牛豐及び屋根を剝がれたる家は無數にして公園の樹木など大半吹き倒され惨状目も當てられず

▲大學生の壓死　早稻田大學生三名は其下宿屋倒潰と共に壓せられて[illegible]……大塚の電車庫も亦破壊せられ其他學校官衙寺院等の[illegible]……

▲各所[illegible]　本所相生橋は洪水の爲に押し流され箱根附近にても[illegible]……自宅の危害を心配しつゝ歸宅する能はざるもの多く、而して最も死傷者の多きは海嘯に襲はれたる海[illegible]……

▲死者二千餘名　[illegible]……

●船舶管理委員任命　船舶管理に關する法令は本月一日愈々正式に發布されたるが其内容は[illegible]……

●議員團及教員團の出發

本社桑港特電（十月九日着）

春洋丸にて去る五日來桑せる代議士連は同日商業會議所午餐會、在留邦人晩餐會、六日市長訪問、勞働黨首領の招宴、七日加州大學參觀、千府演説會等の催しに參列し、又同船にて着米の教員團十名も夫々國民間に日本人の歡迎を受けたる後九日東部へ向け出發せり

極東及歐洲

●工業材料自立計畫　日本政府は戰爭に鑑みて工業材料品の自國自給を計り外國より材料の供給を仰がざる計畫を立て日本内地の工業材料品を調査するの委員會を組織せり

●東京市長後任[illegible]　東京市會は今會正式に[illegible]委員を選擧し市長候補運動に當[illegible]

●倫敦寺院[illegible]

大演説會に就て

言論擁護、風紀廓清

言論擁護、風紀廓清演説會の趣意に對しては日本人[illegible]……

大正六年十月六日

基督教同盟會

[illegible]

大正十四年十月十六日　紐育新報　第三百五十六號

紐育新報

大陸時事

●ノン・レ［illegible］事件又議委員會　本報の如く各州より［illegible］委員ラフ［illegible］ットの戰［illegible］關し［illegible］藤の［illegible］依り［illegible］より委員會を開きて［illegible］召喚し［illegible］を進行しつゝあり

●八月中に米國輸出額　八月中に於ける米國は小麥、コーン及び鑛油の輸出額を來せるがオートは綿布、鮮［illegible］の右一ヶ月間の輸出額は四千五百萬弗にして一年前よりは一千萬弗の增加なり、綿花が筆頭額を現はし六千三百万弗なるが前記諸品の輸出合計額は一五五、五二六、六一［illegible］なりと云ふ

●［illegible］人の入營　過般來續々召集せられ［illegible］

●青年會總會　既報の如く去［illegible］七日午後［illegible］名幹事［illegible］の件を議決せり

●日進俱樂部特別委員會　本月七日午後八時高見會長宅に於て開催荒木、尾山、福島、水谷の四氏出席、寄附金募集運動に關する重要事項に關して熟議を遂げたり

●手以教會詩話會　同會にては本夜（水曜日）八時より西百［illegible］丁目グレース教會後堂に於て詩話會を開催し

●榊原マリアン孃の舞踊　［illegible］舞踊の名手パブ［illegible］ン孃はチャールス・ディリンコム氏の［illegible］モリス・ダンスに參加することとなり目下出演中なりと云ふ

●［illegible］小川商會　［illegible］俄古を本店とせる［illegible］

●高［illegible］

言論擁護　風紀肅清　大演説會

言論［illegible］たる世［illegible］に［illegible］たらざるもあり、不敎白ら［illegible］紐育邦人社會の先［illegible］會を開［illegible］

日時　十月十三日午後［illegible］

入場　無料

紐育同胞

●第二回市民大會　醵金申込

［illegible］

●岡本米藏氏の渡米不可能説　當地［illegible］西部日本學童教育［illegible］

▲本吉牧師等の歸國［illegible］

ボストン通信

［illegible］

職業の新天地

［illegible］

●日本人畫工入用

［illegible］

日本婦人入用

［illegible］

日本繪畫　卸賣

［illegible］

時事偶感

北小七

[illegible]

◆歌日記より

◆眠れぬ夜

[illegible]

新泉詩壇

野球競技佳境に入る

（紐育ジャイアンツ對シカゴホワイトソックス）

[illegible]

▲第一戰紐軍惜敗 [illegible]

[illegible]

▲第二戰紐軍の死敗 [illegible]

[illegible]

●廿四幾ミランシ [illegible]

●牛島料理東洋館の真相　本號休揭

投書籠　込み合ひ升から御手短かに願ひ升

▲紐選ブルックリン橋の近邊で馬鹿に鑿擲つて自ら滅茶々々に負傷させられた阿呆があるさうだが酒は飲むべし飲むべしと云ふ呼聲が宜い（白樂天）[illegible]

▲讀者諸君！[illegible] 好季節に入りたるに拘はらず何ぞ其の振はざるの甚しきや [illegible]

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

早稻田大學の紛擾

早稻田大學が相…教授…大學…新…[illegible]

早稻田大學の紛擾は政情…

故に早稻田も今次の紛擾を好機會に…一大改革を行ひ保守的…

北京政府の獨墺人監視

本社東京特電（十月十二日着）

支那政府の對獨墺宣戰發表以來協商側聯國の代表者より在支獨墺人の監視…要求頻々たりしが今回北京政府は愈々右要求に應ずべき旨を承認したり

不正商人百四十名拘引

…

●米の廉賣…

●高田早苗氏評議會を脱す

●文部省の…

●民力調査發表

●製茶試驗所新設

●獨墺…

紐育新報

理事會の經過

第二自由公債

應募に就いて

大演說會

職業の新天地

●昨日の教會　紐育教會說教「人生の秘密と信頼の權威」加藤牧師▲修道會

野球競技佳境に入る

▲マダ……[illegible]

▲……[illegible]

……[illegible]……が運び……(が……數千人……)……時ちかくなると……天氣豫報に降らぬと云……天氣……に輝き出したので俄かに……籍外に溢されたのが數千人……ウォールド紙などは最初……打手に五十弗の賞金を提供した……

▲第二戰紐軍の勝利

……を投げて益々ウォルフ●ヤー……一點は十回の……に過ぎ……紐軍最初の一點……

▲第四戰紐軍の連勝

……[illegible]……

●東洋舘の眞相（三）

……乃至一…オーダー…レイション…今や東洋舘…

▲紐育の人物（一）

…東洋舘讓渡の談判を開始する…岩井…松本氏と林氏とが料亭若松…如何なる協議を進めたりや…如何に精細に其の成行を…岩井が半娼的料…

●ショップの喜劇

…バーナード・ショウの喜劇…

●デルサス、ローレンン

醜術の纂

問題に就て

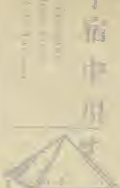
東　野人

投書籠

込み合ふ折から御手短かに願升

▲…





The Japanese Times

紐育新報

第六十五議會

日米新協約成立説

株式取引所の閉止

大統領の宣言

米國雜事

演説會の盛況

[illegible]

至急廣告

[illegible]

各位

職業の新天地

[illegible]

●貸間あり

[illegible]

社告

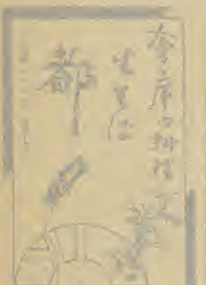
帝大と婦人による 演說會

岡本某の如き行德漢

●求職







砲彈の雨を衝いて

看護婦二少女二唱和

紐軍終に敗る

▲市長杯戰

▲田舍老人か

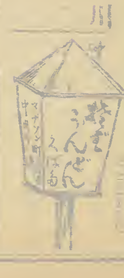
投書箱

込み合ひ升から御手短かに願ひ升

●マタハリ

●中外料理東洋館の新





紐育新報

再風紀廓清問題に就て

本社東京特電 十一月十九日着

●日本の歐洲出兵不可能

●物價漸やく下落の傾向

●維、無兩派の合同

石井特使出發期

議員團の消息

輸入禁止問題と當業者

慰問袋寄贈

紐育新報

紐育市大行列

社告

室貸度し

至急廣告

職業の新天地

貸間あり

砲弾の雨を衝いて（一）

日本人満口

●求職

日本人高等良オフィースに於ける勤務
年齢を才ず

●日本人歯工入用





東洋館の眞相

▲在米日本人の人種（六）

紹育新報

八方美人主義

[illegible]

社說 京特電

軍政組織の改正

[illegible]

補助紙幣の發行

[illegible]

日本出兵論頻々

[illegible]

極東小觀

[illegible]

自由公債

[illegible]

一筆啓上

[illegible]

慰問袋寄贈

[illegible]

職業の新天地

來つて……傭人人等に……
大樹の職業なり
ピーコウオークなれば……
は各自の自由なり
俸給は高率、仕事は清潔にして
過激ならず
チヨコレイト菓子製造會社

■尋人■

慶應義塾（廣島） 太田力藏（千葉）
通稱「ランク●マット」
埼玉縣人東京、 成合甚三郎 森山市藏
金澤 田中豐太郎 田中孫七
右の者に通知致度儀有之候間本人若しくは知人より其現住所申出られ度し
紐育帝國總領事館

室貸度し

綺麗且つ閑靜にしてサブウエイ、第六街のエルに便利なる室を同胞紳士に貸度し
ミセス手塚

◉貸間あり

日本紳士諸君の宿泊に適せる清潔なる貸間あり、一週二弗より七弗迄

至急廣告

當館義今般都合に依り西六十五丁目百四十六番に移轉の運びに相成候處室內整理の爲め目下御預り致居候トランク其他の荷物は此際都て所有者の御引取りを願度候に就ては右心當りの御方は本月末日迄に御來館被下度候若し本月中御來館無之候節は新館の方へ御來談御引取りの程願上候
十月十七日
旅館「やまと」主人

日本繪畫卸賣

JAPANESE ART DEPOT

各位

寶石 時計

ダイヤモンド

PHELPS & PERRY,
New York

日本人美以教會

西四丁目 教會內
牧師

T. Kikuchi Studio

菊地寫眞館

GREAT NORTHERN RAILWAY

每日午後十時十五分…發車す…

藤井旅館支店

NIPPON YUSEN KAISHA

日本郵船會社紐育出張所

CALDWELL & CO.

日米間貨物輸送

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船會社

T. KASAI TAILOR

御洋服調進

笠井洋服店

新紐育出張所御披露

Irvington Auto Renting Association

天仁旅館

元造製箱所

J. CAROW

謹告

墨西古富士

TO X

佐々木指月

はじめて君に逢ひしは
如月なかのひとひ、
たもくれたきゞの下なる
草はらに遊びたまひ
われをばまもりゐ給ひき。

予は毎日それを望んに居る、
デリケイトなそしてスホートな、
君よ、嬉しかるたはむれ。

サープライズよ、おゝサープライ
ズよ！

女の手紙さ、勿論。

英語教授

生命保險會社

代理人　石川　智

紐育新報

●雜録 東洋館の眞相（上）

紐育新報

●日本海軍の全太平洋警備説

▲日本特使と華府政府との交渉

▲北方はアラスカより南米まで

日本海軍は……世界海面の約三分の二を警備するに至る……日本海軍は太平洋全部……印度洋及太平洋……任務に轉航……

小學校長團歡迎

公爵の市電話

石井子爵一行の歸朝期

植原代議士談片

紐育支店

米國海軍



慰問袋寄贈

社告

天長節祝賀會

[illegible]

暴風雨の慘害

[illegible]

■尋ね人■

[illegible] 田中源太郎 [illegible]

紐育帝國總領事館

職業の新天地

[illegible] 諸君が活動 [illegible] 新天地 [illegible]

■貸間あり

日本人紳士を望む。[illegible] チームヒート、電燈、浴場あり [illegible]

■室貸度し

[illegible]

●貸間あり

[illegible]

■至急廣告

[illegible] 西六十五丁目 [illegible] 番に移轉の運びに相成候處 [illegible] 整理ノ爲め目下御休業致居候 [illegible] 荷物は [illegible] の御引取りを願度候に就ては右心當りの御方は本月末日迄に御來館被下度若し本月中御來館無之候節は [illegible]

十月十七日

旅館「やまと」主人

各位

砲弾の雨を衝いて

一小島に上陸して

社告

桑港に於て……邦字新聞中の巨擘……其品質の優良なるは……代表者山中……我社は東西……

紹介する。





東洋館の眞相（七）

（本文は判読困難）

（終）

自由日の行列

（本文は判読困難）

The Japanese Times

紐育新報



議員團一行着紐

議員團演説會

慰問袋寄贈

■寄入■

就業の新天地

市場相場

開業御披露

■至急廣告

■貸間あり

◉貸間あり

社告

得失償

■英語教授

新廣告

鈴木桂風事務所

生命保險會社

代理人 石川哲

移轉廣告

●遊覧の記



○直ちに來れ

The Japanese Times

紐育新報

婦人諸君の活動を望む

[illegible] 婦人諸君が [illegible] 双互 [illegible] 方法を講じ、更 [illegible] 慈善等の方面に婦人 [illegible] 一般邦人の趣味 [illegible] 交情を謀り [illegible] 次第である。

●新任米大使の安着歡迎

本社東京特電 十一月二日著

新任米國大使ローランド●モーリス氏、同夫人及び家族は廿五日エムプレス●オブ●ジャパン號にて横濱に安着し日米人多數の歡迎を受け上陸せるが埠頭には米國大使館員、日米協會員多數出迎へたり、同大使は去る二十日參内の上信任狀捧呈せり

●商業會議所大會

全國の商業會議所代表者は一昨月一日東京に於て大會を開催 [illegible] 造船及び中小農業者は交々立つて國民の自覺 [illegible] 而して [illegible] 商業關係 [illegible] 日下議中なり

極東及歐洲

●鄭船危難を脱る 鹿嶋丸は英國より歸航の途九月廿七日英國南方の沖に於て獨國潜航艇の襲撃を受け砲聲の [illegible]

●駐墺國公使新任 [illegible] 新に日本駐箚を [illegible] ルーマニア公使は無事 [illegible]

米國雜事

●英佛將兵軍と提携 華府一日發電に依れば英佛の援兵はカドルナ將軍の第一及第三軍が新戰線へ秩序ある退却を爲せる伊國東方戰線に到着せり而して羅馬より華府當局の接受せる公報は伊軍が英佛兩軍を熱狂して迎へ英佛兩軍の司令官は伊軍ジュリアン戰線に於て [illegible] 墺軍より大打擊を蒙りたるに拘はらず意外に有力なるを發見せりと傳へたり

●第一種郵便物

郵便端書並に端書類を含む第一種郵便物の郵税増加は昨二日より實施せられつゝあるが其大要左記の如し

一、手紙及其他の第一種郵便物（管内配達を除く）は一オンス毎に或は一オンスを超過する毎に三仙を要すること

一、管内配達の手紙は一オンス毎に或は一オンスを超過する毎に二仙を要すると

一、『管内配達』の手紙とは投函せし郵便局より配達するもの換言すれ [illegible]

前大統領と記者團（上）

▲秋風蕭條の夕 [illegible]

▲問 [illegible]



▲英國から議員團が來た、校長團 [illegible] 來た、議員團の一行に加はつて [illegible] 國民新聞社の山田 [illegible] 君も來たので [illegible] 大朝の鎌田 [illegible] 日米の不 [illegible] 坊とがホテル●プラザの一室に集 [illegible] して直に記者團を組織した [illegible] 君と [illegible] 扱て記者團として [illegible] の行動は議員團の [illegible] 訪問と [illegible] して、關雲野鶴、蟠蜷毛 [illegible]

[illegible]

紐育新報

逆良園と校長團

●矢田總領事のレセプション

……十一月初旬本館を……ホテル●アスター……に於て盛大なる天長節奉祝のレセプションを舉行したるが來會者は日米の紳士淑女約四百名、アナウンサーの紹介に……

●貴族院議員及び小學校長團演說會

今回來紐せられたる貴族院議員代表者及び小學校長團一行を歡待し……左記の通り演說會……

一、日時　十一月七日（水曜）午後八時より

一、場所　カーネギー・ホール（五十七丁目の角）

一、入場無料

紐育日本人會

……國々歌を唱して後總領事は起ち……夫人の獨唱を紹介す……オペラ獨唱……アメリカン・ビエイ第六十番……各號を盡して散會せるは翌朝……

……ジョーンス牧師、トッド氏等の外側……七、ハミルトン●ホルト氏ホルト判事……

●日本棉花の移轉……ロクター一六五〇

●十番の開業……料理店を開業したる……

●茂木氏……

●●合同教會……

●修學會幹事の表彰……岡田氏の表彰……

●青年會の演說會……は五十餘名に達す……

●佐藤小山商會の……

●高崎……

職業の新天地

The Japanese Times

社告

[illegible]

遭難の記

[illegible]

海も明るくなつて朝日が昇り始めると、私達も幾分の元氣を回復した……私達の方へ向つて……手を振り聲を嗄らして叫んだの……向ふでも氣が付いたらしく航路を……多分潜航艇……私達は實に落膽した……又滿艦飾を……水平線の上に現はれて來たが此船も私達の瀕死の哀聲を……遠走した。私達は絶望の沈默に陥つた。

一人が急に飛び上つて「驅逐艦々々」と叫ぶ聲に應じて向ふを見ると、漣を蹴つて驅逐艦が私達の方へ來るのである。眞に私達は蘇生の思ひに躍られ踊り跳ねて聲を限りに呼……中に、艦は漸く近づいて來る……何處の國のでも驅逐艦なら逃げ隠れはしないから大丈夫助けられると……私達の限に映じたは、……此刹那私達は一齊に「日本のだ」と叫んだ……涙が……を止める事が出來なかつた。

[illegible]

◆布哇懷古

君不見……海上三千……

[illegible]

開業御披露

私事今度下宿屋「やまと」を引受候處……

[illegible]

移轉廣告

[illegible]

英語教授

[illegible]

輸出業

▼電氣事業調査
▼實業家及び……
▼本邦製輸入品販路の調査

本……商會

英語教授

ENGLISH lessons to foreigners ……

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

日本風果物キャンデイ

……

婦人服御仕立

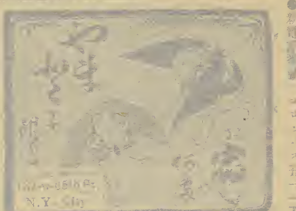
[illegible]

日本食料品新荷

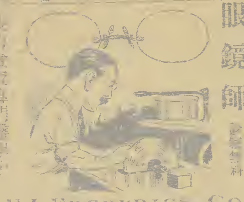
片桐兄弟商會

豆腐粉

[illegible]



眼鏡師



F. I. FREDERICS CO.

船具一切

[illegible]

SING LONG LOW

勝隆樓

漢口樓

上海樓

基督教修道會

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

ホテル ニューヨーク

日本絵具食料品

大北旅館

化粧品卸賣

パゴダ インセンス

五味商會

御料理

大東廣

都

紐育新報

天長節祝賀會

[illegible]

…を樂しむ一小數な…婦人の渡…なると說き立てた…

…投書館…込み合ひ升から御手短かに願ひ升

…浸水しつゝあり天津の全滅近きに在りと云ふ…右に就き北京在住の…なる邦人は公使館に會合して各種の…結其他在天津二千の同胞の救濟策に就き協議せりとの情報あり…

▲議員團の團長さんは航海中に大弊…があつたそうですが夫れを素扱…けば面白いのですがね（怪美人）▲…倶樂部の近況を少しも新聞に出さないのは不親切だと思ふもう少し…運動を奬勵して健全なる輿論を喚起するに努力すべし（庭球撰手）▲新…育新報で東洋館記事が生んだので大…分歎が出來て金魚やお神はやれ〳〵…の長大息なるそうなそこで今まで振…主義などゝ大演說の稽古をした大先生達が…自在となつたと云ふのは…それでも男か（矯稀風生）▲一體矯風會の連中は何をしたんダイ、ダズつ…して斗りは能がやあるメー、何會とか親和會とか相談ナンカしたつて駄目な事は…チーが、…切つ…處を一つ行…▲大長節の領…

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

日米覺書の交換

極東及歐洲

米國雜爆

前大統領と記者團（下）

議員團講演會

議員團及小泉領事演說會

渡洋記者事務所披露宴

The Japanese Times

輸入禁止問題と當業者

●日本人倶樂部の會

●橋風會委員總會 橋風會委員總會

▲日本人會

■交友

新廣告

鈴木桂庵事務所

生命保険會社

◎直ちに來れ

◆一人づれ

報新育紐

瑞西の山中生活は

The Japanese Times

紐育新報

歐洲戰局の將來と日本

露都再び革命者の手に歸す

革命城砦より冬宮を砲撃

ケレンスキー首相は逃走

▲革命會の委員の氏名▼

▲冬宮を陸より砲撃▼

▲議會提出原案を承認▼

日米新協約に對する論調

本社東京特電（十一月九日着）

支那南軍北方段軍と開戰

極東及歐洲

●金貨本位記念祝賀會

石井特使着桑

本社桑港特電（十一月八日發）

重大なる使命を完了して華府を出發せる石井特派大使一行は本日桑港に到着した

●潜艇戰爭の効果減退

●朝鮮公債發行

●政友會の齋藤大將招待

●軍制改正に二千万圓

●滿鮮兩鐵道の聯絡

●獨逸海軍會社の検擧

一筆啓上

▲選擧園の總括

▲學童代議士の注意

●財政經濟委員

一行の消息

▲賀田男一行の着紐

●三好重人氏歸朝

職業の新天地

開業御披露

尋人

◎謹告◎

新聞 詩壇

◆シック ムウン　佐々木指月

メトロポリスの
宵の灯に
月はあはれや青ざめて、
どうせ添はれぬ縁なれば
今宵限りと別れやうと
お前が云ふか……

メトロポリスの
夜の空に
月はかなしや痩せはてゝ……

▲市の秋▼

新廣告

鈴木桂庵事務所

生命保險會社

貸間あり

貸間あり

輸出業

英語教授

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

日本風 キャンデイ

婦人服御仕立

日本食料品新着

片桐兄弟商會

豆腐粉

眼鏡師

F. L. FREDERICS CO.

日本人美以教會

英語教授

SING LONG LOW

勝隆樓

漢口樓

上海樓

南樓

基督教長老會

日本雑貨食料品

ホテル ニューヨーク

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

大和旅館

五味商會

パゴダ インセンス

化粧品御賣

大黑屋

紐育新報

●講演會

▲……

▲人種差別の……

▲……

▲……診ての力……

The Japanese Times



歐洲戰局の將來と日本（二）

極東及歐洲

米國雜事

布哇舊女王の訃

村派財政經濟委員長一行の着紐

[illegible]

大蔵省[illegible]

[illegible]本人會[illegible]

●[illegible]

●社告

[illegible]相定

十二月廿五日

十二月五日

[illegible]

廣告

[illegible]

和田國雄

◎謹告◎

[illegible]日本人青年諸君が[illegible]高給なる[illegible]

開業御披露

[illegible]御料理[illegible]格別[illegible]

「富士屋」鈴木まさ

職業の新天地

[illegible]子製造業者は夙に日本人諸君の手工に巧なるを知るが故に其の天賦の技を發揮する新職業を提供して[illegible]活動の範圍を廣めんとす[illegible]茲に來つて新天地開拓の好機を提へよ

一、傭人人數に制限無し

一、永續の職業なり

一、[illegible]なれば勤務時間は全日の自由なり

一、賃金は高率、仕事は清潔にして過激ならず

チョコレート菓子製造會社

D. Auerbach & Sons

11th Ave., 47th St., N. Y. C.

寶 時計 ●

ダイヤモンド

玉 [illegible]品

確實で廉價

PHELPS & PERRY,

2 Maiden Lane, New York City.

The Bank of Taiwan, Ltd.

Room 2[illegible], The City Investing Bldg.

165 Broadway, N. Y.

Tel. Cortlandt 2414-2415

株式會社 臺灣銀行紐育出張所

日本繪畫 卸賣

JAPANESE ART PICTURES & EVERY DESCRIPTION

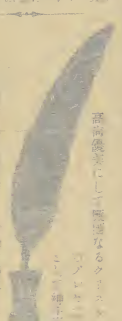
Japanese Art & Novelty Co.

GIFT SUGGESTIONS from the Den of

Y. MOGI

Chinese & Japanese Art Goods

14 East 37th St., N. Y. City



女の裝身具に飾る可き羽毛ペン軸を御求めあれ

高尚優美にして堅牢なる[illegible]

茂木象牙彫工場

東三十七丁目十四番地

GREAT NORTHERN RAILWAY

NIPPON YUSEN KAISHA

JAPAN MAIL S. S. Co. TOKYO, JAPAN

日本郵船會社 紐育出張所

シヤトル出張所

伏見丸

T. Kikuchi Studio

菊地寫眞館

437 Fifth Ave., N. Y. City

Telephone Murray Hill [illegible]

毎日午後十時十五分キャプより發車す、途中乗換なし

藤井旅館支店

S. KUWAYAMA

◎新着品御披露

(桑)(山)(商)(店)

T. KASAI TAILOR

Room 201 Times Bldg.

●御洋服調進

笠井洋服店

新柄洋服地御用命を願ひ候

鴨井 御下宿

47 Prospect Pl. bet. 1st & 2nd Ave. off E. 42nd Street

Murray Hill 2958

ポストン市

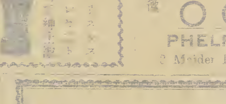
ふじ旅館 御料理

CALDWELL & CO.

FORWARDING AGENTS

日米間貨物輸送

Irvington Auto Renting Association



元造製箱所

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船會社

鹿を狩らざるの記（上）

東洋移民會社の伯國に對する契約移民は去る四六兩月の二回に千九百四十名を送り本年度の契約に殘り二千六十名を送る筈なる……

伯剌爾移民不足

……先生の教育は一起……

●日本人演説會

▲代議士の校長の去來論

▲國民の發表には人物

▲シャツ一枚の人

▲國際不通の事を説く

▲輕い天ぷの主義

▲小學校長の教師

▲現實國中の交渉

[illegible]

●求職

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

歐洲戰局の將來と日本（三）

日米協定と支那の宣言

本社東京特電（十六日着）

▲北京政府は之が承認を公式に…

第二日米新議定書公表

極東及歐洲

目賀田男爵一行の出華

米國時事

社告

●[illegible]總領事館[illegible]

●[illegible]

小田松造氏[illegible]

●[illegible]

●[illegible]

學生學友會[illegible]

學生 一年生 全一學期 ケー永井君

●[illegible]委員會 高峯博士を[illegible]委員長とし[illegible]委員會は五十四日正午[illegible]に於て開催[illegible]

●野[illegible]

●下村[illegible]氏は[illegible]商會に轉任し[illegible]

●[illegible] ▲修道會午後[illegible] ▲光[illegible]

●神戸[illegible]

眼を狩らざるの記（三）

[illegible]

年賀交換欄

在留同胞諸君の御便宜を謀り年賀欠禮の爲めに本紙新年號に「年賀交換」欄を設け候 右御賛成の諸君は左記[illegible]御申込相成度候

一、料金 一名一弗

一、[illegible] 一段限り

一、締切期日 本月十五日

紐育新報社

尋人

[illegible]

輸出業

▼電氣事業調査

▼實業家及び渡米漫遊者の案内

▼本邦製品販路の調査

本郷商會

職業の新天地

吾等菓子製造業者は凡ての日本人諸君の手工に巧なるを知るが故に其の天賦の技を發揮する職業を提供して諸君が活動の範圍を擴めんとす 速に來つて新天地開拓の好機を捉へよ

- 、[illegible]
- 、永續の職業なり
- 、ピースウオークなれば勤務時間は各自の自由なり
- 、賃金は高率、仕事は清潔にして過激ならず

チョコレイト菓子製造會社

D. Auerbach & Sons

貸間あり

日本紳士諸君の御宿泊に適せる清潔なる貸間あり 一週[illegible]七弗迄

[illegible] 和佐

貸間あり

日本人紳士を望む 眺望宜しくスチームヒート、電燈、浴場あり、間取りは一週[illegible]

廣島縣人會々館

[illegible]

英語教授

[illegible]

日本風菓物キャンディ

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

弊店製フルーツ・キャンディの特色は品質の精良は勿論美觀と佳味とを兼ね居候爲め夙に米人顧客の好評を博し其需要逐日増大致居候

御祝儀、誕生、クリスマス其他總ての祝賀用品及び店頭裝飾用のアーチステツク・キャンディも御注文に應じ卸小賣共精々勉強可致に付御用命仰付られ度願上候

エノ・ロープ商會

古太郎

M. RAU Pine Company

Tel. Audubon [illegible]

婦人服御仕立

和洋

紐育裁縫學校卒業

ドレスメーカー

武藤 タ[illegible]

[illegible] Post Ave. N.Y. City

Tel. St. Nicholas [illegible]

正月御用品全部到着

御早々御注文仰付られ度候

新年の飾りちんもちの御用に應ず可く候

株式會社 片桐兄弟商會

雜誌

[illegible]

日本人美以教會

每日曜午後八時

西百〇四丁目二二一グレース教會内

○禮拜説教

牧師 加藤秋[illegible]

Manhattan Ave.

英語教授

Lessons in English by an American lady. College graduate and teacher of experience. Terms moderate.

CLARY

[illegible] Bank Street, City

眼鏡師

視力檢査專門醫學士

診察無料



F. I. FREDERICS CO.

Tel. Plaza 343 ・ 136 East 59th St.

日本輸入業者

RECTOR 4878 4874

日本輸入業者

事務敏速

BANE HALL & WARD

船具一切

C. PLATOU Co. Inc.

Ship Stores

[illegible] St. New York City

船具材料附屬品一切並に食料品

一般輸出入業

日本船舶には特別御便宜相圖り可申候

日本船舶擔任 櫻井 弘

紐育市[illegible]ロード街八七番

電話 [illegible]

基督教修道會

禮拜説教 日曜日 午後八時

祈禱會 木曜日 午後八時

牧師 [illegible]

廣珍樓

QUON WON LOW

[illegible] B'way, N.Y.C.

今回食堂改築仕り特に日本人紳士諸君の御嗜好に應ずる樣調理可致に付き倍舊の御愛顧を奉希候

支那料理 廣珍樓

●自午前十一時 ●至午前四時 開店

品南樓

Bren Nom Low

480 6th Ave.

Cor. 29 St.

美味にして清潔

御支那料理 品南樓

午前十一時より午前六時まで開店

上海樓

THE SHANGHAI

First class Chinese Rest.

7[illegible] Sixth Ave.

日本人紳士諸君を歡迎し特に清潔なる珍味佳肴を調製す

御婦人方の爲に特別室の設備有之候

支那料理 上海樓

午前十一時より午前三時迄開店

漢口樓

Hankow Restaurant

12[illegible] W. [illegible] Street

New York

支那料理 漢口樓

日本人諸君を歡迎す

自午前十一時 至午前二時 開店

勝隆樓

SING LONG LOW

CHINESE RESTAURANT

[illegible] East [illegible] Street

N.Y. City

日本人諸君の御來臨を希ふ

勝隆樓

御料理

御料理 御下宿

大[illegible]

[illegible] West [illegible] Street N.Y. City



會席御料理 生そば 都

日本雜貨、食料品

其他米國にて得難き日本品を[illegible]入荷、材料精選を旨とし[illegible]仕候。商品目錄は御申込次第[illegible]

日米便利社

▲紐育事務所 [illegible]

▲東京本店 [illegible]町二七

Pool Parlor

YORK VILLE

Pool Parlor

（辻）

[illegible]

ホテルニユーヨーク

自動車停車場 スチームヒーター

[illegible]の高等ホテル

羅府東一街二〇五 サンペドロ街角

●ロスアンゼルス御來遊の際は[illegible]

帝國ホテル

IMPERIAL HOTEL

[illegible] St.

San Francisco, Cal.

米國桑港パイン街五五[illegible]

電話ガーフィールド[illegible]

帝國ホテル

大北旅館

港沙 大北旅館

電話 [illegible]

館主 東方[illegible]

[illegible]

化粧品卸賣

本店製香水、タルカムパウダー、フエースパウダー、サシエー

パゴダ インセンス

五味商會

[illegible]

空中に優勢を爭ふ

―獨逸飛行家の墜落し英軍の歡呼―

[illegible]

▲一人飲んで行けば樽の落葉哉―は落ちぬ…佇み…か或は「佇み―」だと西井が茶目庵に問うたら『蕪蕪して樽の落葉は行めり』の客観詩だと茶目は答へた、さうも考へらるると西井は感心の体で我儕に語つたから、茶目は逃げたのだ、と言つたら、さうかな、…は西舟の両…―馬鹿めて散…寒の将の勇ましさ…そう▲石井大使桑港上陸の節道路へ砂を撒いたとて有難涙で居た人が有つたそうだが日本で天皇陛下が御通りの時砂を撒き水を打つのとは譯が異ふあれは昔日儀仗騎兵の馬蹄の汚らぬようにとのためだ(淸水生)▲安井先生涙泉の雅號は昔、女性の事に涙泉の如く流れたのに因んだのだ相な(美艶生)

兎の耳

先日の日會理事會に東洋館主人が出頭し殘白書…知らない者はホントにする様な…を奉り、辯解演說を遣つて『新聞の勢力を利用して壓迫されますので、私は神經衰弱に罹りました』云々縷々數千言哀訴したそうだ。…讀者の同情心を煽る…轉た斷腸の…に堪へなかつた…理事諸君もあつた…の事だ。此の話を…聞いた兎耳子でさへ…と思つた…『志し』と云ふ事があるから…はそやうな事があつては取返しがつかぬ、早く氣候の好い處へ轉地して…を摘し玉へ。

●求職

[illegible]



The Japanese Times

紐育新報

●日本の船腹供給は不可能

◆歐洲貿易を破壞し國〔家〕を毀損

◆華府政府は尚ほ調停を期待

■東京十七日發電＝遞信省は本日[illegible]公報を發表し其の一部に於て[illegible]團体を組織[illegible]出禁止解除に對する米國との[illegible]するの已むを得ざるに至れ[illegible]を告げ其交換條件として多大の[illegible]船腹を供給する事は實際上日本の歐[illegible]貿易を絶滅に導くの虞あり、日本[illegible]の同盟國援助は國家存立の必要を[illegible]日本をして危[illegible]に陷らしむるものな[illegible]りと信じ得ず、殊に日本は鐵材を得て他の船舶を建造するの權利を交換條件として存するに於てをや。

■華府十八日發電＝本夕東京より[illegible]報道に、日米間に協議せる[illegible]本商船二十万噸[illegible]

再び婦人諸君に告ぐ

[illegible]

極東及歐洲

●外交調査會と露國内亂　寺内首相は對露政策協議の爲め來る廿五日外[illegible]に歸還せり

●[illegible]は去る[illegible]内驅逐艦四隻は去る[illegible]

大藏省の禮狀

華府大藏省より十一月十九日附にて[illegible]自由公債募集後援に關する禮狀本[illegible]

[illegible]云々。

●英國公使の調停[illegible]

●臨時參議院開院[illegible]

●京城[illegible]

●敎育費[illegible]

●聖上陛下京[illegible]行幸[illegible]下ありたる學[illegible]陛下には十[illegible]學に行幸あり[illegible]

●大審院「[illegible]」有効と判決[illegible]柴四朗氏の勝訴確[illegible]

●印度洋警備艦歸[illegible]に任じ居たる我艦隊の[illegible]

●[illegible]商業[illegible]會議は十一月下旬[illegible]本代表者も出席する[illegible]

米國新事

[illegible]

●社告

[illegible]

謹告

[illegible]

慰問袋寄贈

[illegible]

詩人ダンヌンチオ行衛不明

[illegible]

移轉廣告

[illegible]

山中商會紐育支店

輸入禁止問題と當業者

年賀交換欄

一、廣告料　一名一弗

紐育新報社

職業の新天地

日本人諸君の手工に巧なるを知るが故に其の天賦の技を發揮する新職業を提供し、

一、備人人數に制限無し
一、永續的職業なり
一、ピースウォークなれば勤務時間は各自の自由なり
一、賃金は高率、仕事は清潔にして……

チョコレート菓子製造會社

貸間あり

貸間あり

鹿島縣人會々館

尋人

紐育　帝國總領事館

電氣諸機械……輸出業

▼電氣事業調査
▼實業家及び渡米視察者の案内並に各種事業の調査
▼本邦製輸入……調査

本郷商會
主任　電氣技師　本郷湊吉

Tel. Beekman 4259
Tribune Building
154 Nassau St, N. Y. City

英語教授

ENGLISH lessons to foreigners by experienced teacher. Lon[illegible] individual & class instruction.
Miss Spor[illegible], 60 West 68rd St.
Tel. Circle 1048

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

日本風果物　キャンディ

特色は……精良は勿論、美觀と美味とを兼ね……候得共……米人顧客の好評を博し其需要近日……

大致候

尚婚禮、誕生、クリスマス其他御祝賀用品及び贈答……
……トテツク・キャンディも……

……コープ商會

和洋婦人服御仕立

紐育洋裁學校卒業

正月御用品全部到着

片桐兄弟商會

日本人美以教會

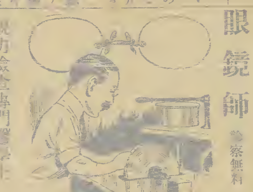
◎禮拜説教

英語教授

眼鏡師

診察無料

視力檢查專門醫學士



F. I. FREDERICS Co.
Tel. Plaza 5[illegible]　[illegible] St.

RECTOR 1870 4874

日本輸出業者

事務一切

BANGHILL & WARD
21 BROADWAY

船具一切

C. PLATOU Co. Inc.
Ship Chandlers
54 [illegible] St. New York City

日本船舶には特別御便宜
御圖り可申候

日本船舶部主任　櫻井弘

基督教修道會

禮拜説教

牧師　[illegible]

QUONG [illegible]

廣珍樓

Hoom Nam Low

品南樓

THE SHANGHAI
First-class Chinese Res.
765 Sixth Ave.

支那料理　上海樓

日本人紳士諸君を歡迎し特に清鮮なる珍味佳肴を調理す

Hankow Restaurant
134 W. 34th Street
New York

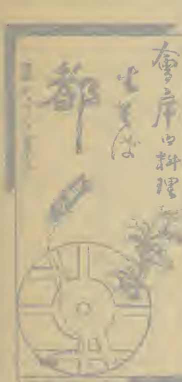
支那料理　漢口樓

日本人諸君を歡迎す
自午前十一時至午前二時開店

SING LONG LOW
CHINESE RESTAURANT

勝隆樓

新に開店仕候
日本人諸君の御來駕を乞ふ



日本雜貨、食料品

ホテルニューヨーク

IMPERIAL HOTEL
[illegible] PINE ST.
San Francisco, Cal.

帝國ホテル

桑港パイン街五百五十五番
電話ガーフィルド貳壹八

沙港　大北旅館

電話　エリオット　九八二

◎化粧品卸賣

パゴダ　インセンス

五味商會

YORK VILL Pool Parlor（辻）

御手料理　御下宿

大文字

戰時の片影

……なければ……

▲本當の……▼

▲いや……百▼

……レユーミストン夫人が……某病館……當市で開催された大演説……某兵營……

……大騒ぎ、陸相……なければならぬ……

……練兵營舍係の委員長……

投書欄

▲婦人……

……

（未完）

The Japanese Times

紐育新報

THE JAPANESE TIMES. Published Semi-Weekly by JAPANESE TIMES [illegible]

英國政界の分野

千九百十四年對獨宣戰を布告せる以來の英國政界は自由保守の二大政黨は勿論勞働社會黨の如き小團体的の運動、[illegible]は獨逸の大事に包擁せられて[illegible]勅令しに大戰終局の勝利を[illegible]せるを以て[illegible]時代より唱導されたる自由貿易、保護貿易の二大政策に關する英人の論議も[illegible]戰三年[illegible]今日に於ては自ら政變化[illegible]

今週月曜日下院に於て前首相アスキス氏[illegible]

[illegible]の答案を作り、[illegible]を促進することを[illegible]ばざるは[illegible]すや否やに依りて定まる次第なるが[illegible]此點は大戰以後格別の理由[illegible]に、自由黨たり保守黨たり皆[illegible]なくして數回内閣の交迭を[illegible]創立たり社會黨の一派の紹体[illegible]せられたる他、伊等の政情に比較[illegible]大政者を除き[illegible]たるを問はず[illegible]に感情で[illegible]に勘忍強き英人氣質を披露せ[illegible]計畫に[illegible]せられて[illegible]のものなりと謂はざる可からざる[illegible]

本社東京特電

●巴里會議出席委員任命

近く巴里に於て開催さるべき聯合會議は[illegible]對する同盟諸國の畫策を協議するは勿論なるも[illegible]る地位は[illegible]會議に於ける[illegible]議事の一つなる可しと云ふ、而して右會議に日本を代表して出席すべき委員は左の通り任命せられたり

珍田駐英大使　松井駐佛大使

名木(?)陸軍少將

船越海軍少將　田中陸軍大佐　松浦海軍大佐

●八八艦隊の建造

[illegible]らく懸案たりし八八艦隊建造[illegible]は今回政府に於て愈々實行に着手するに決せりと傳へらる

●老水兵彼理提督碑前に感泣す

[illegible]せる八十二歳の老水兵[illegible]は東京市近郊を觀光中なるが[illegible]の觀あるに驚嘆し且つ日本の[illegible]ペルリ提督が浦賀に來航せし際[illegible]の昔を追想して[illegible]往時を[illegible]

[illegible]對しては[illegible]の觀菊會に招待せられ[illegible]陛下より[illegible]

●織田信長に正一位を贈る　[illegible]信長は今回[illegible]

●[illegible]國公使の國書捧呈　新任駐日[illegible]公使ノ[illegible]氏は[illegible]日天皇陛下に國書を捧呈せり

極東及歐洲

●鐵道院と大藏相　大藏大臣勝田主計氏は大阪經濟協會の招待に應じ出席し席上日本現在の在鐵總數二十万噸[illegible]及海外より供給を仰がずとも[illegible]二個月[illegible]豫定の造船工事を[illegible]

●高橋男出兵不可能を辯明　[illegible]

●日本出兵交渉拒絶　陸軍大臣大島中將は東京各社記者團に對し日[illegible]

●高文制度に反對　諸私立大學生は[illegible]

●外人船長數名解雇　命令航路船[illegible]

●獨逸の食料[illegible]事件　最近ロッタ[illegible]

目賀田男爵一行の市廳訪問

去る二十二日[illegible]財政經濟委員の一行は昨廿三日[illegible]市廳を訪問したるが、日米兩國旗を以て裝飾せ[illegible]應接[illegible]於てミッチェル市長は歡迎の辭を述べ「近時多數の日本の名士[illegible]迎し得るは紐育市の光榮とする[illegible]なり」と日米提携の必要を説き[illegible]に對し目賀田委員長は日米[illegible]の親善を[illegible]

中にはゲリー氏、ヘンリー[illegible]ス氏、ベルモント氏等を[illegible]けた[illegible]は高峯博士、矢田總領事[illegible]家永博士等の諸氏[illegible]に於ける歡迎委員長[illegible]氏主催の午餐會に臨みたるが當夜はメトロポリタン倶樂部に於ける日本協會々頭ラッセル氏、チェー[illegible]行は[illegible]取へッバアノ氏並に[illegible]カー[illegible]の歡迎會に臨席せ[illegible]

●英軍の大襲撃　倫敦廿二日發電に依ればヘーク將軍麾下の英軍は佛蘭[illegible]戰線に於て大襲撃を開始して[illegible]の村落を略取し[illegible]ノートルダム[illegible]ブライの鐵道交叉地點の要所に[illegible]つゝあり而して今回如上英軍の[illegible]ンベルヒ線を[illegible]して六哩半の進路を[illegible]爲せり戰役に於て殊功を現はしたるタンクの大部分は米國にて製造せられたるものなりと云ふ

●露兵廿六万戰場より撤退　露國ウクライン[illegible]の委員はウクライン[illegible]の獨立を宣言しウクライン[illegible]の軍隊廿六万人を戰線より召喚したるは露軍を[illegible]機に導き戰線を敵に[illegible]ものなり[illegible]トロガラッド發電は傳へ、一方全國[illegible]兵組合員は中央代表者二派に分れ互に他の權利を否定[illegible]より去就を決するに迷ふ[illegible]状態にあるを報せり

●南北の調停依頼　大總統は[illegible]を試みん事を正式に南北兩派の間に調停せ[illegible]依頼し[illegible]之を[illegible]北京政府は黎の交渉に應[illegible]るも南方の武備に對し[illegible]

●李純[illegible]　江西督軍李純は[illegible]に對し電報にて兵[illegible]信欵延期を勸告せり

●中國交通兩銀行の紙幣下落　北京政府の金融機關なる中國銀行及び交通銀行發行の紙幣下落せり

●日支銀行營業許可　[illegible]日本を合同し[illegible]銀行に對し北京政府は正式[illegible]を許可[illegible]

●常陸丸搜索[illegible]船派遣　日本郵船[illegible]會社は[illegible]六五五六噸は[illegible]月二十九日横濱出帆[illegible]に向ひ九月[illegible]以來行衛を[illegible]

●支那の[illegible]　[illegible]は支那政府の抗議に對し[illegible]

●早稻田大學[illegible]　[illegible]

●獨逸潜[illegible]

慰問袋寄贈

△在留邦人の奮起を促す

吾人は紐育州知事ウキットマン氏を委員の一人とし市長ミッチェル氏を名譽委員長に推戴し活動しつゝある陸海軍戰場慰問委員會本部の計畫たる[illegible]十字[illegible]に對し[illegible]學に[illegible]米國報社と相提携し[illegible]

一、寄贈金は一弗以上とす

一、慰問袋の内容は[illegible]

二、各慰問袋中には寄贈者の氏名住所を印刷したる返信用[illegible]を入れ置くべきに依り戰地の[illegible]者より記念として之を[illegible]るべし

社告

米國幣帝

●米國議會召集後當地米國連邦議會に於て報告せられた……

●三日附東京電報……十六名に……

紐育の一週

●日本人會……諸氏並に……十六名に……

▲光遠會午後……藤牧師

●……會の件

●……料品市場價格を時々組合員に報告するの件

●日本人美術協議會……

●本館大會開催……

●……年會々員……

大正六年一月

日本近信

●混亂の兜町

現今三百萬を越落」とされ……大小銘柄の株式金融は二十五……船舶大暴落で……株式取引所……[illegible]

●郵船の洋食三等客運賃改正　……三等客運賃は左の通り改正せられたが由
香港日本間　五十五弗
香港上海及香港間　五十八弗

●[illegible]の[illegible]

[illegible]

年賀交換欄

在留同胞諸君の御便宜を圖り……本年賀状勢及名刺交換の……爲めに本紙新年號に年賀交換欄を特設致候……御希望の方は左記の事項御記入……申込相成度候

一、定料　……一弗
一、廣告締切　……
一、[illegible]　來月十五日

紐育新報社

新年詩壇

一葉居守　佐々木擴月

●貸間あり

轉居

小西榮三郎

小生今回左記へ轉居尙當分在住の豫定に有之候右友人諸君に謹告候也
[illegible]

尋人

[illegible]（廣島）　太田力藏（千葉）
増岡祐吉（東京、通稱フランク●マット）　……
金澤齢熊　田中孫太郎　田中孫七
龜山四郎
右の者に通知致度儀有之候間本人若くは知人より其現住所申出られたし

紐育帝國總領事館

職業の新天地

吾等菓子製造業者は夙に日本人諸君の手工に巧なるを知るが故に其の天賦の技を發揮する新職業を提供して諸君が活動の範圍を廣めんとす……
一、就業人員數に制限無し
一、有利の職業なり
一、ピースウオークなれば勤務時間は各自の自由なり
一、賃金は高率にして仕事は輕易なり
[illegible]

貸間あり

日本人紳士を求む。……湯あり、……

新廣告

鈴木桂庵事務所

生命保險會社

代理人　[illegible]

輸出業

電氣諸機械……
渡米視察者其の他の便宜を圖り左記の項目に關する事業に從事す
▼電氣事業調査
▼實業家及び渡米視察者の案内並に各種事業の調査
▼本邦製輸入品販賣の調査

本郷商會
主任　電氣技師　本郷[illegible]

英語教授

ENGLISH [illegible]

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

日本風果物キヤンデイ

弊店製フルーツキヤンデイの特色は……
[illegible]

ニユーヨーク商會
[illegible]吉太郎

婦人服御仕立

紐育裁縫學校卒業
ドレスメーカー
武藤[illegible]

正月御用品全部到着

株式會社　片桐兄弟商會

雜誌

日本人美以教會

英語教授

眼鏡師



F. I. FREDERICS CO.

船具一切

C. PLATO CO. INC.
Ship Supplies

SING LONG LOW

CHINESE RESTAURANT

勝隆樓

上海樓

漢口樓

廣[illegible]樓

[illegible]南樓

基督教修道會

日本雜貨、食料品

ホテル ニユーヨーク

帝國ホテル

IMPERIAL HOTEL

大北旅館

◎化粧品卸賣

パゴダ
インセンス

五味商會

御手輕料理

大黒屋

都

御料理

選擧權獲得　婦人大會

[illegible]

七面鳥の行衛

[illegible]……た値段で是非出して呉れろ……一ヶ月前まで……三百万封度の……ターキーにボー……

投書歡迎

込み合ひ升から御手短かに願ひ升

鬼の耳

新任米國駐日大使モーリス君が横濱に着いた時に朝日の記者が刺を通ずると「ア、朝日新聞社ですか貴社の鍊君とも懇意で會ひました……」と云つたそうだが好い頭だ、夫れから税關では十數個の荷物を自分で指圖して處分したとは頗るポピユラー振りを邦人諸君も少しは發揮して貰いたい。或る先輩は兎角大きな面をする癖があり或後輩は平身低頭して無闇に先輩にすがらうとする癖がある。先輩の理解と後輩の自治とが足らないからだ。そうし両方で相をしてイガミ合つて居る、此處らから矯風するのが先決問題だ。

……様に玉屋が出來、レストラントで儲けたと聞きゃ亦雨後の筍の様にレストラントが出來る揚句の果が必要もない競爭で共倒れなどは實に愚劣の骨頂じやないか、少し御互に智恵を絞つて發展するがよい（小國生）▲働かずに寢て居て金貨がベッドの上に降つて來る新發明をして呉れゝば懸賞は御望次第で上升（ナマケ者）

The Japanese Times

日米新報

目賀田男爵一行の使命

……得ること仕質の問題ではなし、……は男爵自身で既に……クションを受け……るし、敏腕……中參事官が流汗淋漓の七月から……れの感謝祭まで掛つて……ある位の事件であるから……を出しても百害あつて一利がない。……が賢明であらう。兎に角折角……寧ろ在華盛頓大使交送の日を待つ方……た目賀田男爵一行が使命の幾部分……なりとも果して何等歟の土産を得ん……とを望んで措かざる次第である。

●露國の休戰請求問題

本社東京特電（廿七日着）

石井子爵一行着京

滯歐瑣談

海軍中將

●米國紫十字社の…

本人の…

●ワンダ・ホテルの…

●田口氏…

●倶樂部デイ…

●武田中將来紐

●大阪朝日記者…

倉田半次儀

永らく病氣の處療養相叶はず一昨二十六日午前四時五分遂に永眠致し候間生前辱知諸君に謹告仕候也

追て葬儀の儀は本日午後一時コテーアイランド西十八丁目二八二二番より出棺可致候

十一月二十八日

妻 ヤ ニ

親友 岡本三太

世話人 一同

新装なる古美術店

……自から新装なれる大ⅹ山中は……本館は……巳に……、一記者

……

▲紀……第一……

大西……つく……化……

見はれたる市　　大野準吉

……

西　舟

……

年賀交換欄

在留同胞諸君の御便宜を圖り新春年賀及名刺交換の……を避けんか爲めに本紙新年號に『年賀交換欄』を特設致候間右御廣告希望の方は左記の事項御承知の上至急御申込相成度候

一、廣告料　一名一弗
一、廣告幅員　一吋限り
一、締切期日　來月十五日

紐育新報社

旅館譲渡

……の都合に依り従……譲渡……

吉田宗章

レキシントン街六……

轉居

小西榮三郎

小生今回左記へ轉居……當分在住の豫定に有之候右友人諸君に謹告候也

N. Y. City

尋人

惠吉……廣島　太田力藏　千葉
増田祐吉（東京、通稱フランク・マット）　成合英三郎　森山市藏
金田……熊　田中孫太郎　田中孫七
亀山……郎

右の者に通知致度義有之候間本人若くは……より其現在所申出られたし

紐育帝國總領事館

職業の新天地

……菓子製造業者は夙に日本人諸君の手工に巧なるを知るが故に其の天……職業を提供して……を廣めんとす速に……の好機を捉へよ

一、……人數に制限無し
一、永續的職業なり
一、ピースウオークなれば勤務時間……
一、賃金は……

……會社

貸間あり

……

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

日本風果物キャンデイ

弊店製フルーツ・キャンデイの特色は品質の精良……佳味とを兼ね居候爲め……好評を博し……大致候……御婚儀、誕生、クリスマス……祝賀用……及び店頭裝飾用のアーティスチック・キャンデイも御注文に應じ……

……吉太郎

英語教授

……

本……商會

▼電氣事業調査
▼營業參及び渡米……
▼各……事業の調査
▼本邦製輸入品販賣の調査

主任　……

154 Nassau St. N. Y. City

輸出業

……

英語教授

ENGLISH lessons……

正月御用品全部到着

片桐兄弟商會

雜誌

……

和洋婦人服御仕立

紐育裁縫學校卒業

武藤……

日本人美以教會

……

英語教授

……

眼鏡舖



視力檢査專門……　診察無料

F. I. FREDERICS Co.
Tel. Plaza ……　……East 59th St.

船具一切

……

SING LONG LOW

CHINESE RESTAURANT
…East …th Street
…

勝隆樓

THE SHANGHAI
…Chinese Rest…
…

上海樓

日本人……

漢口樓

……南樓

基督教……會

……

東京御料理　大……

大北旅館

……

◎化粧品卸賣

本……香水、……パゴダ……

パゴダ インセンス

五味商會

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

日本行……

ホテル ニューヨーク

……

日本雜貨、食料品……

……

都

……

Post Parlor
（辻）

胡牛會の記

▲……たから百弗村を持つて次週の金曜日に東洋館で逢はう（密偵ケイ）▲日本人の白妻中田佐杯庵の妻君程温良貞淑な女は少ない謂て同所の露賣振りは頗る誠實懇切である（提灯持ち生）▲日會理事會に岩井東洋館主出席の上新報の記事に關して何を陳述せしや又印刷せる建白書様のもの配布……由勧両なるか内容のものなるか全部紙上に記載あらん事を頼む（日會員）▲近頃日本人は諸外國から海員として續々へ上陸する同胞が斷ぶる多い之れ一面に於て賀すべきことである然るに時々少々のツラブルが起つた場合に領事館へ頼みに行くと官風を吹き立て採用してくれぬ日本人會へ行つても會の働きのか何が飄簞鯰式已むなく、チャーレー大先生出動の何がつ、日會の幹事や領事さんは全体何の爲めに誰れから月給を取つて暮してをるのだらう（憤慨生）

The Japanese Times

紐育新報

輸入品禁止命令の發布

[illegible]

露國内閣瓦解說

▲レニンの不人望と社會
▲黨穩和分子の躍起運動

[illegible]

前英外相の平和論

[illegible]

米國記事

[illegible]

商業欄

[illegible]

●日本協會レセプション

[illegible]十餘名來會。アスタ[illegible]佐藤大[illegible]十[illegible]

●日本倶樂部の[illegible]年會

[illegible]に於て[illegible]協會[illegible]參[illegible]

●坪井因勝重氏死去　永らくギ[illegible]氏にクックさし[illegible]行年六十餘歳

●小嶋なみ子女史來紐　久敷ワシン[illegible]

●倶樂部ナイト

●貸間あり

日本紳士諸君の[illegible]に適する[illegible]なる貸間あり一週二弗より七弗迄

貸室

便利な地位にあり、[illegible]

◎謹告◎

●ニューヨーク[illegible]

日本行貨物取扱

開業御披露

私[illegible]引受[illegible]

鈴木まさ

壽國第二號

女の來米說

▲……

歡迎會に、流るゝ。

無窮の音波、

浮ぶ、ショーパンもベエトフエン

調子變へぬ、

(自働著者)

ニューヨーク

舞ふや、布哇のフーラダンス

フローメ、ダンスや、……

あゝ、歌劇は、……

燃えて紅き燈火に、

いすふ一樽は木の夢、

ヒーキ、ヒーキ、フーラ、ラー。

……夢の伊太利の

少女の淡きローマンス、

あゝ、その心よき。

胡坐會の記

[illegible]

●大統領夫人の化粧料寄贈

[illegible]

▲投書籠

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

巴里會議

[illegible]

海軍の大更迭（東京特電）

帝國海軍に於ては定期の移動ありたるが其重なるもの左の如し

第一艦隊司令長官　大將　吉松茂太郎
軍事參議官
佐世保鎮守府司令長官　中將　山下源太郎
第一艦隊司令長官　中將　八代六郎
[illegible]司令長官　中將　[illegible]親王
[illegible]司令長官　中將　名和又八郎
[illegible]司令長官　中將　[illegible]部　彪
[illegible]府司令長官　中將　土屋　光[illegible]
[illegible]　少將　山口九十郎
任海軍中將軍令部次長　少將　岩村團次郎
補大湊要港司令官　少將　[illegible]田　[illegible]
任海軍中將補佐世保工廠長　大佐　谷口　尚眞
任海軍少將補人事局長　少將　秋山　眞之
任海軍中將　[illegible]

支那新内閣の成立

北京特電　十二月三日發

外交總長汪大燮の臨時總理[illegible]を備へられたる支那政局は更に再轉して[illegible]の親友たる王士珍を總理とせる新内閣を組織したるが過渡時代を彌縫する一時的[illegible]

海軍總長
外交總長
内務總長
財務總長
農務總長
[illegible]總長
參謀總長

廿分間の印象

ジェラード氏[illegible]

▲歐洲戰爭開始の當時伯林に在つた米人エル氏の紹介で、[illegible]

紐育新報

米國評判

●第八十六回議會

●日本倶樂部の目覺ましき

市井雑記

●川崎領事の自覺組

第一回紐育懇親會

●大西洋艦隊の乘組員

●長谷川三郎氏(?)の歸紐

●海軍將校の渡英 過般來紐せる海軍の藤海軍中佐及び南田、館兩少佐

●青年會の設備

在留同胞婦人問題に就て

甲子

本紙第三十六號社説に對する反響……（以下判読不能）

[illegible]

……盛にすることを得ると思ひます。

……一、日本婦人より……

……二、西洋婦人の生活方法は……

……自分の妹や兄弟に多少は……

……然し日本婦人の……

[illegible]

紐育新報

子の愛にひかされて

The Japanese Times

紐育新報

維爾遜の教書と軍國議會

本月四日米國第六十五議會第二期の開院式に臨場せる大統領維爾遜氏は滔々數千言、頗る趣味ある教書を朗讀したるが、本年四月對獨宣戰を發布せる以來意を軍備に没頭せる結果、米國々軍の先發隊出征となり、[illegible]制度の樹立となり、海軍大擴張の發表となり、六億五千萬弗の[illegible]豫算通過となり、食糧若くは燃料の管理となり、五十億弗の自由公債募集となり、特にトレーディング・ウヰズ・エネミー條例に準據せる[illegible]アゴーの實施となり[illegible]

[illegible]

分岐あるべきにあらず」と喝破し、[illegible]平和を論議する輩あるも彼等は「平和」の眞意義を理解せず、亦時局の眞相を達觀し得ざるを以て如何にして平和を齎らすべきかに關する定見を有せず、如斯言議に對しては毫も傾聽の價値を認めずと揚言してパシフキストを罵倒したるが右は單に米國々内に於けるパシフキストを標的としたるにあらず寧ろ最近倫敦に於て發表せるランスダウン卿の平和提唱論に一矢を酬ゐたるものなりと[illegible]共倫敦[illegible]電の傳ふるが如くラ卿が大統領の教書に多大の贊意を表したる事實ありとすればラ卿自身は必ずしも平和主義者を以て任ずるものにあらざる可し、夫は兎も角維爾遜氏の教書の示す所に依れば「米國々民は邪惡を征服せる平和を翼望するも常に平和を擾亂するが如き陰險なる力を永久に抹殺するの必要を認む」との意味を闡明し、中歐同盟側が國際道德に違反せる思想を一掃する迄は[illegible]

[illegible]

極東及歐洲

●石井特使參内　石井特使は水曜日參内[illegible]仰付けられ米國に於ける使命及び米國官民の一行に對する歡待並に日本に對する友情を逐一伏奏したるが[illegible]聖上陛下には米國の友情に至極御満足あり特使に對し優渥なる思召ありたりと承はる　聖上陛下には大統領ウイルソン氏に對し[illegible]親電贈呈[illegible]特使一行滯米中の好意歡待を謝し給ひ兩國の親睦愈々加はらんことを御希望あり今回表せられたる米國の友情により兩國の國際親善永久[illegible]

●[illegible]ハルビンには[illegible]白人住宅者あるのみ[illegible]在留外人は全然[illegible]の状に[illegible]ずして全く無政府の状態[illegible]

●支那記者團來朝　[illegible]

米國墺洪國に宣戰

大統領ウヰルソン氏が教書中に[illegible]せる墺洪國に對する宣戰決議案は豫想外の反對無き限り本土曜日中に議會を通過し同日中に於て布告さるべき模樣なるが[illegible]は土耳古及ブルガリアへも宣戰すべしとの設議[illegible]

●海軍補充費[illegible]

●命令米國航[illegible]

●巴里[illegible]

加藤君の繪

[illegible]

内地電報

…飛行機…

●日本庭球倶樂部の會員募集 邦人…

●一意匠家の歸朝 …氏は來る…の便船にて歸朝…

●…氏歸朝…

●…の教會 …

…午後八時「獻身の眞…」…

…ン光塩會…

…本月下旬…

●紐育日本美術會の新計畫 紐育日本美術會は漸次堅實なる發展を示しつゝあるが來春二月一日より十五日迄五十五丁目マクドーウエル・ギャラリーに於て在紐日本人美術家作品の大展覽會を催す新計畫あり門戸開放主義に基き會員以外の美術家の出品をも歡迎する由に付詳細の手續は…なる古田于雅堂氏…森村ブラザース…へ照會あれ

●今西…氏…

…毎年四月初旬より…月下旬迄…曜日を問はず隨意に…毎年一回盛大なる競技會を擧行するを例とす會費は一人に付毎月金二十弗（二月一日より四月一日の二回に分納）外にロッカー代二弗合計二十二弗を要すべく委細は森村ブラザース内別所氏に照會あれ

中川商會

輸出入業並に

船具…

貸室

大きな二間續きの綺麗なフロントルームを日本人紳士二人に貸し度し、優等賄付にて一週十八弗

Mrs. Ward, …

体育

に趣味を有し強健なる精神を涵養せんとする青年は速に本會々員たれ

日本運動倶樂部

電話コロムバス七一一九

…ユータ…

…本國…

The Bank of Taiwan, Ltd.

Room 202, The City Investing Bldg.,

165 Broadway, N. Y.

Tel. Cortlandt 2414-2415

本國預金

定期	米貨廿弗以上	邦貨三十圓以上	一年	年五分
通知	米貨廿弗以上	邦貨五十圓以上		日歩九厘
信託	米貨二弗以上	日貨五圓以上	一ケ年	年五分五厘

其他…

▲…

株式會社臺灣銀行紐育出張所

日本繪畫

卸賣

JAPANESE ART PICTURES

of EVERY DESCRIPTION

…

Japanese Art & …ing Co. 14 … St. N.Y.

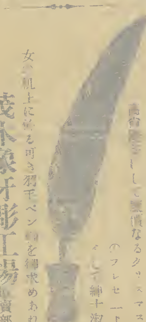
GIFT SUGGESTIONS

from the line of

Y. MOGI

Chinese & Japanese Art Work

14 East 57th St., N. Y. City



女の机上に在る可き羽毛ペン軸を御求めあれ

…として高價なるクリスマスのプレセント

…として紳士淑…

茂木象牙彫工場 小賣部

東三十七丁目十四番地

鹿島縣人會々館

有志諸君の來館を歡迎致候

宿泊自炊の準備有之候

… West 15… St. City



寶玉 時計

…で廉價

PHELPS & PERRY,

3 Maiden Lane, New York City.

開業御披露

…を引受営業…に…

…鈴木ふさ

…五番街…四八…

電話コロンバス五…

◎謹告◎

日本行貨物取扱

NIPPON YUSEN KAISHA

JAPAN MAIL S. S. CO. TOKYO, JAPAN

日本郵船會社紐育出張所

…

シヤトル…

藤井旅館支店

GREAT NORTHERN RAILWAY

紐育午後…時十五分チカゴより發車す、途中乘換なし…チカゴ以東は各鐵道に連絡す

客室は凡て最新式にして且線路は風景に富み…沿線の…方を經過し…なる…尤も愉快なる線路なり

NEW YORK … 1184 Broadway …

T. Kikuchi Studio

菊地寫眞館

4… Fifth Ave. N. Y. City

Telephone Murray Hill …

ふじ旅館並に會席御料理

…市内…

…

ボストン市

…

御下宿

鴨井久

Murray Hill 2956

47 Prospect Pl. bet 1st & 2nd Ave.

off E. 42nd Street

CALDWELL & CO.

FORWARDING AGENTS

50 Broad St. New York

… Bourse Bldg. Phila. Pa.

… CHICAGO ILL.

…

日米間貨物輸送

TOYO KISEN KAISHA

S. KUWAYAMA

… N. Y. City

Importers & Exporters

紐育市東…

電話…六八

日本食料品雜貨…

◎新年御用品種々到着

ちん〳〵もち…

(桑)(山)(商)(店)

T. KASAI

TAILOR

Room … Times Bu'g

御洋服調進

笠井洋服店

電話ブライアント…三一九

紐育市タイムスビ…

新柄澤山備へ置候

Irvington Auto Renting

Association



多人數にて…自動車の御…

…

タキシの御用

元…製箱所

菱田輝治氏 縦横談

[illegible]……記者

散り行く（散り行く花）

[illegible]佛蘭西と化し……すでに……此の舞踏會に……あらまほきダンサーはあらぬ。

二週の遺書を認むる……最後に聞へり。今一杯のコーフィーを、と、すゝめたれど……有り難ふ、されど今はとなりては……淡々は答へつ微笑めり。秋の銀れる那大路を靜かに消る一臺の自動車、それは彼よりもいとしき人を、今し……地にと送るなり。

恐ろしき銃殺の名の許に……銃殺の宣言を佛蘭西は……彼女に與へたるなり。……

紐育新報

札稽古

▲倶樂部ナイト は紐育年中行事の一に數へられる様になつたさうだ[illegible]者が[illegible]入つたので豫定通り今夕日本倶樂部の大食堂で其第十回目を開催する筈である。殊に木村[illegible]の指導で磨き[illegible]砕けた古河[illegible]「白浪五人男」を演ずるとのお[illegible]がしいのにも拘らず委員一同大車輪に汗水たらし[illegible]

▲一●●●●●体不体譲の 立案かは知らねど[illegible]入の癖にコンナ難物を持出し[illegible]倶樂部ナイトの特色を發揮しやう[illegible]と云ふ委員諸君の蛮勇には驚かざるを得ぬ。ソコデ稽古の樂屋を覗いて來た記者が内々で面白い處を話して[illegible]露わさう。今度の委員長は萬事演[illegible]を嫌いでも無い高[illegible]老博士であるが[illegible]次[illegible]の妻[illegible]君三[illegible]クエイヤミール より[illegible]ポート[illegible]聞で有名な[illegible]先生[illegible]大[illegible]扱の[illegible]走[illegible]の野村[illegible]君、[illegible]御座る銀行家[illegible]の[illegible]許二[illegible]若、[illegible]沒しさうな[illegible]太君[illegible]の下[illegible]面々であるからたまらない[illegible]

▲●●●●●●古參老博士を[illegible]頭にして[illegible]の[illegible]を試みた[illegible]出したので後任として森村[illegible]の[illegible]任官永[illegible]衛君が指名されたが[illegible]最初[illegible]遊[illegible]下つ[illegible]相であつたけれ共流石は一[illegible]を切らし[illegible]の面々[illegible]をかい[illegible]芝居[illegible]

[illegible]老人[illegible]の[illegible]に[illegible]ア[illegible]から芝居[illegible]に[illegible]の[illegible]に[illegible]「[illegible]松[illegible]」と云ふ[illegible]の[illegible]は[illegible]御[illegible]が[illegible]は[illegible]が[illegible]自[illegible]天[illegible]小[illegible]紐[illegible]勇の[illegible]は[illegible]

▲●●●●●●[illegible]なつて[illegible] 野村君が五尺八寸の[illegible]を揺かせながら「[illegible]し[illegible]にしたらよからう」などと眞[illegible]目[illegible]つてゐるのも恐縮だが愛[illegible]タップリの[illegible]君が『此[illegible]』と睨んでゐたのだ[illegible]萬引[illegible]破術を發明する所などは乍[illegible]大[illegible]みは利かずに富永君の『ギヤッと生れて深川の水で産湯』と云ふ[illegible]の者の[illegible]の如きは[illegible]神經の衰弱し[illegible]た人には聞かせられぬ物騒な仮[illegible]で玉子[illegible]丈の若[illegible]太郎は名詮自稱日本駄[illegible]に[illegible]はれて來た[illegible]是も日給ゼロ[illegible]の成田屋振りは上等だ[illegible]を入れて『男にあらで[illegible]』には抱腹絶倒、稽古場はお[illegible]大賑ひ。後藤君の南郷力丸が亦力味損ねて鼻から水つ鼻を吹き出す珍藝を演ずるなどは奇々妙々大切りの[illegible]川勢揃の場で捕手が[illegible]地君の駄右衛門を取[illegible]む所は宛然サアカ[illegible]から逃げ出した巨象を象使ひが[illegible]である。

▲●●●●●熱心な妻[illegible]君 は稽古の戻りに乗つたタキシーが公[illegible]の中央でスタックした時に同乗の木村氏夫妻を相手に一時間ばかり黄色い聲を出して稽[illegible]川の名乗りを研究したので其附近を警衛してゐた歩哨が呆れたと云ふ奇談もある。要するに孰れも誤熱心の[illegible]稽古の[illegible]の果が今夕の産物となつて[illegible]がなるべく公安を妨害しない範囲で遣つて貰ひたいのみならず萬一の場合特に二三名のドクトルを頼んで置いた方が危險が無からうと倶樂部の管理人大西老人は心配さうな顔色をして青息を吐いてゐた。

（闇中坊）

●ワイド●オープンにならぬタマニーの候補者が市長になつたから昔の様にグード●タイムが持てると[illegible]治郎連は喜んでゐたがハイランで新市長中々[illegible]骨で余が一月一日より親政後は風俗壊亂、賭博等は嚴重に取締ると公言して[illegible]方面の前科者には既に戒告を與へてある相だ。それで再選された檢事[illegible]ワーン氏に必要な丈けの探偵をドシ／＼備つていから取締法を励行して紐育市を清淨に保つて呉れと相談したが[illegible]内容は芝居の裸踊りや[illegible]の[illegible]辯[illegible]込も禁ずると云ふ事で[illegible]の下調べを開始した處[illegible]色々不[illegible]合な事を發見した[illegible]より[illegible]八[illegible]が[illegible]

投書欄

▲近來は[illegible]職と云ふ文句がソンジヨソコラで大流行だ相な「君は僕は一寸君から拜借した三弗を[illegible]したよ」[illegible]何れ其内」とか「あゝ君先達のエー君の送別會費一弗は僕が[illegible]して居るよ」などゝさ[illegible]職生）▲金魚の君子の[illegible]は肺病で死んだ其肺病を持つて御座る君子と接近するとパチルスが恐ろしいぞ[illegible]桑港地方から來た物識の[illegible]断しちやげな（コヤノ生）▲[illegible]風會では酒も賣らせぬ酌[illegible]も置かせぬ賭博も打たせぬと云つてゐる相だが至極結構世の中は[illegible]うして理想的になるのだ百竿竿頭一歩を進めて仕事もさせぬ飯も食はせぬとしては如何です（神様）▲日本から來る人は直ぐ日本金で幾らだと勘定して高い／＼と兵[illegible]を云ふがエーン生活の程度を考へて貰い度いソンナ連中に限つて自分の儲過ぎるのは[illegible]に上げてる（米化生）▲倶樂部ナイトの[illegible]師匠さんは近代劇に沒交渉な淺草六區で狂人の寝言の様な不可解な劇を演じ今又紐育で日本舊劇の[illegible]言師として御活動とはメカケに腹らぬ五九郎千萬（金[illegible]館下足番）

The Japanese Times

紐育新報

邦人商業會議所設立の議

[illegible]

米國雜事

●大統領の戰時鐵道管理要求 [illegible]

日本兵の烏港上陸說

東京十日發電として日本兵のウラジオストック上陸を傳へたるが右は目下露國の無政府狀態に在るより大戰援助の爲めか或は在留民保護の目的なるか未だ不明なり而して同出兵は聯盟國と協議せる結果なりとも觀測せらる

極東及歐洲

●新米國大使歡迎晩餐會 東京上流 [illegible]

歸朝雜識

[illegible]

●倶樂部ナイトの盛況

[illegible] 倶樂部 [illegible] 大野 [illegible] るが降雪 [illegible] りなりしに [illegible] 約四百名 [illegible] 閣下の大 [illegible] 當夜接待役を [illegible] 博士は [illegible] 立誓の [illegible] を利用して [illegible] 関係を [illegible] 子夫人を紹介し [illegible] 挨拶あり夫より [illegible] 意の落語を演じて聴衆の [illegible] 松山氏のヲ [illegible] ラ獨唱、駒 [illegible] 子夫人の [illegible] あり、午後十時 [illegible] 夜の呼物たりし演藝「白浪 [illegible] たるが委員 [illegible] 古の甲 [illegible]

目賀田財務官の盛宴

▲目賀田男爵の日本人
▲商業會議所設立慫慂

目賀田財務官主催の目賀田男爵一行並に在留邦人實業家の招宴は去る九日午後七時デルモニコスに於て開會したるが出席者は男爵一行の外高峯博士、矢田總領事、一宮、濱岡、家永、瀬古、今西、手塚、[illegible]、古谷氏等五十三名 [illegible] 目賀田財務官は [illegible] 場の挨拶と共に目賀田男爵を紹介し、男は起って答辭を述べ [illegible] 諸君と一堂に相見ゆるの [illegible] 會を得たるを喜ぶ」との挨拶に次ぎ [illegible] に於ける邦人實業家相互の利益を增進し、米國に於ける朝野の有力者と密接なる關係を結ぶの必要上商業會議所設立の急務なる所以を力說し、次に三井銀行代表者は [illegible] ヤプラン氏と共に去りし共同立を從說し [illegible] 專務取締役として財政經濟委員の [illegible] 人たる米山梅吉氏は男爵の説明を補足して一同の同意を求め、矢田總領事 [illegible] 其主意に贊成の意見を附加し [illegible] 氏の [illegible] 議あり不取 [illegible] 總領事に創立準備委員若干名の指名を委托するに決し各歡を盡して散會せるは午後十一時なりき

●日本運動倶樂部の [illegible] 日本運動倶樂部 [illegible] グ中學校講堂に於 [illegible] テフエンス協會 [illegible] 會後ゴー [illegible] 餘名、米 [illegible] なる晩餐會を [illegible]

●六一會 [illegible] は去る七日 [illegible] 高峰事務所の [illegible] 鐵石最の計較、[illegible] 見たる人類 [illegible] 日本亭千歳 [illegible]

●故倉知 [illegible] 會 來る十六日 [illegible] に相當するに付同日午後六時より料 [illegible] 善供養會を催す [illegible] の件其の他を協議したる後新井、中原及小西二氏の送別會を催せるが來會者廿餘名同會のカラーを發揮して頗る盛況を呈せるなりき

●家永博士の講演 [illegible] 下十三日午後 [illegible] ホテルに於て家永博士の「日本の婦人」と題する講演ある筈

●日本協會の目賀田男爵歡迎宴 本 [illegible] 既報の如く [illegible] ホテル・アスター [illegible] 日本協會主催の目賀田男爵 [illegible] 出席者日米八百餘名 [illegible] 盛會なりき

●青年會役員會及總會 既報の如く日本人青年會にては去日曜日夜役員會を [illegible] 會則修正の件及總會召 [illegible]

●小西ドクトル [illegible] 心に [illegible] 市俄古 [illegible] を經て歸朝の途に [illegible]

●小西貞助氏の [illegible] 來して何物かの建設に努力しつゝあ [illegible] 小西貞助氏は [illegible] 刺西爾に上着す [illegible] 地を出發する筈なり

當世の珍

[illegible]

新報詞壇

中米に赴く[illegible]に際して此歌をケー君に捧ぐ

[illegible]

名に負ふ[illegible]しれど知れど
[illegible]女らは踊る[illegible]かゝげし
[illegible]語る君のまつ毛はひたぬれね弱
[illegible]きいのちを君も憂ふや
アレン[illegible]マンゴの實る遠くに少[illegible]

別れの[illegible]

[illegible]

ヂリー・ヴイレイヂの一夜

[illegible]

[illegible]

▲[illegible]東洋[illegible]

The Japanese Times

SATURDAY

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Semi-Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Sixth Ave. N. Y.

Entered at N. Y. Post Office as second class matter

豫算案の發表と各政黨

極東及歐洲

米國雜事

共同購買組合組織に關する意見

紐育新報

佐藤大使と日貿田男爵招宴

◎ 謹 告 ◎

日本行貨物取扱

開業御披露

御暇乞

小林百助

當世の珍（一）

英語教授

◎質問あり

旅舘讓渡

倶樂部ナイト

盛況なる素人劇と女史の舞踊
紐育芸術倶楽部の演芸大入満



……ンタームに於ける

舞踏があった後藤君……の画郷は一番最後の演目……に對するン……があの……に出はれた。青木君の若旦那は自己……を具體に表現してゐるらしく少しも……なかった。高峯老博士の……素人役は鮮な自然の顔を利用し……て鼻に茶映……バイノ……を下げて演……調の……には有な腹を抱へた……菊神君の駄右衛門は体格に相應した大きな聲と動作が、如何にも良く調和してゐた。最後の

稲瀬川の場は一口に評すれば、眞に綺麗だった。菊池君の日本駄右衛門、水谷君の弁天小僧、妻沼君の忠信利平、……君の赤星十三、後藤君の南郷力丸、何れも揃の衣裳で手拭を肩にかけ……な樣子は、イヤ……日本人は日本服に限ると思った。菊池君の『問はれて名のるもおこがましいが』から『念佛嫌ひな南郷力丸』と後藤君が結んだ……。……と共に名乘りを擧げ……氣振……と、野村青木兩君の捕手……手を振り翳しての立廻りで幕切の……の……の由來、た……本……が迷優を……事は申す迄も無い、孰れも御苦勞……（忙中漢）

……田中君……安田君……野村君……青木君……谷君……後藤君……水谷君……高峯……木村……山崎夫人……

……シッカと達……

鈴木桂庵事務所

エクイテブル生命保險會社
代理人　石川哲
ブロードウエイ一九三二（西六十五丁目角）
電話コロンブス四三二六

新開業

御手輕御料理

うどん　そば　も御席に差上候
食堂は清潔、設備も御座候
御光來待上候

春喜屋

西六十一丁目二十六番地

DR. C. H. MARTIN
Lexington Avenue, New York City
Telephone Plaza 1693

齒科醫

親切　丁寧

五十九丁目……
マーチン

齒科

ドクトル　入交直重

JOKICHI OGURI, M.D.
171 west 95th St. N. Y. City
Tel., Riverside 3773

診察

自午前九時至同十一時
自午后六時至同九時
日曜日自午前九時至十二時

醫學士　小栗乘吉

海員御下宿

中島實

紐育市……
電話……

西洋料理速成教授

自午後一時至同四時
自午後七時至同十時
委細は當方に御來談を乞ふ

第六街九一五（五十一、二丁目の間）
電話サークル二七三五

山田……次郎

よく参れた亀田……
生方羊羹……茶そば
味淋漬……白餅……
千瓢……椎たけ　干油げ
凍豆腐……京梅干
うなぎ蒲焼……うどん

耳鼻咽喉科

秋本……

毎月十日發行　日本人

岡田

内外科診療

ドクトル　村瀬九郎

……Dr. ……D.D.S.
East 57th St.
New York City

齒科醫

半田旅館

417 ……New……Ave.

牛田宇一郎

會席御料理

ちとせ旅館

山本熊吉

御下宿

一葉亭　岩田

御下宿

田中奥次郎

豆腐屋

大平……太郎

御下宿

青年館

岡宮旅館

御下宿　吉田宗章

日本人青年會

會席御料理

東洋館

SANO BROS

會席御料理　若松

御下宿　中川



丸山洋服店

LAPICELLO

大……日本人……基督教青年會

The Japanese Times

日米新報

勞働の撰擇

「勞働神聖」は現に現代的標語として識人も異議なき所なるのみならず……

●石井子爵の日米親善演説

本社東京特電（十八日着）

昨夜……日米協會主催の特派大使一行歡迎會は……名にし非常の盛會なりし……左の如き演説を試みたり

予が米國訪問中に發表せる意見に關して……

……

極東及歐洲

……

共同購買組合

組織に關する意見（二）

……

米國[illegible]

[illegible]諸氏出席[illegible]

●…[illegible]一行の歸米　巴里[illegible]

●第十…回[illegible]於て發表せられたり

●[illegible]人救濟[illegible]金五百萬弗[illegible]

紐育と時勢

●日會理事會

[illegible]の如く去る十四日午後八時[illegible]館に於て紐育日本人會理事會を開催したるに出席者二十餘名、高峰會長議長席に着き會計、會務の報告を了し[illegible]小資本企業に關する調査委員會の報告、其他購買組合に關する調査委員會の報告を聽取し、次に[illegible]制裁に關する調査委員[illegible]氏より詳細の報告をなし[illegible]就きしは[illegible]會の[illegible]婦人事業援助の目[illegible]以て[illegible]より[illegible]附せる金[illegible]の[illegible]に充當する[illegible]

●コンビヤ大學日本人學生會　第十回[illegible]會は去る十五日[illegible]於て遣米財政經濟[illegible]氏夫妻を始め[illegible]菊地、松山[illegible]諸氏出席[illegible]

●[illegible]會は去る十七日午後六時[illegible]於て[illegible]より同七時四十五分よりアール・[illegible]に於て講演會を催したるに非常の盛會なりしと

●第十一[illegible]博士に依り[illegible]委員[illegible]第十[illegible]りし[illegible]名發表せられたる第四回の委員及び委員は左の如し

▲委員長　古谷竹之助▲委員　山口愛次郎　武藤真雄　神原御七郎　小林蔵一　石田直吉　嶺岸久治

●青年會茶話會　去る日曜日午後八時青年會に於て茶話會を開き秋山加[illegible]氏の[illegible]書に就て、境野[illegible]氏の[illegible]に就いての有益なる[illegible]來會者二[illegible]

[illegible]本年も押しつまり[illegible]か[illegible]多忙の義と奉察候扨て小店[illegible]來週[illegible]月[illegible]品も[illegible]豐富に入荷整頓致[illegible]御註文の程日々待居候

[illegible]今秋は[illegible]致候に付特に社員を東京出張所へ派遣し値段[illegible]精々吟味の上仕入に努め居候間他店に比し[illegible]廉價なるは[illegible]不及發養者[illegible]好に投ずる事と深く信じ申候何卒多少に不拘御用命[illegible]

御顧客様各位

[illegible]紐育東五九街二三四番
片桐兄弟商會

●手島知健氏の歸紐　[illegible]中なりし三井支店機械部[illegible]任し同氏は[illegible]々末歸紐

●中林正己氏消息　[illegible]歸朝せる中林ドクトルは去る十一月十九日着濱目下東京市澁谷四二[illegible]に在住の由

●沖田幸次郎氏の歸[illegible]　商用の爲め數ケ月間滯紐中なりし日本レース株式會社々員沖田幸次郎氏は昨日當地出發桑港經由春洋丸便にて歸朝

●服部純雄氏消息　岡山縣金川中學校長服部純雄氏は各地方視察の上去五日沙港着不日出發歸[illegible]の由

●丸山幸作氏の結婚　[illegible]山洋服店主人丸山幸作氏は遠山富[illegible]子と婚約成立來週木曜日日本俱樂部に知友十[illegible]名を招待し披露宴を催す由

●足達ジョージ氏の受賞　故足達[illegible]氏令息ジョージ氏は運動熱心家なるが前週米國某聯隊[illegible]合に開催せる國語學校生徒の競技に參加し六十ヤード競走にて七秒五分の一の記錄を作り金牌を得たる由

●島中[illegible]坡氏近況　[illegible]州シンシナチ市に於て興行中なりし島中[illegible]坡氏は去る十六日ピッツバーグ市に着本月廿九日[illegible]ニクソン劇場に於て[illegible]行の筈

●紐育歌留多會　第一回歌留多會は去る十五日夜日本人青年會に於て[illegible]かれたるが來會者卅餘名頗る盛會にて[illegible]平仕合の後選手競技に移り受賞者は一等行木氏、二等石[illegible]氏、三等[illegible]十名敷會せしは夜半なりき

●アダムス博士の講演　去る十六日午後八時紐育[illegible]日本人[illegible]教會々[illegible]小畑博士[illegible]

貸間

高架、地下及び街上何れにも便利ブロードウエイとアムスターダム街の間、[illegible]潔且つ廣く閑靜にして冷水溫湯の洗面場有り、御來談あれ
Dr. T. M. A[illegible]n 170 W. 83rd St.

御暇乞

小生儀墨國より歸紐以來諸君の御厚情を忝うせし段奉謝候扨て今般永住の目的を以て南米[illegible]西爾聖府へ來る十五日頃當[illegible]を出帆可仕候に就ては一々拜趨の上御意を得すべき筈[illegible]處行李早々の際にて甚だ[illegible]を得ず[illegible]略儀紙上を以て御禮旁御暇乞申上候

十二月[illegible]　敬具
[illegible]　小西貞助

當世の珍(三)

[illegible]ウッドロウ・ウ[illegible]

白[illegible]

[illegible]生

[illegible]外[illegible]自ら[illegible]、尤もな[illegible]、[illegible]遠く、[illegible]なる市民の『自由』[illegible]賢[illegible]政治[illegible]、領袖[illegible]々[illegible]はしき之々の十字[illegible]に說き[illegible]

[illegible]州知事たる[illegible]任期[illegible]、千九百[illegible]選[illegible]せ[illegible]らる[illegible]知事の職を占む。翌年推さる[illegible]議員となり、改選期[illegible]共和[illegible]勝[illegible]して今日に至れり。此人生[illegible]を通じて氏に認むる最的特點は學問力の絶大なる事なり。その初めて政事[illegible]に[illegible]するや、機[illegible]に依らず金力に依らず社會的門地[illegible]能背後の勢力に依らず、自[illegible]ふ手腕と不盡の精力にのみ之[illegible]據れり、其[illegible]する處[illegible]辯と爲り、[illegible]の議員[illegible]となり、[illegible]分政治[illegible]の挑戰となり、弊政刷新を喚ぶの[illegible]覺醒となる。下院議員としては常に[illegible]重要なる委員の任を竭して令聞高く故マッキンレイの白堊館に入るに及び[illegible]するに閣員に次ぐの要職を以て[illegible]せられしも[illegible]辭して自ら居るの高きを示し、州知事としての治績は多く比を見ず、殊に鐵道に關する法案の[illegible]定の如き[illegible]三[illegible]して終に之を遂げたる。抱負の實行を示せる最も明著なるものなり。かくて充分なる實[illegible]践的政治の才、淺からざる修養、旺[illegible]なる元氣をクロムウエル然たる面[illegible]に鉻打ち得る器に[illegible]り、新たに[illegible]下院に現はるゝや直に異彩を放ち、[illegible]の常例を破り、宣誓式後數[illegible]日ならずして時の極めて重要なる問[illegible]題に發言を試み出で、該博なる知識を或は學會の講義的に傾け、其辯舌を或は英國下院名士の大演説の如くに揮ひ、三日に亙り演壇を主用したる[illegible]振りは、語らずして他を[illegible]せしむるに餘りあらむ。左は氏の有名なる句なり。

"The[illegible]

ハバナより　[illegible]峯

[illegible]そのまゝの[illegible]で涙をだきあ[illegible]つゝ[illegible]変はすかにほゆ。

[illegible]をはらみつしきりにひたぬれ[illegible]さ[illegible]されし地をつみ居り。

[illegible]

◉貸間あり

[illegible]

球場賣度し

小生儀今回家事の都合に依り[illegible]渡米[illegible]來れる[illegible]過去四年間經營し來れるフールパーラーを至急讓渡し度し御希望の方は左に御來談あれ

第三街[illegible]八[illegible]六十二[illegible]角)

辻　米太郎

旅館讓渡

小生[illegible]今般家事上の都合に依り從來經營[illegible]在候旅館讓渡度[illegible]希望の仁は至急左記へ御來談被下度此段謹告致候也

レキシントン街六[illegible]四

電話プラザ六二[illegible]五[illegible]

吉田宗章

中川商會

輸出入業並に

船具食料品取扱所

109 Broad Street

Phone Broad [illegible]

■尋人■

鈴木豐作(北海道)　遠藤大亮(東京)

大久保儀三郎(兵庫)　久家一象(大分)

小倉[illegible]之助(廣島)　速水正三吉(廣島)

佐野軍治(或は佐藤)　河村二郎

清水幸四郎(廣島)　速水正男(大阪)

ケー・ワタナベ

右[illegible]者に通知致度義有之候間本人若くは知人より其現住所申出られたし

紐育帝國總領事館

職業の新天地

[illegible]吾等菓子製造業者は夙に日本人諸君の手工に巧なるを知るが故に其の天禀の技を發揮する新職業を提供して諸君が活動の範圍を廣めんとす速に來つて新天地開拓の好機を捉へよ

一、傭入人數に制限無し

一、永續の職業なり

一、ピースウオークなれば[illegible]時間は各自の自由なり

一、賃金は高率、仕事は[illegible]にして過激ならず

[illegible]イト[illegible]子製造會社

[illegible]

[illegible]機械[illegible]輸出業

[illegible]及び附屬[illegible]

渡米[illegible]察者其の他の便宜を[illegible]の項目に關する[illegible]めに應す

▼電氣事業調査

▼實業家及び渡米漫遊者の案内並に各種事業[illegible]

▼本邦製輸入品販賣の調査

本鄉商會

主任　電氣技師　本鄉湊吉

Tel. Beekman 4[illegible]9

Tribune Building,

154 Nassau St., N. Y. City

■英語教授

ENGLISH lessons to foreigners, by experienced teacher. Lenders[illegible] individual & class instruction

Miss Spencer, [illegible] West [illegible] St.

Tel. Circle 1948

JAPANESE STYLE FRUIT CANDY

日本果物キヤンデイ

弊店製フルーツ・キヤンデイの特色は品質の精良は勿論美觀と佳味とを兼ね居候爲め夙に米人顧客の好評を博し其需要逐日增大致居候

肯婚儀、誕生、クリスマス其他[illegible]て[illegible]及び[illegible]装飾用のアーテスチック・キヤンデイも[illegible]注文に應じ[illegible]小賣共精々[illegible]致に付御用命仰付られ度[illegible]上候

エム・[illegible]ープ商[illegible]

[illegible]吉太郎

M. PAUPP & COMPANY

[illegible] W. 150th St., City

Tel. Audubon [illegible]

和洋婦人服御仕立

紐育裁縫學校卒業

ドレスメーカー

武藤タニ

[illegible] Post Ave. N. Y. City

Tel. St. Nicholas [illegible]

正月御用品全部到着

[illegible]早々[illegible]御注文[illegible]仰付られ度[illegible]

例年の通りちんもちの御用にも應じ[illegible]候

株式會社　片桐兄弟商會

紐育市[illegible]五十九丁目[illegible]二十四[illegible]

[illegible]

[illegible]雜誌[illegible]

[illegible]

船具一切

[illegible]料[illegible]

一般輸出入業

日本船舶には特別御便宜相圖り可申候

[illegible]

櫻井弘

[illegible]

D. P[illegible] Co. Inc.

[illegible] St. New York City

[illegible]

日本[illegible]

[illegible]事務[illegible]

BANE, [illegible]

眼鏡師

診察無料



視力檢查專門醫學士

F. I. FREDERICS Co.

Tel. Plaza 518　136 East 59th St.

■英語教授

Lessons in English [illegible]

[illegible]

[illegible] City

日本人美以教會

[illegible]四丁目[illegible]グレース教會内

[illegible]禮拜說教[illegible]午後八時

牧師　[illegible]藤[illegible]

[illegible] Manhattan Ave. [illegible]

SING LONG LOW

CHINESE RESTAURANT

[illegible] East 59th Street

Corner 3rd. Ave.　N. Y. City

[illegible]の料理を供す

五十九丁で第三街の角

勝隆樓

日本人諸君の御來臨を希ふ

漢口樓

Hankow Restaurant

124 W. 34th Street

New York

食堂清潔　材料精選

メーシー直前

支那料理

漢口樓

日本人諸君を歡迎す

自午前十一時至午前二時　開店

品南樓

[illegible] Nam Low

480 6th Ave

Cor. 29 St.

御支那料理

美味にして清潔

品南樓

午前十時より午前六時まで開店

廣珍樓

QUONG [illegible] LOW

1931 B'way, N. Y. C.

Entrance 112 W. 65 St

今回食堂改築仕り特に日本人紳士諸君の御嗜好に應ずる樣調理可致に付き

支那料理　廣珍樓

價值の御最負を奉希候

●自午前十一時

●至午前四時　開店

基督教修道會

禮拜說教　日曜日　午後八時

新禱會　木曜日　午後八時

牧師　松永文雄

[illegible] W. 12[illegible] St. N. Y. City

Telephone Morningside 8[illegible]

体育

に趣味を有し[illegible]なる精神を[illegible]せんとする青年は[illegible]に本部員たれ

日本[illegible]運動俱樂部

[illegible]

御手輕御料理下宿

大黑屋

電話プラザ八六[illegible]

[illegible]

◎化粧品御賣

本店製香水、フエースパウダー、[illegible]、パゴダインセンス[illegible]の[illegible]なり

パゴダインセンス

メールオーダ[illegible]可申カタローグは[illegible]

五味商會

[illegible] East [illegible] St.

沙港大北旅館

■渡米御上陸[illegible]方は前以て御通知[illegible]出來得る限りの親切と注意を以て御用命に可應候

■弊館は日本人町の中央に有り停車上に一ブロック、桑港、アラスカ、バンクーバー、大阪商船渡戶航へも十五分間にて達せられ申候

■自働車の設け有之[illegible]なりとも御用命に應じ申候

電話エリオット九八二

館主　東方[illegible]

IMPERIAL HOTEL

[illegible] PINE ST.

San Francisco, Cal

■日本行切符手續取次

米國加州桑港パイン街[illegible]五番

電話ガーフイルド貳[illegible]

帝國ホテル

南加州の高等ホテル

白働[illegible]ステイームヒーター[illegible]

ホテルニューヨーク

羅府東一街三[illegible]五、サンピドロ街角　新築[illegible]

●ロスアンゼルス[illegible]

日本雜貨、食料品

其他本邦[illegible]にて[illegible]出來ざる[illegible]大勉强[illegible]材料[illegible]仕候。[illegible]日[illegible]

日米[illegible]

▲紐育[illegible]　[illegible]街二三八　木川[illegible]

▲[illegible]　南[illegible]町二[illegible]

Pool Parlor

[illegible]

(辻)

[illegible] Third Avenue

[illegible]

New York City

[illegible]

會席御料理

生そば

都

[illegible]

ブリーヂ　ヴィレイジ
一夜（中）

[illegible]幕が[illegible]られ、[illegible]の[illegible]なく[illegible]劇が[illegible]れ、最初の一[illegible]はモ[illegible]カスの[illegible]十[illegible]待合室の一場、[illegible]のコンテ[illegible]が夫の[illegible]、[illegible]好きなフアン●マリ[illegible]フが今情人と[illegible]せする妻を扮する。

中幕は「[illegible]フィシエンシィ」極く[illegible]喜劇物。アンプリックの[illegible]妙味のない[illegible]なし、ろみで、實際この[illegible]もなければこのような[illegible]つぽい事は[illegible]ほれる、まあ[illegible]たような物。

[illegible]の幕は「ワッ[illegible]」の[illegible]かげ[illegible]の[illegible]ンハ[illegible]イ女の一[illegible]衣裳、[illegible]ンド・ク[illegible]カルの[illegible]を殺し[illegible]

[illegible]れも[illegible]ふが[illegible]付から『どこかまた他へ行かう』と節を捲つて出る。

[illegible]石[illegible]一段升つて梯を[illegible]つて「アンディン[illegible]」と書かれた戸を推して内へは入る。は入つた一間は人はゐず隅々にはだかなベンチが置いてある、と中から主人が出て奥へと言ふ。

その奥の小さい一間には爐に火が燃え、[illegible]そひの低いベンチや腰臺にはクシャンが置いてある、予ら三人はどや[illegible]と爐の前に立つて手をあぶる。一人のキャップかぶつた中老の男が壁に身を寄せてグイターを細[illegible]に爪彈きして居る。ソファの上には一組の若い男と女がしつくりと寄りそうて[illegible]した表情を紅い灯の薄闇に照らされて居る。

先きの[illegible]家の主人が天井に届きそうな高い[illegible]から現はし[illegible]何かをこう[illegible]反すと、コーフィーに茶[illegible]コーそれにベイス[illegible]の[illegible]と言ふ、強い飲物はと[illegible]きくと、サイダーばかりと言ふ。サイダーを飲みながら壁に数ある小形の[illegible]を見廻はす…。そのうちに男[illegible]女の一[illegible]がにぎやかには入つて來る[illegible]何んだかこれでは氣が落ちつかぬから『どこかまた他へ行かう』と節を捲つて出る。

梯を渡つて一階下り、こんどはこちらの方の家へは入る。狭い階子[illegible]に立つてそこの戸を見ると「リトル[illegible]シイ　メイド」と書いてある。そう[illegible]で戸はあかぬ。これも移つて代り[illegible]がまだ來ぬのだなと思ふ。一階昇る[illegible]戸には「ロマ[illegible]マリー」と書いてあつて、その下に「ルーマニヤン　ピーザント　イン」とある、戸をあけると、居るは[illegible]中は人で一杯、[illegible]ない。

此の光景に驚かされて、は入ろうかは入るまいかとためらつて居ると[illegible]わつて居る眼の黒い切り髪の[illegible]が『カ[illegible]イン　ボーイ[illegible]』と呼[illegible]の中からも人さし指で招く。それに氣[illegible]は入り込む。人々の脊と脊[illegible]と[illegible]の間を分けて向ふ側へ行き、[illegible]ふり反つて立つて居ると誰か腰掛を[illegible]ばくれるから、そこの[illegible]蓄音器[illegible]の[illegible]に腰下ろす。

[illegible]この入氣。[illegible]のはやはり十一時[illegible]

[illegible]繪[illegible]板の[illegible]離れて[illegible]

[illegible]新案アラ[illegible]名[illegible]

●筆[illegible]の[illegible]

一[illegible]日本[illegible]
一、[illegible]アマウ[illegible]
一、伊國ワイン
一、英國ジン　[illegible]グラス
一、キャリフォーニャ
オレンジ汁　[illegible]

氷の代りに紐育の雪を用ひるも妙で[illegible]す、然し飲み過ぎ[illegible]の頭痛は私の責任ではありません。（田中生）

投書籠

込み合ひ[illegible]から御手短かに[illegible]

▲蕊々[illegible]劇[illegible]ばかりが浮きものか…コラ〳〵△日米週報[illegible]木鐸を敵くつもりでおちこはし△紐育[illegible]報　雷が裸體で[illegible]つて[illegible]を[illegible]ひき　△[illegible]風子　かめの子の「め」[illegible]、[illegible]ばかみの子か（日出度屋）

▲土地建物會社對日米週報の訴訟事件は辯妄書掲載で妥協したらしい遺憾千萬である[illegible]には[illegible]の顔に泥を塗つた事となる「なぜ」に相談しなかつた」と方々で力んでる。大に[illegible]論を喚起す[illegible]た（[illegible]生）▲[illegible]會で何もかも悪戯をテストーイするから一方に於ては[illegible]なる[illegible]演藝會を組織して平[illegible]に娯楽の道を講ずると云ふ有志が起つた[illegible]大々的にやつて欲しい[illegible]風會の助けにもなり在留同胞の慰安ともなり[illegible]な思ひ付きである双手を擧げて賛[illegible]（[illegible]次郎）▲[illegible]風會の會員で東洋館[illegible]借金の有る爲め辯護らしい事を言ひ觸らし[illegible]強硬な意見の出る度に公平らしい文句を並べる小僧は誰れた[illegible]（鬼將軍清正）▲此頃の[illegible]に[illegible]欄が[illegible]くされ[illegible]はやり切れない[illegible]を與へ[illegible]れ玉へ（[illegible]有志）△近來投書が少ないから勢ひ[illegible]なつたのです振つて寄稿してくれ給へ（[illegible]係）▲紐育新報社投書係前[illegible]日本の[illegible]とアイス　スケイティング[illegible]ルとを區別さする名案なきや[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

外交秘密文書の公表

近來外交秘密文書の公表頻々として行はれ[illegible]本野、ソゾノフ[illegible]露條約[illegible]の如き[illegible]に關する密約たるもの[illegible]の手に依りて公表せられ[illegible]伯林外務省[illegible]明治三十七年[illegible]外交秘密文書の公表は甚大の注意を要す[illegible]

[illegible]

露國の内亂亞細亞に及ぶ

▲過激穩和兩派ハルビンに爭ふ

▲露國の顯官續々日本に避難

紐育東京特電（廿一日着）

[illegible]ハルビン市に[illegible]逃げ込み來り[illegible]穩和派[illegible]過激派[illegible]外部より援助なき限り[illegible]一方西伯利亞の佳境を[illegible]

▲[illegible]ホルワット將軍は最早自身の生命に危險を[illegible]同市を脱走長春に避難し[illegible]露國前陸軍大臣ポリワノフ將軍も國内無政府状態に陷りたる[illegible]より身を以て亂を脱し日本に避難來朝せり

▲露國[illegible]ポヨタペフ將軍は日本の風光に接し漸く安堵の思ひを[illegible]憤慨を禁せざる如く[illegible]其の將來の方針を問はれ[illegible]多分日本に[illegible]外ならざるべき[illegible]噫だ漠然たるのみならず[illegible]ガリシアに大敗の爲め同陸軍の腐敗暴露するに至りたるスノミコルニミッシュ將軍に代り陸相に就任せる[illegible]中途[illegible]今日に及びたるが今回鋭意[illegible]日本に逃亡せる心事を察し民間に於ても其の來朝に對し少なからぬ同情を表しつゝあり、猶ほ露國孤絶状態は西伯利亞より日本に迄も[illegible]のみならず歐洲諸國に於ては政治的事情[illegible]露國帝室及高級官陸續避難來朝の傾向有り

極東及歐洲

●[illegible]會議[illegible]或は露國[illegible]に關する評議なるか[illegible]書

●巴里會議船舶割當決議　過般巴里に開催せる巴里會議の結果日本政府は出來得る限り船舶を割き之を聯合國に提供する事となれる旨公表せり

●飛行機隊改良協議　歐米諸國に比して甚しく幼稚なる日本陸軍飛行機を如何に改良進歩せしめんかに就き飛行界の有力者陸軍省樓上に相會し長時間熟議せり

●歐洲行はパナマ經由[illegible]日本海[illegible]

●[illegible]

●支那出兵か斷續　[illegible]利權保護を名義としてハルビンに陸戰隊出兵するは露國[illegible]に乘じ利權[illegible]行はんとするに外ならざるが[illegible]東清鐵道及び第二松花江航行權[illegible]本の掌中に歸するを妨害せんとする意嚮に出づる如きを以て[illegible]政府の注意喚起中なり

●總統府の對南政策[illegible]

[illegible]

目賀田男爵一行の其後

[illegible]會に臨席する筈なり

[illegible]

●[illegible]

本國雜事

●[illegible]

[illegible]

●讀者の參觀

[illegible]

●ボストン通信

[illegible]

貸間

[illegible]

◎謹告◎

[illegible]



寶玉時計

PHELPS & PERRY,
7 Maiden Lane, New York City

鹿島縣人會々舘

日本行貨物取扱

片桐兄弟商會

開業御披露

私儀今度下宿「やまと」を引受候處……を加へ「やまと屋」と改稱仕候、御下宿……御用の節は……奉願上候 頓首

「やまと屋」鈴木……

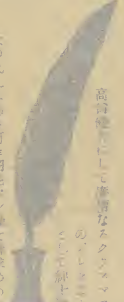
The Bank of Taiwan Ltd.

臺灣銀行紐育出張所

日本繪畫 卸賣

JAPANESE ART PICTURES

GIFT SUGGESTIONS
from the Studio of
Y. MOGI
Importer of Japanese Art Work
[illegible] N. Y. City



高尚優美にして實用的なクリスマスのプレゼント

茂木象牙彫工場

GREAT NORTHERN RAILWAY

藤井旅館支店

T. Kikuchi Studio

菊地寫眞舘

NIPPON YUSEN KAISHA
JAPAN MAIL S. S. CO. TOKYO, JAPAN

日本郵船會社 紐育出張所

シヤトル

CALDWELL & CO.

日米間貨物輸送

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船會社

S. KUWAYAMA

◎新年御用品種々到着

(桑)(山)(商)(店)

T. KASAI TAILOR

御洋服調進

笠井洋服店

新倫洋山備へ置候

鴨井久

御下宿

Murray Hill 2958

E. 42nd Street

ボストン市

ふじ旅館 御料理

タキシの御用は

Irvington Auto Renting Association



元造製箱師

J. CAROW CO.

紐育日本人商業會議所問題

天田總領事出席の下に實現か

在留有志の協議會に就て

…日本人商業會議所の設立を主張するは…在留日本人の利害…

▲…打開策…今西…新井…古本竹之…小松…布哇…日本人商業會議所…

…經費の負擔を…自然…有力の各實業家も…

クリスマスの噺

（本文判読不能）

東京便り

―有楽朝者の話―

（本文判読不能）

▲絶對禁酒……▲千金、森村、……▲お正山盛……

（本文判読不能）

The Japanese Times

報知新報

外交秘密文書の公表（二）

[illegible]然、共和[illegible]遂行[illegible]フヤスベシト信ル[illegible]獨逸ノ[illegible]權ヲ保保せんとに[illegible]當然の任[illegible]外交家として[illegible]しだるものなりと辯護し得ざる[illegible]

本社東京特電（廿四日着）

●支那東淸鐵道管理說

▲東淸鐵道沿線に支那兵急派

▲日本現政府の無能攻擊開始

露新政府の勢力北滿洲一帶に及び東淸鐵道全線其の占領下に陷れる結果支那政府は聯合國の慫慂に依り更に東淸鐵道沿線一帶の地域に[illegible]聯隊の兵[illegible]決せるが右は聯合國の同[illegible]する處にして聯合國は[illegible]支那兵をして[illegible]せしむるのみならず進んで支那政府に[illegible]臨時東淸鐵道[illegible]に任せん事を提議中なりとの說あり

▲日本政府の[illegible]　東淸鐵道は[illegible]露[illegible]商[illegible]於ける帝國[illegible]を[illegible]るものにして未だ具體的協定を見るに至らざるに露帝國政府[illegible]懸案となりをる[illegible]にして聯合國が支那の同[illegible]鐵道管理[illegible]說は遂かに日本當局者を驚駭せしめをるに似たり

▲現內閣無能攻擊　支那の東淸鐵道假管理說に[illegible]現內閣の[illegible]外交[illegible]方針を攻擊する者[illegible]にし[illegible]政府側[illegible]大[illegible]中なり

極東及歐洲

●露領出兵說否定　露領シベリヤの[illegible]混亂及び日本國[illegible]する露領出兵[illegible]立を豫期し[illegible]

獨帝の聲言

アムステルダム[illegible]

●紐育日本人商業會議所問題（下）

◆目賀田男の意見を徴して　◆同氏の上大使に協議を提出

目賀田男爵招宴

謹告

●丸山幸作氏結婚披露會 豫報の如く去る二十日午後八時日本倶樂部に於て丸山幸作氏結婚披露會を催した

●田口夫人の經過 過般自動車の災害に罹りて負傷せる田口一太氏夫人は爾來入院加療中の處漸次快方に赴きつゝあり遠からず全快すべしと

轉寓

鳥居孝一郎

日本行貨物取扱

開業御披露

日本近信

●海外海運界…

新報

	本月十五日	十月三十日
内地	四六一	四六〇
海外		五八六
合計		一〇四六

貸間

鈴木桂庵事務所

生命保険會社

グリーンウイッチビレイジの一夜（下）

……

［讀者戒］

……

……

[illegible]

The Japanese Times

No. [illegible] VOL. [illegible]
SATURDAY December [illegible]



紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Semi-Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
S. Mizutani, Proprietor,
[illegible] Sixth Ave., N. Y. City.
Tel. [illegible] Chelsea
Subscription Rates, [illegible]
[illegible] per year postage
included.
Entered at N. Y. Post Office as
second-class matter under the
Act of March 3d, 1879.

改年の辭

自然の大威力が未だ人間の征服力に拘束せらるゝ所なきは遲滯なく連續せる「地軸の廻轉」てふ活ける事實に依りて明かに證明せられつゝあり。而も吾人は自身の便宜上暦日なる者を作り隨意に其推移を計算し舊年若くは新年の分岐點を定む。是れ頗る「コンヴェンショナル」に似たりと雖亦必ずしも然らず。彼の奇僧一休が『目出度もあり目出度もなし』と一喝せるは徒らに自己が私淑せる老子の無爲說に雷同せるに非ずして人間の自然征服に對する努力と其矛盾のアイロニィを道破したるにあらざるなき乎。

蓋し吾人は大正六年を送りて新に大正七年を迎へ茲に吉例に遵ひて個等數のレゾリューションを試みざる可らず。春夏秋冬、月前花後、漫然として醉生夢死するは適者生存の鐵則に顧みて吾人の本懷とする所にあらざるは勿論なるを以て改年と共に先づ舊痾を醫し、以て舊弊を改め少くとも一歩一歩ミレニアムの境地に近接するの勇氣を振作激勵せざる可らず。

若し改變と革正とは進歩向上のシンボルを示すものなるが故に吾人は飽く迄スタグネーションの危險を自覺し、個人として將た國家として幾多の缺點あるにもせよ、將來斷じて誤れる退嬰保守の思想をして支配せしむべきに非ず。此意味に基き吾人は黨閥、軍閥、財閥若くは學閥等有ゆるスタグネーションを醞釀すべき『門閥主義』を驅逐するの急先鋒となり吾人の宿論たる人生の門戸開放、機會均等主義の實行を期せんが爲に更に論陣を整へ不敏乍ら在留同胞諸君全部の機關として貴重且愉快なる當然の任務を果すことを怠らざる可き也

農政なき米國

農學博士 横井時敬

予は滯米六ケ月間有ゆる機會に於て米國農業發達の一斑を視察し概して其の規模、計畫の雄大なるを目擊することを得たる次第なるが、尨大なる地域と無盡藏なる富源とを有する米國としては農產物資の產額甚だ貧弱なるを免れず。麵粉の原料なる小麥と云ひ、コーンと云ひ、大麥と云ひ、將た米と云ひ砂糖大根と云ひ其年額は正に現在の數十倍を產出し得べきポッシビリティを有しつゝあり予の卑見に依れば此眞因は米國の農業其者が未だパイオニャー時代に在りて所謂專門家の見地より論じ得べき農政を有せざるに胚胎せるものなりと信ず。

予は曩に偶々篤學の噂高き某大學教授と會見して日米の農政に關する意見を交換したるが、米國に於ては『アグリカルチュアル・ソシヲロジイ』を以て無二の農政學なりと信じ居るもの如く、理論は兎も角實際農政の研究てふ方面に對しては頗る幼稚なる思想を脫せざるの憾あり聯邦中央政府の農務省は農業行政の本部と言はんよりは寧ろ一個大規模の農事試驗所に過ぎず、而も米國の國情として農業に關する各州當局者の聯絡、統一を缺くが爲めに、或地方の如きは農家を政黨政治の犧牲に供し、若くはトラストの跋扈するに委して省みざるの風あり、隨て健全なる農業の發展を阻害するのみならず、農家自身も素人の門外漢に依りて經營せらるゝの傾向あり。彼の有名なる農政學の泰斗レンルート博士が『素人に依りて產出せらるゝ米國の農產物は實に歐洲一般產業の威嚇なり』と斷言せるは一理なきにあらず。今若し米國にして聯絡あり統一ある農政を施し得る時代に到達するものと假定せば果して如何、歐洲の[農]業は勿論、世界の產業に一大變革[を]要なる[時]に[際]して日本の農政も又其[illegible]を起すに至らざるなき乎、是れ予等[が]影響に應じ[て]農政の改善革新を加[へ]斯學に志せる者の特に研鑽を要する[こと]あるなりと信ず。（文責在記者）

佐藤大使に與ふる書

薔薇洞 迂人

華盛頓駐劄特命全權大使
佐藤愛麿閣下

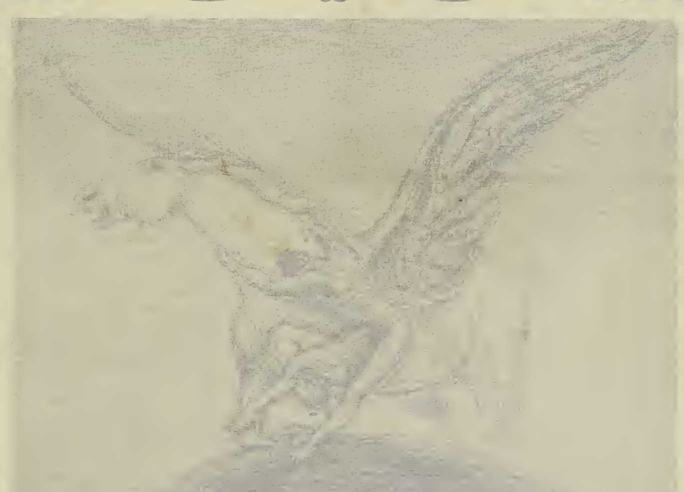
迂人は平生自ら市井の窮措大を以て任ずる者なるが、上書の通癖に囚して閣下の一顧を煩はさんとするには殆んど其未來なきが如くに傳へれ修辭の末技を弄して自己の存在外ならず。若し夫れ書中直言直筆にられたる閣下を推して駐米大使の重を先輩又は有司に強要せる唐宋時代走り不遜不敬の文字あらば野人禮節任に就かしめたり。故に消息通は[illegible]の文章經國論者の顰に傚ふを悦はずに嫺はざるの罪として希くは之を寛下任命の當時相𠱀いて曰く『是れ石隨て瑣細なる自家の不平不滿を愬訴恕せよ。[井]の私的外交なり、隈閣瓦解の後日し或は獵官榮達運動の爲めに閣下の遂に珍田大使の倫敦駐劄を命せら[れ]本[野]朝野が佐藤の無爲無能を肯定せ尊嚴を冒瀆して一書を裁するの勇氣るゝを側知せる迂人は惟らく從來[無]る時に當りて進んで自己の[筆]鋒を[illegible]

を有せず、[然]も經國濟民の至誠に於ては毫も閣下と軒輊する處なきを信ずるを以て、茲に惘々の微衷を披瀝

[illegible]主義を墨守して一貫し來れる霞關[illegible]當局者も日本が既に骰子を歐洲大戰の渦中に投ぜる以上華盛頓駐劄使臣の人物に關しては陋習を打破して日米國際關係の改善を籌畫し得べき第一流の外交家を簡派するに至るべし。然るに當時霞關の主人公たりし石井子爵は外交家として過去に於て未だ何等秀拔優越の手腕と權威とを示したる事蹟なく、故國の言論界に於

さんとす[illegible]の如き巷衢街[頭]に[illegible]り迂人の[illegible]りと雖而も[白]日の[illegible]歸は一の事實に[illegible]かずてふ哲人の格[言]に顧み[illegible]井子爵が特派全權大使として得意[illegible]面對米問題の『クリーム』を攝取[illegible]れるに拘はらず閣下が[illegible]て華盛頓に籠居し意外に[illegible]せる鐵禁輸問題の未解決に懊惱しつゝあるを視て所謂消息通の私語必ずしも[荒]誕無稽にあらざりしを看取するを得に迂人は閣下に對して衷心より轉た全幅の同情を寄せざるを得ず。

蓋し迂人の迂說に依れば駐米大使たるべき資格の第一は大膽[illegible]放膽無邪氣にして露骨、露骨にして而も機略あるの外交家ならざる可らず。第二、コインに淡泊にして年俸と交際費とを鎖費するも尙且私債の高を重ぬるを辭せざる底の巨頭ならざるべからず。一年僅々數萬弗の交際費を蓄財に利用し以て老後の計に供へんとするが如きは抑も始より米國人とコンタクトするの途を辨せざるもの也。第三、問題の惹起するに從て適當に米國人を理解するのアラァトネスとプレパレイションとを具備せざるべからず、[徒]然朦朧乎々乎として無意識の間に對米問題を處理せんとするは危險も亦た甚だしと謂ふべきなり。閣下にして若し維[illegible]氏と接觸する機會ありと假定し、紐[育]日[illegible]且り[illegible]日米問題に關する自己の意見を力說し、同時に米國の外交家[若く]は政治家を啓發せんとするの自信あり、年俸を擔保として數萬金を調達し且つ巧みに散じ得るの自信あり、且つ問題の發生する毎に適當に米國人の心理狀態を理解し其[illegible]ーアメントを推定するの自信あらば須らく華盛頓を墳墓とするの氣力と覺悟とを以て駐米大使の椅子を固持すべし。若し然らずんば歐洲戰爭を中心とする世界政策の[illegible]推移に伴ふ[illegible]故、何時孰れの一角より[illegible]來あらんも豫知し[得]はざる[illegible]の時機に際し徒らに閣下の手腕と力量とにのみ信賴して日本の世界的地位を維持せんとするは[illegible]なりや否やや迂人竊かに深憂と爲ざるを得ず。迂人は寬量海の如く洪大に而も氣格山の如く高雅なる閣下の自己[illegible]に訴へ閣下に對して如上の自信ありや否やを訊かんと欲す。是れ[illegible]迂人が特に一書を裁して公開する所以な[り][illegible]



時の疾驅

[illegible]蘇醉語

▲[illegible]

▲衆議院 も愈二十五日に[illegible]

▲大使館 [illegible]

▲眞面目 [illegible]究して[illegible]伯や本野外相等を[illegible]る位の人物が出現[illegible]

▲政治家 [illegible]抱負もなければ[illegible]術をも心得ぬ[illegible]米國議會の見學にでも[illegible]

▲[illegible] 審査を[illegible]行するや[illegible]招喚して手[illegible]八百長式豫算委員會[illegible]

▲委員會 へ大臣、[illegible]

▲民主黨 政府の建設な[illegible]以て旨[illegible]することなく[illegible]を善用[illegible]

▲政友會 [illegible]しい事は[illegible]

▲[illegible]務 [illegible]外交[illegible]

▲潜航艇 隊を[illegible]北極[illegible]

▲[illegible] を利用[illegible]自分[illegible]無[illegible]の神様も[illegible]

▲[illegible]々 は軍[illegible]は[illegible]血を[illegible]

▲北[illegible]

▲[illegible]

△△活氣横溢せる——

歳晩の米國議會（上）

舊臘二十七日を以て開院式を執行せる故國日比谷原頭の第三十九議會は定例に依り一月中旬頃迄休會中にして何等立法部としての活動を示さゞるのみならず議會開會前の形勢は與黨たる政友會幹部より何等かの要求を寺内内閣に提出すべしと傳へられ居たるも恐らく現下の政界に格別の變調を呈すべくもあらず惰氣滿々の裡に豫算案は勿論廣軌鐵道改築案、税制整理案等を通過するに至る可しと觀測せられつゝあるを以て結局頗る不滿足に政府の施政を監督するの任務を果たすに了るべく特に細叙の價値なきに似たるを以て茲には活氣横溢せる歳晩の米國軍國議會を畧說して讀者の一粲に供せんとす

◆開院匆々對墺宣戰布告◆

第六十五下半期の議會は千九百十八年下院議員の改選期を控ひつゝ上半期の議會に於て通過せる歐洲參戰の重要法案を行政部が如何に有効に施行しつゝあるかを監視督勵するの任務を帯びたるのみならず更に軍國議會として各種の問題を議定するの必要あるが爲め開院前より上下兩院の空氣頗る緊張せる次第なるが十二月四日開院匆々維爾遜大統領は議會に臨席して米國の參戰態度を闡明し獨逸の軍閥主義を屈服し得る迄は干戈を終熄さゞるとの意氣を示し同時に對墺宣戰の必要を唱導したるを以て擧國一致の情勢翕如として興論、上院に於ては平和主義者として與論攻撃の標的となりし外交委員長ストーン氏を始め、北ダコタ州のグロナ氏、ネブラスカ州のノリス氏、ミシシピー州のヴアートマン氏等さへ賛成側に加盟し、僅々一時間の討議を以て七十對零即ち出席議員滿場一致を以て對墺宣戰決議案を通過し、下院も上院と同日即ち十二月七日大多數にて該決議案を可決せり

◆鐵道國有に關する意見◆

參戰以前より混雜を極めつゝありし米國各州の鐵道は愈々戰時に入りて以來一層甚敷從業員の同盟罷業事件は幸に大統領の居中調停を得て一時圓滿に解決したるも、機關車、貨車の不足、各鐵道會社の聯絡不充分等の原因より軍隊兵器の輸送力缺乏の事實明白となりたるが、現在の戰時鐵道委員組織にては鐵道會社を統制御の實績を擧げ難きを以て、維爾遜氏は戰時中鐵道國有の案を立て當業者と交渉したるに最初は異議百出の模様ありしも軍國の事態は一日も等閑に附すべからざるを察し、多大の犠牲を拂ふとも當局者と歩調を共にせざるべからずとの意見有力となり上下兩院議員の論調も此際維爾遜氏の政策を封助するを至當なりとし一月十九日海相ダニールス[illegible]に一致し臨時鐵道院設置に決定[illegible]委員會に招喚し米國鐵道院臨時司令[illegible]しく現職相として厖大の豫算を計畫し長官シムス提督と本省との意志疏隔[illegible]自由公債の發行、聯合國各々債の交渉、を來たせりとの風評ま[illegible]兵士保險法制定等軍國財政の衝に當らせる[illegible]

横濱正金銀行紐育支店長　一宮鈴太郎氏住宅

此瀟洒な住居で一宮夫人は同胞婦人社交の中心となりて近くは米國赤十字後援に努めつゝ繁忙な紐育金融界の激務に鞅掌する傍ら在留邦人發展の爲に盡瘁して居る主人と共に社交改良に爲する



◆陸海軍當局者無能攻撃◆

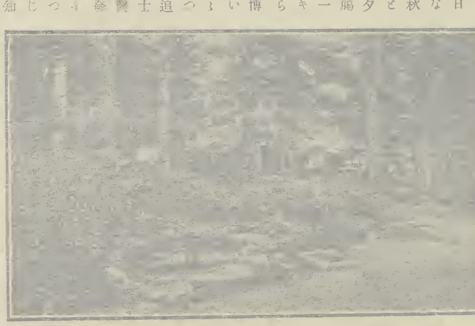
米國が陸海軍の遣歐隊を特派せる以來上下兩院議員中視察の爲め渡歐し踏査して歸米せる者あり、出征軍隊の實狀を視察して多少の怨聲を聽取し又は驅逐艦隊將士の希望をも參酌して當局者の軍事的準備に不滿足なる点あるを發見したる次第なりしを以て上下兩院共相前後して調査委員會を開催し、上院に於ては十二月十三日砲兵工廠總監クロージャー將軍を招喚して手嚴敷取調を行ひたるに同將軍は大組織の軍に對する軍器の供給が相當の時日を要するは當然なりと主張したり。然るに四月初旬宣戰布告を爲せる以來漸く八ヶ月に至り豫算の一部を軍器支拂に要求するが如きは畢竟遷延怠慢の責を免れざるに非ずやとの糺問を受くるに至りたるが同將軍は開戰前より購買の契約をなすべきは[illegible]したれ共同團の事情止むを得ざるに出でたるのみと辯明大に力めたり。上院の陸軍調査委員會に次いで下院に於ては十[illegible]

りて歳晩を揮ひたるマカドー氏を[illegible]說あり如何等の質問を受けたる情を得たるもの〻如し。而して陸軍ある[illegible]相兼攝の備約に[illegible]に對し海相は極力其風說の根據なき[illegible]器の供給に關しては臨時軍機省を[illegible]を指摘して逆襲的答辯を與へたるが[illegible]大[illegible]して閣議に列せし[illegible]大体海軍の施設に對しては輿論の同[illegible]しとの說現はるゝに至りたり。

●松楓山莊夜話

□斜めに爐邊の紅焔を一瞥しつゝ
□白髮童顔の老博士は語る

▲雄鹿鳴く其山里　と古歌に謳はれた日本の田舍にあり相なメリーウオルドの秋も今將さに老ゐんとする十一月十日の夕肌寒を嘆ち顔な上蘭も見ぬ松楓殿の一室に自製のウヰスキーを客に奬めながら白髮童顔の高峯老博士は丁髷を頭に戴いて大小を手挾みつゝ長崎遊學の途に上つた當時の興趣ある追懷談を試みた。博士の厳父は加賀の典醫で蘭學に秀で且つ發明の才ある幕末ハイカラ黨の重鎮であつた。即ち蘭學を通じて世界の大勢を窺知し得たのみならず加賀藩歴代の施政方針たる利用厚生の道を開拓するの志を抱いて居たので僅かに十二歳で博士は、當時蘭學の最も盛に行はれた長崎へ遊學を命じて泰西新文明の空氣を呼吸させたのである。



▲高峯博士の特長　たる發明の偉才は決して遺傳的に繼承されたものであらうが、[illegible]、精力絶倫の博士が米國に於ける[illegible]男爵[illegible]、或は前述の駐米大使として日米人より敬仰せらるゝ所以のものは、幼時に享けた[illegible]新文明の空氣に接觸した一事が恐らく其素因を作つたのである[illegible]蘭學の教授を受けんがために加賀藩の御用人に指揮せられて蘭人某のボーイとなり、給仕の役迄を勤めながら頻りに螢雪の苦を嘗めた博士の回想談は趣味津々として容易に盡きぬ[illegible]もあらぬ。或時の如きは藩の一青年が故なくして加賀藩の[illegible]を[illegible]した事件を詰責せねばならぬと云ふので、決死の血判を連署し直接薩藩の當局者に交渉の結果其一青年をして自刎せしめんとする迄になつた一大騷動に參加して活動したこともあつたさうな。

▲王政復古の革命　が成功した後に博士等の遊學生は一度郷地へ召喚され更に大阪英學校に在學したが、聽て再び東都に留學して工部大學に入つた。大學の教授は全部殆んど蘇格蘭人であつたので一時は蘇格蘭兵士の被ぶるやうなものを制帽とし、靴下から上衣、上衣は勿論、合羽まで蘇格蘭式を用ゐたものであるが加賀人の特色たる利用厚生主義は蘇格蘭人の勤儉力行主義に彷彿たるものがあるのも面白い。大學を卒業して約三年蘇格蘭に留學して歸朝した博士は農商務省特許局參事官に任ぜられ千八百八十四年ニウ・オルレヤンスの萬國博覽會視察旁米國出張を命ぜられた。是れ博士最初の渡米で

▲松楓山莊の主人　がキャプテインヒッチの秘藏娘カロラインと婚約を結んだのは官用を帯びて博覧會に出張中のロマンスであるさうだが、翌年歸朝の途次列車に搭じてテキサス州の某驛に着いた頃十數人のカウボーイが便乘した。事あれかしと待構ねて居た彼等は博士が流暢な英語で隣席の氣品ある美人と會話しつゝあるのを發見して『米化せる支那人居るべし』と互に目くばせしながら『クリーヴランド大統領の意見に賛同せる吾等は一支那人に米國美人の婿を占有せしむべからず』と決議し密かに博士を車窓外に投げ出さうと云ふ相談を取極めた。然るに其密議を洩れ聞いた米人夫婦（ピー氏夫妻）が博士と睦まじく對談しつゝあつた彼の美人に密告したので、博士と乘り合はせた美人とピー氏夫人とがカウボーイフォーアマンに逢つて『あれは支那人では無い、日本政府の官吏である。日本人は支那人とは違ひ万一亂暴を働き掛くれば命知らずに抵抗するであらうから、自然お前達の内に四五人の死傷者を出すのは免れない、のみならず一場の悪戯の爲めに國際事件などを惹起しては不利益である』と說き伏せたので、博士は漸く一命を拾つた次第である當時

▲博士を救助した　美人は良人エー[illegible]の遺産を所理すべく加州に赴きつゝあつた實業家の未亡人で、又エー夫人と瀛車中で昵懇になつたピー氏夫妻が瀛車中で割引乘車切符の使用期限が遅れた爲めに若干の現金補足を必要とした際に博士は『旅は道伴れ世は情け』の古諺を實行してピー氏夫妻を救つたが、徳孤ならず必ず鄰あり、博士の貴重なる生命も救はれたのも要するに陰徳を施して陽報を得たる譯であらう。客と接して語ることを厭はぬ博士は颯々たる松籟の松楓山莊を襲ひつゝあるに拘はらず、紅焔となつて燃ね立つ栗の切株を一瞥しながら、[illegible]の襟をくつろげ、ウイスキーを客に奬めながら、夫れから夫れと面白い話しを續けてゆくチャーミングな主人公の態度に渾然として同化した客は得も言はれぬ温かい氣分を味つた。

（一九一七、十二、十）

◆◆南米に活躍する

獨逸の煽動的畫策

＝西班牙語の新聞紙を利用して英國及び合衆國反抗熱を煽る

畏るべき獨逸の劃策が最近に於て益々其氣勢を昂めつゝあるのはラテイン アメリカである。其の劃策は主として中、南米の大都會にて發行する西班牙語の新聞紙及び書籍を利用して輿論の喚起に努力して居る。

主唱の要旨は『獨逸の捷利は確實である、故にラテイン アメリカの獨逸に親善なりし者は將來の實業界に於て愛惠的代理者たる可し』、又『合衆國及び英國は獨逸との競爭を排除すると一致し、中、南兩米に於ける實業を支配せんと企畫せるが其の實現の曉には國民の勢力を提供して利益は英、米兩國の獲得する處とならむ』との二點である。

そこでコロンビヤに於て彼等は、米國は國際的盜賊にしてパナマを奪掠せりと主張し、同時に獨逸の戰捷後は該[illegible]附近は勿論、パナマ運河の支配權を認むるが、獨逸は領土或は政治上の野心を有して居る者でなく、單に英、米の行爲に就て是非曲直を糺すのみ其報酬としては國民にも多大なる利潤を齎らす商業的活動以外には要求せず、と宣言して居る

コスタ、リカに於ては、合衆國がティノコ政廳の存立を承認せざりしを反撥し、彼等は同國統治權對立に擁護助力すべしと力說して居るが、彼等はニカラグワ及ヘウォール・ストリート資本家が醸せる墨國の紛擾を引證し、米國の政策に反對して中央亞米利加諸國が同一致の步調を執るべきを論議するのである。

アルゼンチナに對しては領土をアマゾン河岸迄で擴張するを約し、チリーはボリヴィア及ペリユーの大部分＝ペリユーがブラジルの轍を踏みし場合＝を取得すべく、ヴエチジユラは英領グイアナ及アマゾン河に及ぶ區域を獲得すべしと締約して居るのだが、獨逸の科學者連が同地方の天產物を研究して以來住民の親獨熱を高調し強固なる基礎が出來て居る

以上の獨逸の活躍は、米國參戰後は大部分獨逸本國に於て計畫せられ西班牙を通じて南米に傳達されて居るとは疑ふの餘地がない樣である、と云ふのは該運動資金として潛航艇に金貨を搭載して西班牙に輸出した事及同國より印刷物の到着した事等の確證がある。且つ其の金融機關としては、或るラテイン・アメリカン銀行及商社等が仲介者となつて紐育に送金し、間接に米國政府に依つて保護せられ、必要に應じて獨逸の利益の爲めに引出されてをるとの噂もある。（南米歸客談）

オフキス・ウオークに於ける主人は令閨のドライヴする自働車に乘つて行並[illegible]



森村新井商會員　伊藤良吉氏住宅

紐育新報（其二）

精神上より見たる同胞間の社會問題

清水宗次郎

人は其本質に於て精神的なるが故に人生の要求と社會の變化より生ずる幾多の問題も精神的見地より解釋し得らるべきものなるを信ず、勿論精神的要求と物質上の利害得失とは相錯綜して一面複雜なる現象を呈して居るかの如く感ぜらるゝのであるが人の心の働きは其の根底に於て案外單純である如何となれば人の心には常に省察の力がある而して此力の幾らなりとも働いて居る間は其處に向上の希望生ず此希望は精神の全幅を注いで盡すべき價値ある理想を見出さずしては止まぬのである、既に希望あり理想ある以上必ず其處には努力の精神が生ずるのである是れ即ち精神的には自重心の喚起、理想の聖化、奉仕心の涵養である此三つの要素は健全なる社會を建設する基礎であると余は信ずる。

此の立場より同胞間の社會問題に就て考ふる時は第一に注意を要すべき事は自重心の喚起である、日本人は自重心に乏しい日本人の自重心は兎角自己主義となり虚誇となる、自重心の欠陷は社會的不平不滿と成つて現はる今日同胞社會の不健全なる原因は社會的不平不滿より起るのである、個人の社會的不平不滿は一樣の事實となつて現はる、即ち消極的には自暴自棄となり積極的には社會的詐僞手段、不正行爲となる是れ人生の價値より見れば個人の精神的死社會の精神的破産である此れ今日紐育の同胞間に起る現象にあらずや。

健全なる社會組織に必用なる第二の要素は理想の聖化である箴言の書に「理想なき處民は亡ぶ」とある、宜なるかな聖化せる理想は社會の生命である。抑も明治維新の鴻業を成せし志士の氣格は何處より來りしか米艦の渡來に刺激せられし彼等は日本國をして是非共彼等の地位にまで進めざる可からずてふ理想のもとに身を殺し産を破るを惜しまずして幾回か生死の間に處して能く其業を果したのである、內には代議政體の樹立民權の伸暢外には條約の改正新條約の締結治外法權の撤去是等は經世家をして苦心慘憺せしめたる問題の重もなるものである。其後日清日露の戰を經て日本國は世界の文明國に伍して其體面を全ふし國威を海外に發揚せしめた、而して國民は自ら强國一等國民を以て任ずる樣になつた然し國家の理想は此時より自然に消滅せし姿である、世界の強國と誇り一等國民を以て任ずる國家には理想の有るべき書はない、今日の日本國民の理想は何である書は雲の柱となり夜は火の柱となつて千難萬苦の巷に能く戰ふを得べき國民の理想標的は抑も何ぞや。追求し憧憬すべき理想を失ひし時は人の省察力は自然に現在に注ぐ樣になる故に一時的の生存の爲に永遠の生活を犧牲に供し事をなすに手段を撰まない斯くて種々なる努力が勝手氣儘に跋扈跳梁するのである、思ふて玆に至れば同胞の將來を悲しまざるを得ない。

第三奉仕の精神を涵養する事は健全なる同胞社會を建設するに最も必要なる要素の一つである。元來日本人は宗教と勞働とを忌み嫌ふ國民であるから奉仕の精神に乏しいのも無理はない、宗教、勞働等の文字さへも嫌ふのである人を使ふ事を好んで人に任へる事を知らない、奉仕の精神の乏しい社會には階級制度が甚しく行はるゝのである人を使ふ爲に非ず反て人に使はれ社會の爲に其生命を捧ぐるてふ基督の精神をして社會の精神たらしめ一層個人の奉仕心を養ふに非ざれば同胞間に健全なる社會を建設する事は出來ない。

精神上の見地より紐育同胞間の社會狀態を思ふ時に矯風問題の如き同胞發展策の如き何れも精神的に解決すべき問題である、階級の如何を論せず今一層自重心を高め一層高雅なる理想の生活を務め、今一層奉仕の精神を養ふ事を得ば必らずや理想的社會の創造を見るに至らん。吾人は大正七年をして此問題に付て眞面目に考ふる處あらしめよ。

森村ブラザース支配人　手塚國一氏住宅

日米[illegible]藝の兩趣味を美しく調和した庭に圍まれて新城西州チザートウードの風景の隨一である。夕陽が茂りを染めると蟬時雨がヴエランダに午睡の客を驚ろかす。



●戰時の講壇――日記の一節

松永文雄

（一）

自分が歷史的聯想の豐富な、また『人道の使徒』と歎美せられた、ビイチャーの講壇なりしプリマウス教會に出席した時は、神秘にして微妙な音樂が堂內に漂ふて、會衆は堂上堂下立錐の餘地もない位であつた。

現在牧師ヒリス博士は希伯來の愛國的また社會的豫言者イザイヤの聖句に基き、四世紀前に西班牙が佛蘭西及び和蘭を虐待したるインクイジョンの慘憺たる追害の光景より說き起し、獨逸が佛國の侵略地を荒廢に歸せしめ老幼婦女なる非戰闘員を虐殺したる實況を活畫の樣に述べた。

（二）

博士は、かの美的趣味の豐富なる佛蘭西人よ。英雄崇拜の血の濃厚なる羅甸民族よ。美術に音樂に演劇に社交に生活に世界の人類を美化せんとする愛の天使よ。佛國の田園はエデンの花の庭である。佛人の優美なる嗜好は彼等の村落に、紫の葡萄の豐かに懸り、紅に薔薇の馥郁として薫れる所に流露してゐるのである。佛人の美麗にして優雅なる田園生活は南歐のパラダイスのそれである。然るに何事ぞ、かの猛惡にして野蠻なる獨軍の殘忍にして無慈悲なる、彼等の馬蹄と砲煙と彈雨の襲ひ來る處、美の故鄉は荒野となつた。樂しきホームは焦土となつた。優しい小鳥の樂の音は最早や聽くことが不可能となつた。麗はしい野花の笑顏は再び見ることが出來なくなつた。佛國の田園と村落とは滿目荒涼として砂漠の樣ではないかと。

（三）

博士は更に、獨軍が佛國の都市にある第十二世紀以來歷代の繪畫、彫刻と建築の粹を表現する羅馬敎の大寺院の莊嚴雄渾なる歷史的聖壇に對し、何等の詠歎なく尊崇なくまた憧憬なく、巨彈を放つて破壞し粉碎し去りたる暴擧を痛擊し、春花秋月幾星霜、佛人が苦心慘憺蓄積し來りたる美術的珍器佳什を烏有に歸せしめたる實狀を物語りつゝ、佛國の美術は單に羅甸民族のそれに非ず全人類の美術である。佛人の藝術的天才は是れ全世界の至寶ではないかと絶叫し、文明の進步の標準は美術の發達と其趣味如何に由て批判せらるゝのである。然るに獨軍は人類の最美最善の所產なる美術的逸品を破壞し蹂躪して顧みざる、是れ眞に文明の敵、藝術の敵、人類の敵ではないかと熱罵した。

（四）

博士は更に自ら實地踏査したる經驗に基き、佛軍の士氣の如何に旺盛なるかを高調し、英國及加奈太の將校兵士は彼等が激戰奮鬪の餘にはある期間郷里に歸休する特典がある。然るに佛國の將校兵士は此の特典があつても歸休しないのである。博士が會見せし一士官は沈痛と深刻の表情を以て物語つた。英人や加奈太人は郷里に歸休するに行くべき彼等が家がある、彼等を歡び迎ふる溫かい握手がある、然も見ずや、我等佛軍の將校兵卒の多數は、懷かしい故鄉の山と河とは獨軍に蹂躪せられ、甘美なる家庭は燒き盡され、最愛なる妻子は四方に離散して生死すら不明の者が有るではないか。我等いかで故鄉に歸るに忍びんや、我等の鐵脚一たび獨逸の國境を越ね、彼等が殘忍にして橫暴なる軍國主義と專制主義を根底より破壞するに非ずんば、再び生きて故山に歸らずと斷言したとを物語つた。

博士が佛軍の士氣の如何に旺勢にして一死以て國難に殉ずる雄魂毅魄の燃わつゝあるとを熱烈且眞率に說かれた時、三千の會衆一人として血湧き肉躍り、深き感慨に沈まぬ者は無かつた。滿場寂として水を打ちたる如く、たゞ此處彼處より漏れ來る嗚咽の聲が聞ゆるのみであつた。（大正六、九、五）

森村ブラザース副支配人　地主延之助氏住宅

新城西州ウエストフィールドの閑靜な處で夏は背景の樹林を渡る風が青葉の囁きを傳へて窓のカーテンをなぶつて涼しい。ゴルフ狂の主人は腕を撫してグリングドライブを夢想する。



●鼻の話

秋本研介

紐育は氣候の惡い爲か一般に鼻に故障の有る人が多い樣に思はれます在留同胞に於ても日本に於けるより比較的此病が多く十人中八人迄は多少の變化即ち此病があるとのことです鼻は女振男振を造るに最も必要で此頃は隆鼻術が行はれ其技術も進步致しました又鼻は容貌を整へ嗅覺を司る許でなく呼吸器の用をなす者で云はゞ空氣が肺臟へ出入する門戸でありますから空氣が鼻腔を出入するには健康狀態の鼻では吸氣は先づ前鼻孔より進入して殆んど鉛直に上方に達し夫れより後方に地平に走り終に下向して後鼻孔より咽喉を經て氣管及び氣管枝に到り肺に入る者であります一寸此處で申上げますが鼻の嗅覺を司る部は鼻腔の上部に存在するのでありますから此の中が腫脹する等の事があれば自然此部分は空氣が通過せずして爲に臭氣を感じなくなる譯であります尤も嗅覺の消失は他の原因もありますから御承知を願ます此鼻腔は呼吸器の入口でありますから此處に病變ある時は此作用は多少影響を蒙る筈であります鼻腔は吸入せられたる空氣に一定の溫度と濕度とを與へ同時に空氣中の塵芥及黴菌を濾過する働を致します又言語の共鳴作用も營みます從て其れが病氣の爲に腫脹するか又は腫物でも內部に發生する場合は此等の作用は害さるると同時は音聲は所謂鼻聲となるを屢々あります聲樂者等にありては非常に關係が有ります。

此の病を簡單に申しますれば急性慢性があり急性のものは鼻感冒或は此內に「チャウ」等の出來る場合で、慢性の者は鼻茸、肥厚性鼻炎、中隔變曲症或は慢性鼻加答兒等は極めて普通の者で其外良性及惡性の腫瘍又は梅毒、結核、癩病等其外鼻病の種類は澤山あります

此等の病氣が存在致しますと種々なる障害が起るもので先づ鼻腔の閉塞を完全に又は不完全に起し其の高度の者は不得己口にて呼吸を營む樣になり前述の如く嗅覺の障害を起し吸氣に溫濕度を與へる事が不充分となり直接冷却乾燥せる空氣が氣管や氣管枝に入り爲に氣管枝加答兒等を起し延いては肺炎等も起し易く致します幼少者に高度の鼻閉塞ある場合には精神の發育を防げ又哺乳兒に於ては哺乳も障害致します又大切なる事は其の奥に存在する中耳に通ずる道がありますが鼻より空氣が通はないと中耳に通ずる道に依て司る中耳への空氣の流通交換を營む事が出來ない爲めに中耳に障害を及ばし聽力を不良ならしむ例は澤山あります此れは非常に注意を要する事で充分[illegible]治の見込ある者も荏苒治療を怠る時は一生全聾に終ることがあります其の外加答兒の有る時は絶へず鼻粘膜よりの水樣或は膿性の分泌物を出す此は鼻の液は其の前方にも流出するけれども又其の後方より口內に入り爲に小供は屢々此れを嚥下して胃內に至らしめ消化障害を來し以て身體の發育を妨げます、又鼻粘膜分泌物の性狀に依りては呼氣を惡臭ならしめ甚だしきは社交上不便を感ずる場合もあります又此病の爲めに出血を頻々起し全身の貧血を來す事もあり又[illegible]を起す事は前にも申しましたが嗅覺の減弱或は亡失にも種々ありて其脱失せる者は惡臭を感じない爲に都合の良き場合もありますが美食或は芳香馥郁等を感ぜず又甚しきに至りては良臭を却て惡臭と誤臭する樣の病もありて此等は不便も甚しき者です又眼は鼻腔に開通するが故に之に障害を起す事もあります其外全身の知覺過敏或は知覺脱失を起し又は鼻性反射症狀と云つて噴嚔、頭重、頭痛、偏頭痛、神經痛及び精神遲鈍症に依り起る記憶力減退、眩暈、不眠症、腦神經衰弱樣症狀等は最も屢々鼻內疾患者の訴ふる所で其外の反射症狀としては能く喘息、癲癇、咳嗽又稀に聲門痙攣、顏面痙攣等を起します殊に喘息及癲癇が鼻の手術を行ひて全治致した例は屢々あります

そこで以上申上げました樣な病氣がありますと病は鼻腔丈けに止まらず其近隣へ移行致します例へば前記の急性或は慢性の鼻加答兒が有る時は其近隣に存在して皆是れに開通せる副鼻腔即ち前額竇、上顎竇、篩骨蜂窩及び蝶形骨竇（前額骨、上顎骨、篩骨又は蝶形骨等と申す骨があつて此等の骨內には皆各々一個乃至三個の骨室即ち「ルーム」が有ります此等骨室壁は皆鼻腔の粘液と連續せる粘液にて掩はれてをります）等の粘膜に病氣が擴がります其時は病氣の全快は容易の者でありません元來耳鼻咽喉、喉頭及眼は各連絡する者で其何れの部に如何なる疾病ありても他部に感染する事は自然の傾向であります殊に急性中耳炎の如きは鼻や咽頭の急性炎症が感冒より起る事が有りまして俗に咽風が耳に入ると申しますが即ち此炎症の爲に前に述べました中耳の換氣道より黴菌を侵入せしめて急性化膿性中耳炎を發し是に續發して中耳の直上部に有る腦膜に波及して所謂腦膜炎の爲めに不幸の轉歸を見る場合は多々ある事で此れは大人にもありますが殊に幼少者は侵され易いのであります大人に於ては酒類煙草の過用は其誘引となり殊に寒氣嚴しき當地の如きは一入注意を拂はれん事を希望致します其外食事屋外の運動及び室溫を適度にして頭部の充血を避ける事は鼻に對する必要なる攝生法で就中便通の調理をする事は頭部の充血を避けるに最も大切なる事であります。

●馬と戰爭

境野惠佐

新陽來復して茲に大正第七年を迎へた、然るに歐洲の天地は依然として砲烟に掩はれ爲に天日暗き狀態である此時に於て吾人が無事に馬齢を加へ互に鼓腹擊壤の樂を頒ち得るのは先づ目出度い事である、馬齢と云ふ事に就て考へて見ると馬と何等かの關係があるらしい且つ齢と云ふ字が已に歯に因る所のあるのは面白い事で、馬は其年齢を鑑定するに歯を以てする是は其歯に順序正しき增減變化が行はる故である、そこで午の年で無くとも馬齢を加ふと云ふ況や本年は午の年で有るから確かなる馬齢を加へる事が出來るであらう呵々故に吾人は馬と戰爭とに就て何か書いて見やうと思ふ。

古來洋の東西を問はず馬と云へば勇ましい又戰爭と云へば馬を想起する、之は歷史的に經驗された吾人が感想であるか確かに離る可からざる關係の存する事で、詩歌や文字の上から見ても馬上の武士、千軍萬馬と稱して「兵馬の權を握る」「鐵騎突出す」、「骸を馬革に包む」など、戰國を形容するに人と云へば馬を偲び兵を練ると云ひ他々列擧すれば馬に汗する程ある、今日の如く機械應用が發達した時代に在つても戰爭には尚ほ必要である峻嶮坂路に於ては若くはない、見すや獨逸が各國の運河を受けて屈せざるも或る國から論ずれば馬匹の使用が力くなつて居る、未來永劫戰爭のある所必ず馬が出るものである、さればこそ古來大戰の行はれた土地の多くが名馬の産地である、彼の普佛戰爭に於てセダンの戰此の地域は有名なる重車馬及び軍用馬としてのパーチロンの産地であり今度の歐洲戰爭で猛烈を極めて居るフランダーの地はフレンチ重車輓馬の産地で有る、又彼の露馬として有名なオーロッフ種の産地は一度歐洲の人心を寒からしめたコサック騎兵の産する處である、日本として見ても彼の川中島の激戰地かる信州馬を産し、前九年後三年に亘つて義家の經略を講じた奥州からは日本第一の稱ある南部馬を産する、其に理由のある事で元來農家の使用する馬は如何なる馬でも事を想じた言の如く人は天性闘争的動物であり政治的動物である以上は矢張馬を養ふ必要が有るから戰爭の有る處必ず馬がある事になつて居る。

そこで現今は單に軍用のみならず動力用として或は娛樂用として其の用途に從つて學術を應用し混血改良を行つた結果諸種の形体を異にした良種を作る事になつた、大別して見れば（一）速力用馬即ち競走馬で英國産のスローブレード、アラビヤ産アラビヤ馬等足細く体輕く頸より胴へかけてへの字形を爲す馬（二）乘用馬アメリカンサッドルは是は頭から胴に乙字形、（三）輕輓車用、（三）輜重車を附に[illegible]

で有つて駒と云ふ言にも解し得らるゝけれ共馬のコルーとは違ふのである、仔馬で無く成馬でも此種は矢張ポ子ーで有る、身長大なるものにして五十六吋を過ぎぬシトランド及ウエルシ種等の如きもの、さればポロポ子ーの如きは一の優しい勇ましい形容名詞に過ぎぬ、丁度日本で謂駒なんど云ふが如しである、併しながら今は其の血族を一々記載する餘白を持たぬ。

要之、歐洲の天地は暗澹たるに引き替へ吾人は自由の境に春を迎[illegible]

が苟も國を稱へんとする將軍として又國家として強兵たらんには軍馬の改良を必要とした結果名馬を産する事になつたのでサッホーク引馬の如きは大英國建設の當時から戰爭の爲に改良混血の術を行ひ當時イングリッシュチャーチルから佛國へかけて手近に軍用馬を備へんとした結果改良盛に行はれてプレトン種の産を見た次第である、古くはシーザーが大金を投じて白國産馬を入れた事がある、グリークから中央亞細亞に掛て古來戰爭の專門地であつた處からは例のアラビヤ乘馬が改良産出されたのである、彼のアリストートルが格して戰爭用にするものペーサーやトロッターの類である。以上は身長六十二吋前後で重量は一千封度位である（四）乘車用で英國産ハカチー及びフレンチコーチ等の如く頭は乙字形を爲し骨彌々張れるもの体量も前三者に少しく勝れるもの（五）荷車馬是は頗る偉大なる馬で身長は七十吋余り體量に至つては實に一噸を超ゆるものがある、佛國産のパーチロン、英國産のクライスデール、白國産ドラフト種等で馬齢の如き直徑十吋も有る者がある、此外にポニーと稱するものが有るがポニーと云へば馬の子の如く思はれるが是は全然別種の者

毅然として會合する中央公園の春色に逢ふ何等の幸運ぞ、宜しく心の駒に鞭つて此の佳日に對する一の意味ある活動を開始し生存の戰爭に備へんか爲め此の駿馬の飼育改良に勉め他日此の米國全土をして名馬の産地と化さずんば有る可からず、之れ余か新年に際する希望の一なり聊か禿筆を驅つて年頭の辭に代へ筆を洗つて先つ諸彦の萬福を祈る。



繪はクライデスデールと云ふ荷車種四ヶ月目の仔馬にして記者自ら其所有者が産業の勞を執れるものの且つ下手な自讃ながらも實物の寫生也

昨年の紐育美術界

岡田九郎

過去一個年間の紐育の美術界は多數の記憶すべき作品を吾等の前に提供した。當國に在ること久しからぬ私は米國々民性を基調として進展しつゝある米國未來の美術に就て千九百十七年の經過を記述することを避け、茲に以下主として深く私の腦裡に印象された西歐美術の作品にのみ止めて置く。一面より言へば千餘年前吾が國に佛教美術の傳來された如く、西歐の作品のみが目立つて見ゆるとは藝術的未開國なる米國にとつては當然の事實とも觀せられる。

第五街に近く五十九丁目に在るデュラン・ルエル美術商店が佛國印象派畫家の作品を陳列した事は一再に止まらなかつた。それにも增して見逃がし難かつたのは第五街アーデン畫堂のセザンヌの展覧會であつた。其他にはブルックリン美術館のズロアガの展覧會、第五街のクレインベルゲル畫室の初期伊太利繪畫の蒐集、グランド セントラル パレイスの獨立繪畫展覧會等に指を屈せねばならぬ。此外米國國民美術展覧會水彩畫展覧會其他米國現代畫家の數々の展覧會に就ては私の記憶の外に置く事とする。

佛國印象派畫家が未だ若かつた世界の美術の大勢に一大運動を起さなかつた以前に、其派の畫家の保護を利用して多數の作品を自藏して居たデュラン●ルエル商店は此紐育にて同派作品の最も完備なる所有者の名を與へると云ふ躊躇を挾む譯には行かぬ。其中の一回はシスレーの作品であつたが、時を異にしてルノアル、ピサロ、モネ等の作品が十數點づゝ一堂に並べられたのは新來の私にとつては極めて目立つて有益であつた。此派の畫家の作品を一括して述べるならば、彼等は全然現代の米國畫家の趣味性と甚だ間隔が有る、其感情の密度に於て又技巧上のリファインメントに於て複雜なるヴァラエティを示した。更に他の一点は是等近代の巨擘が青年時代の作品と老成後のものとを併せ陳べられたのは、人間發達の經路が有ゆる職業有ゆる階級を通じて同一線上に在ることを識るに便であつた。

ズロアガが彼の故國なる西班牙を題材として雄大なる畫面に雄渾なる彼の氣魄を打ち込んだことも忘れられぬ藝術家にとつては本質的なる教訓であつた、然し佛國畫家に擧げた樣な特徴が彼の作品に稀薄であつたことは同國なるソロヤの作品と綜合して寧ろ國民性の相違に歸するかも知れぬ。此一点に於て米國國民性は遠き將來に佛國美術に近づく可能性を有する樣に思はれる。

セザンヌの作品は印象派畫家の缺点として一部の人から指摘されつゝあつた形式沒却論が何等問題となるべきものでない事を充分に證據立てた、而して東西兩洋の藝術の歸決点を有力に吾等に告げて居る。藝術が至大の感情を貴ふ間は、假しやそれが寫本や屏紙に表はれたものであつても、書布の上に油繪具で盛られてあつても、便宜上の名目を附して學者的な分類をするに止つて居る。藝術の觀賞は學術的なるを要しない、論理と定義とを必要としない。

獨立繪畫展覧會は紐育に於ける新舊中立を問はず有ゆる作家の作品を一堂に聯ねた興味ある者であつた、公衆の目に觸れる事が多かつた丈に問題となつたのは未來派立体派等の作品であつた。人間は所謂孤獨での彼等の仕事の結果であつた。〔ると云ふ事物を直截的に表現したものとして考へるならば、假令未來派等の作品が觀者にとつて不可解であつても信憑せずに引下らねばならなかつた。古來の作品が果して正當に解釋されて居るか否かを想ふ時是等の作品を[illegible]の眼鏡で以て見ても何等の價値は存るまい、吾自個人の人間としては[illegible]が物の觀賞批評を行ふに當つて唯一の賴みとなるものは吾自の快感を主識として行ふに如くはない。

初期伊太利の繪畫の展覧會は米國戰時救恤事業の一部として個人の藏品を公衆に供覧し觀覧料を以て其目的を充たしたものである。文藝復興期前の繪畫が專ら宗教の記述により宗教に利用された事及び當時の感情が宗教に支配されて居たペシミスティックな表現に限られて居たのを紀元千四百年の初を以て一轉し、宗教畫に於てさへ人間的な分子を加へる樣になつた有樣を明らかに示したものであつた、就中ボッチチェリ、ギルランダイヨー、ラ●アンゼリコ等の作品が優れたもので在つたが一般觀衆を興味あらしめた、マドンナ畫た[illegible]を思はしめる樣にしたのは彼等の仕事であつて、[illegible]

最後に在紐日本人美術家の興した運動に想を馳せて筆を終はる。紐育日本美術協會は美術家の親善と協力と云ふ主旨を更に發展せしめて彼等の藝術上のデモンストレイションを山中商會の樓上に開いた、當時世評の一部に在つた餘りに對世間的であつた事に就ては吾人と雖も辭む事をしないが、此榮寄る日本美術家が嶄然頭角を米國の一方に現はさん事を熱望するのである。



ドクトル高見慶彦氏住宅



山中商會支店長　牛窪第二郎氏住宅

紐育市の中心に第一流の美術店を新設するまでに東洋美術の紹介に努めた牛窪氏の建設的な方面がアスベリーパークに近いアレンハーストの住ひに現はれて居る屋後の菜園にも同氏の開拓心が躍如として居る

謹賀新年

名刺交換

—申込順—

荒木　甲春
吉田金之亟
日本人會　小畑久五郎
日本人會　川島　仙藏
植野　勳
鳥居孝一郎
大原　龍
前田河廣一郎
山口三之助
古河合名會社　篠崎清次郎
三菱合資會社　長沼　四郎
三菱合資會社　伊藤　晋一
三菱合資會社　河野　芳鋭
三菱合資會社　小松　繁

茂木　裕壽
日米貿易商會　木曾小源太
帝國貿易商會　佐治　壬男
京都工商會社　井上熊三郎
高峰事務所　田口　一太
ホテルマルセーユ　福井源四郎
竹中松太郎　六街九六〇番
總領事館　富井　周
總領事館　八木　元八
總領事館　石井　武郎
總領事館　玉木　鶴彌
山中商會　牛窪第二郎
山中商會　白江　信三
山中商會　山本清太郎

高田　孝雄
武市スケマホン街三二三　倉田　良二
岩上合名會社　大竹正太郎
瀧藤小川商會　瀧藤治三郎
瀧藤小川商會　兒玉嘉四郎
瀧藤小川商會　近藤　祿
飯田株式會社　須藤　新作
永井商會出張所　山口岩三郎
永井商會出張所　深堀理三郎
關根商會　關根五男兒
關根商會　池上　春秋
大倉組　今井　文平
大倉組　石田　直吉
大倉組　鈴木　百一
大倉組、　南　興作

妻沼　巖彦
久原鑛業會社紐育出張所　菱田亀太郎
久原鑛業會社紐育出張所　千原　三郎
臺灣銀行　今西　兼二
臺灣銀行　武藤　貞雄
臺灣銀行　工藤　敎平
臺灣銀行　細羽金太郎
臺灣銀行　名倉　喜作
臺灣銀行　伊地知重義
臺灣銀行　有働　一男
在ニューポート　日名子壽祿
矢野上甲合名會社　牧　隼人
森村新井組　新井領一郎
森村新井組　新井　米男
森村新井組　廣瀬　猛雄

森村新井組　大木信次郎
森村新井組　岡山　友助
森村新井組　福島　延惠
森村新井組　伊藤　良吉
森村新井組　山脇　正治
森村新井組　金原　東造
森村新井組　渡邊茂八郎
森村新井組　江川　鋪助
森村新井組　今井　林藏
三井物產株式會社　久根下　潔
三井物產株式會社　平田周一郎
三井物產株式會社　河　德造
三井物產株式會社　村井　恒
三井物產株式會社　黑田　雄平
三井物產株式會社　三橋　英治

三井物產株式會社　坂本　越男
三井物產株式會社　豊島八五郎
三井物產株式會社　松浦長次郎
三井物產株式會社　三好　廣
三井物產株式會社　青木玉五郎
三井物產株式會社　川人　芳男
三井物產株式會社　田代　茂樹
三井物產株式會社　伊藤彌三吉
三井物產株式會社　山中清三郎
三井物產株式會社　三保幹太郎
三井物產株式會社　渡邊　英夫
三井物產株式會社　高木　隆吉
三井物產株式會社　松島　文衛
三井物產株式會社　山城伊太郎
三井物產株式會社　間崎　千之

森村ブラザース　手塚　[illegible]一
森村ブラザース　田中　[illegible]
森村ブラザース　地主延之助
森村ブラザース　酒井　隼雄
森村ブラザース　中山　武夫
森村ブラザース　香西　龍雄
森村ブラザース　福島　三五
森村ブラザース　宮永寅之助
森村ブラザース　飯野　逸平
森村ブラザース　本多錠太郎
森村ブラザース　佐藤　清
森村ブラザース　千種兵太郎
森村ブラザース　吉田土雅堂
森村ブラザース　小林　雅一
森村ブラザース　手塚　米一

森村ブラザース　高野彌一郎
森村ブラザース　川路　利東
森村ブラザース　[illegible]健之助
森村ブラザース　佐伯剛四郎
森村ブラザース　塚本　鎌一
森村ブラザース　木島長一郎
森村ブラザース　西尾　虎藏
森村ブラザース　田中　良作
森村ブラザース　中島　仲藏
森村ブラザース　大内小四郎
森村ブラザース　土谷　[illegible]一
森村ブラザース　志賀孝太郎
森村ブラザース　平島　優
森村ブラザース　依田　耕一
森村ブラザース　吉本　[illegible]

紐育新報（其三）

文藝

午

佐々木指月

駒は
いなゝく、
その耳を
ふり立て。

あゝ
若駒は
風のごと
八重雲
開き、
たて髪を
なびかす。

目には
やさしや
その姿、
されども
翔ける
蹄より
火を
卷き起す
朝ぞらに。

駒を迎ふと
今朝の國
[illegible]のみなは
うづくまり
おのがむや
その
かんばせの
眦ゆきを。

あゝ
若駒は
地をゆり
今し
渡るも
天の原。

再び高く
いなくに
島のけもの
身をそばむ。

芳紀十八

黃花郎

（春）

芳紀十八色識り始めて
石が落ちても笑み給ふ
花が咲いても羞ぢ給ふ
松の籟きは琴の音か
水の流れは睦言か
人戀そむる嬉し日は
草にも木にも情ろあり。

（夏）

くれなゐのベルトを　ぎゆつと。
白たへの夏衣の　輕ろさ
ラケットを　打ふれば、風薫る、
三すぢ程、髮のほつれの健氣さよ。

（秋）

桃色の
あれ桃色の
細い靴、
薄いきぬ。
その靴の落ちつけば、
そのきぬの寛ろげば、
梳けづるみ手の纖かさ
―金色の髮、揺らぐ髮。
桃色の―。
纖弱の―。
金色の―。
秋の日和の湯上りすがた。

（冬）

似合ひましたか　これ御覽
生糸のスエター　黃のスエター
靑に彩る襟と裾。
これ〳〵御覽　このキャップ
雪見のキャップ　編み上げの
白いモールに　黃のリボン。
卷いたスカーフ　二重三重
反り身に立つて　鏡臺
流し目に見る　わがすがた。
ひよつと身かはす　そのせつな
かたにきらめく　あの光り
紫電のそれか　スケートか。

高橋お傳

―絕世の美人、戀の眞人―

イプシロン　オー

『なき人のために　まちわしと
きなれば手向けに咲きし花と
こそ知れ』

見よ一基大卓を覆ふ雪白のシーツ
是れや君にさゝげられたる
四千萬民衆のラストツライビウト
（環賭の人數頭おのづから垂る）
まともに天に向つて優容と橫はる
五尺の麗肉。
一塊の花顏寶容は、
鬆たる紫髮の褥の上にして。

此の醇烈の情を養はれしを。
一千日間三年の牢獄の苦、
人は世は以て君に迫まりしが、
一指之を拒彈して
一歩飛び退いて百代に超越す。
君が艷容、君が豐麗の肉、
熱烈なる君が戀は、
人は世は之を如何とも爲得ざりき。
あゝ「上州の」高橋お傳、
（君こそは眞に絕世の美人）
東海の民族戀の歷史は
一百ゼネレイションを閱して二十
億衆君にいたり、
豐麗潤沃の結實を、

見よや嬌頰今猶微紅に薰じ、
朱唇しづかに笑みを含むを、
双の睛眸
これやこれ君が精魂之を通じて天
地に呼吸せる、
今や遠く帳にをさめて
一線の蛾眉の細く長くひとり殘る
玉をのべたる兩の腕、
やさしき胸にゆたかに隆き
ルビイをいたゞく双の乳の張り、
軟かに高うふくらむ臍下の肉や、
豐滿なる兩の太もゝは、
君が此絕倫の精氣の此處に宿りて
瀲波蕩漾五彩燦たる海洋の
朝明に漂ふ金色の美果に見ぬ。

（解剖臺上のお傳）



新題「海邊の松」

思ひは、遠く佛蘭西の野
見ろは、我が子の夢の姿、
戰塵に疲れし人の、瘦せたる姿、
彼女の眼には涙あり。
『白耳義の憐れなる、子女の恨を、
晴らすてふ、狂熱の「Knights of
Liberty」の徒よ。L. W. W. の
志士を殘殺するのはお門違ひだ。
愛國主義がセンチメンタルである
あひだ。
デモクラシーが僞善である、あひ
だ。
數十年來、魂から、基礎から、
築きあげた獨逸の軍國主義を打ち
破ることは不可能だ。
三ヶ月の不充分な調練で、どう
して、それが、できやうぞ。
[illegible]人を虐殺して喜ぶ、吾が暴慢の
白皙人種よ。
吾が子は、愚なる汝等の爲めに
戰ひつゝありや、佛蘭西の野に』。

燃ゆる落ち葉は、秋の色
秋風吹いて、亂れる銀の髮。
老女が頰に流るゝ、
涙は。さびし。

老女の嘆き

石垣榮太郎

淡き夕陽の　漂ふ稍に、
銀の糸の、果しなく、
枯れし木立を、縫ふ小道に、
燃ゆる落ち葉は、秋の色、
落ち葉を踏んで、とぼとぼと、
行くへも、わかず、ゆく老女、

布哇から來た男

―戀が命―

紫洋

椰棕の葉もれて
星が散る、
布哇の夏は夜涼し。
お前とあゝして逢つたのに
別れて最早や、十二年。
老いたといふはからだの事、
心は今も
あのとほり。
傳へた文で判る筈、
手が握りたい活きた手が。

布哇から來た女

―酒が命―

同人

顫ふその手は
盃の、盃の酒零るゝを
色なくさめた唇に、
灯さへも避ける眼の乾き。
女廿九
十八の年から今日の紐育。
三味を抱ねたその手首、
籠もるは酒か。
紅の血が頰をやく、胸をやく。
布哇でたぼねた流行唄、
髮の薄いも忘れてか。

漢詩

海邊松

栗山　野村利經

濤聲徐來碧海邊
香松高聳五更天
冒[illegible]越[illegible]幾歷[illegible]
兌得匠工加刀翦
四山千樹[illegible]紅枯
孤松勁節不嘗眠
未識龍鱗百年計
一根深留萬[illegible]傳

短歌

ブロードウェイ

西舟

靑に赤流れて消ゆる灯の影よ
夜雨に濡れし都大路に
自動車の灯影はあはく雨の地に
うつりては消ゆうつりては消ゆ
[illegible]レスクを出でゝ二人は[illegible]心地
大路の風もしめやかに見ゆ
くる〳〵と廻はる五色の光電燈
リアルトのかどは人だかりして
リアルトの前にならべる[illegible]の
男女の群に秋の風ふく
人と車雪崩るゝ町に年暮るゝ
騎馬の巡査は右手あげて立つ
サラ〳〵と半ば破れたる新聞紙
舞ひつゝ角の夕風に鳴る
片袖に傘のしづくをうけながら
知らぬ女とはれ間をばまつ
うたひめの美しかりしその[illegible]を
今思ひ出でゝひとり夜を行く
はかなくも金と女に存らへる
この町の夜にわれをも見出でぬ

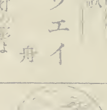
哀傷歌

[illegible]峯

僞りと兇ひのちからはかり知れぬ
現し夜にゐて死なむともせず
さゝかにのたくらみの糸にかゝる
蝶の弱さをたもひ我が身をたもふ
あたま鳴り胸わなゝきて怒りくる
ふこのくるしきを誰にか語らむ
癈園に細きあめふる日のくれをい
かに悲しく我がたもひけむ
眼を擧げてモーゼの蛇をみざる[illegible]
の人のこゝろのあさましき[illegible]な
涙涸れ血さへ[illegible]まぬうつし世に君
のみかもや我がために[illegible]く
けふこそは君にさゝぐるふみ書か
むしばし涙のかわくその間に
さみしらに刺[illegible]の强い酒くめば心を[illegible]に引[illegible]
[illegible]か。

予の詩的觀照と紐育詩壇の人々

五峯



なにゆえしば[illegible]
[illegible]を負ひ[illegible]來は來れか
[illegible]心になにを[illegible]ばや
[illegible]すて恨みも忘れいたづらに[illegible]
[illegible]むを[illegible]りする我れをあはれめ
すり切れて[illegible]のはみでる靴下に我
か[illegible]せばひたぶるにさぶし
マンテルの上にねむり[illegible]る[illegible]の像
に午后の日のかげ魔の息のごと
自動車のとほるそのまゝを道そばの
ポストに倚りて人をたもへる

[illegible]
Where by the [illegible]
Thee records [illegible]
past,
Thy image at our last [illegible]
Of little thought [illegible]

[illegible]の神聖なる時を何時かは忘れ得
べき。
[illegible]しき別れのひと日を過ごさむが
ために、
アイル河の繞れる邊りに君が[illegible]
ひ見し、
郡のゆかしき森陰を何時かは忘れ
得べき。
限り無き年月立つとも
過ぎにし喜の樂しき[illegible]に[illegible]
ゆる事無かるべし。
汝等の最後に抱き合ひし[illegible]
の面影、
あゝそれが吾等の最後なりしとは
[illegible]かけざりき。（高山[illegible]）

『詩人の[illegible]は、俗氣滿々、銅臭紛々の領域を超[illegible]して、高遠崇大なる理想[illegible]に彷徨するに在り』とは、口に詩を論らひ、筆に藝術を談ずるもの〻常套語であるが、しからば謂ふ所の『理想』とは果して如何なものか。[illegible]、吾等の心[illegible]が自我の小[illegible]から[illegible]して[illegible]大無[illegible]なる自然の懷に抱かれ、その『眞』と『善』とを正當に理解せむとする努力の謂に外ならぬ。かるが故に、詩は一詩人の自己を欺くべきもので無いと同時に切りに他人の袂を捉へて共[illegible]を强いてはならない。

[illegible]エ[illegible]が『詩を作るてふ語は吾れ人の言ひ得べき所にあらず』と道破したる[illegible]も亦これに外ならぬのである。

佐々木指月氏の語を假り[illegible]言へば『紙の上、石の上、文字の上には、藝術は無いんだ。自己が自己の工夫で生活するところには、豐かな光りのある。溢れてゐる玉のやうな藝術はできるものぢやない……』さうだ、ここまでもさうあるべきものと信ずるのである。『詩は[illegible]の[illegible]話なり』といふ語はかうした解釋から來てゐる。彼の片々たる小詩人輩が、自ら求めて境を作り、又は增訂補綴務めて情を動かす者の如き、[illegible]か鬼神を動かすに足る大作を成し遂げ得んやである。

スコットランドの詩人バーンスが病中[illegible]のまゝの姿にて、霜夜の庭におりたち、天上の星を眺めつゝ涙ながらに歌つた[illegible]

バーンスは一[illegible]夫に過ぎなかつたけれども、その詩は不朽の文字として英文學の上に殘つてゐる。[illegible]今の[illegible]人輩が徒らに字句の[illegible]に[illegible]れ[illegible]巧の末に[illegible]して、[illegible]かに[illegible]離れた感[illegible]性を粗略に取扱ふもの[illegible]に比ふれば、その相[illegible]る果して[illegible]尺ぞやである。

私は如上の見地から、[illegible]年中本[illegible]に發表された重なる詩と歌とを[illegible]、最も痛切に感じたことは、作家の大部分が果して何の爲に[illegible]を詠んでゐるのか、又作家はどれだけの程度に於て藝術を解し[illegible]、創作[illegible]を辨へてゐるのかはじめさ[illegible]んど分らない[illegible]の動作が靑なり[illegible]つた事である。

思ふに、紐育[illegible]詩壇は、先づ[illegible]無自覺の人々を反省せしめ、それらの人々が作りなしたやうな[illegible]今後の文壇に現はれないやうに[illegible]めねばならない。藝術的創作[illegible]る不眞面目と自覺の欠乏とは、[illegible]て吾が詩壇の馬鹿らしさを曝露する[illegible]に至るからである。

私は今筆を[illegible]めて紐育[illegible]の人々に一[illegible]瞥を與[illegible]て見る、然し[illegible]吾お斷りして置く、それは外でも[illegible]が、此詩歌評は私自身[illegible]詩[illegible]好き[illegible]を標準として單に自分[illegible]を表白するに過ぎぬのであるから、そのつもりで讀んで頂きたい。

（以下第十[illegible]）

短篇

破滅

佐々木指月

近頃、西部から來た友人が、私をうらやましがりながら、かういふ話をした。

まあ、書いて行つて見よう、こうだ

私の室の窓が半ば明いて、エレヴエターの音が、高いビジネス ビルディングの反響して、話を時々さこねなくする。

『代田は、どう〳〵懲役になつたよなぜかといへば、細君の墮胎を手傳つて、どう〳〵細君を殺してしまつたのさ』

私はむしろ、何んといふ愚な事を爲たものだろうと思つた。

友人は、愉快げに笑ひ聲をあげた、私はその笑ひ聲の中に、友人が持つてゐる一種のプラウドを感じた。

『こんな事をやつたんだい、すぐその場で死んだのか、それども、それが原因で死んだのか』

『それが原因でさ、然しそれが白人の醫者のために發覺されたのだ』

エレヴエイターが高い、サウンドを殘して、こゝに二人は、しばらく〳〵した。

友人は語をついだ、

『代田はクリスチャンだつたろう、それで、細君がむづかしくなつたものだから、事情を牧師に懺悔したものだ、牧師は驚いて、細君の生命を救はうといふので、白人の醫者に頼んだ、それでとう〳〵懲役よ』

私は『馬鹿だなあ』と罵らざるを得なかつた。

懺悔！

それは、人間の智識が、自然を恐れた時に發する一種の疑惑の聲だ、そこには必ず不徹底な理解力がつきまとつてゐる。

『そんな風な事を牧師に話したものだ、やつは、話せる男だつたが』

私はその懺悔なるものを一通り友人から聞いた。

代田は、十年前に、私等と同船で、この米國へ渡つて來た。そして、やつぱり、藝術家となるべく、先づ桑港の[illegible]學校で、彼は、繪を學[illegible]才もあつた。

その後、加州で生れた日本人の女と、すぐ結婚して、間もなく、赤ん坊が産れた。

私たちは冷やかしたものだ、

『結婚五ヶ月にして、十ヶ月の子ができるとは、多分は、スピリットが女胎に宿つたものだろう』

などゝ言つたものだ。そのたびに代田は

『いや實は私は心配しました、實は安全に避姙法を用ゐたのでしたが、どうしても、自然をあざむくことはできませんでした』



踏まれたが禮を言はねばならぬ破目

と、こう言ひ終つて、戀の避け難き事、父となることの避け難き事、それを避けようとすることは情緒の生活をしようとする藝術家にはできないこと、どこまでも智識を排して自然の懐にいだかれてゆくのでなければ結局、藝術とは矛盾することなどを話して、最後に、こういふ事を言つた

『私は當分、動物の親です、藝術家ではありません』

そうして彼は言ひ足した、

『こうすれば子ができると云ふことを承知して、私の智識の警告に反いて、動物的の行爲に出たのです、私たちは、いづれは一度、動物としての役を勤めなければなりません』

とこう言つた、そして彼は、一種の安心をその言葉から見出したらしかつた。

私たちは少しあてられた氣分で

『僕等が、藝術家としての生活を爲てゐる間にねえ』

と、こう言つて、彼れとはだん〳〵交りが薄らいで、とう〳〵文通も絶ゑてしまつて、八年はこゝに過ぎて來てゐる。

私たちは、皆んな結婚して、皆んな父親となつた、皆んな動物の親となつた、代田の言つた事は皆んなに了解された。そして動物の親として生活して行く處に、動物の親としての藝術が産れてゆく事を悟つた。

然し代田は、其後殆んど毎年、子を産んだ、私たちが、三年に一度、四年に一度、子を産んでゆくのに。

代田の懺悔といふものは、愚な言草ではなかつた。

『私はもう六人の子の父親で、之に對して神も私をゆるし、人も私をゆるしてくれるものと思ひまして、實は今回は、妻に胎兒をおろす事を勸めました。

妻も年々衰へて、今回の分娩にはもう堪ね難く思ひましたから。

それで、最初、藥を藥劑師に相當の代償を拂つて頼みましたが、少しもきゝません、もう一度服藥して、次の月を見てゐるうちに、胎兒は相當の月を經ました。ある醫者に手術を頼みましたが、手術料が非常に高いのです。

妻は先々の分娩後、追々色々の經驗から、こうすればいゝといふ事を知つてゐましたし、私も多少心がけて來ましたので、それをやつて見ました。



胎兒は、どう〳〵動かなくなりました、腐敗して來てゐるとは知らなかつたのです』

と、可憐そうに代田は、牧師の前で神に懺悔して救を求めるように、正直な彼は泣いたそうだよ』

と、斯う友人は話した。話してしばらく私たちは默つた。エレヴエターは幾度も通つてその響を殘した。

『然し君はいゝなあ、細君を日本へ歸し、こうしてゐられるのだから』

と、友人は私に言つた。

私は友人に言つた

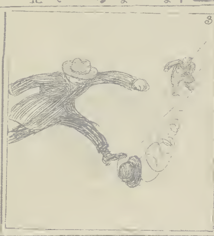
『君はいゝなあ、いつまでも子が一人きりで』。

予の詩的觀照と紐育詩壇の人々

（第九面より續く）

紐育の詩人中、長詩では先づ指を佐々木指月氏の作に屈すべきであらう。氏の特長は、詞の遣ひ方が如何にも巧妙に、すら〳〵と用ゐられてゐるところにある。さうしてそれが一種の丸みを帶びた光澤となつて詩全体の上に流れたり轉んだりしてゐる。詩として見るよりも、繪として見る方がより多く面白味を感ずる、しかもそれが後期印象派の畫面に對する時のやうに、ある一定の距離を隔てゝチッと凝視めてゐる方がどれだけ多く快感を覺ねさせられるか分らない。特に『珊瑚の繩』の一篇は昨一年を通じての傑作として推奬するに躊躇しない。『身を卷く繩のほぐれそは涙ぞ落つるさびしさに……』と靜かな調で歌ひ出して來る處に熙爛の想が躍動する。その他姉妹篇とも見るべき「人形」と『魔のさす宵』及び「To ―」等一讀三唱の價値あるは勿論である。

山下西舟氏の歌は、どれを見ても華やかな文字に充ち滿ちてゐる、しかし氏の作家としての特異点がこれ以外に有るかないかは今の處では何とも言ひかねる。これは單り山下氏に對してのみ言ふのではないが、作家が徒らに輪廓の美に囚はれてゐる間は、その人未だ詩の妙境を理解してゐない事を語るものである。言葉の爲に詩を作つたり歌をよんだりする事は斯界の邪道である。詩も歌も所詮は自己の表現であるから故さらに其語を華やかにし、其辭を纖細にして聲調の美を求めるには當らないそれよりも内容の充實といふ事に力を致すべきではあるまいか。



試に山下氏が過去一年間に發表された數多い歌の中から一二首を拔いて私の意見を述べて見る。

（一）わざさその花の一輪を襟にさす一片は散りて四片殘れる

（二）終点で電車を降りて人はみな木の假橋を彼方へ渡りぬ

（三）初秋の充りたゝゑて水は今朝西へ西へと遠く流るゝ

（四）春の夜を寂しく守るマーブルの乙女の像に頬ずりをする

（五）瓶に生けし草の莖より泡のたつさびしき日也世は春にして

（六）露しげき草にみゝずの聲たゐて朝しらじらと芋の花さく

右數首の中で、私が佳作と認めた歌は（四）（五）（六）の三首で（一）（二）（三）は短歌としての形式だに成さねはどの愚作であると思ふ。以下少しく細評を試みる。



私が佳作と認めた三首は何れも同じ情景を描寫したものではあるが就中『芋の花』の一首は作家それ自身の孤獨の哀愁といふやうな主觀的情緒が夜明けの冷たい空氣の中に雜つて顫へて居る…うら寂しい感じを唆るところに此の歌の生氣が托されてゐる。（五）も（六）も表現のしかたを異にしただけの事だから評は略す。

愚作の中でも（一）と（二）とが最も甚だしい。試に（一）に就て言へば、何の花かは知らないが、五個の花瓣により完成されてゐた花がもろくもその一片が散つて四片だけ殘つたと言ふたのみの事である。單にそれだけでは何を表現し、象徴したつもりなのかさつぱり譯が分らない。又その花をわざと襟にさしたまでの西舟氏の氣分が鮮やかに描かれて居ないのを遺憾とする。『終点で』の歌も『初秋の光り』の歌も、單に見ただけの事をスケッチしたに止まつて居る。

序でだから重複を厭はず私の詩觀を繰り返す。詩でも歌でも、はた繪畫でも、凡べて藝術と名のつく作のものには、前に擧げた西舟氏の作のやうに、しかく無意味なものであつてはならない。自己の本領が何處に表現されて居るか、個性の尊さが如何なる形式によりて發揮されて居るか、それが認め得られない限りは先づそれに落第点を付けるより外に評のしやうがない。その表現の形式が如何に拙劣であつても、そこに人を動かすに足るだけの魅力を具へてさへ居ればそれでとにかく立派な藝術と言ひ得る。藝術の價値はその有する魅力の量の多少によりて定まるべきものである。

斯うなつて來ると、曾て橫臥堂氏によつて『西舟氏は天才的歌人である』と賞められた事が、いかにもあやしくなつて來る。天才的歌人などいふものが、そんなにザラにあるべきはずのものではない。私の見た西舟氏は言葉のために歌を詠む人であると評する以外、何等とりたてゝ論ずる程の優れた点が無いやうに思はれてならない。

右の外バナ、氏と丘邊氏との詩と歌とを併せて批評するはずであつたが、與へられた餘白が盡きたから殘念ながら又のをりにする。

髑髏に接吻する女

石垣榮太郎

一

狂亂する『時』の渦巻のなかに、幽玄と神秘との色に染められた、高い鐵塔が峙つて居る。彼は素裸體のまゝ暗闇から黑闇を、少さな舟に乗つて騒ぎ廻り、未知の世界に向つて、漕いで居る。高い波と波との谷間に彼の小舟が沈められて、再び浮び上つた時、舟は、その高い鐵の壁に打ちつけられて、微塵に碎かれ、波の間に間に漂つて居た。寒い風がびゆうびゆう吹いて居るが、夢中になつて漕いで居る彼には、凡べてが無感覺であつた。ふと氣がついて見ると、彼は[illegible]ながら、秘密の扉の前に立ち竦んでゐた。そこには芳烈な肉慾の享樂に[illegible]ふ淸淨な空氣と、宗教に汚がされた心靈の[illegible]とが、混亂し、舞ひ立つて居た。彼の耳をかすめて過ぐる電光の閃めく下に、弱者の死體が累々として横つて居た。『[illegible]の強者の行爲や事業を慕つて、その外面の擬態や、眞似事にのみ勉めて居た、既成宗教の教徒等の死體です。[illegible]ながらんどうな生活をして來た人や、人間性の稀薄な、鈍間や、お人好しな人間は皆、この門の外で倒れてしまふのです』と亡靈が囁いて、ゆらゆらと消ねて行つた。その秘密の扉は、鋭い感受性と、聰明な理智との鍵を所持して居る人には容易すく開かれるのであつた。彼の持つて居た鍵は、その頑強な鐵の扉を開くには小さ過ぎる。彼は涙に曇る眼を扉の間に押しあてゝ、扉の向ふ側を覗いて見た。と、扉にも美くしい女が、その豊麗の皮膚を露出して、絹紬の掛布の上に横つて居る。そして彼女の心臓に流れて居る、若い血が、肉附の好い、眞白な乳房のうへに、微かな波動を創造する。身も心をも蕩かす、媚態のような曲線の誘惑が、觸つても探つても、捕りきれない、純麗な自然の色の奥底に隱されて居る、赤い血潮を求める者のために開かれて居る。芳ばしい[illegible]の聲、不夜の城、歓樂の巷が輝いて居る。そこには、靈魂の頹廢を早めた、人間的な生活の光輝を語る、科學文明の勝利を謳ふ、奏樂の音波が流れて居る。純淨な噴水の湧る池の鏡のような水面に、緑の滴る柳の木か妙なる姿を映して居る。妖艶な印度の美女が織り出す舞踏の線にあはせて、不思議な樂器の悲しい韻につれて、亡國の哀歌をうたひながら、亡びゆく人の世を悲しみながら、死んでゆく年若い詩人が居る。と死後の醜い人間の形が彼の足下に浮んで居る。彼は恐怖に震へながら、人間的な生活の本能に侵入し得ない、自分のみじめな姿をながめて居る。彼もやはり、あの門の外で死なねばならぬ運命の壓迫に脅へて居るのだ。

時々庸一は斯んな話を彼が幻想の潮面に浮べては、醜い現實の生活から遊離して、美しい想像の世界に、生きて居たのであつた。がその話の主人公は、いつも彼自身の生活を象徴したものであつたから、いつも中途で彼の夢は破られて、殘忍な悲痛と懊惱とが彼の胸を襲ひ、幻想の國の平和から、現實の爭鬪の闇浮提にひきもどすのであつた。物質的に[illegible]劣な生活に伴ふ沈滯しきつた空氣と、汚穢と腐敗に滿ちた清教徒的な禁慾とが、いつも彼の心を腔かしどうして居る。

庸一は、食物を得ることのみの生活に疲れた苦悶の眼を、ある雨のふる晩秋の薄暗い町に投げて居た。第五街に近い寂しい靜かな通りは、柔らかい黄昏の色に包まれてゐる。第五街の壯大な建物の中に働いて居るらしい店員や會社員の黑い影が、しとしとふる雨の中に、涙に潤んでゞも居るようなサイドウオークに忙がしく映つては、薄暗の彼方に消ねて行つた。淡い灰色の光線が、庸一の覗いて居る美術商の小さな店先から漏れて、古巣へ歸る鳥のように、[illegible]になつた、それらの勞働者の慘めな姿の上に流れて居た。それ等の人々は、その年の[illegible]、その國の大統領が議會議事堂で對獨宣戰の書に署名してから、熱狂的に妄動する人心を背景として、血醒い大戰參加の空氣の裡に浮遊しながら、抗し難い生活難と鬪はねばならぬ、綺麗な洋服を着た勞働者の群であつた。その日は午後になつてから雨がふり出したので、そのうちの誰も傘を持つて居ないらしい。庸一はそれ等の人々の頭から、一瞬時も離すことのできない『錢が欲しい』といふ共通的な考へを、彼自身の心のうちにも、切ない欲望として肯定せずには居られなかつた。彼等が働口を失つて一片の麵麭をさへ得られなくなつた時、食ふことのできなくなつた時、若し彼等が盗むことを敢てしたら、社會は果してどれ程まで罰することができるであらうか最も純眞な道理の眼で見て。だが社會は鈍感な人間の集團である、生活に疲れた人間の、幽靈のようにふらふら搖めいて居る哀れな姿をその眼前に眺めながら、一滴の涙をさへ流さぬのである。俺は生きる爲めに、如何なることも、善惡正邪の差別なしに爲さねばならぬ、否、凡ての行爲は、その生命の前に最善であらねばならぬ、と彼は考へて居た。

永い間大都會の空を掩ふて居た、膿を流したような熱氣をたびた夏の空氣が、蒼々とした秋の空に開けてハドソン河畔の深緑が華やかな紅葉に燃ね、そよ吹く風に散つて、ゆるやかな水の流に浮ぶ頃、その美術商の小さな店先も、永い間の逆境から甦つて、店の奥まつた處で、いつものように、四五人の若い女達が働くようになつた。庸一は其處で彫物の小刀を弄んで居た、刃切れの好い小刀で、挑發的な色をした滑らかな象牙の表面を引掻く時、純淨な處女の貞操を破るような、悲痛なそして怖ろしい感じや、快い刺戟に微笑むことがあつた。そして彫物がだんだんに仕上がつて、小刀の痕が奇しくも輝くとき、自分の血を分けた子供にでも對する時のような愛着が感じられた。だが彼にとつて、技術は胃袋を満たすための技術であつて、赤貧に甘んじながらも、力強い藝術の神秘の裡に生きて居た、昔の彫師の眞高な生活を自分のものとして肯定するには、あまりに彼は俗人であり、野心家であり過ぎた。『金、金、金』彼は心のうちで叫んで見た。と、その瞬間、衣嚢の底に十弗の汚ない紙幣が丸められてあることに氣がついて居た。十弗とまとまつた金を、永い夏の間見たことの無かつた彼は、ある何かの慾望に向つて秘密な目算を立て、惡魔のようなづるい微笑を洩らした。庸一は再び仕事の手を止めて雨のふるサイドウオークを眺めて居る。その時ある若い佛蘭西の女が、白い糸のようにふる雨の中から彼の視線に現はれて、紅い唇に優しい笑を湛ねて居た。それは庸一が父の急病を聞いて、紐育に居た父の下に、佛蘭西から歸る途中船の中で知り合ひになつた、美くしいモデルであつた、その名はジインといつて居た。

『あたしの靴を繕つて下さらない踵を毀して困つて居るのよ』



『俺のところは靴屋ぢやないよ』

彼は叱るように言ひながらも、若々しい官能的な女の足に穿たれて居る可愛らしい女靴に言ひ難い蠱惑を感じて居た。初めて他人の靴をいぢる彼は、ある平凡な羞恥を感じないでもなかつたのであるが、だんだんと繕つて居るうちに、その小さな靴の高い細い踵のゆるやかな線にある種の美を見出し、淡い愛をさへ灑ぐやうになつた。彼は幼い時分から眼世界により多くの感受性をもつて居て視覺の生活は他の感覺の生活よりも擴められて居た。それと同時に彼の性慾も變態的に爲つて居て、女から得るある種類の觸覺よりも、女の腰部や乳房の邊に漂ふ曲線美の方により多くの欲求をもつて居た。女の髪の毛一筋にも、彼にとつて異性に對する愛の滿足がゆるされて居た。若し他人の眼が彼を圍繞して居なかつたら、彼はその小さな女靴を自分の胸にをしあてゝ泣いたかも知れなかつた、そしてそれに熱烈な接吻をしたにちがひなかつた。

『小さな可愛らしい女靴、佛蘭西の小女の美くしい足を包むだ尊い女靴』と彼は心に繰りかへしながら、その靴を繕つて居た。そして自分の感傷的な氣分を嘲ける、彼自身のうちにある他の我が、彼の痩せ衰へた頬を紅く染めた。

『貴郎も可憐そうねえ、畫かきさんから彫物師になつて、それから靴なほしやさんだから』と美くしい瞳に無限の愛嬌を見せて彼女はさゝやいた。

（二）

それから五分間たつた。轄々とふりしきる豪雨の中を、庸一は女持の洋傘を支へながら、寄りそふ女を助けて歩いて居た。

『これから貴郎何處へ行くの？貴郎のお宅つて隨分な無理ね、でも、あたし貴郎の奥さんを恐れて居やしないのよ』彼女の眞白な頬に漆黑のちゞれ髪が亂れて居た。

『あたし倒れたら、起こして下さいといけなくつてよ』と呟きながら庸一の腕にしつかとつかまつて深い泥濘をびしやびしや渡つた。

支那料理へ行くのだと言ふと『考へものだわね、貴郎と一緒に行くのは』と言つて『それに奥さんが待つて居らつしやるのでせう』と附け加へて、皮肉に笑つて、彼の眼を見詰めて居た。庸一はジインに妻の事を言はれる毎に嫌な感じがした、それは妻に對する愛の純潔を汚し、清淨を傷つけることを恐れる良心の目覺めに、限り無い威壓を感じて居たからである。だが彼の良心は痲痺し、いつまでたつても目覺めることの無いまでに昏睡して居た。只管彼は自分の知り人に見られることを恐れ、自分の愛に限り無き信頼を繋いで居る妻の、失望し苦しむ、痛ましい姿を見なければならぬ時の來ることを恐れて居た。雨に清められた爽やかな空氣が、何かしら新らしい經驗に對する好奇に興奮した彼の頬を洗つて、涼しい快感を覺えしめた。『CHOP SUEY』と赤地に白の字で書いた看板の下に來ると、次の瞬間に突發すべき事件の豫覺が、彼の胸を騒がし動搖させた。震へる手でドアを開けて入ると、夏になるまで彼と一緒に働いて居た男が友人と會食して居た。『失敗つた』と思つた時は既に遲かつた……

別室に入つてから彼女は、庸一と相對したチエーヤに腰を下しながら言つた、

『貴郎何をそんなに恐わがつて居らつしやるの？一人の男が二人も三人もの女を愛するのが何故罪惡なの一人の女が幾人もの男を可愛がるのが何故いけないのでせう？貴郎はいつでも、愛が總ての行爲の出發点であらねばならぬ、愛は新らしい道徳の本源であり、新らしい宗教の第一義である、愛は罪の宥しであり、天國の門だつて言つて居るぢやないの憎惡は他人を助けることが有つても自分を生長せしめないつて――』

庸一は默したまゝ、その男が他人の穴探しをして、色々なことを捏造しては、方々で惡口を竝べ立てゝ愉快がつて居る愚劣な心を嘲り、憐れむよりも自分の身に、其男の毒牙が掛ることを恐れた。

『何故默つて居らつしやるの？だつて好いぢやありませんか、彼の人まだ貴郎の奥さんを存じないんでせう、だから他の人が聞いたら「あれが僕の妻だ」つて言へば、ねね貴郎つてば』。女は艶々した短かく切つた髪のちゞれ毛を弄りながら、秋の空のように美くしく澄んだ瞳を、言ひ知れぬ不安と恐怖に滿ちた幸福に醉つて居るらしい庸一のうへに投げて居た。

『本當に貴郎はドリーマーですわいつでも何か變つた刺戟を求めて居るのでせう、星の世界を、新らしい華の國を、だけどそれは紐育では通らないのよ、恐らく今の世界では、物質の都、商工業の都市で、生存競爭を無視して、どうして生きて居られませう、過去のセンチメントに生きるお婆さんや、夢幻の境に憧れて居る美術家や詩人は、近代生活の劣敗者だわ、貴郎は眞實にドリーマーねね一。彼女は再び繰りかへした『ねね貴郎、金持におなりなさい、お金を儲ける方法はどんな事を爲てもよいの、どんな不人情な事を爲ても、惡辣な手段を取つても、力さへ得れば此方のものよ、社會の人々が鬼と罵り、盗賊と呼んでもかまはないでおいで、十年も立てばぢきに忘れて終ふのが社會の心理狀態よ、金持に成つてから、少し金を出して慈善家がれば、直ぐに男爵閣下だから、社會は本當におめでたいのね、外面如菩薩内面如夜叉つて一ような人々が、今の社會での生存の適種なんだから、詐僞と強迫はビジネスの奥秘なの、その上に正直とか仁義とかのお白粉を塗れば、立派に社會は胡麻化してゆけます、眞實に社會はおめでたくつてよ』

『君はなかなかの哲學者だ、僕がミリオネイヤになつたら、君のような美くしい女に澤山の寶石を奉つて贅澤をさせろつて言ふのだろう、素裸にしてモデル臺に載せるのが男の能ぢやないつて』。庸一の神經からは彼れの秘密を知つてゐる男のかげはだんだんに薄くなつて消ねて行つた。

『あたりまへだわ、美くしい女に綺麗なドレスを着せて、ありとあらゆる世界の寶玉で美くしく飾るのは有産階級の義務だわ、だけど、心細いね貴郎では、金持になれる素質を一つも具へてゐないから、氣が短かいつて、神經質で、怒りぽいつて、慈善深いつてか』

『茶かさないでお聽きなさいてば當今の社會では、面の皮の厚い、神經の遅鈍な人間でなければ、直ぐに神經衰弱になつて倒れて終ふのだから所謂精神的に馬鹿が生存の優者なのです、クリストは十字架に磔けられソクラテスは毒殺――』

『川島庸一は――肺病で死ぬか』

『知りません』可愛らしい眼の縁にほんのりと紅を漂はせて、彼女は庸一を輕く睨んだ。

『金持だつてその人間がぼんくらなら、貧乏人のぼんくらと同じ程度な底劣な生活しかできないのだ、富める者も貧しき者も、その個々の素質によつて、どんな高い純淨な眞實な生活でも爲し得るのだ、嗚呼然し賢者も愚者も、その行き着く先きは同じ死だ！』と彼は考へた。現實の生活に於て、自分達の求めるものゝ總てに、死の暗影が宿つてゐるではないか。その時、彼が幻想の畫面にサローメ王女の戀が浮んで來た。現世の最高の權勢を以てしても、如何とも爲し難い戀の悩みに、死したるヨカナンの生首に接吻して、まゝならぬ浮世の戀の苦しさをかこち、戀人の血潮の苦がさを嘆く、サローメのシーンを思ひ浮べて見た。然し彼の想像のうちに生きてゐたサローメ王女は、ヨカナンの首をでなく、『髑髏に接吻する女』であつた。その想像のうちの女こそ、世の中の總ての欲望を象徴する一つの藝術だと庸一は思つてゐる。二人の間にチヤプシユイの料理が持ち運ばれて、決よい嗅覺を刺戟する湯氣が立ち昇るのを見た時、庸一はやはり『金』が欲しいと思つた。

食後の新らしい經驗を語るために彼は衣囊から小形の金側時計を取り出して女に渡した。その時計の裏には彼が戀した多くの女の愛と美とを記念するために、一人一人の女から貰つて、密かに細い糸に撚つてゐた女の毛が、黑や、ブラオンや、ブロンドの色彩の面白い調和を見せて、その香の薰するうちに秘められて居た。（完）

――一九十七年、一二――

恭賀新年

紐育新報（其四）

東京特電（廿八日着）

●帝國議會開院式擧行

＝東洋の平和を維持すると同時に極力同盟國を援助せよとの詔勅＝

第三十九帝國議會は去る廿五日召集せられ廿七日　天皇陛下親臨あり開院式を擧行し一月廿日迄休會となりたるが同式場の玉座より陛下の下し給ひし詔勅の大意は左の如し

朕は我國の同盟列國に對する關係の益々親密となれるを欽快とす、歐洲大戰は更に重要の度を加へたり、故に我國は同盟列國と共に協力以て其效果を收むるに努力すべきなり、朕は一致同盟に依りて完全なる捷利を確實にし且つ朕が深く同情する目的を貫徹せんことを期す。我國は東洋の平和を維持しつゝ國力の全部を以て協力するの準備を爲せり、故に現下の狀勢に基き朕は各大臣をして國家防衛上必要の企畫を樹つべきを命ぜり

●外交調査會の協議

政府は十二月十七日外相官邸に於て國際上の重要なる諸問題協議の爲め外交調査會を開催し本野外相諸問題に關し仔細に說明を試みたる後數刻に亘り密議を凝らせり當夜伊東平田二子都合あり缺席したるも寺內首相後藤男及び原敬犬養毅兩氏出席主人格の本野子を合せて五名協議に與れるが主要議題は支那當面問題及び露國の單獨媾和に對する帝國の態度にして席上二三の質問と之に對する外相の說明行はれたる後大體に於て政府側の提案に同意を與へたりと觀測さる而して露國單獨媾和に對する帝國の態度は單に聯合諸國と同一態度を採れば足るも露獨媾和の結果帝國の地位益々困難に面するは何人も疑なき所なるを以て國民一般は外交調査會の有名無實なるを充分知悉するも國運發展に對する切なる希望は猶ほ同會に多少の望みを屬し當夜の協議に關しても現下の時局に適應する協議乃至決定を見んことを期待せる者少からず

●經常費總額七億圓　大藏省當局の言に依れば明年度豫算は大體に於て大正六年度豫算と大差なく臨時事件費及び臨時軍事費を除き總額約七億圓にして同豫算案編成の方針は主として國防計畫の充實と社會政策の實施とを主眼とし官業及び稅制整理等は多少社會政策的色彩を帶ぶるものありと

●豫算の國防計畫經費　來年度豫算案に於ける新なる國防費は

海軍々備充實費（六年計畫）
三億二千萬圓
陸軍々備充實費（十八年計畫）
一億八千萬圓

にして陸軍補充費中には師團增設費を包括せざる一事明白なるも內容及び年割額は國防計畫に觸るゝを以て明白ならず

●新豫算案の財源概要　明年度豫算案に於ける歲出の膨脹に對し歲入の增加を計るため官業及び稅制整理を行ふ方針なるが其主要なるは

一、所得稅　從來年收四百圓以上に對して課したるを五百圓以上とし且つ累進率の割合を增加し一割乃至五割平均二割の增稅
一、通行稅　殆んど全廢、淸涼飮料水新稅にて約百萬圓增收
一、織物稅　綿織物稅は從來價格の一割なりしを八分に引下げ絹織物は一割を一割二分に引上げ絹綿交織は從前の如く一割
一、戰時利得稅　戰前二ヶ年の所得の平均と來年四月以降の所得と比較し增加額に二割を課す而して納稅者は法人を主とす
一、酒造石稅　一割强の引上げ
一、石油稅　多少輕減す
一、郵稅　葉書封書及電信料金等を增加す、但し一時風說盛んなりし砂糖官營は絕對に行はざるべし

●豫算案反對猛烈　豫算案に對する諸方面の反對は漸く具體的の運動となり與黨領袖中にも部分的反對の意向を漏らす者少なからざるに至れり反對黨たる憲政會の領袖連は完膚なき迄に豫算案の不具を痛擊せり

●勸業、興業兩銀行の合同　特殊銀行なる日本勸業銀行と日本興業銀行とは愈々合併する事となるべく合同交涉大に進捗し居れり

●南支稍鎭靜　內亂狀態にありたる南支那方面の邦人及び外人の生命財產總て無事而して猛勢漸次靜穩に復歸しつゝあるを以て漢口に結集中の我が第七艦隊は集合を解き各單獨揚子江上の警戒に任ずる事となり、司令官山岡少將は艦隊運動を解くと同時に漢口出發南支各地の我軍艦警戒狀態默檢の途に上り、汕頭、重慶等の我陸戰隊亦不日撤回さるべし

極東及歐洲

●墺國外相の平和提唱　露都發電に依れば基督降誕祭當日ブレストリトフスク市に於て發表せられたる墺國外相の對露平和提唱は依然無賠償非併合主義を標榜し第一項より第六項に亘り相互戰捷地域を返還する事、小國の政治的獨立を侵害せざる事、從來政治的獨立を維持し得ざりし國民の所屬問題は列國平和會議に附せずして各國民の意志に依り關係諸國間に於て協定すべき事等を提議したるが右は結局露國を使嗾して一般的平和の基礎條件とせるに過ぎず佛國議會に於ては直ちに拒絕の意志を表明し華盛頓に於ては最も冷淡に看過されつゝあり

●英國海軍々政總裁の更迭　英國海軍のサー・ウエミス中將はサー・ジエリコ大將の後を襲ひ同國海軍々政總裁に新任せられたる旨去る廿六日公表ありたるが同中將は英國遠征軍がガリポリ上陸及撤退の際に異常なる手腕を現はし又ジャットランド海戰にも參加し一般に軍事上の智略を認められ居れり

●露國戰線の獨軍移動　ペトログラツド二十四日發電に依れば總司令官クリレンコ將軍は去る日曜日ボルセヴイキ本部に向ひ獨逸の大軍は全速力を以て西部戰線及西南部露羅戰線に移動しつゝあるを報せり尙ほ獨逸は露國の提出せる平和條件に回答せず會議を一月廿四日迄中止せん事を要求し來れりと云ふ

●獨逸の非戰黨優勢　獨逸に於て去る四月組織せられたる獨立社會民主黨は其後益々優勢にして現下十二万人の出費黨員を有し兵士、其他の黨費免除の黨員を加算せば一大勢力にして同黨の綱領は組織當初より强力なる非戰論なり

米國雜事

●紐育市に石炭札組織採用　紐育市に於ける燃料保存の爲めに同州燃料管理者ウイツギーン氏は保存委員を任命し去廿六日第一回協議會を開きたるが他諸市と氣脈を通じて近く石炭札組織を採用し一噸以上の各需用者は札面に、石炭使用の理由、昨年度の使用量及び其の貯炭消盡期日等を記入せしむる計畫にして極力其の[illegible]費を取締るべしと云ふ

佐藤大使歸朝說

＝華盛頓で專ら風評＝

駐米大使佐藤愛麿氏は客臘賜暇歸朝の事に決し一月十九日沙港出帆の伏見丸に便乘するとの說あり不取敢風聞として掲置く

●米國內の革命計畫　華府政府當局は去廿五日世界勞働協會露國過激派及愛蘭土動亂者が協力して現在の社會を改革すべき世界的計畫の一端を發表したるが右は最近太平洋岸の某港に到着せる露國荷物船シルカ號に幾多の小銃拳銃及彈藥を發見したる事にして同兵器は露國のボルシエウイキより當國のアイ、ダブルユー、ダブリユーに送達せられたるものゝ如く其他該運動に關聯せりと推測すべき證據少なからざる由なり

●大統領鐵道直轄を宣言す　ウイルソン大統領は廿六日宣言書を發布し金曜日より全國の鐵道を國有とし政府直轄の下に置くべしと公表せるが同時にマカドウー藏相を鐵道總裁に任命せり而して大統領は鐵道投資者の權利及び利益が政府に依て安全に保護さるべく會社は一九一七年六月卅日以前三ケ年間の平均純收入を得らるべしと聲明せり

謹賀新年

大正七年一月元旦

紐育新報社々員

水谷涉三　吉田正之　內田實　木川正男　丘邊杏　[illegible]野惠佐

社友（イロハ順）

石垣榮太郎　在大阪 原田棟一郎　在東京 林富平　畠中蓼坡　畑田保次　岡田穀　脇本東隅　在東京 甲斐健一　鎌田敬四郎　笠原乙夫　神子島梧郎　横矢重孝　在南米 田卷宏　在瑞西 中村萬吉　在東京 中野正剛　中村保馬　野崎眞　山下直治　在大阪 丸山幹治　小林雅一　佐々木指月　千本木正治　在大連 鈴木文治

恭賀新年
本年も倍舊御引立の程願上候
一月元旦
大平甲子太郎

謹賀新年
一月一日
日本倶樂部在勤
三田早苗

謹賀新年
日米便利社

紐育新報

紐育と同胞

目賀田男爵歡迎會

日本倶樂部及び紐育日本人會聯合主催の財政經濟委員長目賀田男爵一行歡迎會は男爵の希望に依り去る廿四日開催の運となりたるが同夜午後六時日本倶樂部幹事主催の晩饗會あり九時階上の應接室に於てレセプションを擧行し夫れより階下の大食堂にて一場の講演會を開催したり一宮鈴太郎氏は高峯會長に代りて司會者となり目賀田男爵に對する歡迎の辭を述べて男爵を紹介したるに男爵は靜かに偉軀を壇上に支へて現在日本財政の進歩せる事實談を爲し多大の感動を聽衆に與へ日露戰役中僅々一億乃至二億の外債を佛國に於て募集せるに際し佛國外相より戰後に於ける日本の財政を如何に處理するや其の成案如何との質問に對し特に國議を開き其の成案を內示し漸く外債の成立を告げたる當時と現在の實際とを比較して簡單ながら趣味ある講演を試みたり次に三井銀行專務取締役米山梅吉氏より日米の關係に就き頗る喝采を得たる講演あり十時半散會したり當夜の出席者は約八十名意外に少數なりしは遺憾なりしも皆熱心に男爵及び米山氏の講演を傾聽したり出席者中には高峰博士を始め田財官、矢田總領事、與倉機關大佐、濱口日銀監督役、一宮正金支店長、篠崎古河支店長、井上京都工商支店長、八十島堀越支店長、菱原久原代表、三村野合資代表者、今西臺銀監督役、橋本淺芝川支店長、牛窪山中支店長、瀨古三井支店長、新井領一郎、手塚森村支配人、野中野澤屋支配人、長瀨德太郎氏其他三井、正金、森村店員日本人會員有志十數名を見受けたり

●目賀田男爵の寄附　男爵は今回紐育日本人會及び日本倶樂部へ金五百弗宛寄付せりと

●目賀田男爵一行の出華　目賀田、伊藤兩男を初め財政經濟委員の大多數は去る二十五日華府へ向け出發したり

●地主延之助氏の歸朝　森村組副支配人の同氏は一月九日頃商用を帶び一時歸朝約二週間在滯二月匆々歸米の筈

●山中商會主の[illegible]　山中商會主[illegible]氏は[illegible]病氣の處[illegible]大阪の自邸に於て長逝せる旨去る廿六日當市[illegible]商會支店に入電ありたり

●日本倶樂部の除夜會と新年會　同倶樂部にては例年の通り三十一日夜六時より倶樂部員の除夜會（會費一弗）を開催したるが又元日には午後一時より新年宴會（會費一弗五十仙）を催す筈なりと

●日本運動倶樂部の忘年會　日運倶樂部は二十九日午後八時より同倶樂部道場に於て忘年會を兼ね同會理事丸山幸作氏の新婚祝賀會を催したるが頗る盛會なりき

●足達氏令息等の忘年會　武市足達未亡人令息讓治、ウキリアムの兩氏主催となり舊臘二十九日夜自邸に於て少友の忘年會を催したるに來會者十數名盛會なりしと云ふ

●名古屋製陶所の電話新設　舊冬第五街二〇〇番フキフス●アベニウ●ビルデングに支店を設置せる名古屋製陶所電話はグラマシイ五四五八にして支配人は[illegible]菊次郎氏なりと

●淺野良三氏の來紐　東洋汽船會社重役の同氏は日米人の合同資本を以て淺野鐵工場創立の要件を帶び前週來紐ホテル●ビルトモアに滯在中

●野澤屋の忘年會　同店は卅一日旗亭朝日に於て店員一同の忘年會開催出席者卅餘名

●久我好平氏出紐　ピッツバーグ市ウエスティングハウスに勤務し居たる同氏は舊臘出紐當分滯在の由

●西宮祐吉氏再渡米　同氏は十二月三日桑港着目下西部地方巡遊中の由

●記者招待會　手塚森村支配人の記者招待會は去る廿六日正午マンハッタン倶樂部に於て

▲家永博士は廿七日夜武市自宅に於て開會

●歳晩の各教會

▲紐育教會にては廿六日夜降誕祝賀會を擧行し集會者百五十餘名あり餘興として信者同志の演劇あり素人劇としては頗る上出來なりき後茶菓の饗應あり散會せしは十一時近來稀なる盛會なりき

▲美以教會は降誕祭當日祝賀會を開催し山口氏司會の下に嚴肅なる禮拜あり餘興に入りて矢田、高見、山口の令孃令息達を始め數番のレシテイシヨン及び奏樂等あり茂木、多治見、關根の諸商店より寄贈品あり出席者八十餘名午後十一時散會せり

▲修道會は廿四日降誕祭祝賀式を擧行し終つて餘興に手品、落語、奏樂等あり參會者百廿餘名頗る盛會なりき

●紐育市各教會初週祈禱會順序

一月一日（火曜日）午後八時　紐育第一美以教會　司會者　加藤牧師
覺醒の新年　奬勵者　重田警藏
同　鈴木誠治

一月二日（水曜日）午後八時　紐育日本人教會　司會者　清水牧師
在留同胞に對する教會の使命　奬勵者　小畑久五郎
同　芹野與太郎

一月三日（木曜日）午後八時　日本人基督教修道會　司會者　松永牧師
獻身的生活　奬勵者　山口三之助
同　片山彌六

隈侯の强記

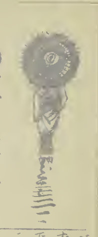
畑田保次

日本を辭するに際し、十一月七日大隈さんに挨拶に上つた。大患後とは思はれぬ程の元氣で、顔色も音聲も半年前と毫も違はないのを見て、大に胸を撫て下ろした。世界戰爭の形勢から、米國の眞劍なこと、佛國が戰爭により救はる可きこと等約一時間許り長廣舌を拜聽し、侯の前途のあるを感じつゝ辭し去つた。

侯爵が八十一歲（今年）の高齡に達しながら『我輩は青年であるんである』と常に言はれてをられる程氣の若いことは先刻誰も御承知のことであるが、實際到底爾は[illegible]ぬ程の智能と体力とを持つてをられる。一体侯の該博なる智識は何處から得られるのであるかは、何人も大に疑問とする處である。無論大學の先生達より聽かれるだらう、絕ざる訪問外人よりも蒐集されるであらう、また英語は話り得ないが、英書を讀破する力を具へてをられるから、其の方からも最新智識を吸收されるであらうが、要するに其の根本基礎は、侯が非常に强大なる記憶力を備へてをられることであらうと思はれる。

侯の强記は實に絕倫と云ふべきもので、一二度面會した人の名を大抵記憶してをられるには、何人も驚かされざるを得無い。昨年大阪より上京の際刺を通ぜずして面會した處、早速『大阪から來たか、貴[illegible]大阪朝日新聞社[illegible]は出來たか』と問はれた。年に一二度位しか訪問しない數にもならぬ予の名前と、入社後一年餘にしかならぬ新聞社を記憶して居らるゝには實に驚いた。又今回の訪問の際にも、紐育在住邦人の名士十數名を列擧し、曾つて見ろと勸められた（肝心の選手が玄關を出ると大部分忘れて仕舞つた）にも感心した。侯は現在の人名をよく記憶して居らるゝのみならず、歷史上の人名は洋の東西を問はず、[illegible]に[illegible]附けて居られる。而して更に驚く可きは數字の記憶力の强いことである。歷史を[illegible]ふのに年代は覺へ難いものであるが、古代、中世史は知らず、近世史のものなら、日本は勿論、支那でも、西洋でも、大抵間違無く話せられる。日本の貿易高や豫算等を十數年に渡りて列擧されることは易々たることで、曾て手形交換所で、何ヶ年かの交換高を比較して、聽衆を呆然たらしめたことがある。世界各國の面積や人口、主要產物の產額、貿易高、鐵道の哩數、船舶の噸數等は苦もなく演說や談話の中に出て來る。よく大隈さんの數字は當座の手製ものであると貶す者があるが、あとで調査して見ると大抵は間違つてゐない。家從の話によると、侯は地方に出掛けられる際には必らず二三の統計書だけを鞄に詰めて行かれる相であるが、それを以て觀ても、侯の數字の決して手製のもので無いことが解るであらう。

大隈侯は絕對に字を書かれぬから演說に草稿の無いことは無論であるが、如何なる譯で字を絕對に書かれぬかは茲に說明する餘裕は無いが、兎に角あれ程强記であれば別に覺帳を持つ必要が無い譯である。强記であるから自然字を書かなくなつたのか、將た字を書かぬから止むを得ず强記になつたかは知らぬが、孰れにしても、强記が隈侯の博識を築き上げた大根底に外ならぬと思はれる。侯を以て單純なる長廣舌家や、法螺吹きとなすは、聊か當を得ざる見方であるまいか。尤も强記は智能の全体ではない、其の一要素たるに過ぎ無いけれ共、其のこれ有るは、無きに優る萬々である。況んや侯の如く幾多絕倫の智力を有せらるゝ上に、强大なる記憶力を加ふるは、實に虎に翼を加へたものと云はねばならぬ。



●正月献立

日本倶樂部司厨長武田縫治氏は關西割烹家の泰斗磯家宗匠の高弟なるが目出度午年の正月の献立を左の通り試みたる由に付各夫人連の參考迄に一應披露致し置く

正月献立

向　數の子　花鰹
汁　阿波餅　勝栗　若菜　口祝粉
御飯
煮物　鰆切身　午蒡
わん　錢切　せんまい　口へぎ柚
引菜　田作　さより鹽燒
焼物　鶴　神馬草
八寸　鯖一鹽平作　龍比昆布相生結
丼　大根大切　干菜
香の物
沸湯煎米
以上

●籠黨諸君

新年の御慶千里セイム ウインドに芽出度申納候 アンダー ゼ ケイヤ オヴ ユーア シヤドウ本紙籠欄もハンギング フート七年のホース イーヤを迎へ候事＝ヒン此の邊で又英語を入れないと人は知らないと思ふがなア＝先以て執着に奉存候
幾ら存じ奉つても籠黨諸君が馬耳東風と來るのは大概分るさ、失敬だが隨分呑氣なんだからね—投稿規則の御手短かを願つても筆長がに書かれるし次には吾輩の投書を早く出せ出せと電話で催促される時實際驚の聲の様です最近の新例を申し上げると籠の投書が有るから取りに來て與れ給へと申し込まれる千里を遠しとせずして仕候したいのだが伯樂とカーフェイヤ無きを奈何せんです
いやもう小僧から投稿に關する註文はしません今年は止むを得ず午歳に因んで一切手綱を放す事に決めました東など西など好きな方へ驅けらるべし但し午年に及ぶますまいが野馬な事を書かず奔馬の事を書かるべし意馬るのはざ馬のいゝものならず駄馬つ沒書されてからダクを踏んで怒つて駄々を捏ねられては小僧がこ馬る計りです孰れは逸物の御面々これは失禮シカ言ふ積りでは無かつたのです小僧こそ諸君の尻馬に乗つて馬から落ちて樂隱居する了見馬面らの末長く御眷顧の程髪を振つて希望仕り升ヒ、ン！(小僧)

投書籠

込み合ひ升から御手短かに願ひ升

▲新年戲感に曰く『紅輪照々新正來 志未成又加一年 堪驚頭上白髮侵 更起悉征思不眠』『まゝならぬ道と笑ひてあゆみなばうしとみし世もたのしかるらん』(竹由子)▲去年位歳暮の料理屋の振はぬ年はない蛇の歳は穴へ這入つたから午の歳にはウンと儲けさせて貰ひたい(二本料理生)▲年末になつて半娼料理店に幽靈が出たと云ふ噂があるが眞逆に舊債催促委員の代理でもあるまい新年匆々に出られちやあお客の方で引下らざるを得ぬ哩(恐風老人)▲クリスマスに詠める歌『世を救ふ主の教を守りなば望も愛も共に得られん』(竹由子)▲領事館の尋人廣告に在る大島協牛生は有名な骨董商です領事館員も矢野君のアドレス ブック位は一讀するがよからうぜ(岡目八目生)▲來年は未の歳で守成の必要があるだらう



意馬
意馬君と心猿君のだんすぶり人の世ならぬかたにぞありける

がことしは午だからウンと跳ね廻はる考で御座る同感の諸君は十分活動せよ(新春生)▲意外本麥藏君が錢取マンと柳法學士の言つた事はウソの皮だそうだそうして見ると矯風大演舌も七分はウソの長廣舌で電車賃出して非矯風演舌を聞いた事となる矯風會で近々外本錢取マン擁護演舌會を開いちや如何だ(矯風信者)▲九十何丁目邊に日本人の男の子で品行の良くない噂が白人間にある親達は注意したまへ日本人の評判を惡くする子供の品行に依つて親達の相場がわかる(日本小僧)▲新年の壽――『あら玉の頭の光りいや増して汲む若水にらつる思波濤』(ツチ)▲ダツクはガー／＼ギニーはキャー／＼とメロデャスでない聲で叫んで居るが七面鳥のガア／＼雛のケン／＼は耳ざわり惡くはない人間にはあきがくるが鳥類を友とすれば口事けんくわはさらになし(アクロン生)



索馬
面目の玉をぬくてふ〔　〕より引く馬の口〔　〕に金轡して

●お茅出度う

添ふて間もないウイジンモンス
　そつこがした雜煮餅
あんなによわしてタキシで主を
　恨みをこがした雜煮餅
ネクタイほどいて手綱に取つて
　今年やあなたの廻り年
ダンスするのがあなたのくせよ
　暦で氣になるうまの年
アイ アム グラッド私しの名年
　盛綱 陣屋 も 初 舞臺
タキシの馬をばたもてにまたせ
　裏ざや財布が廻はり年
(馬年生)

